
調布市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
結果報告書案

令和6年3月
調布市

目次

第1部 調査の概要	1
調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査対象及び調査方法	3
3. 配布数及び回収結果	4
本調査の基本的な事項	4
1. 数値の基本的な取り扱いについて	4
2. 前回調査結果（参考）について（平成30年10月～平成30年11月に実施）	4
第2部 未就学児の保護者対象調査	5
子ども・子育て支援に関するニーズ調査【未就学児の保護者】	7
1. 居住地区について	7
(1) 居住地区	7
2. 本人と家庭の状況について	8
(1) 年齢	8
(2) 兄・姉の人数	9
(3) 弟・妹の人数	9
(4) きょうだいの人数	10
(5) 生計を一にする家族	11
(6) 生計を一にするが同居していない家族	12
(7) 回答者の配偶関係等	12
(8) 住まいの形態	13
3. 子育て環境について	14
(1) 日頃子どもをみてもらえる人の有無	14
4. 保護者の就労状況等について	16
(1) 世帯年収	16
(2) 経済的理由のために世帯で持っていないもの	17
(3) この1年で経済的理由のために見送ったもの	19
(4) 母親の就労状況	22
(5) 母親の就労希望について	24
(6) 希望の就労形態	25
(7) 母親：パートタイム・アルバイト等就労の希望	26
(8) 母親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間	27
(9) 母親のフルタイムへの転換希望	29
(10) 父親の就労状況	30
(11) 父親の就労希望について	31
(12) 希望の就労形態	32

(13) 父親：パートタイム・アルバイト等就労の希望	32
(14) 父親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間	33
(15) 父親のフルタイムへの転換希望	35
5. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	36
(1) 母親：育児休業取得後の職場復帰状況	36
(2) 母親：実際の育児休業取得期間	37
(3) 母親：理想とする育児休業取得期間	38
(4) 父親：育児休業取得後の職場復帰状況	39
(5) 父親：実際の育児休業取得期間	40
(6) 父親：理想とする育児休業取得期間	41
6. 子育ての不安・悩み等について	42
(1) 子育てでの不安や悩み	42
(2) 気軽に相談できる相談先	44
(3) 地域交流の場の利用の有無	46
(4) あるとよいと思う地域の活動	47
(5) 理想とする子どもの人数	48
(6) 理想とする人数の子どもを育てやすくなるための課題	50
7. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	51
(1) 定期的な教育・保育の事業の利用状況	51
(2) 平日定期的に利用している教育・保育の事業	52
(3) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況	54
(4) 希望の利用日数/週	56
(5) 利用していない理由	58
(6) 平日定期的に利用したい教育・保育の事業	59
(7) 教育・保育の事業を希望する上で重視する条件	61
(8) 幼稚園の利用を開始したい子どもの年齢	63
(9) 幼稚園を利用していない理由	64
8. 土曜日・休日等の定期的な教育・保育事業の利用について	65
(1) 土曜日：利用希望	65
(2) 日曜日・祝日：利用希望	66
(3) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望	67
9. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について	68
(1) 地域子育て支援事業の利用状況	68
(2) 地域子育て支援事業等の利用回数/月	69
(4) 地域子育て支援事業の利用意向	70
(5) 地域子育て支援事業の希望利用回数/月	71
10. 市の子育て支援サービス等について	72
(1) 子育てに関する情報の入手先	72
(2) 子育てに関して欲しい情報	74
(3) 事業・サービス等の認知状況	76
(4) 事業・サービス等の利用状況	78
(5) 事業・サービス等の利用意向	80

11. 子どもの病気の際の対応について	82
(1) 病気やケガで利用できなかったこと	82
(2) この1年間の対処方法	83
(3) この1年間の対処方法ごとの日数	84
(4) 病児・病後児保育の利用意向	88
(5) 利用希望日数/年	89
(6) 利用したいと思わない理由	90
12. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	91
(1) 不定期に利用している事業	91
(2) 不定期に利用している事業の利用日数	92
(3) 利用していない理由	96
(4) 今後利用したい事業	97
(5) 今後利用したい事業の利用希望日数	98
(6) 定期預かり事業の利用意向	102
(7) 定期預かり事業の利用希望	103
(8) 定期預かり事業を利用したい場所	105
(9) 定期預かり事業を利用したい理由	106
13. 体験の状況について	107
(1) 過去1年間の体験	107
(2) ない理由 ① アウトドアに行く	108
(3) ない理由 ② 動物園・水族館・美術館・映画館等に行く	108
(4) ない理由 ③ 遊園地やテーマパークに行く	109
(5) ない理由 ④ 幼児塾・幼児教室・通信教育等の教育	109
14. 児童虐待について	110
(1) 児童虐待の認知状況	110
(2) 児童虐待を発見した際の通告・通報先	111
(3) 児童虐待について知っていること	112
15. ヤングケアラーについて	113
(1) ヤングケアラーという言葉を知っているか	113
16. 調布市子ども条例及び子どもの権利について	115
(1) 調布市子ども条例を知っているか	115
(2) 子どもの権利を知っているか	116
(3) 大切だと思う子どもの権利	117
(4) 行政や関係機関の取組として必要なこと	118
(5) 市の子育て環境や支援への満足度	120
(6) 魅力的だと思う、他自治体の子育て支援環境	121
(7) 市の子育て支援や子育て環境における課題と改善策	121

第3部 小学生の保護者対象調査 123

子ども・子育て支援に関するニーズ調査【小学生の保護者】 125

- 1. 居住地区について 125
 - (1) 居住地区 125
- 2. 本人と家庭の状況について 126
 - (1) 学年 126
 - (2) 兄・姉の人数 127
 - (3) 弟・妹の人数 127
 - (4) きょうだいの人数 128
 - (5) 生計を一にする家族 129
 - (6) 生計を一にするが同居していない家族 130
 - (7) 回答者の配偶関係等 130
 - (8) 住まいの形態 131
- 3. 子育て環境について 132
 - (1) 日頃子どもをみてもらえる人の有無 132
- 4. 保護者の就労状況等について 133
 - (1) 世帯年収 133
 - (2) 経済的理由のために世帯で持っていないもの 134
 - (3) 経済的理由のために購入・契約・支払いを見送ったもの 136
 - (4) 母親の就労状況 139
 - (5) 母親の就労希望について 141
 - (6) 母親：希望の就労形態 142
 - (7) 母親：パートタイム・アルバイト等就労の希望 143
 - (8) 母親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間 144
 - (9) 母親のフルタイムへの転換希望 146
 - (10) 父親の就労状況 147
 - (11) 父親の就労希望について 148
 - (12) 父親：希望の就労形態 149
 - (13) 父親：パートタイム・アルバイト等就労の希望 149
 - (14) 父親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間 150
 - (15) 父親のフルタイムへの転換希望 152
- 5. 子育ての不安・悩み等について 153
 - (1) 子育てでの不安や悩み 153
 - (2) 気軽に相談できる相談先 155
 - (3) 地域交流の場の利用の有無 156
 - (4) あるとよいと思う地域の活動 157
 - (5) 理想とする子どもの人数 158
 - (6) 理想とする人数の子どもを育てやすくなるための課題 160
- 6. 市の子育て支援サービス等について 161
 - (1) 子育てに関する情報の入手先 161
 - (2) 子育てに関して欲しい情報 162

(3) 事業・サービス等の認知状況	163
(4) 事業・サービス等の利用状況	165
(5) 事業・サービス等の利用意向	167
7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	169
(1) 現状 ① 学校終了後～17:00	169
(2) 現状 ② 17:00～19:00.....	171
(3) 現状 ③ 19:00～	173
(4) ① 現在低学年：希望－低学年 (1) 学校終了後～17:00	175
(5) ① 現在低学年：希望－低学年 (2) 17:00～19:00	177
(6) ① 現在低学年：希望－低学年 (3) 19:00～	179
(7) ② 現在低学年：希望－高学年 (1) 学校終了後～17:00	181
(8) ② 現在低学年：希望－高学年 (2) 17:00～19:00	183
(9) ② 現在低学年：希望－高学年 (3) 19:00～	185
(10) 現在高学年：希望－高学年 (1) 学校終了後～17:00.....	187
(11) 現在高学年：希望－高学年 (2) 17:00～19:00.....	189
(12) 現在高学年：希望－高学年 (3) 19:00～	191
(13) 学童クラブ：利用希望学年	193
(14) 学童クラブ：利用希望時期 4年生	194
(15) 学童クラブ：利用希望時期 5年生	195
(16) 学童クラブ：利用希望時期 6年生	196
(17) 学童クラブ：利用していない理由	197
(18) 学童クラブ：利用したい理由	198
(19) あそびバへの登録，利用の有無	199
(20) 利用回数/週.....	200
(21) あそびバ：利用している理由	201
(22) 現状のあそびバの開設時間帯をどう感じているか	202
(23) あそびバ：利用希望時間 (1) 学校がある日	203
(24) あそびバ:利用希望時間 (2) 学校が休みの日	203
(25) あそびバ：利用・登録していない理由	204
(26) 児童館：利用していない理由	205
(27) 現状の児童館の開設時間帯をどう感じているか	206
(28) 放課後の過ごし方について心配なこと	206
(29) 「調布市青少年ステーション CAPS」を知っているか	207
8. 体験の状況について	208
(1) 過去1年間の体験	208
(2) ない理由 ① アウトドアに行く【複数回答】	209
(3) ない理由 ② 動物園・水族館・美術館・映画館等に行く【複数回答】	209
(4) ない理由 ③ 遊園地やテーマパークに行く【複数回答】	210
(5) ない理由 ④ 塾に行く【複数回答】	210
(6) ない理由 ⑤ 習い事に行く【複数回答】	211
9. 児童虐待について	211
(1) 児童虐待の認知状況	211
(2) 児童虐待を発見した際の通告・通報先.....	212

(3) 児童虐待について知っていること.....	213
10. ヤングケアラーについて	214
(1) ヤングケアラーという言葉を知っているか.....	214
11. 調布市子ども条例及び子どもの権利について	216
(1) 調布市子ども条例を知っているか.....	216
(2) 子どもの権利を知っているか	217
(3) 大切だと思う子どもの権利	218
(4) 行政や関係機関の取組として必要なこと.....	219
(5) 市の子育て環境や支援への満足度.....	220
(6) 魅力的だと思う，他自治体の子育て支援環境.....	221
(7) 市の子育て支援や子育て環境における課題と改善策.....	221

第 1 部 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「第三期調布っ子すこやかプラン」（計画期間：令和7年度から令和11年度まで）を策定するにあたり、より多くの子ども・子育て家庭の現状やニーズを把握した上で、子ども・子育て支援施策を推進するために実施した。

2. 調査対象及び調査方法

(1) 未就学児の保護者

項目	今回調査	前回調査
調査対象	市内の未就学児の保護者	市内の未就学児の保護者
配布数	2,000	2,000
抽出方法	無作為抽出	無作為抽出
調査方法	郵送法・Web	郵送法
調査時期	令和5年12月～令和6年1月	平成30年10月～平成30年11月
調査地域	調布市全域	調布市全域

(2) 小学生の保護者

項目	今回調査	前回調査
調査対象	市内小学生の保護者	市内小学生の保護者
配布数	2,000	2,000
抽出方法	無作為抽出	無作為抽出
調査方法	郵送法・Web	郵送法
調査時期	令和5年12月～令和6年1月	平成30年10月～平成30年11月
調査地域	調布市全域	調布市全域

3. 配布数及び回収結果

(1) 未就学児の保護者

項目	今回調査	前回調査
配布数	2,000	1,995
有効回収数	1,162	1,187
有効回収率	58.1%	59.5%

(2) 小学生の保護者

項目	今回調査	前回調査
配布数	2,000	1,998
有効回収数	1,072	1,206
有効回収率	53.6%	60.4%

本調査の基本的な事項

1. 数値の基本的な取り扱いについて

- 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- 基数となるべき実数は“n = ○○○”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問である。従って、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

2. 前回調査結果（参考）について（平成30年10月～平成30年11月に実施）

- 前回調査と同じ又は類似の設問については、前回調査結果を参考として掲載している。
- 前回調査結果と比較可能な設問については、前回調査結果との比較を行っている。

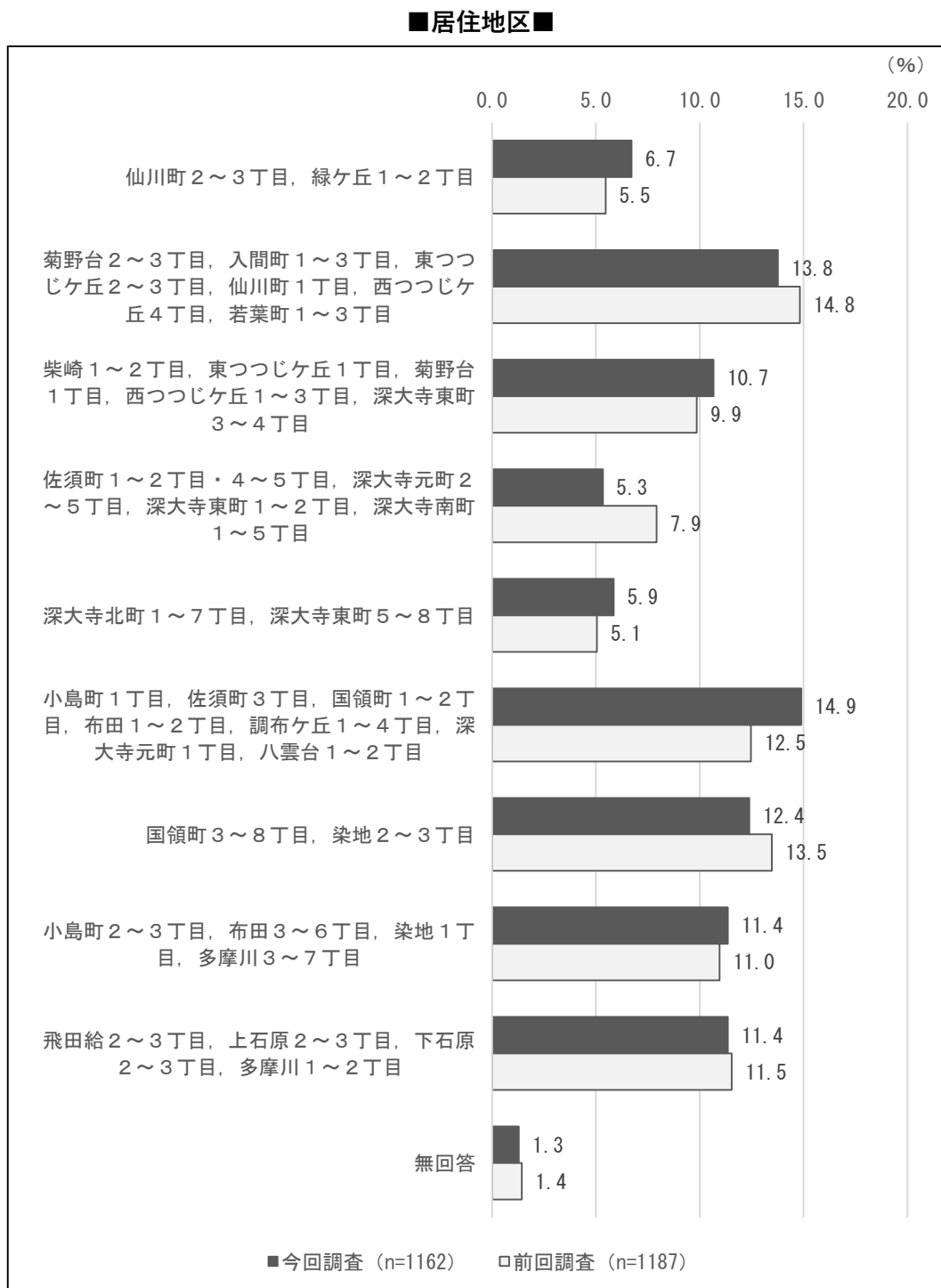
第2部 未就学児の保護者対象調査

子ども・子育て支援に関するニーズ調査【未就学児の保護者】

1. 居住地区について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区としてあてはまるのは次のうちどれですか。



2. 本人と家庭の状況について

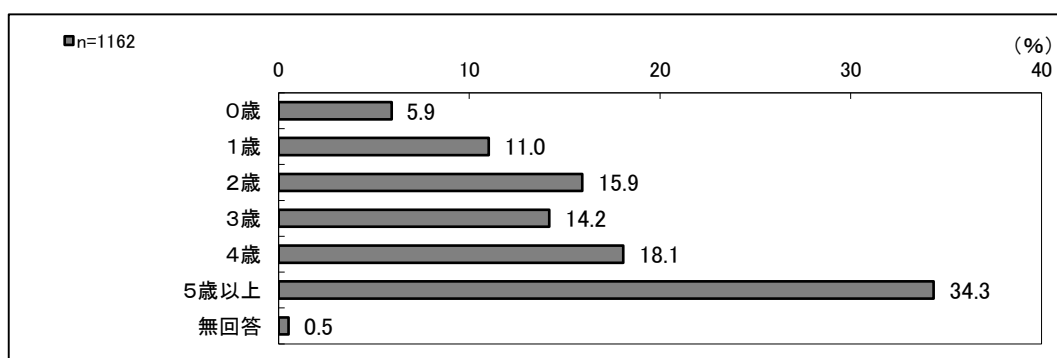
(1) 年齢

問2 宛名のお子さんの年齢はおいくつですか（令和5年4月1日時点）

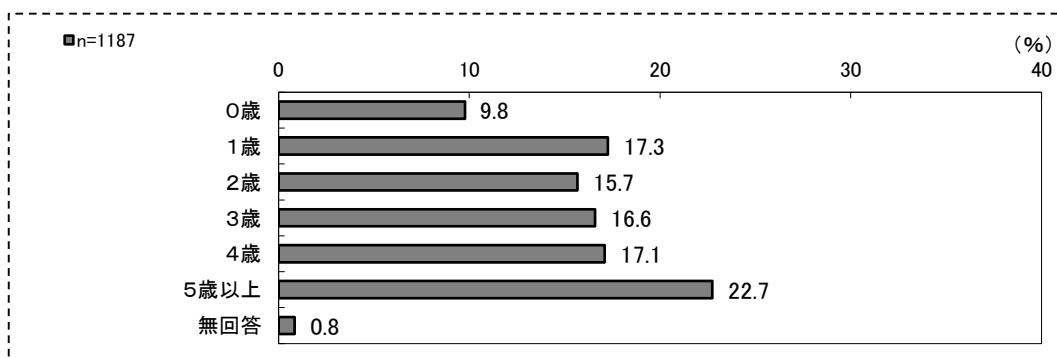
「5歳」（34.3%）, 「4歳」（18.1%）, 「2歳」（15.9%）, 「3歳」（14.2%）, 「1歳」（11.0%）, 「0歳」（5.9%）。

■ 年齢 ■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



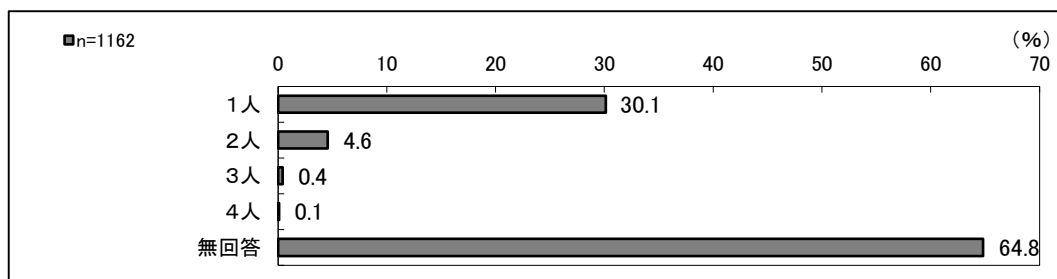
(2) 兄・姉の人数

問3 宛名のお子さんのきょうだいについて人数でお答えください。

(1)宛名のお子さんの兄・姉

「1人」(30.1%), 「2人」(4.6%), 「3人」(0.4%), 「4人」(0.1%)。

■兄・姉の人数■

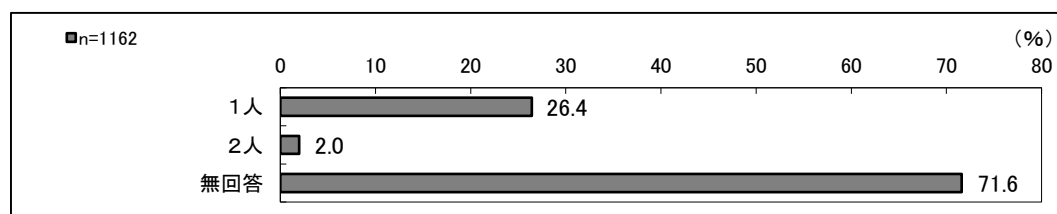


(3) 弟・妹の人数

(2)宛名のお子さんの弟・妹

「1人」(26.4%), 「2人」(2.0%)。

■弟・妹の人数■



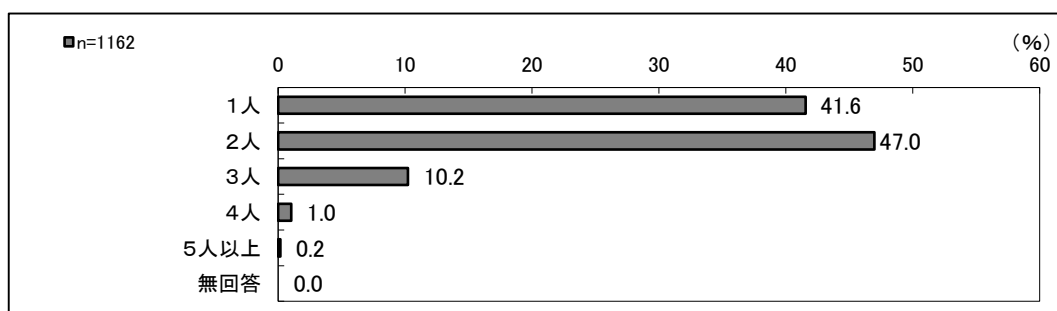
(4) きょうだいの人数

問3(1), (2)の回答から宛名のお子さんを含むきょうだいの人数を算出したところ、「1人」(41.6%), 「2人」47.0%, 「3人」(10.2%), 「4人」(1.0%), 「5人」(0.2%)となった。

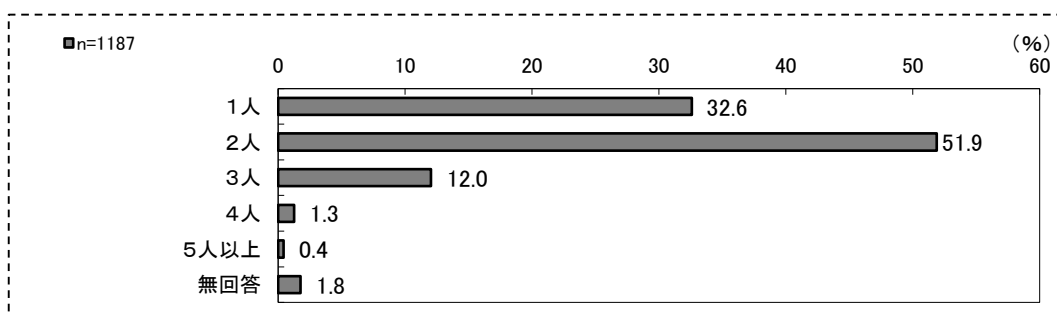
前回調査結果と比べると、「1人」の割合が9.0ポイント増加しており, “2人以上”(58.4%)の割合は7.2ポイント減少している。

■きょうだいの人数■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】

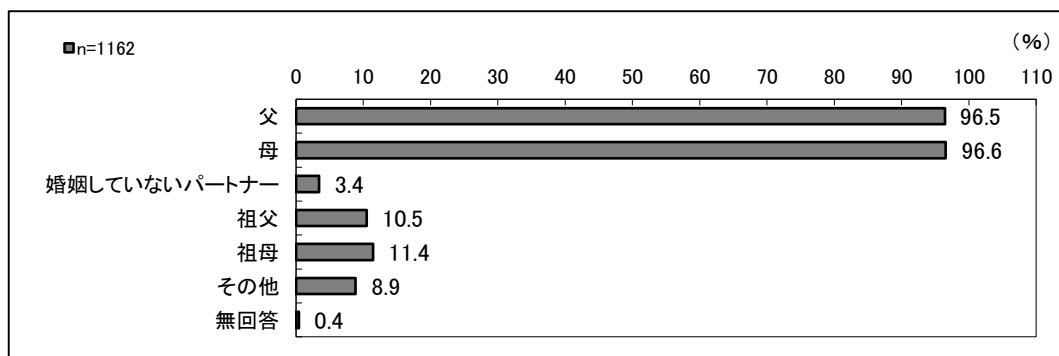


(5) 生計を一にする家族

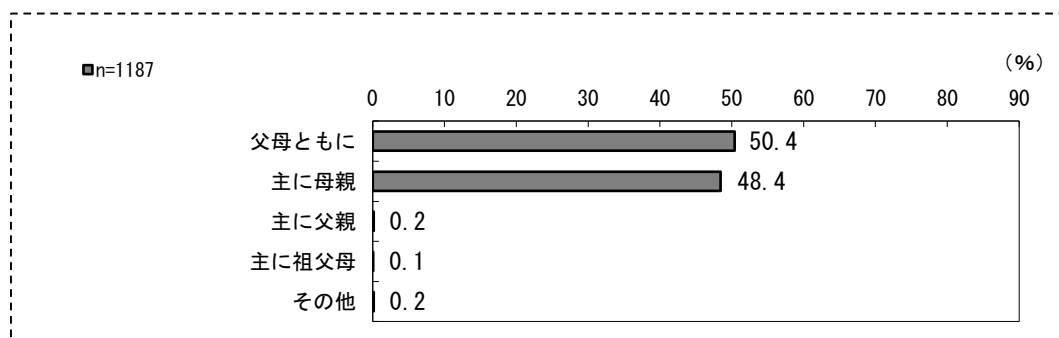
問4 宛名のお子さんと生計を一にするご家族はどなたですか。【複数回答】

「母」(96.6%), 「父」(96.5%), 「祖母」(11.4%), 「祖父」(10.5%), 「婚姻していないパートナー」(3.4%), 「その他」(8.9%)。

■生計を一にする家族■



【前回調査(参考)】主に子育てをしている人



(6) 生計を一にするが同居していない家族

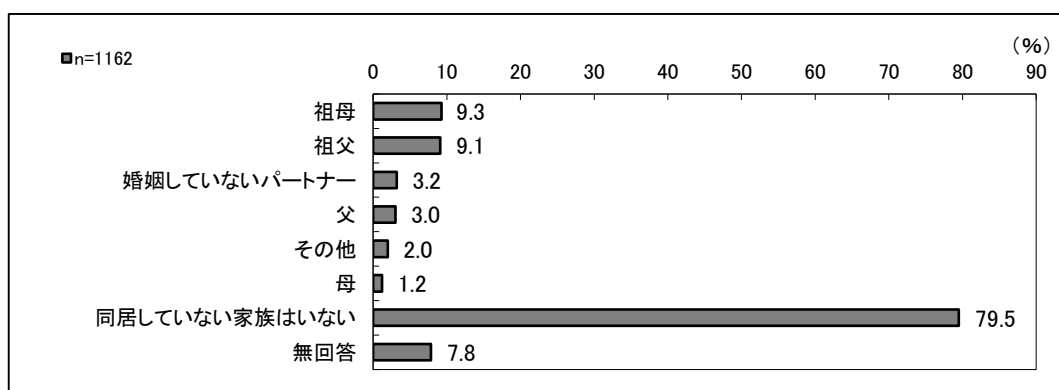
問5 宛名のお子さんと生計を一にするご家族のうち同居していない方はいますか。

【複数回答】



「祖母」(9.3%)、「祖父」(9.1%)、「婚姻していないパートナー」(3.2%)、「父」(3.0%)、「母」(1.2%)、「その他」(2.0%)、「同居していない家族はいない」(79.5%)。

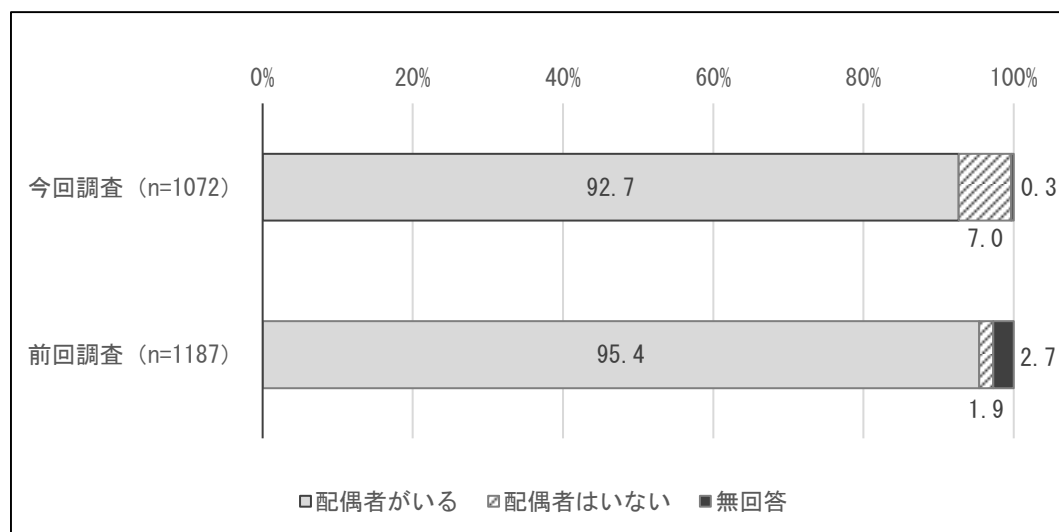
■生計を一にするが同居していない家族■



(7) 回答者の配偶関係等

問4, 問5の回答結果等から, 回答者の配偶関係を整理した結果は次のとおりとなっている。「配偶者がいない」とする回答者の割合が, 前回調査結果から 5.1 ポイント増加している。

■回答者の配偶関係等■



(8) 住まいの形態

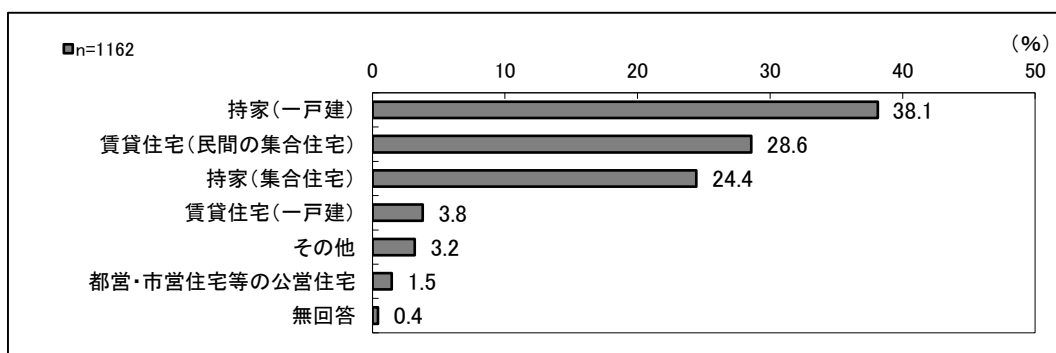
問6 宛名のお子さんの現在のお住まいについて、あてはまるものは次のうちどれですか。



「持家（一戸建）」（38.1%）, 「賃貸住宅（民間の集合住宅）」（28.6%）, 「持家（集合住宅）」（24.4%）, 「賃貸住宅（一戸建）」（3.8%）, 「都営・市営住宅等の公営住宅」（1.5%）, 「その他」（3.2%）。「持家（一戸建）」, 「持家（集合住宅）」の割合が62.5%で6割以上を占めている。

問8の世帯年収とのクロス集計結果をみると、世帯年収（税込）“600万円以上”では「持家（一戸建）」の割合が高まることがわかる。

■住まいの形態■



■世帯年収と住まいの形態とのクロス集計表■

	合計	問6 住まいの形態						無回答	
		賃貸住宅 (一戸 建)	賃貸住宅 (民間の 集合住 宅)	持家(一 戸建)	持家(集 合住宅)	都営・市 営住宅等 の公営住 宅	その他		
全体	1162	44	332	443	284	17	37	5	
	100.0%	3.8%	28.6%	38.1%	24.4%	1.5%	3.2%	0.4%	
問8 世帯年収	収入なし	5	0	1	3	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	100万円未満	6	0	4	0	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	100万円～200万円未満	9	1	4	1	1	1	1	0
		100.0%	11.1%	44.4%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%
	200万円～300万円未満	27	0	15	5	2	5	0	0
		100.0%	0.0%	55.6%	18.5%	7.4%	18.5%	0.0%	0.0%
	300万円～400万円未満	41	1	18	18	2	1	1	0
		100.0%	2.4%	43.9%	43.9%	4.9%	2.4%	2.4%	0.0%
	400万円～500万円未満	62	5	21	23	9	2	2	0
		100.0%	8.1%	33.9%	37.1%	14.5%	3.2%	3.2%	0.0%
500万円～600万円未満	102	2	43	38	15	3	1	0	
	100.0%	2.0%	42.2%	37.3%	14.7%	2.9%	1.0%	0.0%	
600万円～700万円未満	112	3	35	42	27	0	5	0	
	100.0%	2.7%	31.3%	37.5%	24.1%	0.0%	4.5%	0.0%	
700万円～800万円未満	150	6	41	58	38	1	6	0	
	100.0%	4.0%	27.3%	38.7%	25.3%	0.7%	4.0%	0.0%	
800万円～1,000万円未満	249	6	68	102	63	2	8	0	
	100.0%	2.4%	27.3%	41.0%	25.3%	0.8%	3.2%	0.0%	
1,000万円以上	377	19	75	149	121	1	11	1	
	100.0%	5.0%	19.9%	39.5%	32.1%	0.3%	2.9%	0.3%	

3. 子育て環境について

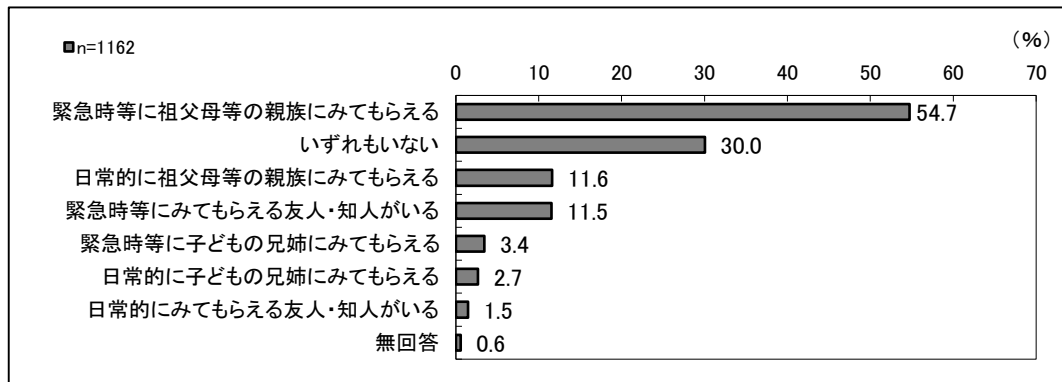
(1) 日頃子どもをみてもらえる人の有無

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる（保育園のお迎え、食事や入浴の世話、家事のお手伝いなど）親族・知人はいますか。【複数回答】

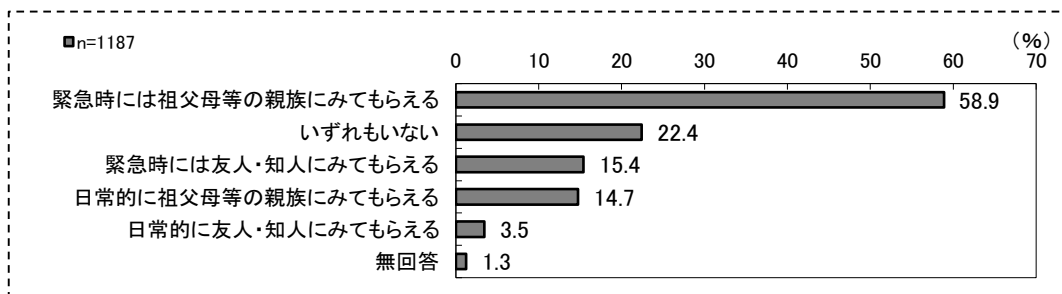
「緊急時等に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が54.7%で約半数を占めている。
「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(11.6%)、「緊急時等にみてもらえる友人・知人がいる」(11.5%)、「緊急時等に子どもの兄姉にみてもらえる」(3.4%)、「日常的に子どもの兄姉にみてもらえる」(2.7%)、「日常的にみてもらえる友人・知人がいる」(1.5%)等がこれに続く。
前回調査結果と比べると「いずれもない」の割合は30.0%と7.6ポイント増加しており、全体の3割となっている。

■日頃子どもをみてもらえる人の有無■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



■生計を一にする家族とのクロス集計表■

	合計	問4 生計を一にする家族							
		父	母	婚姻して いない パート ナー	祖父	祖母	その他	無回答	
全体	1162 100.0	1121 96.5	1122 96.6	40 3.4	122 10.5	133 11.4	103 8.9	5 0.4	
問7 日頃子どもをみてもらえる人の有無	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	135 100.0	125 92.6	130 96.3	6 4.4	21 15.6	28 20.7	16 11.9	0 0.0
	緊急時等に祖父母等の親族にみてもらえる	636 100.0	621 97.6	619 97.3	22 3.5	62 9.7	68 10.7	59 9.3	2 0.3
	日常的に子どもの兄姉にみてもらえる	31 100.0	28 90.3	30 96.8	2 6.5	5 16.1	5 16.1	4 12.9	0 0.0
	緊急時等に子どもの兄姉にみてもらえる	40 100.0	39 97.5	40 100.0	0 0.0	4 10.0	4 10.0	4 10.0	0 0.0
	日常的にみてもらえる友人・知人がいる	17 100.0	12 70.6	17 100.0	1 5.9	3 17.6	5 29.4	2 11.8	0 0.0
	緊急時等にみてもらえる友人・知人がいる	134 100.0	121 90.3	132 98.5	4 3.0	17 12.7	19 14.2	14 10.4	0 0.0
	いずれもない	349 100.0	342 98.0	334 95.7	11 3.2	38 10.9	38 10.9	28 8.0	2 0.6

4. 保護者の就労状況等について

(1) 世帯年収

問8 世帯の年収（税込）は次のうちどれにあたりますか。

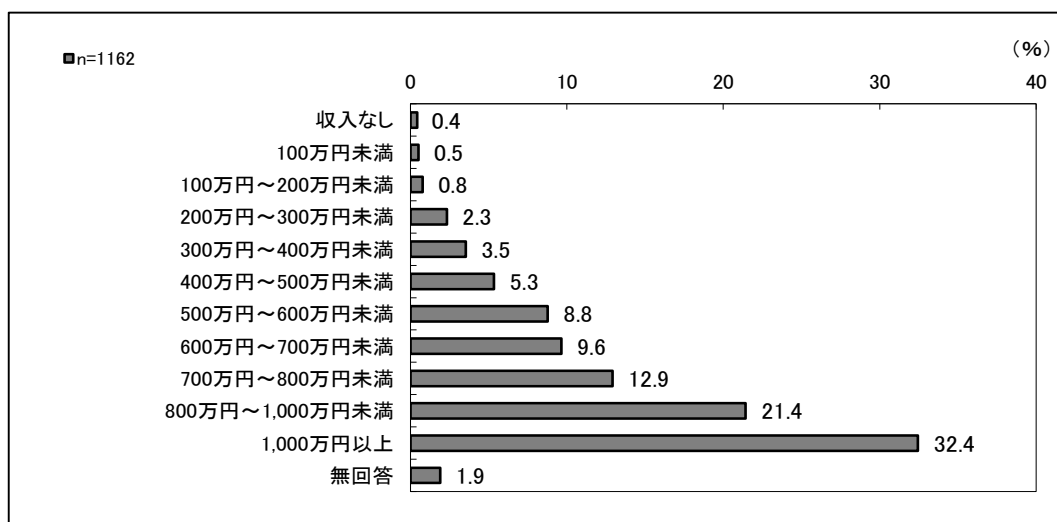
「1,000万円以上」が32.4%と前回調査結果から13.6ポイント増加し、最も高い割合となった。

「800万円～1,000万円未満」（21.4%）、「700万円～800万円未満」（12.9%）、「600万円～700万円未満」（9.6%）、「500万円～600万円未満」（8.8%）等がこれに続く。

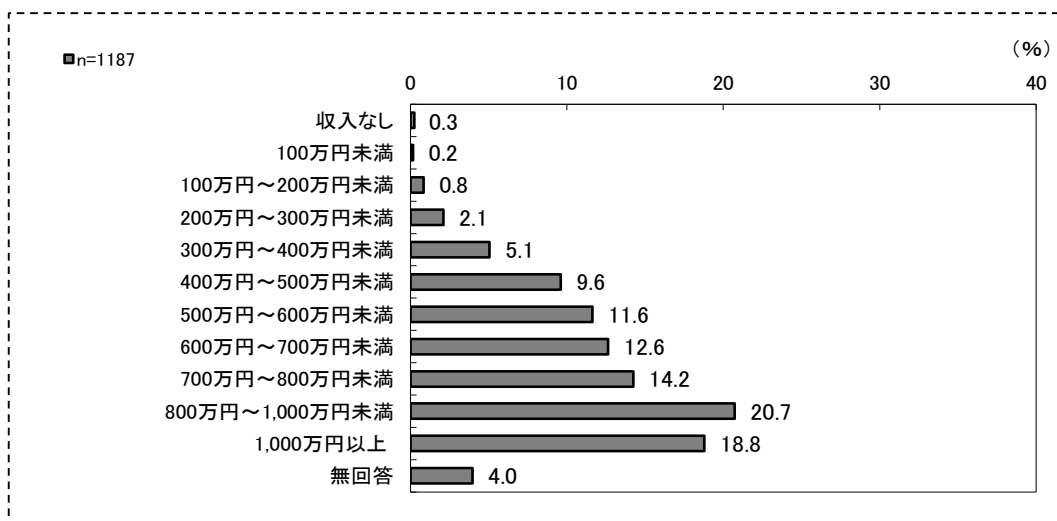
前回調査結果（39.5%）と比較して世帯年収（税込）“800万円以上”が14.3ポイント増加しており、過半数（53.8%）を占めている。

■世帯年収■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(2) 経済的理由のために世帯で持っていないもの

問9 次のうち、経済的理由のためにあなたの世帯で持っていないものはありますか。

【複数回答】



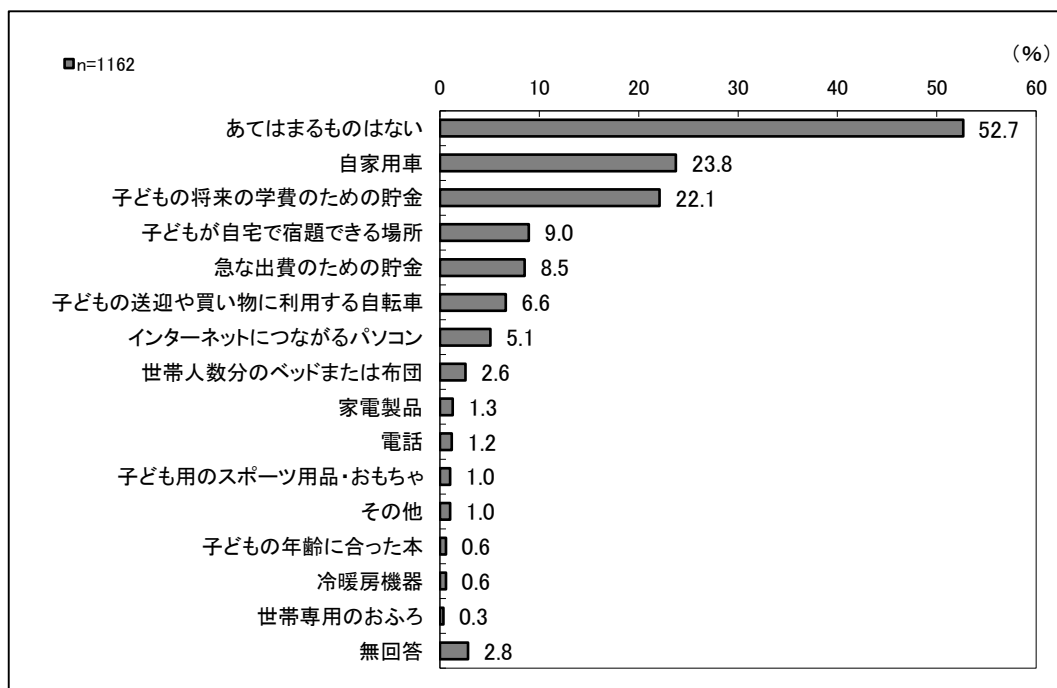
「あてはまるものはない」(52.7%)が最も高い割合を占めている。

あてはまるものとしては、「自家用車」(23.8%),「子どもの将来の学費のための貯金」(22.1%)への回答が多くなった。

問8の世帯年収とのクロス集計結果をみると、世帯年収(税込)“600万円未満”で「子どもの将来の学費のための貯金」が最も高い割合を占める。

一方、世帯年収(税込)“600万円以上”では「あてはまるものはない」が最も高い割合を占める。

■ 経済的理由のために世帯で持っていないもの ■



【今回調査（参考）：集計表】

	合計	問9 経済的理由のために世帯で持っていないもの								
		子どもの年齢に合った本	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが自宅で宿題できる場所	子どもの送迎や買い物に利用する自転車	冷暖房機器	家電製品	電話	インターネットにつながるパソコン	
全体	1162 100.0%	7 0.6%	12 1.0%	104 9.0%	77 6.6%	7 0.6%	15 1.3%	14 1.2%	59 5.1%	
問8 世帯年収	収入なし	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%
	100万円未満	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%
	100万円～200万円未満	9 100.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%
	200万円～300万円未満	27 100.0%	1 3.7%	3 11.1%	7 25.9%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	5 18.5%
	300万円～400万円未満	41 100.0%	0 0.0%	1 2.4%	9 22.0%	6 14.6%	1 2.4%	1 2.4%	1 2.4%	7 17.1%
	400万円～500万円未満	62 100.0%	1 1.6%	1 1.6%	10 16.1%	7 11.3%	0 0.0%	3 4.8%	2 3.2%	4 6.5%
	500万円～600万円未満	102 100.0%	0 0.0%	1 1.0%	20 19.6%	15 14.7%	4 3.9%	2 2.0%	2 2.0%	15 14.7%
	600万円～700万円未満	112 100.0%	1 0.9%	1 0.9%	10 8.9%	8 7.1%	0 0.0%	3 2.7%	1 0.9%	9 8.0%
	700万円～800万円未満	150 100.0%	1 0.7%	1 0.7%	13 8.7%	5 3.3%	0 0.0%	2 1.3%	1 0.7%	4 2.7%
	800万円～1,000万円未満	249 100.0%	1 0.4%	1 0.4%	18 7.2%	16 6.4%	1 0.4%	1 0.4%	2 0.8%	4 1.6%
	1,000万円以上	377 100.0%	1 0.3%	0 0.0%	11 2.9%	11 2.9%	1 0.3%	2 0.5%	4 1.1%	6 1.6%

	合計	問9 経済的理由のために世帯で持っていないもの								
		世帯専用のおふろ	世帯人数分のベッドまたは布団	自家用車	子どもの将来の学費のための貯金	急な出費のための貯金	その他	あてはまるものはない	無回答	
全体	1162 100.0%	4 0.3%	30 2.6%	276 23.8%	257 22.1%	99 8.5%	12 1.0%	612 52.7%	33 2.8%	
問8 世帯年収	収入なし	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
	100万円未満	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	5 83.3%	4 66.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
	100万円～200万円未満	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 55.6%	7 77.8%	5 55.6%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
	200万円～300万円未満	27 100.0%	1 3.7%	3 11.1%	13 48.1%	22 81.5%	14 51.9%	1 3.7%	2 7.4%	0 0.0%
	300万円～400万円未満	41 100.0%	0 0.0%	2 4.9%	15 36.6%	17 41.5%	8 19.5%	0 0.0%	10 24.4%	2 4.9%
	400万円～500万円未満	62 100.0%	1 1.6%	2 3.2%	26 41.9%	32 51.6%	13 21.0%	1 1.6%	14 22.6%	0 0.0%
	500万円～600万円未満	102 100.0%	0 0.0%	7 6.9%	30 29.4%	42 41.2%	21 20.6%	2 2.0%	29 28.4%	2 2.0%
	600万円～700万円未満	112 100.0%	1 0.9%	4 3.6%	27 24.1%	26 23.2%	8 7.1%	3 2.7%	54 48.2%	2 1.8%
	700万円～800万円未満	150 100.0%	0 0.0%	3 2.0%	38 25.3%	37 24.7%	9 6.0%	1 0.7%	71 47.3%	6 4.0%
	800万円～1,000万円未満	249 100.0%	1 0.4%	2 0.8%	56 22.5%	30 12.0%	6 2.4%	1 0.4%	155 62.2%	1 0.4%
	1,000万円以上	377 100.0%	0 0.0%	5 1.3%	60 15.9%	60 9.0%	8 2.1%	3 0.8%	268 71.1%	10 2.7%

(3) この1年で経済的理由のために見送ったもの

問10 過去1年間において、経済的理由のためによむを得ず購入や契約、支払いを見送ったものはありますか。【複数回答】

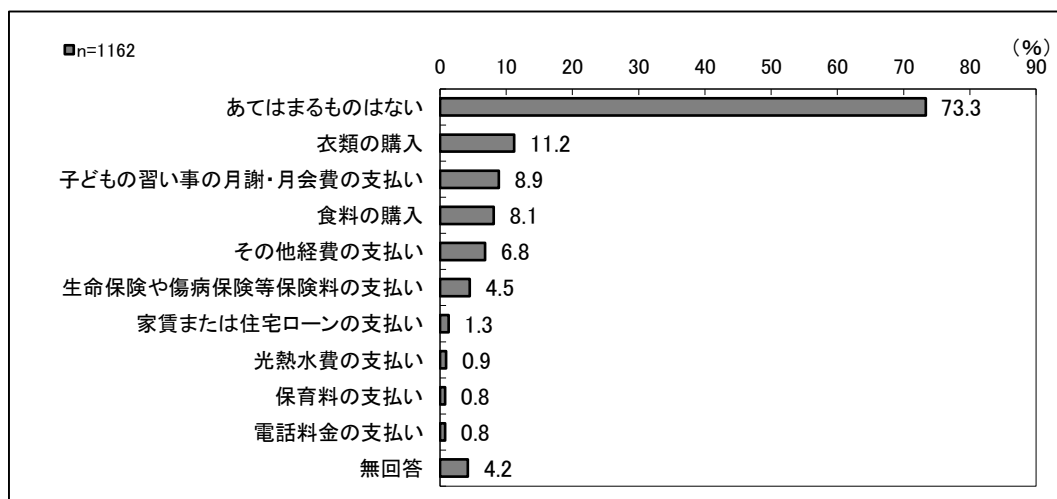


「あてはまるものはない」(73.3%)が最も高い割合を占めている。

あてはまるものとしては、「衣類の購入」(11.2%)、「子どもの習い事の月謝・月会費の支払い」(8.9%)、「食料の購入」(8.1%)上位3位を占める。

問8の世帯年収とのクロス集計結果をみると、世帯年収(税込)“300万円未満”では、約5割が衣類や食料の購入を見送ったことがあると回答している。

■この1年で経済的理由のために見送ったもの■



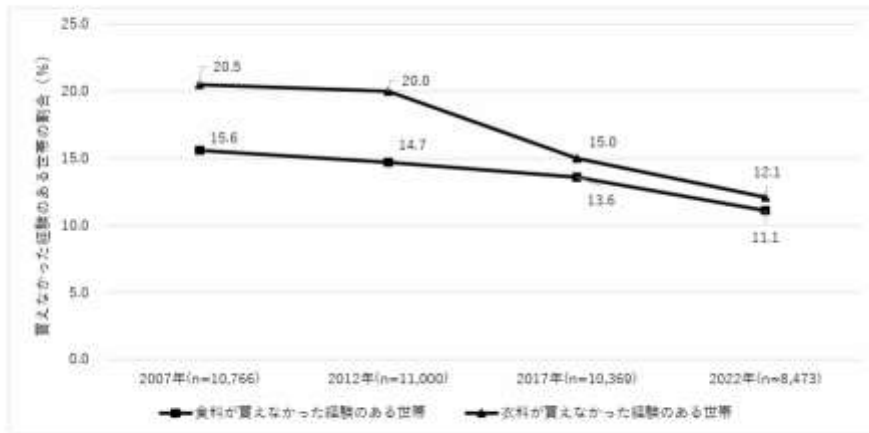
【世帯年収と経済的理由のために購入・契約・支払いを見送ったものとのクロス集計表】

	合計	問10 この1年で経済的理由のために見送ったもの							
		衣類の購入	食料の購入	保育料の支払い	子どもの習い事の月謝・月会費の支払い	家買または住宅ローンの支払い	光熱水費の支払い	電話料金の支払い	生命保険や傷病保険等保険料の支払い
全体	1162 100.0%	130 11.2%	94 8.1%	9 0.8%	103 8.9%	15 1.3%	11 0.9%	9 0.8%	52 4.5%
問8 世帯年収									
収入なし	5 100.0%	3 60.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%
100万円未満	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%
100万円～200万円未満	9 100.0%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%
200万円～300万円未満	27 100.0%	12 44.4%	12 44.4%	1 3.7%	7 25.9%	1 3.7%	3 11.1%	3 11.1%	5 18.5%
300万円～400万円未満	41 100.0%	8 19.5%	6 14.6%	0 0.0%	4 9.8%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.4%	4 9.8%
400万円～500万円未満	62 100.0%	15 24.2%	10 16.1%	0 0.0%	9 14.5%	4 6.5%	2 3.2%	1 1.6%	8 12.9%
500万円～600万円未満	102 100.0%	18 17.6%	17 16.7%	2 2.0%	14 13.7%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	11 10.8%
600万円～700万円未満	112 100.0%	15 13.4%	9 8.0%	3 2.7%	13 11.6%	3 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 5.4%
700万円～800万円未満	150 100.0%	20 13.3%	10 6.7%	0 0.0%	12 8.0%	3 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 4.0%
800万円～1,000万円未満	249 100.0%	17 6.8%	12 4.8%	3 1.2%	22 8.8%	2 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.0%
1,000万円以上	377 100.0%	14 3.7%	12 3.2%	0 0.0%	16 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.1%

	合計	問10 この1年で経済的理由のために見送ったもの		
		その他経費の支払い	あてはまるものはない	無回答
全体	1162 100.0%	79 6.8%	852 73.3%	49 4.2%
問8 世帯年収				
収入なし	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
100万円未満	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%
100万円～200万円未満	9 100.0%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%
200万円～300万円未満	27 100.0%	6 22.2%	6 22.2%	0 0.0%
300万円～400万円未満	41 100.0%	2 4.9%	25 61.0%	3 7.3%
400万円～500万円未満	62 100.0%	11 17.7%	35 56.5%	1 1.6%
500万円～600万円未満	102 100.0%	13 12.7%	57 55.9%	6 5.9%
600万円～700万円未満	112 100.0%	5 4.5%	82 73.2%	4 3.6%
700万円～800万円未満	150 100.0%	16 10.7%	107 71.3%	5 3.3%
800万円～1,000万円未満	249 100.0%	12 4.8%	198 79.5%	7 2.8%
1,000万円以上	377 100.0%	8 2.1%	325 86.2%	14 3.7%

【国立社会保障・人口問題研究所 生活と支え合いに関する調査（参考）】

図表 II-1 食料・衣料の困窮経験のある世帯の割合（2007年～2022年）



注) 世帯票により集計している。合計に無回答を含む。

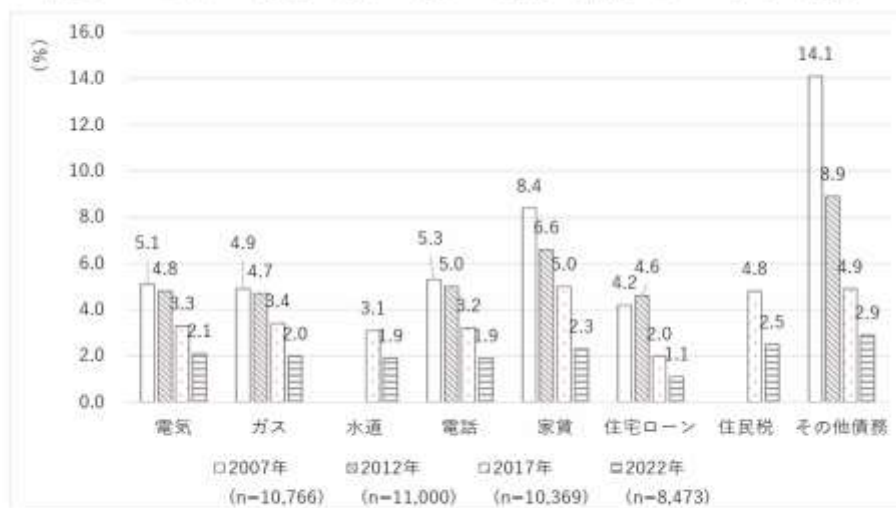
調査対象：令和4年国民生活基礎調査（厚生労働省実施）の調査地区 5,530 地区（令和2年国勢調査区から層化無作為抽出）の中から選ばれた 300 地区内の全ての世帯の世帯主及び 18 歳以上の世帯員（世帯主を含む）

調査時期：2022年7月1日を調査の基準日としたもの

※ 「こども大綱」における“こども・若者、子育て当事者の置かれた状況等を把握するための指標”の1つ

【国立社会保障・人口問題研究所 生活と支え合いに関する調査（参考）】

図表 II-4 過去1年間に料金の未払い・債務の滞納があった世帯の割合



注) 世帯票により集計している。「あった」とした世帯数 / (「該当しない」と無回答を除く世帯数)。サンプルサイズは無回答と「該当しない」を除外する前の数値である。

調査対象：令和4年国民生活基礎調査（厚生労働省実施）の調査地区 5,530 地区（令和2年国勢調査区から層化無作為抽出）の中から選ばれた 300 地区内の全ての世帯の世帯主及び 18 歳以上の世帯員（世帯主を含む）

調査時期：2022年7月1日を調査の基準日としたもの

※ 「こども大綱」における“こども・若者、子育て当事者の置かれた状況等を把握するための指標”の1つ

(4) 母親の就労状況

※ 主に母親の状況について

問 11 宛名のお子さんの「母親」の現在の就労状況（自営業，農業，家族従事者含む）についてお答えください。



「就労中／フルタイム」(42.2%)，「以前就労していたが今はしていない」(21.0%)，「就労中／パート・アルバイト等」(20.0%)，「就労中／フルタイムで産休・育休・介護休業中」(12.2%)，「就労中／パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中」(1.5%)，「これまで就労したことがない」(1.2%)。

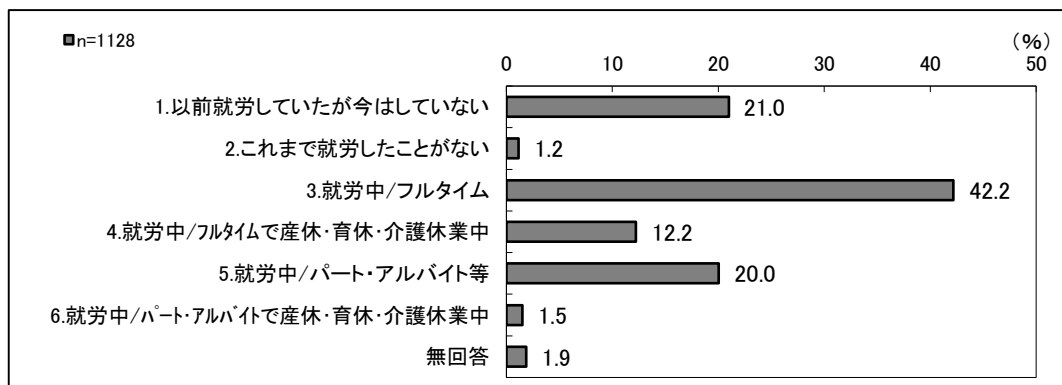
前回調査結果と比較して，「以前就労していたが今はしていない」が 14.7 ポイント減少している。

一方，「就労中／フルタイム」が 8.4 ポイント増加しており，フルタイム就労の割合が高くなっている。

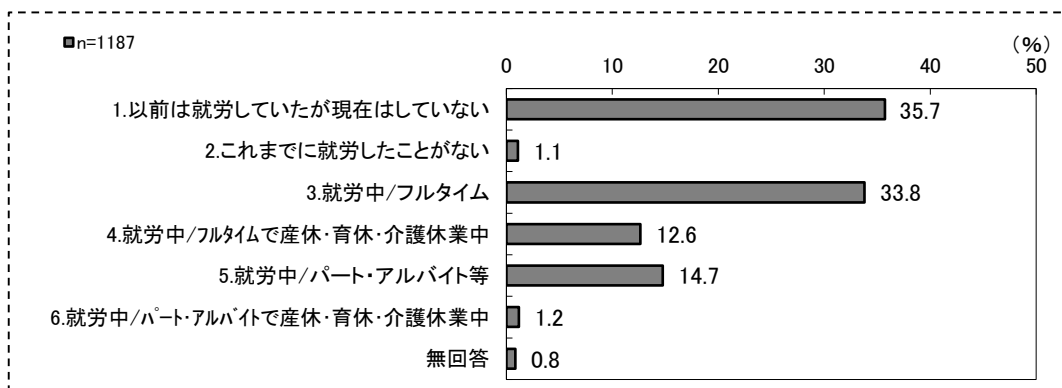
また，「配偶者がいる」回答者では「以前就労していたが今はしていない」の割合が高い。

■母親の就労状況■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



■配偶関係と母親の就労状況とのクロス集計表■

	合計	問11 母親の就労状況						無回答	非該当	
		以前就労していたが今はしていない	これまで就労したことがない	就労中/フルタイム	就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中	就労中/パート・アルバイト等	就労中/パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中			
全体	1128 100.0	237 21.0	13 1.2	476 42.2	138 12.2	226 20.0	17 1.5	21 1.9	34	
配偶関係	配偶者がいる	1089 100.0	236 21.7	12 1.1	455 41.8	138 12.7	216 19.8	16 1.5	16 1.5	0
	配偶者がいない	34 100.0	1 2.9	1 2.9	21 61.8	0 0.0	10 29.4	1 2.9	0 0.0	34

■世帯年収と母親の就労状況とのクロス集計表■

	合計	問11 母親の就労状況						無回答	非該当	
		以前就労していたが今はしていない	これまで就労したことがない	就労中/フルタイム	就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中	就労中/パート・アルバイト等	就労中/パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中			
全体	1128 100.0	237 21.0	13 1.2	476 42.2	138 12.2	226 20.0	17 1.5	21 1.9	34	
問8 世帯年収	収入なし	5 100.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0
	100万円未満	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	0
	100万円～200万円未満	8 100.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	1
	200万円～300万円未満	25 100.0	5 20.0	1 4.0	7 28.0	3 12.0	7 28.0	0 0.0	2 8.0	2
	300万円～400万円未満	38 100.0	12 31.6	0 0.0	4 10.5	3 7.9	18 47.4	1 2.6	0 0.0	3
	400万円～500万円未満	57 100.0	18 31.6	0 0.0	13 22.8	9 15.8	15 26.3	2 3.5	0 0.0	5
	500万円～600万円未満	100 100.0	29 29.0	3 3.0	26 26.0	17 17.0	21 21.0	1 1.0	3 3.0	2
	600万円～700万円未満	111 100.0	30 27.0	1 0.9	36 32.4	9 8.1	32 28.8	2 1.8	1 0.9	1
	700万円～800万円未満	146 100.0	31 21.2	2 1.4	62 42.5	19 13.0	29 19.9	0 0.0	3 2.1	4
	800万円～1,000万円未満	242 100.0	57 23.6	1 0.4	100 41.3	29 12.0	47 19.4	6 2.5	2 0.8	7
	1,000万円以上	369 100.0	44 11.9	4 1.1	221 59.9	47 12.7	48 13.0	3 0.8	2 0.5	8

(5) 母親の就労希望について

※ 問11で「1」または「2」に○をつけた方のみ

問11-1 就労したいという希望はありますか。

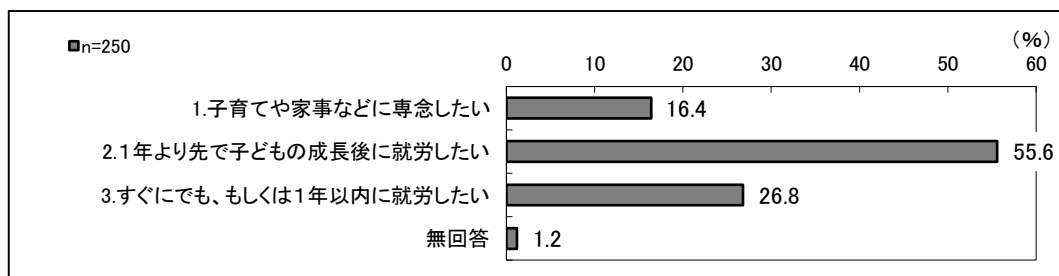


「1年より先で子どもの成長後に就労したい」(55.6%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(26.8%)、「子育てや家事などに専念したい」(16.4%)。

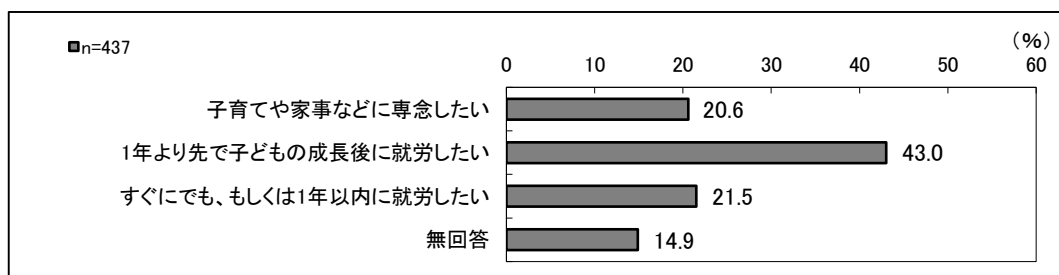
前回調査結果と比較して、「1年より先で子どもの成長後に就労したい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が増加しており、就労意向の割合が高くなっている。

■ 母親の就労希望について ■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(6) 希望の就労形態

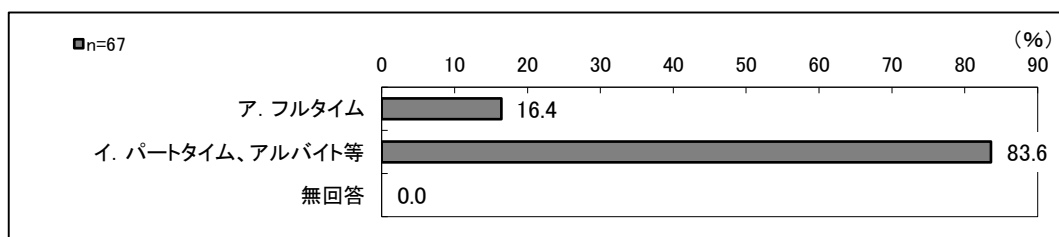
※ 問 11-1 で「3」に○をつけた方のみ

問 11-1-1 希望の就労形態

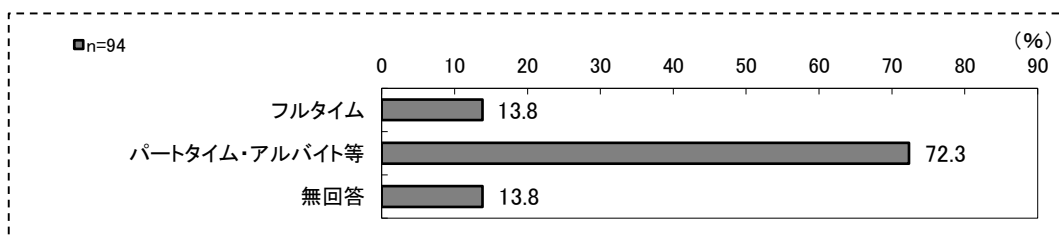
「パートタイム、アルバイト等」(83.6%), 「フルタイム」(16.4%)。

■希望の就労形態■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(7) 母親：パートタイム・アルバイト等就労の希望

※ 問 11-1-1 で「イ」に○をつけた方のみ

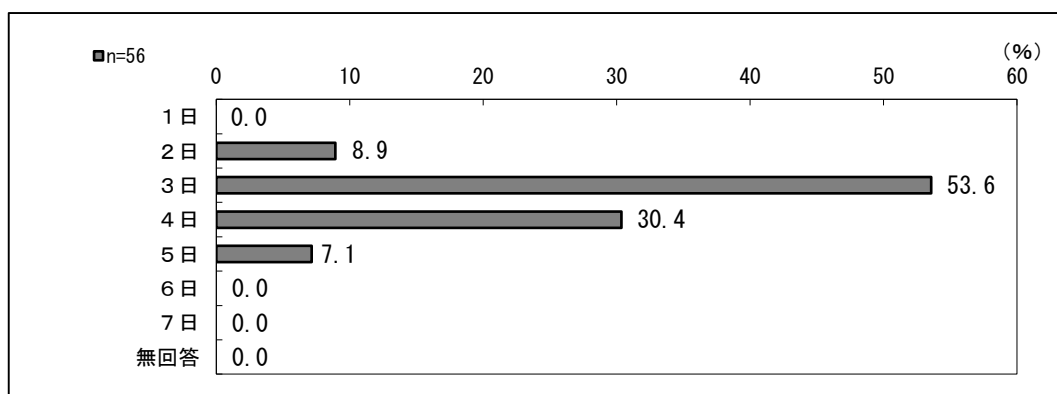
問 11-1-2 母親：希望就労日数／週

問 11-1-3 母親：希望就労時間／日

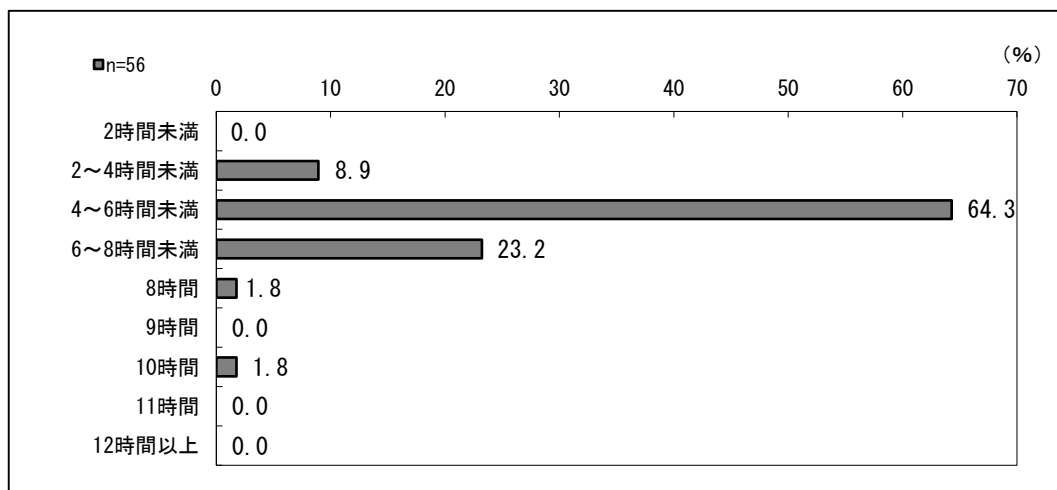


パート・アルバイトとしての母親の1週当たり希望就労日数は「週3日」(53.6%)、1日当たり希望就労時間は「4～6時間」(64.3%)が最も高い割合を占めている。

■ 母親：希望就労日数／週 ■



■ 母親：希望就労時間／日 ■



(8) 母親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間

※ 問11で「3」～「6」に○をつけた方のみ

問11-2 現在の、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

- ① 母親：週当たり就労日数
- ② 母親：1日当たり就労時間



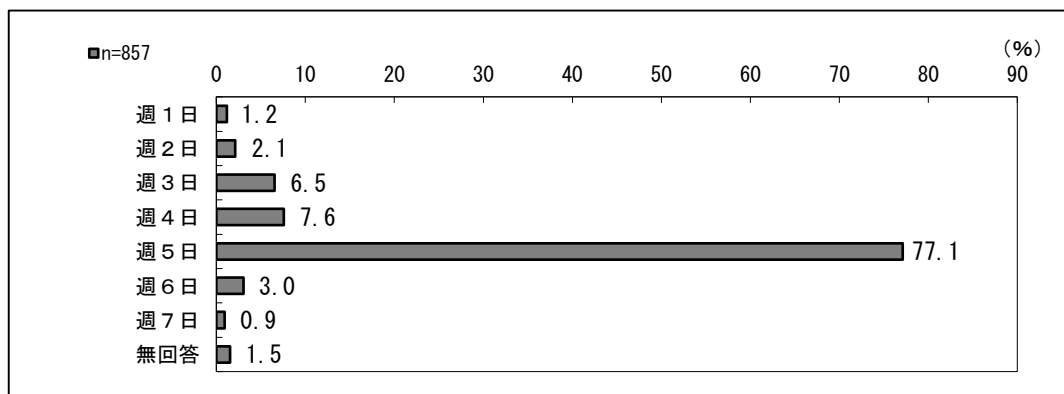
母親の1週当たり労働日数は「週5日」（77.1%）、1日当たり就労時間は「6～8時間未満」（37.3%）が最も高い割合を占めている。

回答者の12.7%は、1日当たり就労時間が“9時間以上”となっている。

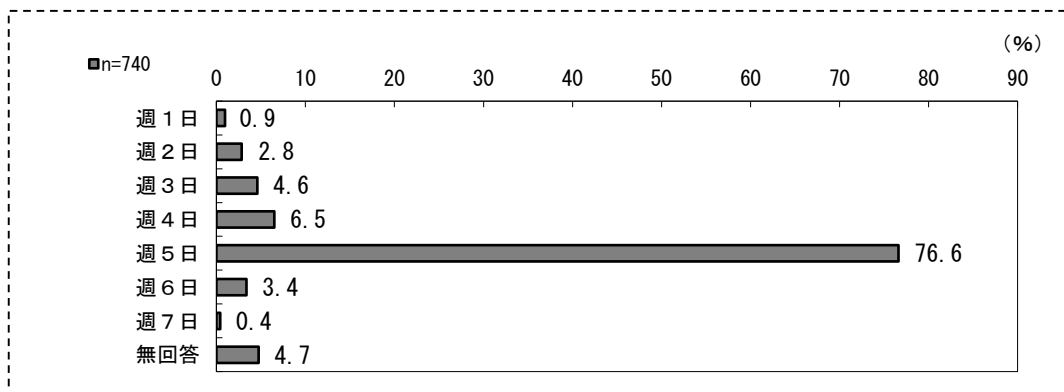
前回調査結果と比較して、就労時間が“9時間以上”の割合は、2.4ポイント増加している。

■母親：現在の就労日数／週■

【今回調査】

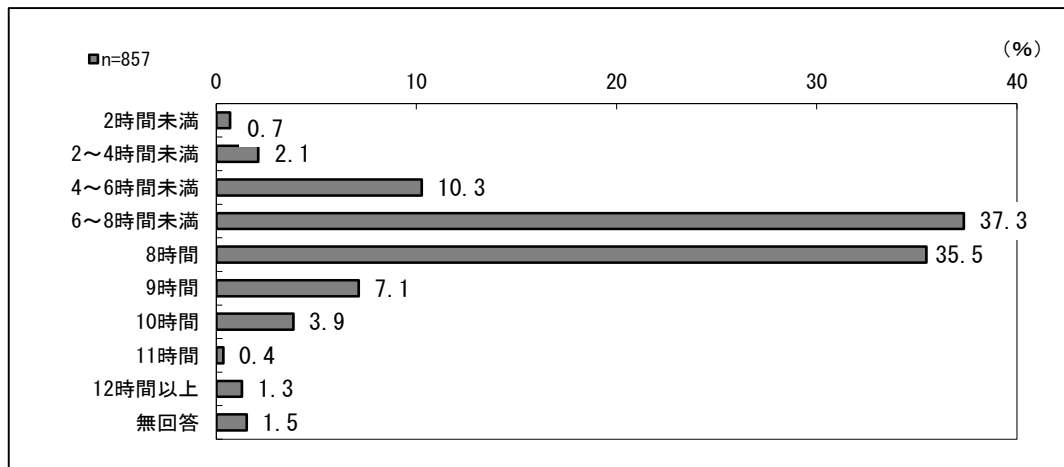


【前回調査（参考）】

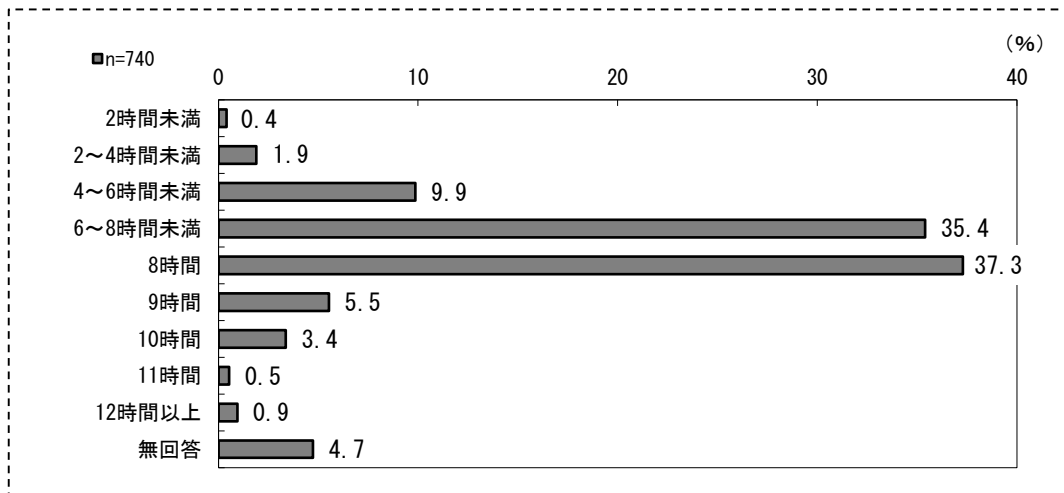


■ 母親：現在の就労時間／日 ■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(9) 母親のフルタイムへの転換希望

※ 問11で「5」「6」に○をつけた方のみ

問11-3 フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。

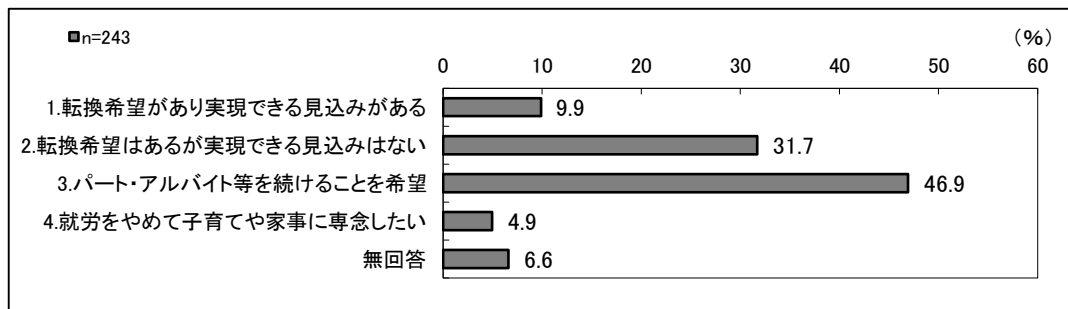


「パート・アルバイト等続けることを希望」（46.9%）、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」（31.7%）、「転換希望があり実現できる見込みがある」（9.9%）、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」（4.9%）。

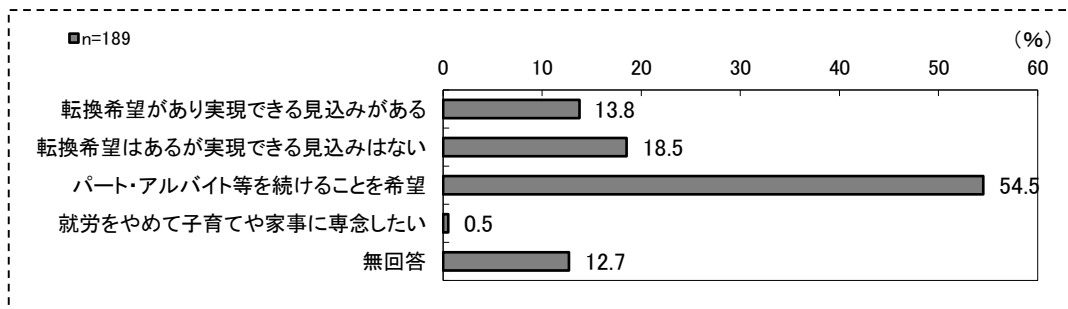
前回調査結果に引き続き、「パート・アルバイト等続けることを希望」が約5割を占めている。

■母親のフルタイムへの転換希望■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(10) 父親の就労状況

※ 主に父親の状況について

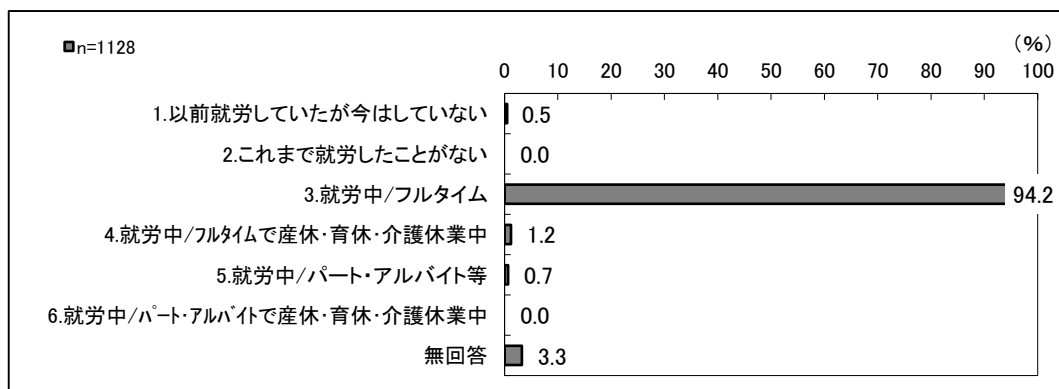
問 12 宛名のお子さんの「父親」の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）についてお答えください。

「就労中／フルタイム」が94.2%で大半を占める。

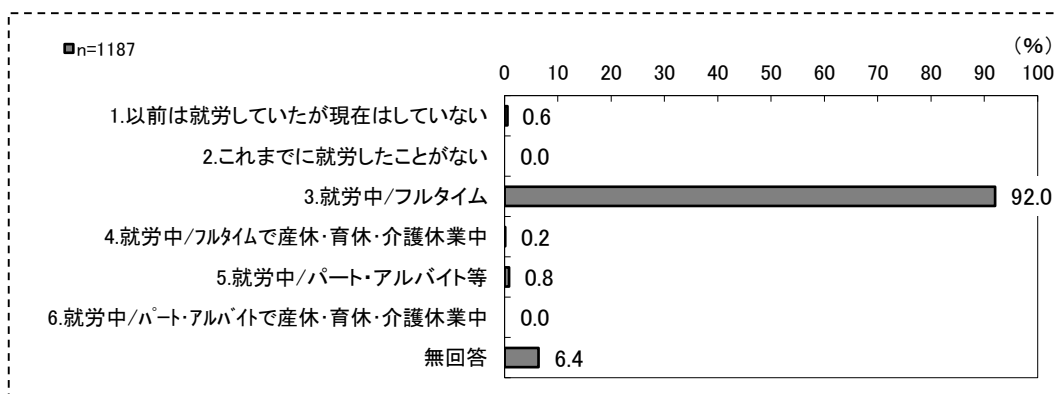
「就労中／フルタイムで産休・育休・介護休業中」(1.2%)、「就労中／パート・アルバイト等」(0.7%)、「以前就労していたが今はしていない」(0.5%)がこれに続く。

■父親の就労状況■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(11) 父親の就労希望について

※ 問12で「1」または「2」に○をつけた方のみ

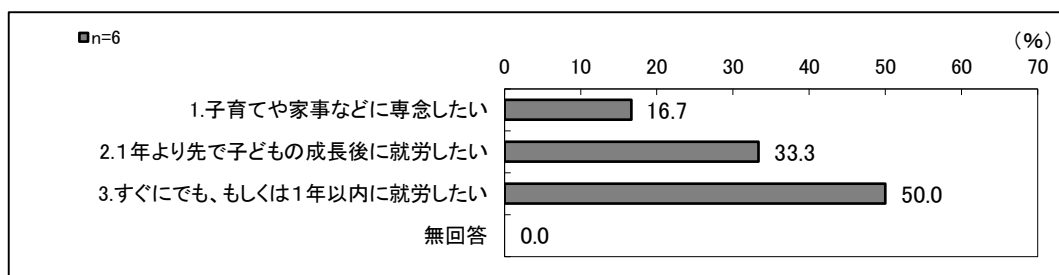
問12-1 就労したいという希望はありますか。



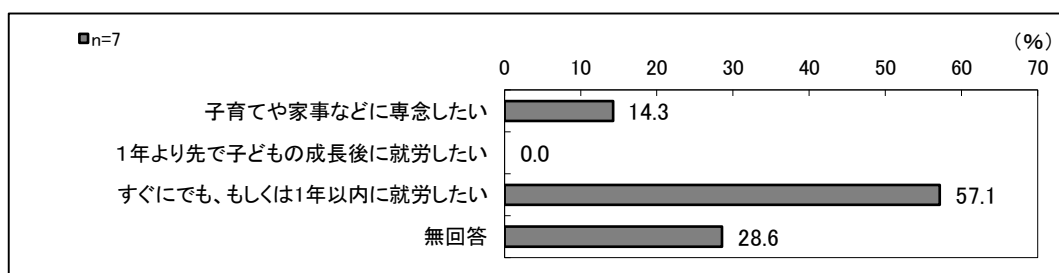
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(50.0%)、「1年より先で子どもの成長後に就労したい」(33.3%)、「子育てや家事などに専念したい」(16.7%)。

■父親の就労希望について■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(12) 希望の就労形態

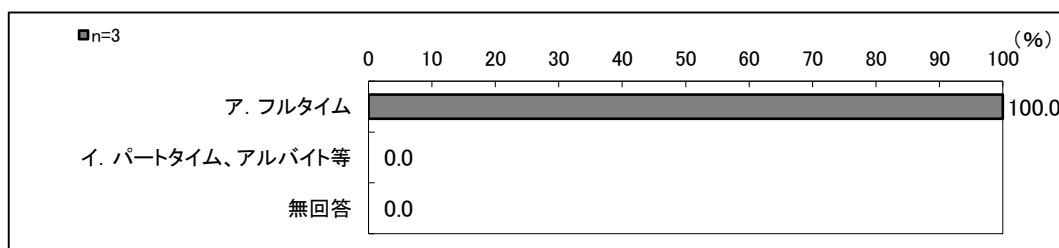
※ 問 12-1 で「3」に○をつけた方のみ

問 12-1-1 希望の就労形態

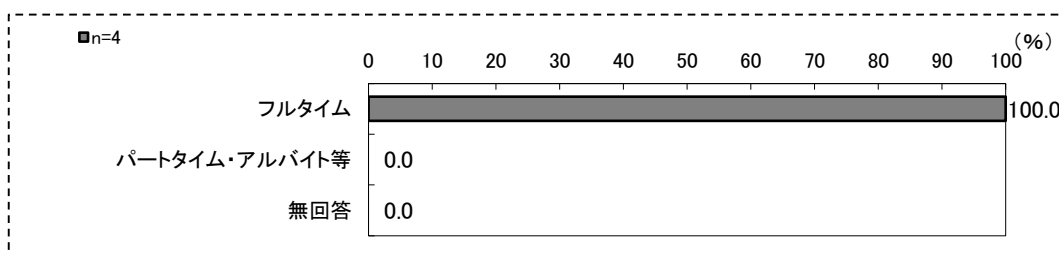
「フルタイム」(100.0%)。

■希望の就労形態■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(13) 父親：パートタイム・アルバイト等就労の希望

※ 問 12-1-1 で「イ」に○をつけた方のみ

問 12-1-2 父親：希望就労日数／週

問 12-1-3 父親：希望就労時間／日

該当者なし。

(14) 父親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間

※ 問12で「3」～「6」に○をつけた方のみ

問12-2 現在の、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

- ① 父親：週当たり就労日数
- ② 父親：1日当たり就労時間



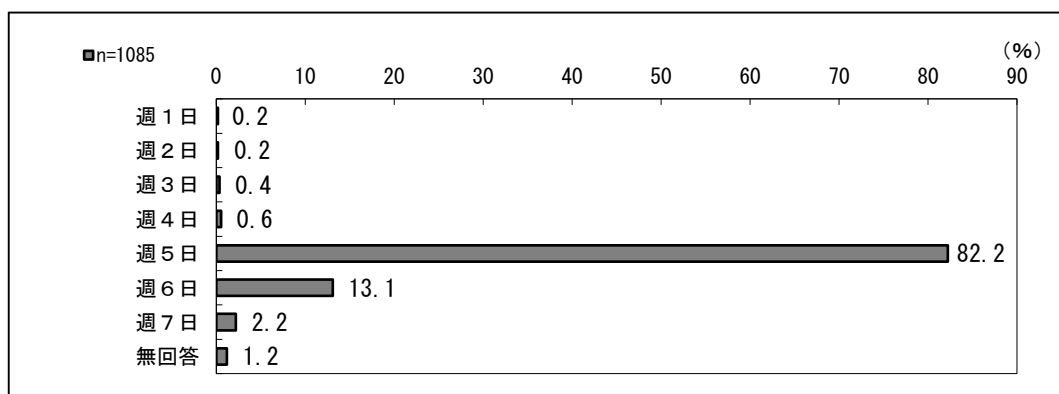
父親の1週当たり労働日数は「週5日」（82.2%）、1日当たり就労時間は「8時間」（34.6%）が最も高い割合を占めている。

回答者の41.3%は、1日当たり就労時間が“10時間以上”となっている。

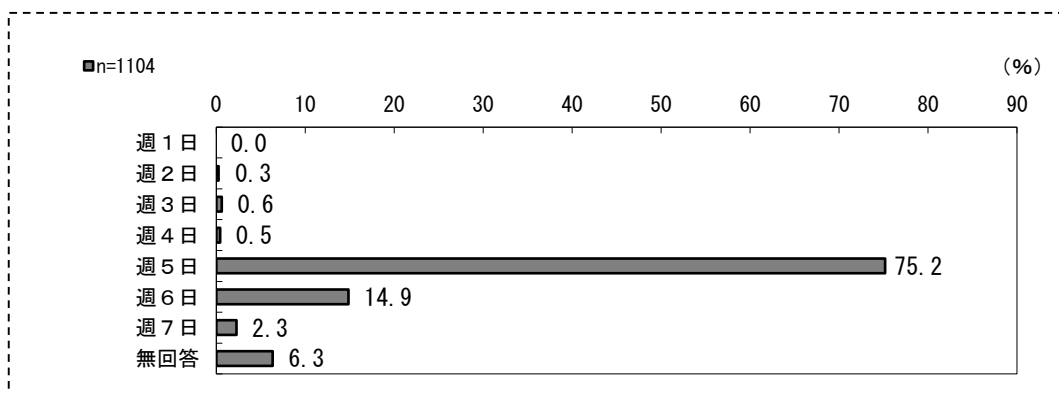
前回調査結果と比較して、就労時間が“10時間以上”の割合は、13.8ポイント減少している。

■父親：現在の就労日数／週■

【今回結果】

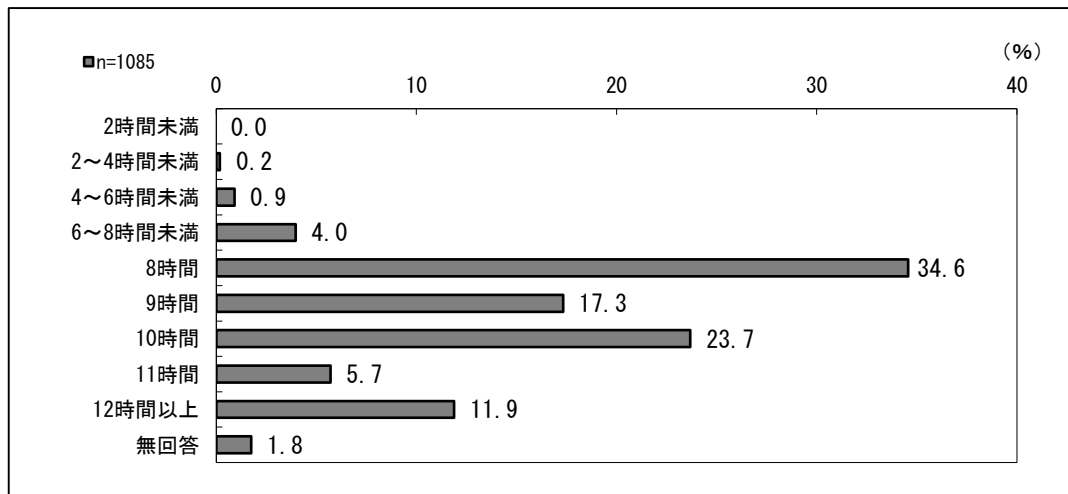


【前回結果（参考）】

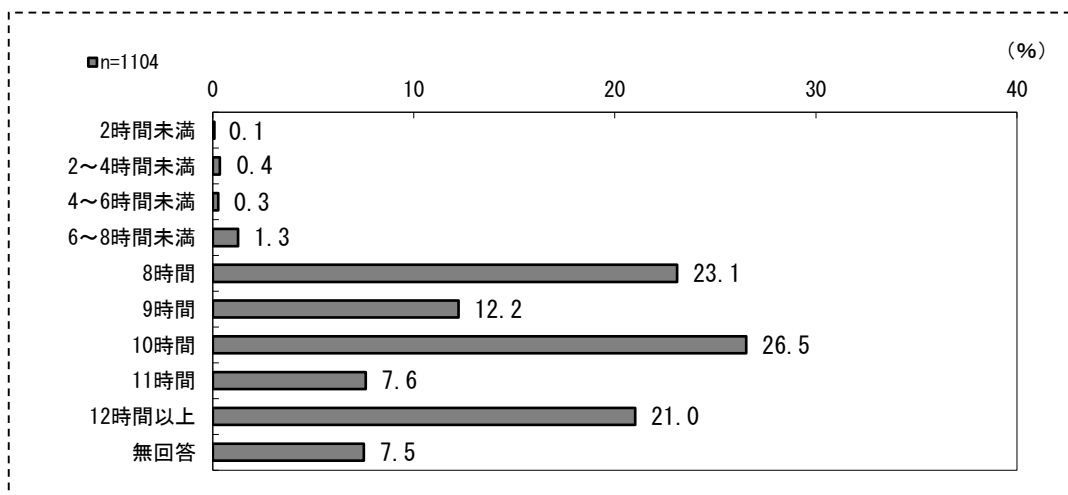


■父親：現在の就労時間／日■

【今回結果】



【前回結果（参考）】



(15) 父親のフルタイムへの転換希望

※ 問12で「5」「6」に○をつけた方のみ

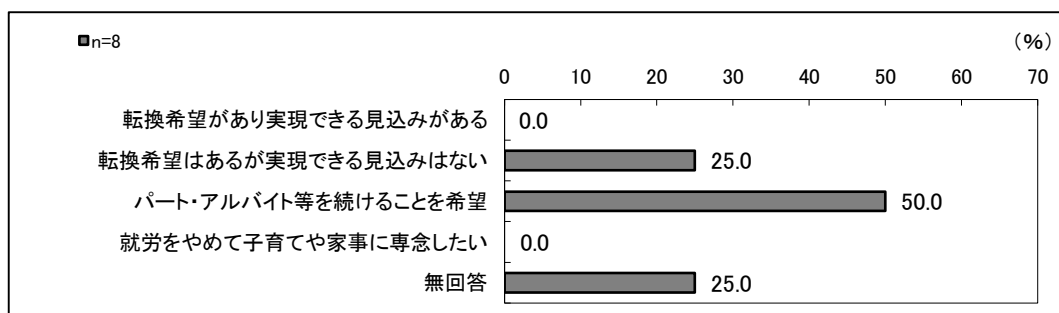
問12-3 フルタイム（1週5日程度，1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。



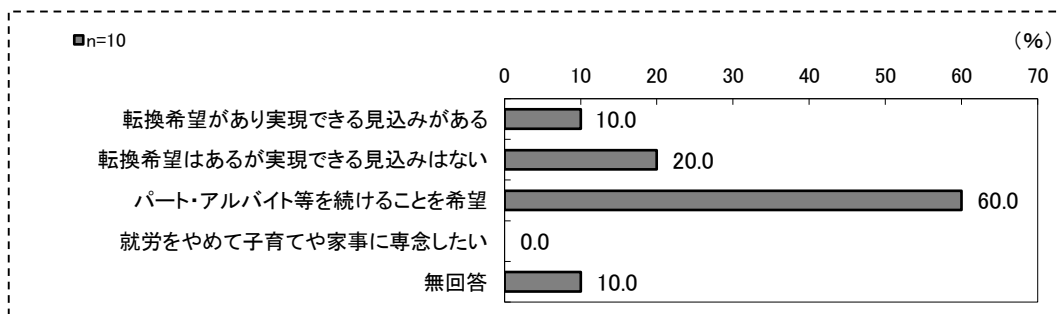
「パート・アルバイト等続けることを希望」（50.0%）、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」（25.0%）。

■父親のフルタイムへの転換希望■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



5. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 母親：育児休業取得後の職場復帰状況

※ 主に母親の状況について

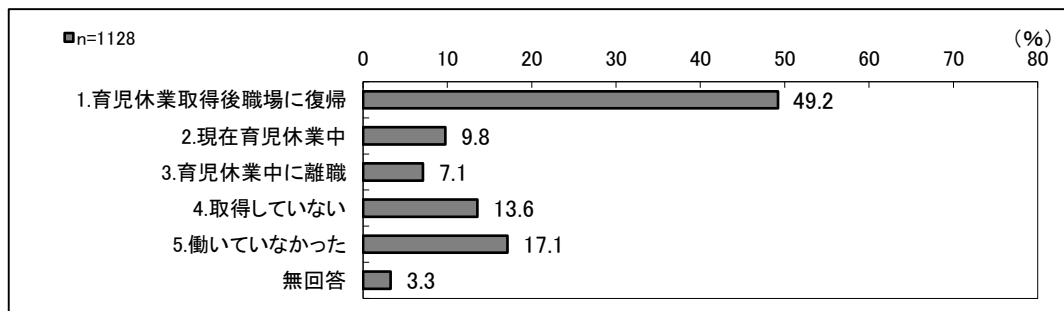
問 13 育児休業取得後の職場復帰の状況についてお答えください。

「育児休業取得後職場に復帰」(49.2%)、「働いていなかった」(17.1%)、「取得していない」(13.6%)、「現在育児休業中」(9.8%)、「育児休業中に離職」(7.1%)。

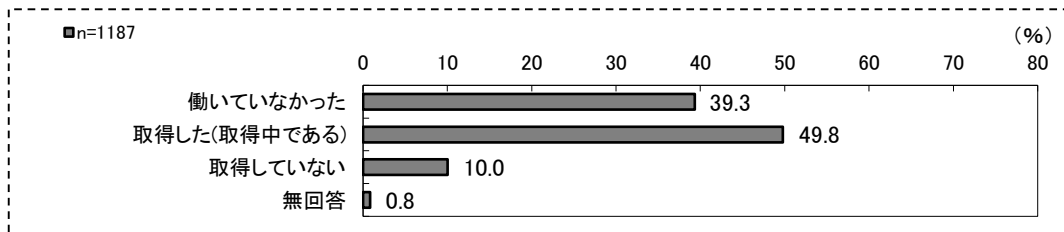
約5割(49.2%)の回答者が「育児休業取得後職場に復帰」と回答している。

■母親：育児休業取得後の職場復帰状況■

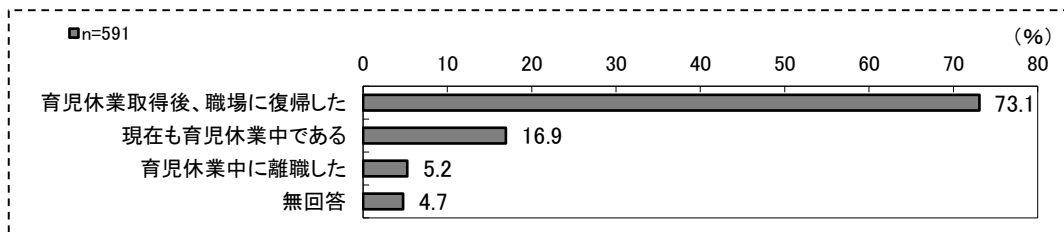
【今回調査】



【前回調査（参考）】育児休業の取得状況



【前回調査（参考）】育児休業取得後の職場復帰の状況



(2) 母親：実際の育児休業取得期間

※ 問13で「1. 育児休業取得後、職場に復帰」に○をつけた方のみ

問13-1 宛名のお子さんが生まれた時の、「母親」の「(1) 実際」の育児休業の取得期間（これからの取得予定も含む）と、「(2) 理想」とする育児休業の取得期間について、それぞれお答えください。

(1) 母親：実際の育児休業取得期間

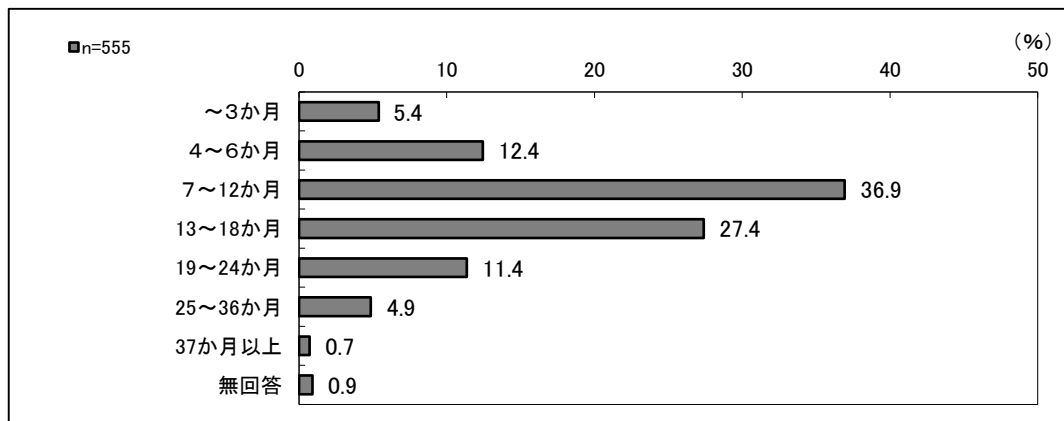


「7～12か月」(36.9%)、「13～18か月」(27.4%)、「4～6か月」(12.4%)、「19～24か月」(11.4%)、「～3か月」(5.4%)、「25～36か月」(4.9%)、「37か月以上」(0.7%)。

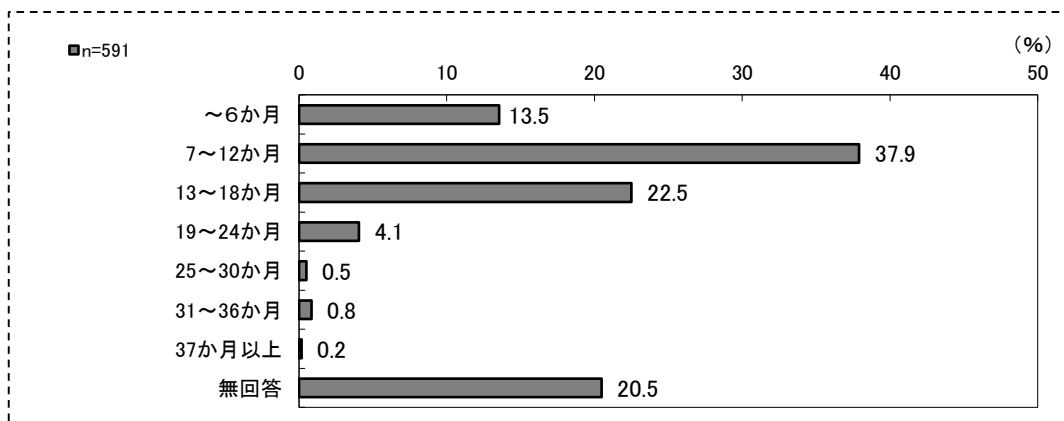
“12か月以内”の復帰が過半数(54.7%)を占めている。

■母親：実際の育児休業取得期間■

【今回調査】



【前回調査（参考）】実際の取得期間の子どもの年齢



(3) 母親：理想とする育児休業取得期間

※ 問 13 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰」に○をつけた方のみ

(2) 母親：理想とする育児休業取得期間



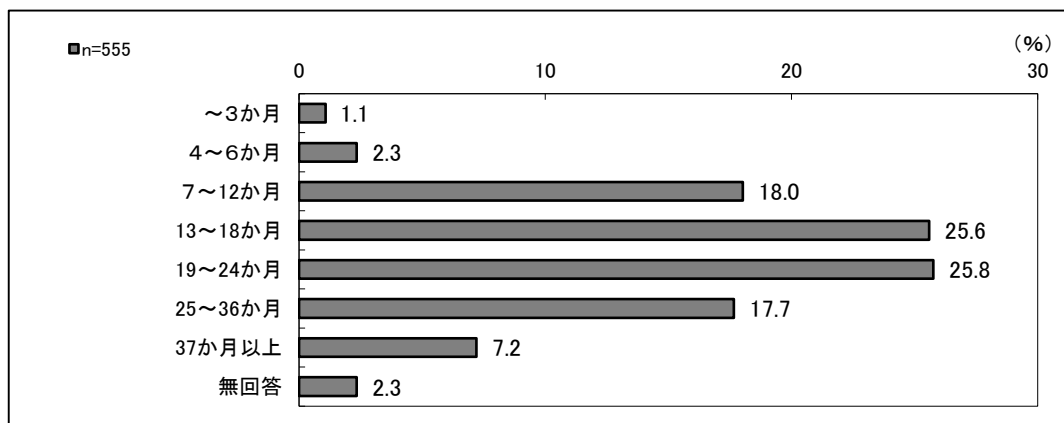
希望として「19～24 か月」(25.8%) が最も高い割合を占めている。

「13～18 か月」(25.6%), 「7～12 か月」(18.0%), 「25～36 か月」(17.7%), 「37 か月以上」(7.2%), 「4～6 か月」(2.3%), 「～3 か月」(1.1%) がこれに続く。

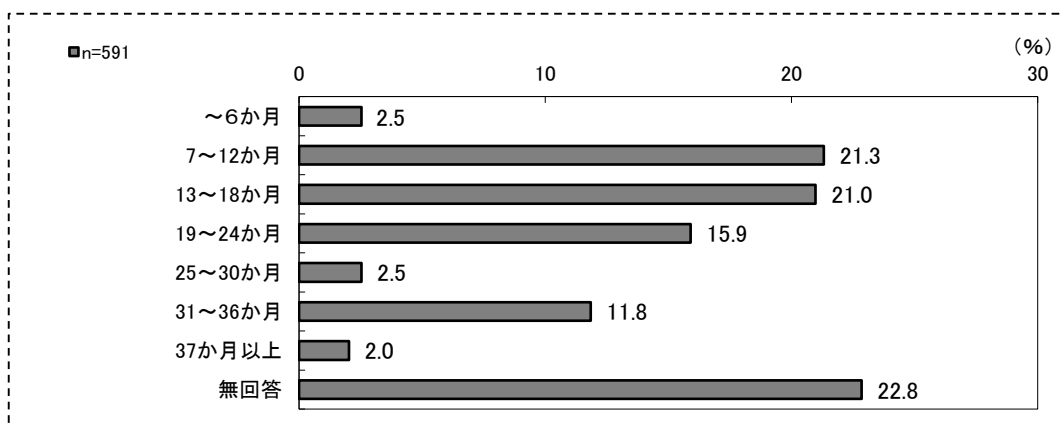
“問 13-1 (1) 母親：実際の育児休業取得期間”では“12 か月以内”の復帰が 54.7%であったが, “理想とする育児休業取得期間”では“12 か月以内”を希望する回答が 21.4%, 実際の育児休業期間と理想の育児休業期間との間にギャップ (33.3 ポイント差) がみられ, “12 か月以上”を希望する回答が 76.3%と 7 割以上を占めている。

■母親：理想とする育児休業取得期間■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】 希望する期間の子どもの年齢



(4) 父親：育児休業取得後の職場復帰状況

※ 主に父親の状況について

問 14 産後パパ育休、その他の育児休業等取得後、職場に復帰しましたか。

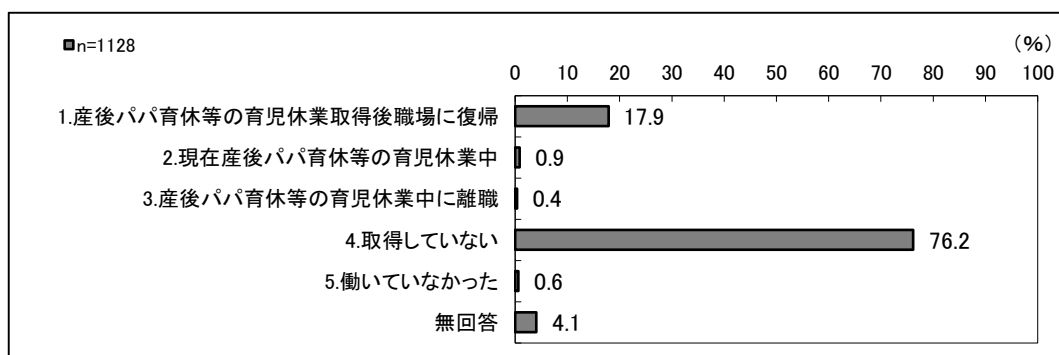
「取得していない」(76.2%)が最も高い割合を占めている。

「産後パパ育休等の育児休業取得後職場に復帰」(17.9%)、「現在産後パパ育休等の育児休業中」(0.9%)、「働いていなかった」(0.6%)、「産後パパ育休等の育児休業中に離職」(0.4%)がこれに続く。

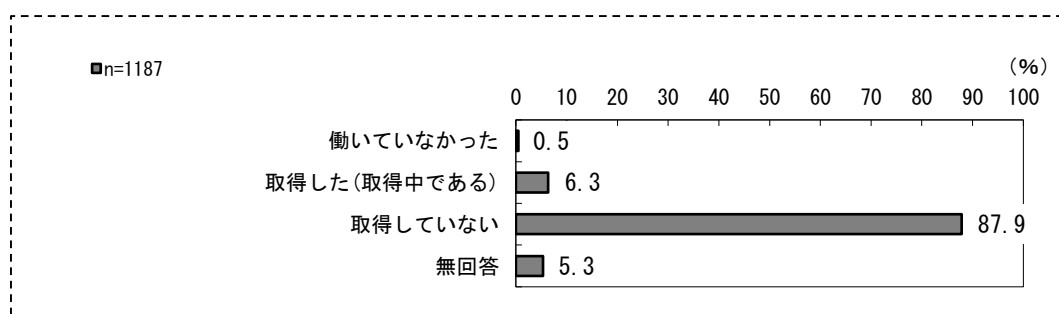
前回調査結果と比較すると、「取得していない」の割合が11.7ポイント減少している。

■父親：育児休業取得後の職場復帰状況■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】育児休業の取得状況



(5) 父親：実際の育児休業取得期間

※ 問 14 で「1. 産後パパ育休, その他の育児休業取得後, 職場に復帰」に○をつけた方のみ
問 14-1 宛名のお子さんが生まれた時, 「父親」の「(1) 実際」の産後パパ育休, その他の育児休業の取得期間 (これからの取得予定も含む) と, 「(2) 理想」とする産後パパ育休, その他の育児休業の取得期間について, それぞれお答えください。

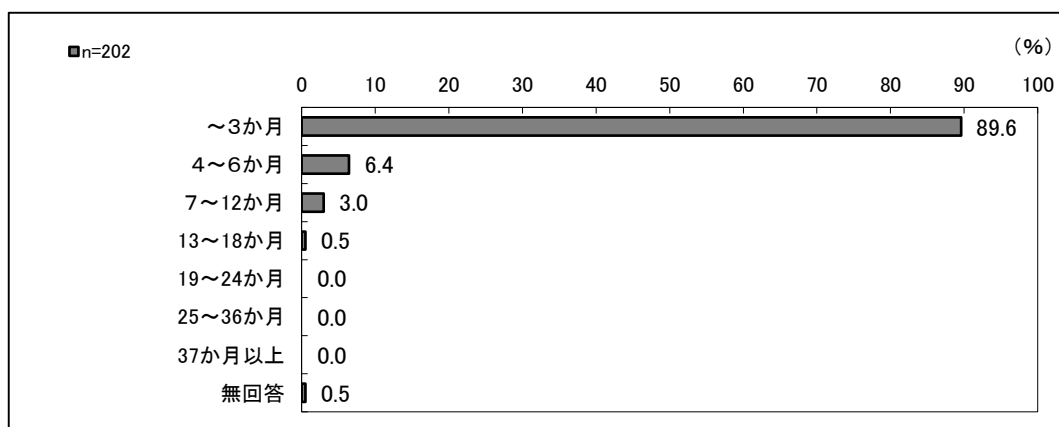
(1) 父親：実際の育児休業取得期間

「～3か月」が89.6%で回答の大半を占める。

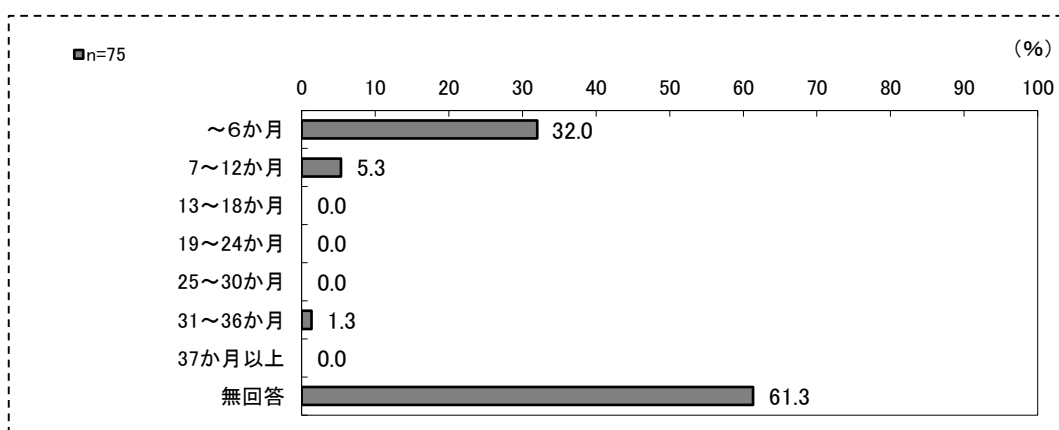
「4～6か月」(6.4%), 「7～12か月」(3.0%), 「13～18か月」(0.5%) がこれに続く。

■父親：実際の育児休業取得期間■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】 実際の取得期間の子どもの年齢



(6) 父親：理想とする育児休業取得期間

(2) 父親：理想とする育児休業取得期間

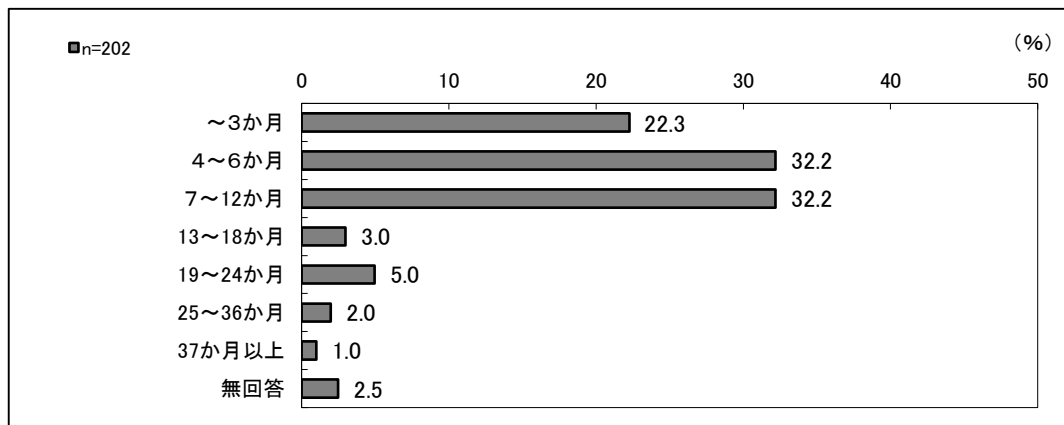
希望として「4～6か月」(32.2%)が最も高い割合を占めている。

「7～12か月」(32.2%),「～3か月」(22.3%),「19～24か月」(5.0%),「13～18か月」(3.0%),「25～36か月」(2.0%),「37か月以上」(1.0%)がこれに続く。

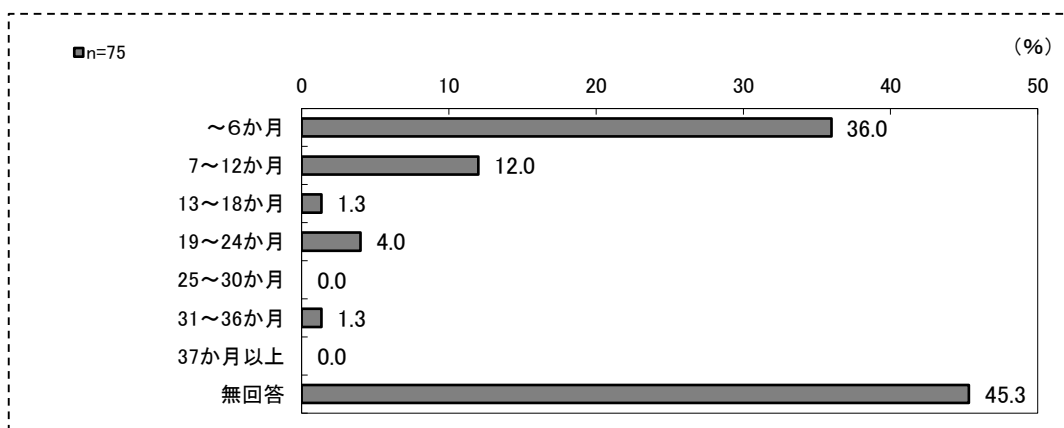
“問14-1(1)父親：実際の育児休業取得期間”では「～3か月」の復帰が89.6%と大半を占めたが、“理想とする育児休業取得期間”では「～3か月」を希望する回答が22.3%となっており、実際の育児休業期間と理想の育児休業期間との間にギャップ(67.3ポイント差)がみられ、“3か月以上”を希望する回答が75.4%と7割以上を占めている。

■父親：理想とする育児休業取得期間■

【今回調査】



【前回調査(参考)】希望する期間の子どもの年齢



6. 子育ての不安・悩み等について

(1) 子育てでの不安や悩み

問 15 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。【複数回答】

「子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい」(52.1%)、「自分の時間がとれず自由がない」(50.3%)がそれぞれ5割を超える。

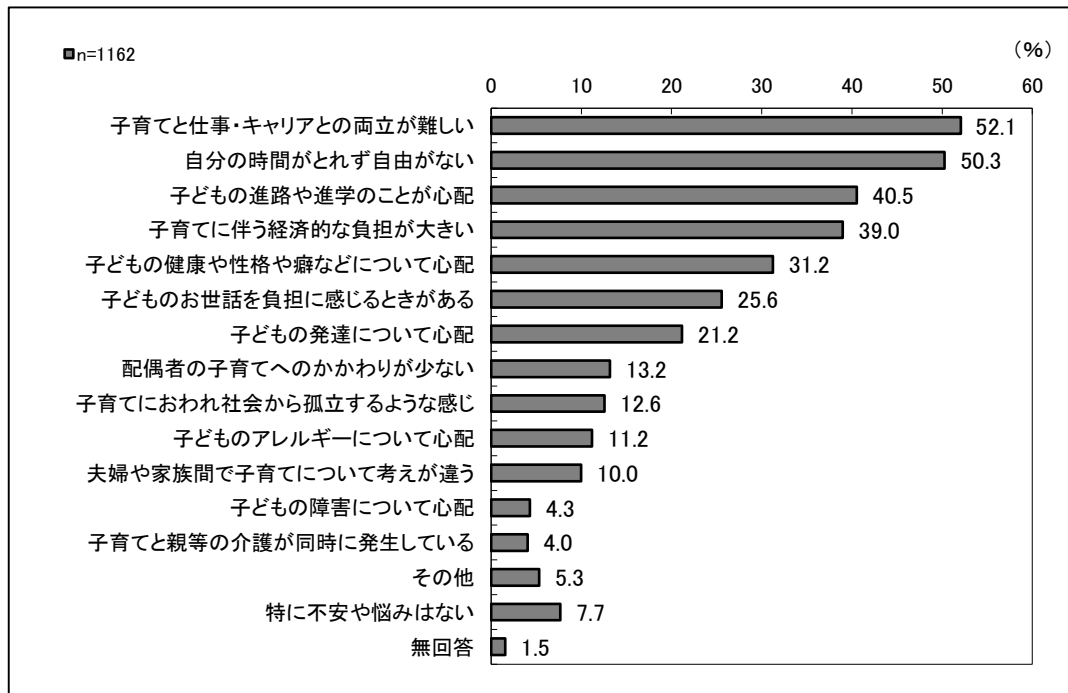
「子どもの進路や進学のこと心配」(40.5%)、「子育てに伴う経済的な負担が大きい」(39.0%)、「子どもの健康や性格や癖などについて心配」(31.2%)、等がこれに続く。

「特に不安や悩みはない」は7.7%。

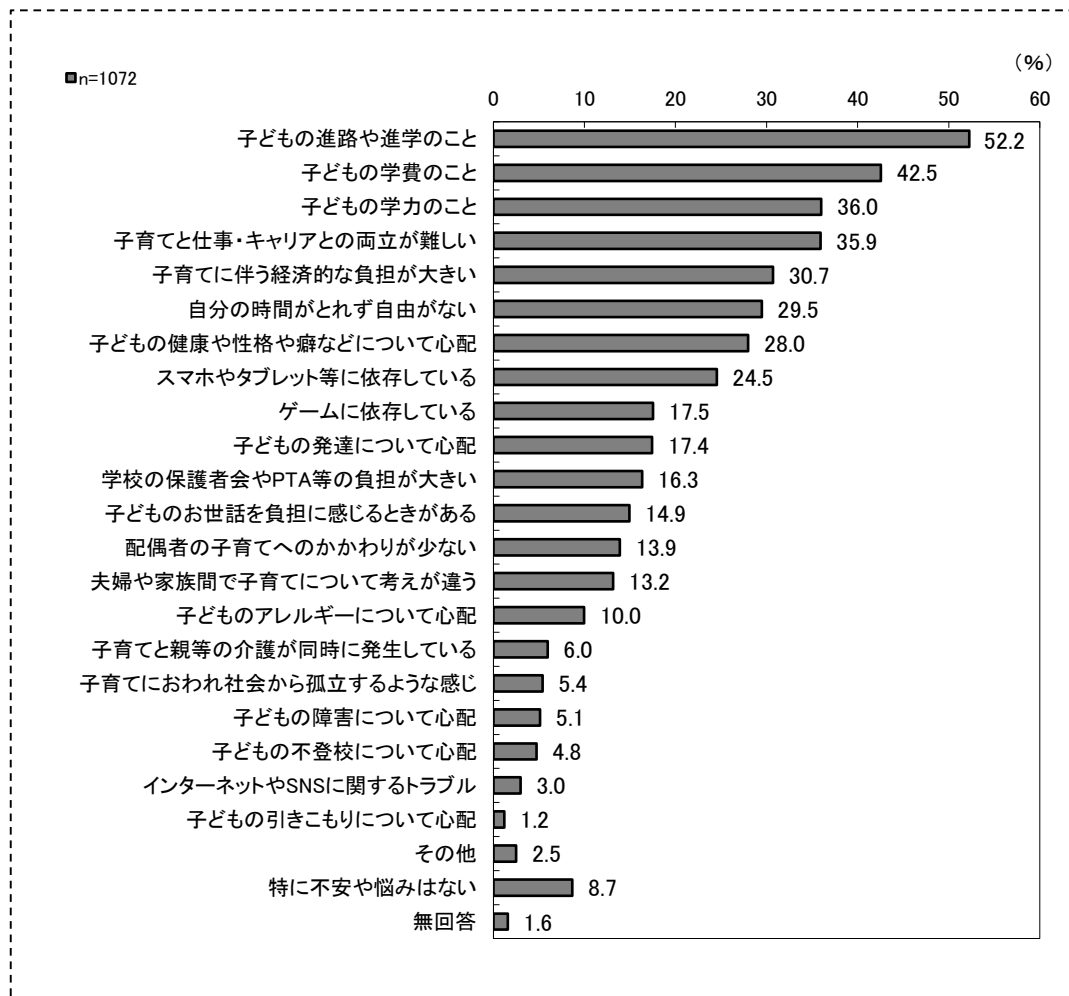
小学生保護者調査の結果と比較すると、「自分の時間がとれず自由がない」と回答した割合が20.8ポイント高くなったほか、「子育てにおわれ社会から孤立するような感じ」と回答した割合についても7.2ポイント高くなっている。

■子育てでの不安や悩み■

【今回調査】



【小学生保護者調査（参考）】



(2) 気軽に相談できる相談先

問 16 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）は誰（どこ）ですか。【複数回答】

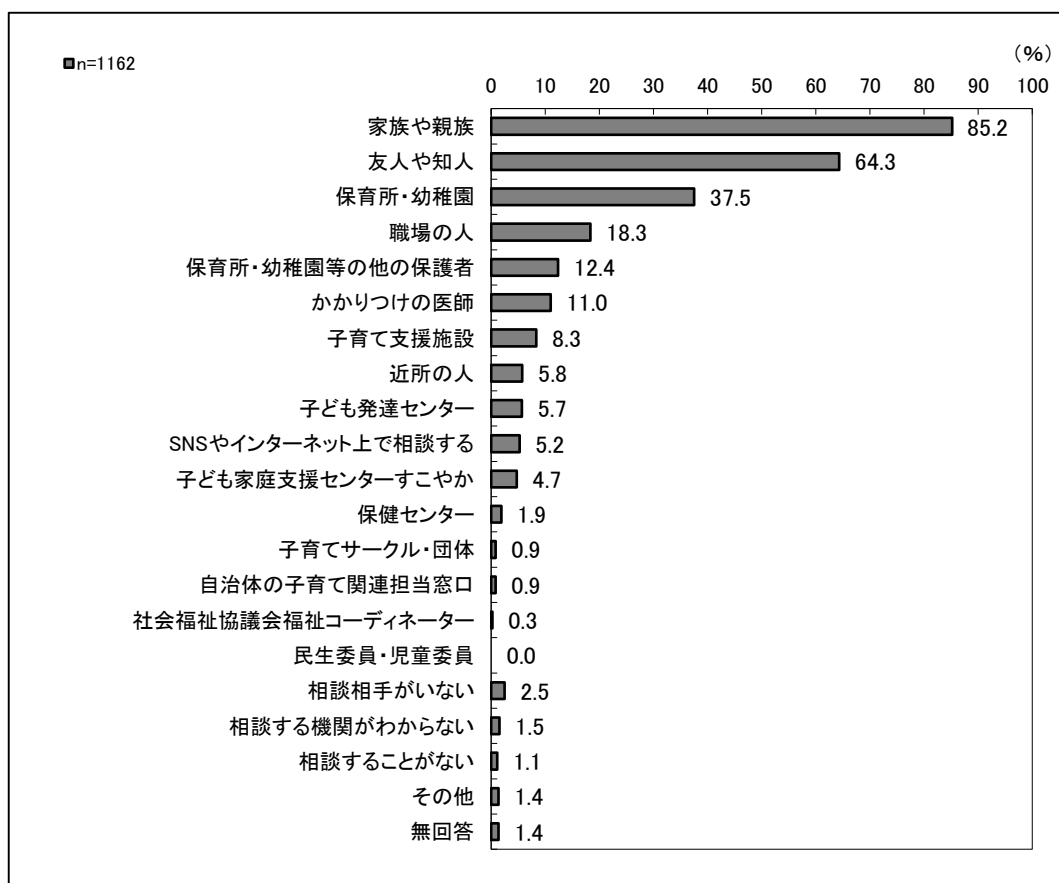
前回調査結果に引き続き「家族や親族」（85.2%）、「友人や知人」（64.3%）が回答の半数以上を占め身近な人を相談先とする傾向が強い。

「保育所・幼稚園」（37.5%）、「職場の人」（18.3%）、「保育所・幼稚園等の他の保護者」（12.4%）、「かかりつけの医師」（11.0%）等がこれに続く。

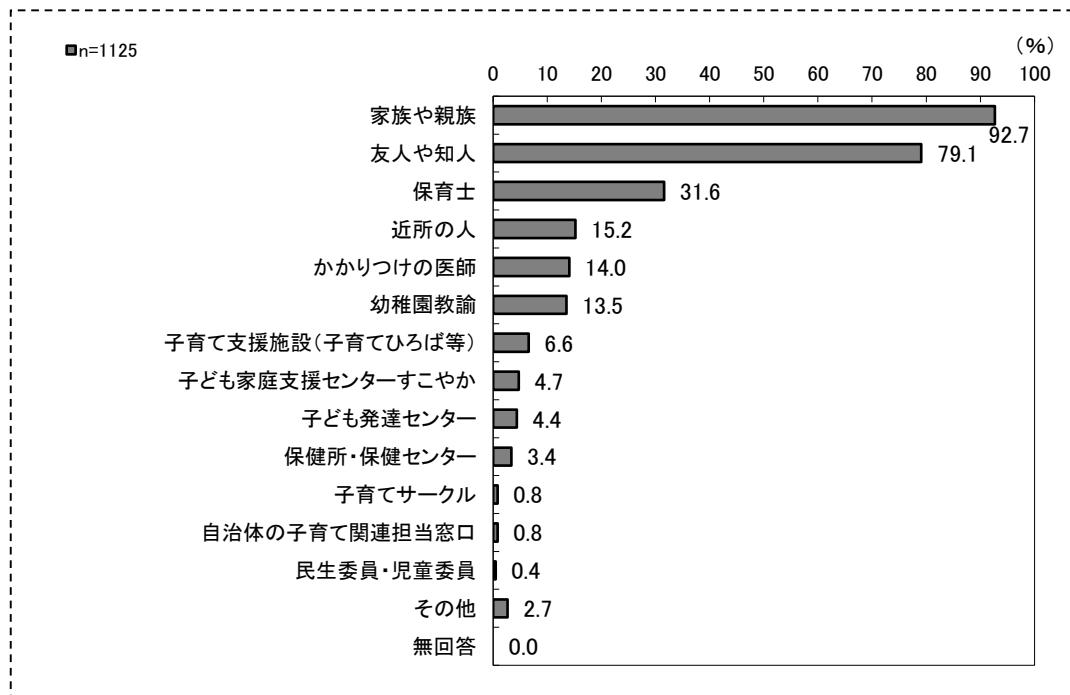
「相談相手がない」とする回答は2.5%となっている。

■ 気軽に相談できる相談先 ■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(3) 地域交流の場の利用の有無

問 17 地域との繋がりや交流ができる，次のような地域交流の場を利用したことがありますか。【複数回答】

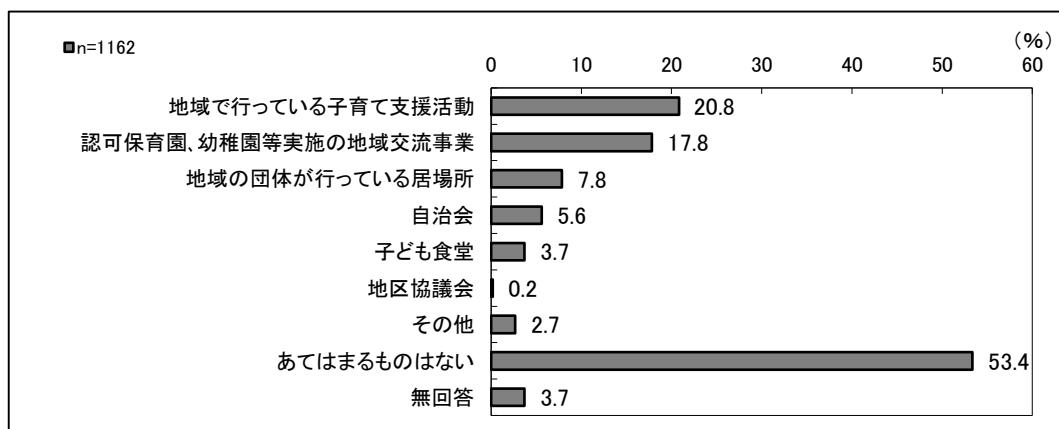


「あてはまるものはない」(53.4%)で地域での活動や場を利用したことがない回答が5割以上を占める。

「地域で行っている子育て支援活動」(20.8%)，「認可保育園，幼稚園等実施の地域交流事業」(17.8%)，「地域の団体が行っている居場所」(7.8%)，「自治会」(5.6%)，「子ども食堂」(3.7%)，等がこれに続く。

地域での活動や場を利用したことがある回答は3割未満となっている。

■地域交流の場の利用の有無■



(4) あるとよいと思う地域の活動

問 17-1 地域との繋がりや交流ができる場には、どのような活動があると良いと思いますか。

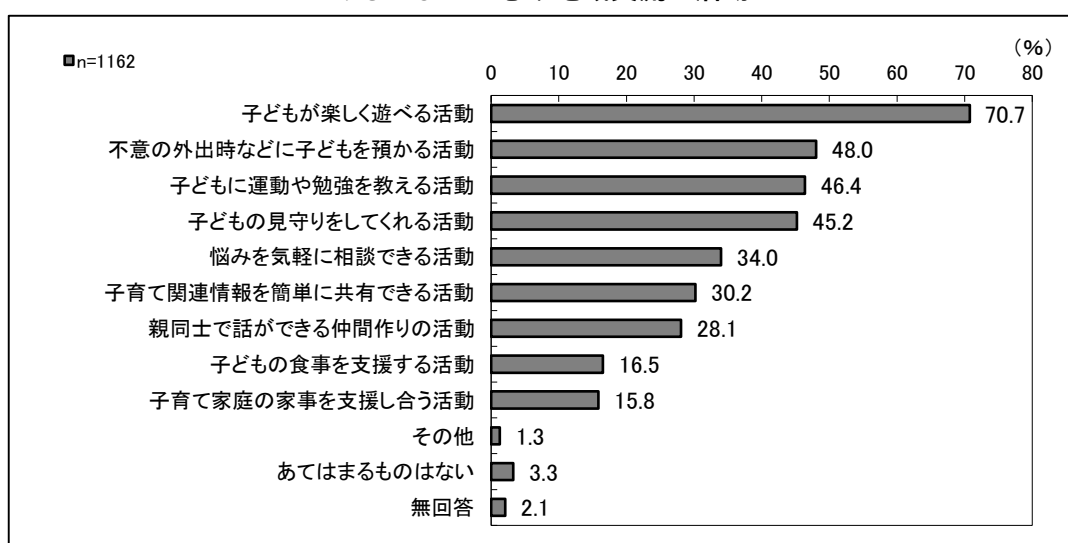
【複数回答】



「子どもが楽しく遊べる活動」(70.7%),「不意の外出時などに子どもを預かる活動」(48.0%),「子どもに運動や勉強を教える活動」(46.4%)が上位3位を占める。

「子どもの見守りをしてくれる活動」(45.2%),「悩みを気軽に相談できる活動」(34.0%),「子育て関連情報を簡単に共有できる活動」(30.2%)等がこれに続く。

■あるとよいと思う地域交流の活動■



(5) 理想とする子どもの人数

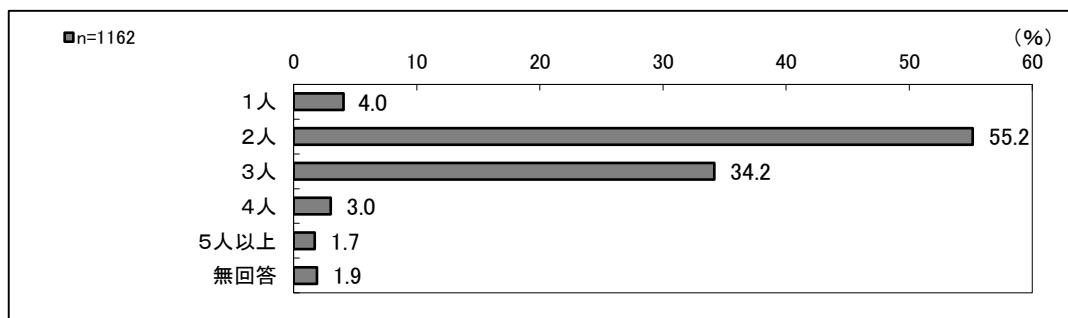
問 18 理想とするお子さんの人数は何人くらいですか。

「2人」(55.2%), 「3人」(34.2%), 「1人」(4.0%), 「4人」(3.0%), 「5人以上」(1.7%)。
“2人以上”の回答が94.1%で大半を占める。一方で、問3(1), (2)の回答から算出した(4)きょうだいの人数と比較すると理想とする子どもの人数よりも実際のきょうだいの人数は少ない。

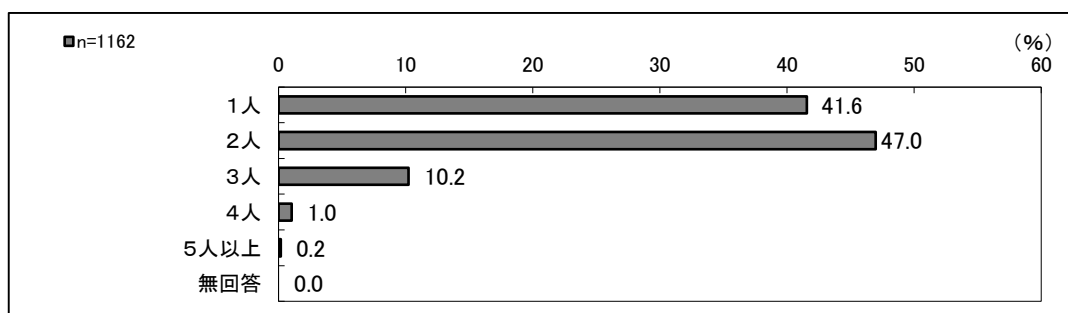
参考資料「国立社会保障・人口問題研究所 出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」をみると、調布市の調査結果と同様、国全体としても「平均予定子ども数」が「平均理想子ども数」を下回っている。

■理想とする子どもの人数■

【今回調査】



【今回調査(参考)】問3(1), (2)の回答から算出した, (4)きょうだいの人数



【国立社会保障・人口問題研究所 出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）（参考）】



調査対象：「令和3年国民生活基礎調査」で設定された調査区から無作為に選ばれた全国1,000調査区に居住する18歳以上55歳未満の独身者と妻の年齢が55歳未満の夫婦（回答者は妻）

調査時期：2021年6月（6月30日現在の事実）

※ 「こども大綱」における“こども・若者、子育て当事者の置かれた状況等を把握するための指標”の1つ

(6) 理想とする人数の子どもを育てやすくなるための課題

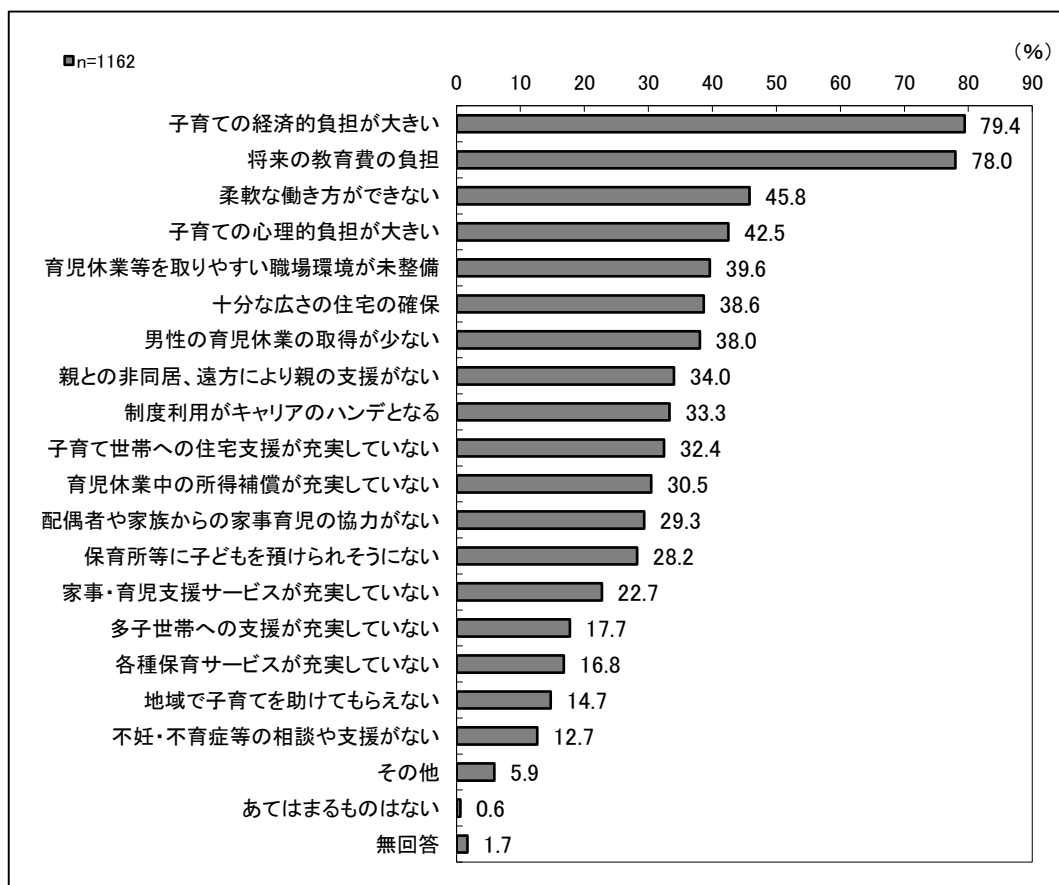
問 18-1 すべての人が理想とする人数の子どもを育てやすくなるためには、どのようなことが課題になるとお考えですか。【複数回答】



「子育ての経済的負担が大きい」(79.4%)、「将来の教育費の負担」(78.0%)で回答が7割以上を占める。子どもを育てやすくなるためには、経済的な要因の改善が必要と回答する傾向が強い。

「柔軟な働き方ができない」(45.8%)、「子育ての心理的負担が大きい」(42.5%)、「育児休業等を取りやすい職場環境が未整備」(39.6%)、「十分な広さの住宅の確保」(38.6%)等がこれに続く。

■理想とする人数の子どもを育てやすくなるための課題■



7. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

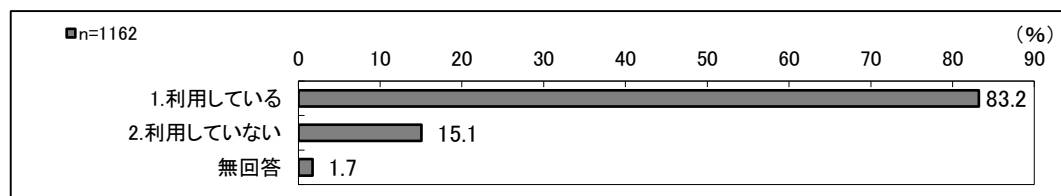
(1) 定期的な教育・保育の事業の利用状況

問 19 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

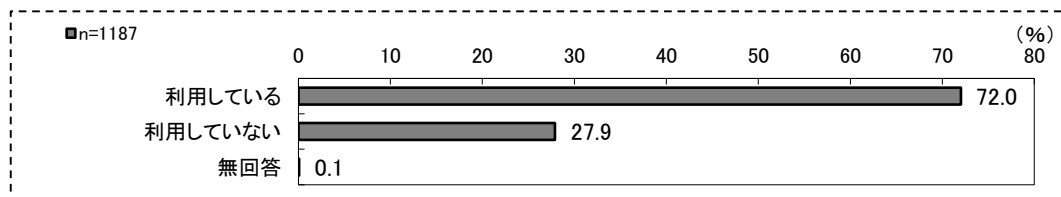
「利用している」(83.2%)、「利用していない」(15.1%)。
前回調査結果と比較して、「利用している」が11.2ポイント増加している。

■定期的な教育・保育の事業の利用状況■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(2) 平日定期的に利用している教育・保育の事業

※ 問19で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問19-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。【複数回答】



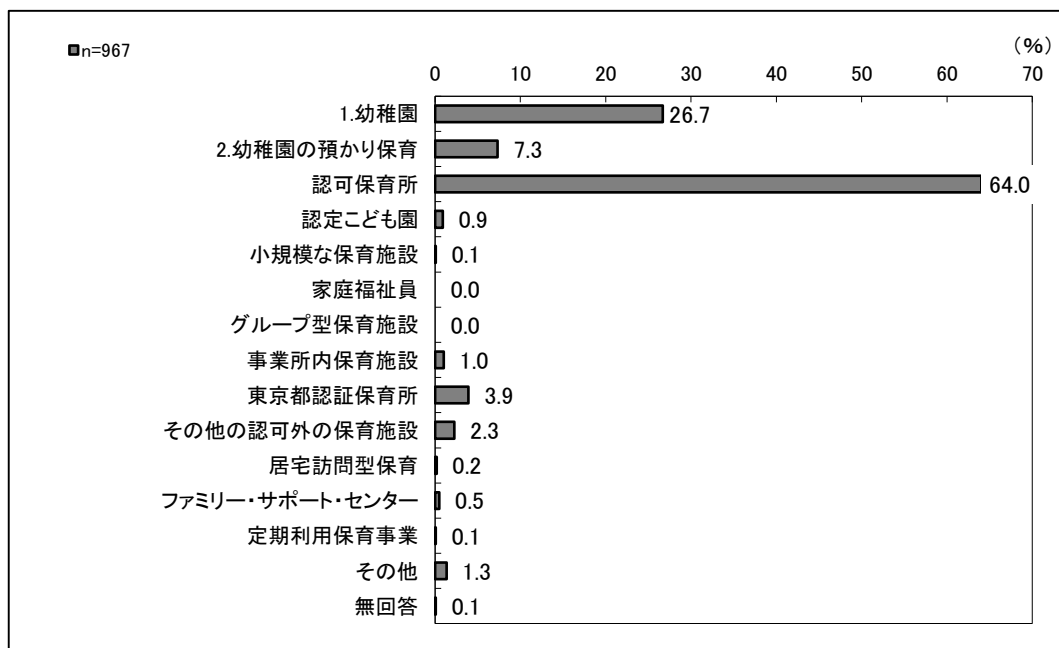
「認可保育所」(64.0%)が最も高い割合を占めている。

「幼稚園」(26.7%)、「幼稚園の預かり保育」(7.3%)、「東京都認証保育所」(3.9%)等がこれに続く。

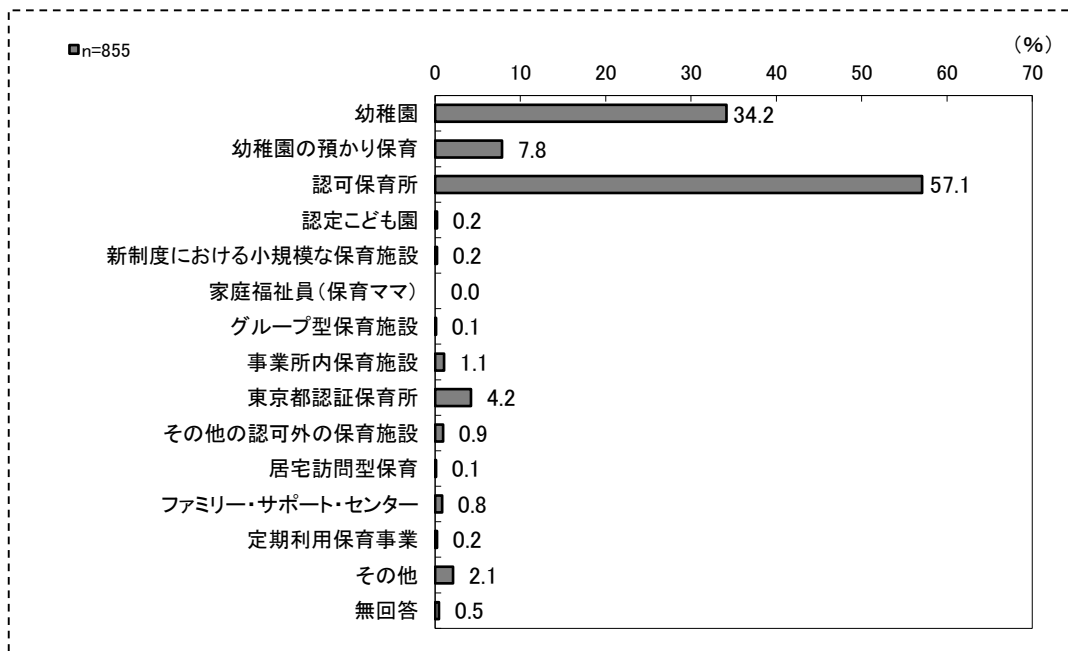
前回調査結果と比較して、「幼稚園」が7.5ポイント減少し、「認可保育所」が6.9ポイント増加している。

■平日定期的に利用している教育・保育の事業■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(3) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況

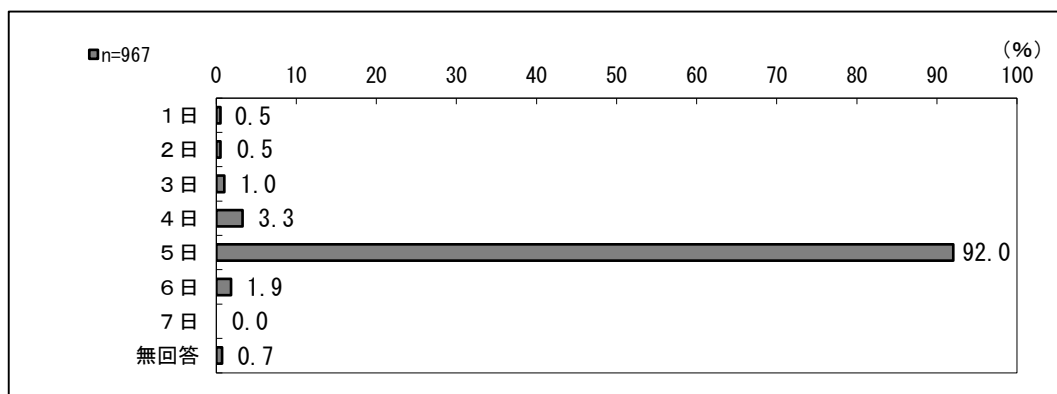
問 19-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、(1) 現在どのくらい利用していますか。

- (1) - 1 現在の利用日数／週
- (1) - 2 現在の利用時間／日
- (1) - 3 現在の開始時刻
- (1) - 4 現在の終了時刻

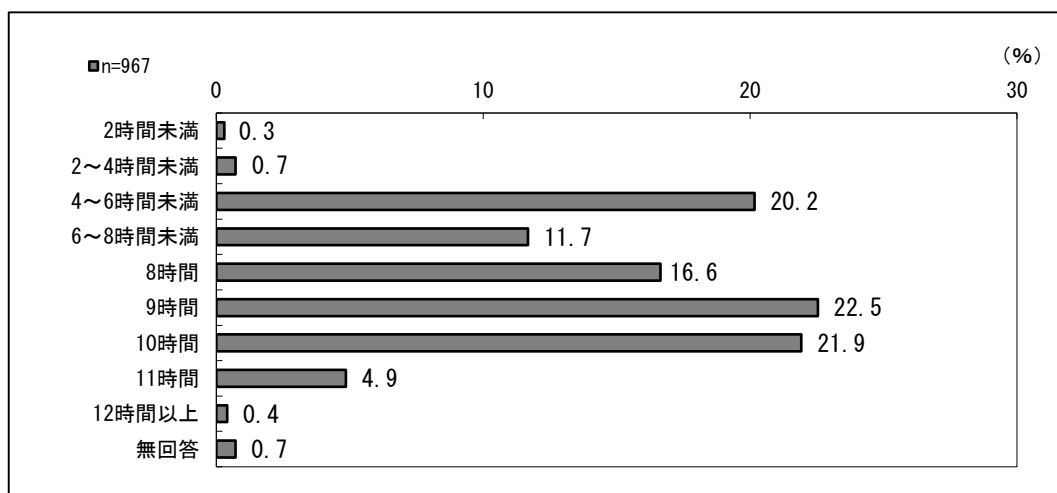


現在の利用日数は「5日」(92.0%)が最も高い割合を占めており、現在の利用時間は“8時間以上”が6割以上を占めている。

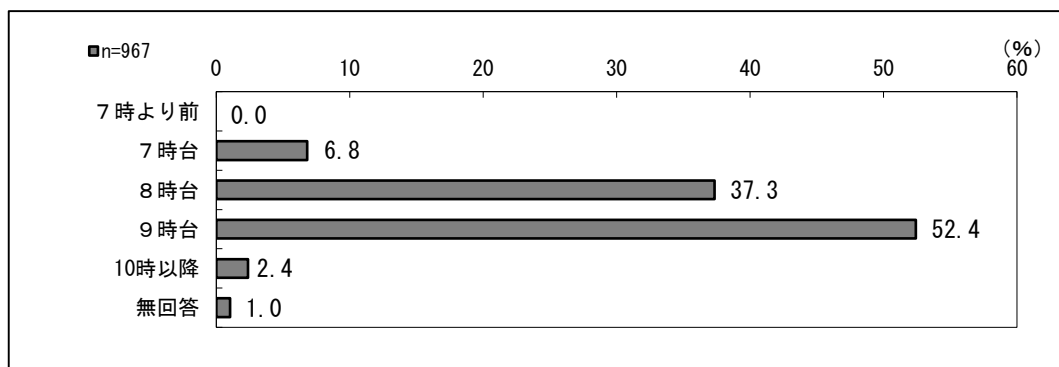
■現在の利用日数／週■



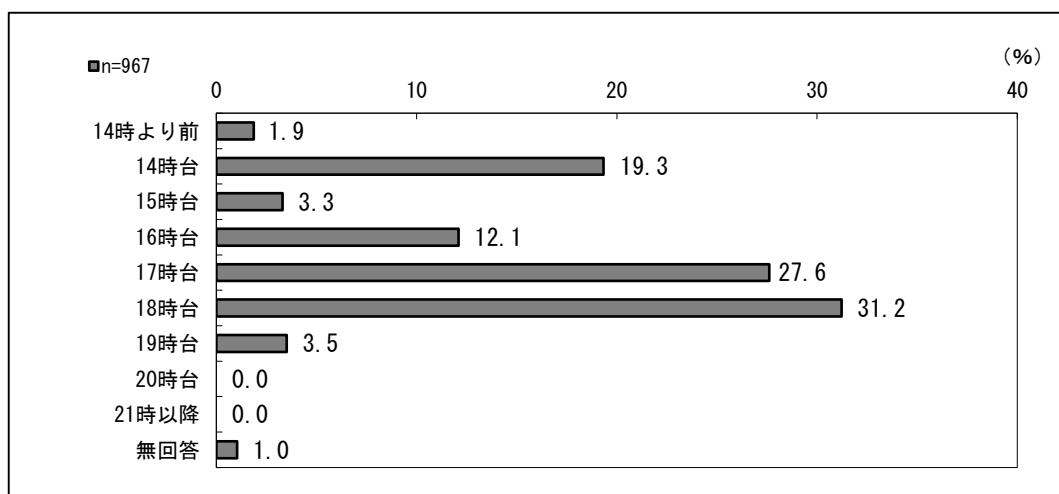
■現在の利用時間／日■



■現在の開始時刻■



■現在の終了時刻■



(4) 希望の利用日数/週

問 19-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、(2) 希望としてはどのくらい利用したいですか。

利用の希望は以下のとおり。

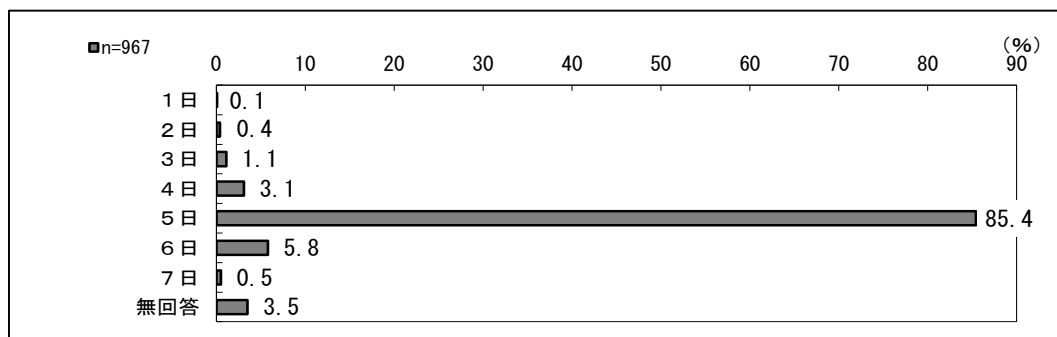
- (2) - 1 希望の利用日数/週
- (2) - 2 希望の利用時間/日
- (2) - 3 希望の開始時刻
- (2) - 4 希望の終了時刻

■集計結果 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況■

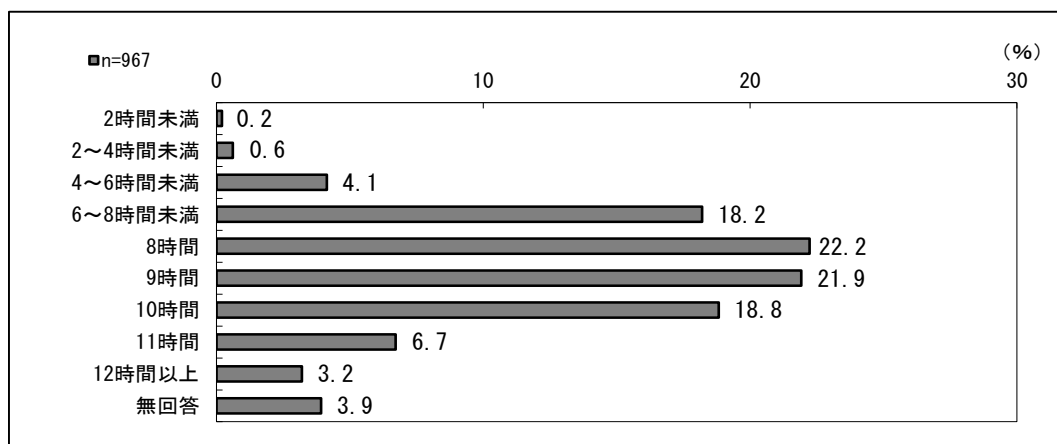
希望する利用状況 (利用頻度, 利用時間)

n=967	利用日数/週	利用時間/日
平均値	5.00 日	8.53 時間
最大値	7.00 日	24.00 時間
最小値	1.00 日	1.00 時間
無回答数	34 件	38 件

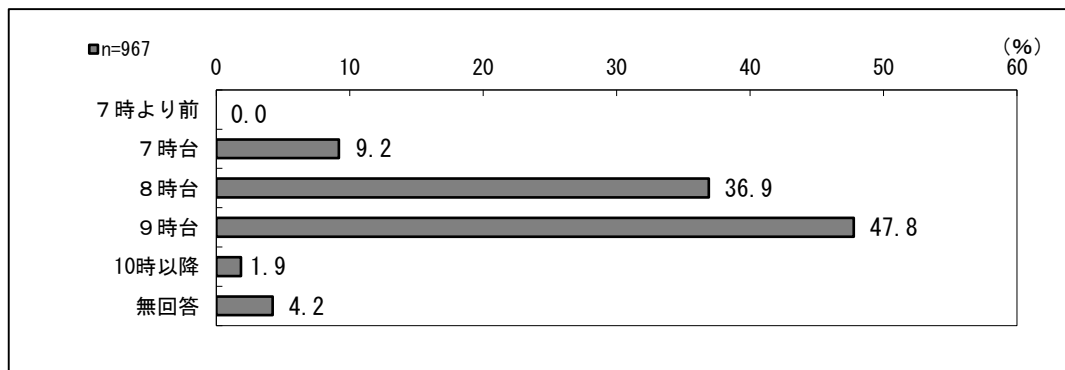
■希望の利用日数/週■



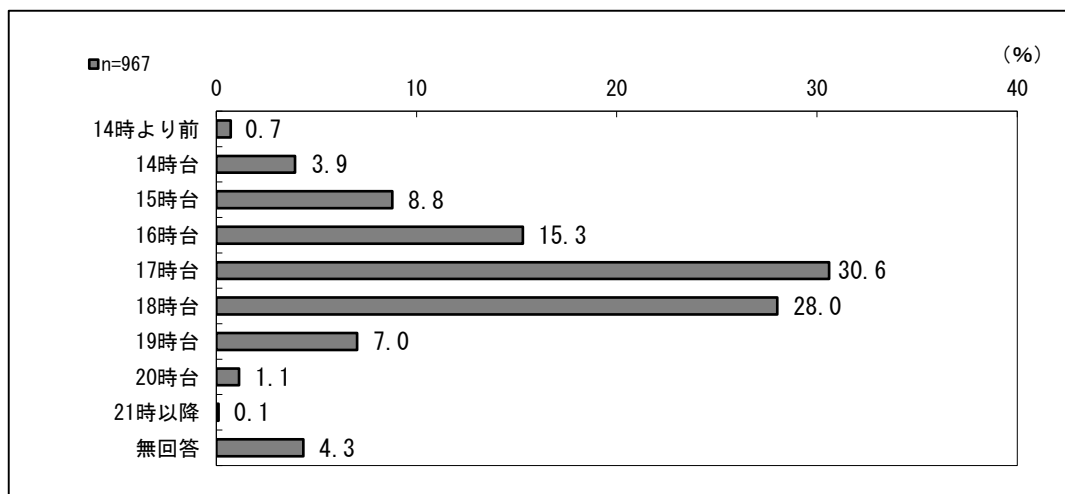
■希望の利用時間/日■



■希望の開始時刻■



■希望の終了時刻■



(5) 利用していない理由

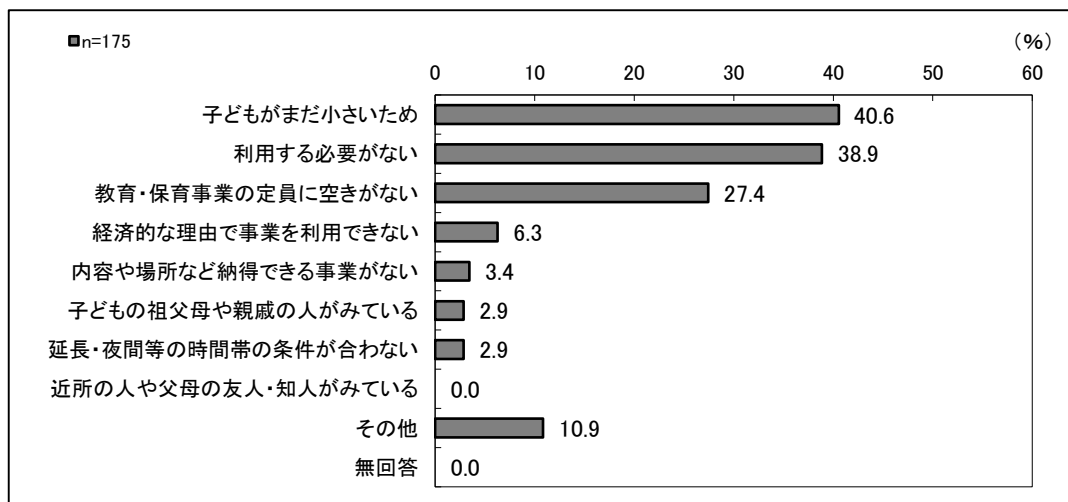
※ 問19で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ
問19-3 利用していない理由は何ですか。【複数回答】



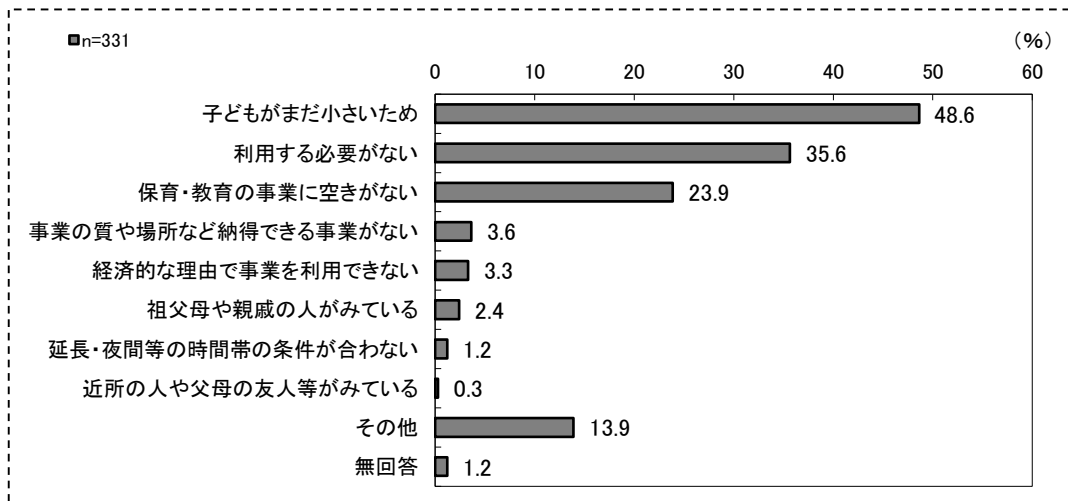
前回調査結果に引き続き、「子どもがまだ小さいため」(40.6%)、「利用する必要がある」(38.9%)、「教育・保育事業の定員に空きがない」(27.4%)が上位3位を占める。

■利用していない理由■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(6) 平日定期的に利用したい教育・保育の事業

問 20 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。【複数回答】

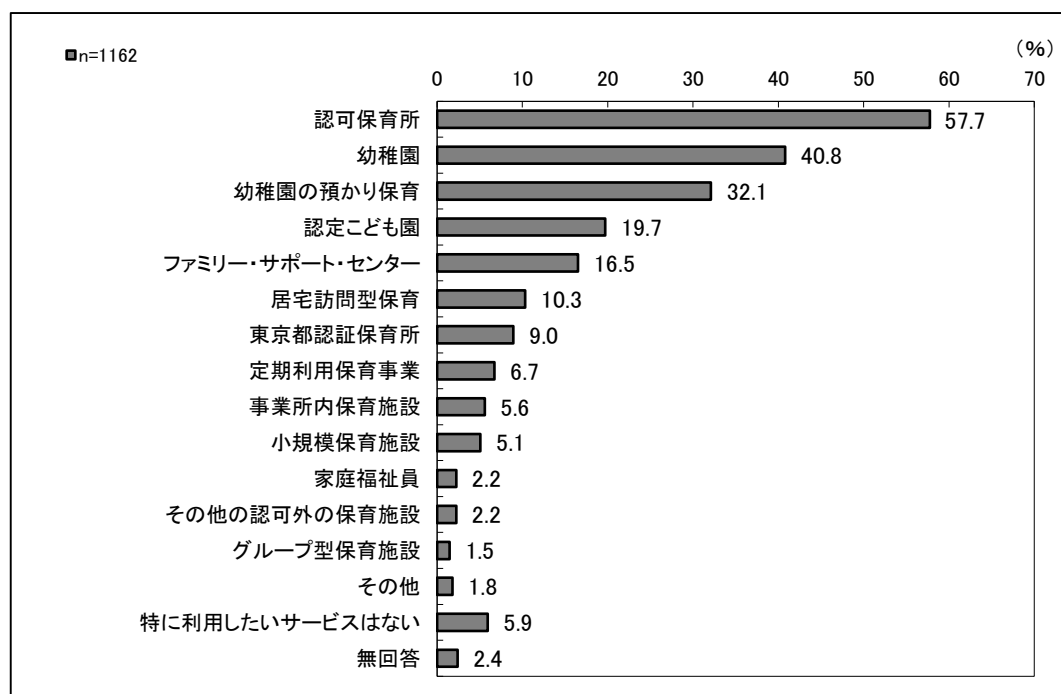


前回調査結果に引き続き、「認可保育所」(57.7%)、「幼稚園」(40.8%)、「幼稚園の預かり保育」(32.1%)が上位3位を占める。

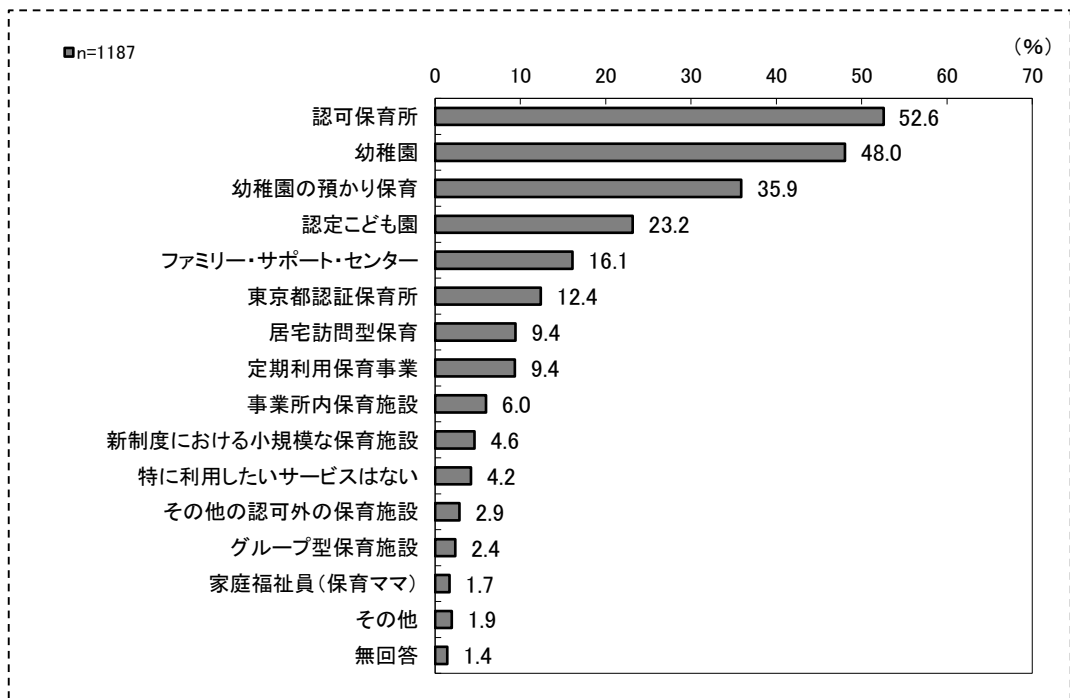
「認定こども園」(19.7%)、「ファミリー・サポート・センター」(16.5%)、「居宅訪問型保育」(10.3%)等がこれに続く。

■平日定期的に利用したい教育・保育の事業■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(7) 教育・保育の事業を希望する上で重視する条件

問 21 問 20 で選んだ事業を希望する上で重視する条件は何ですか。【複数回答】

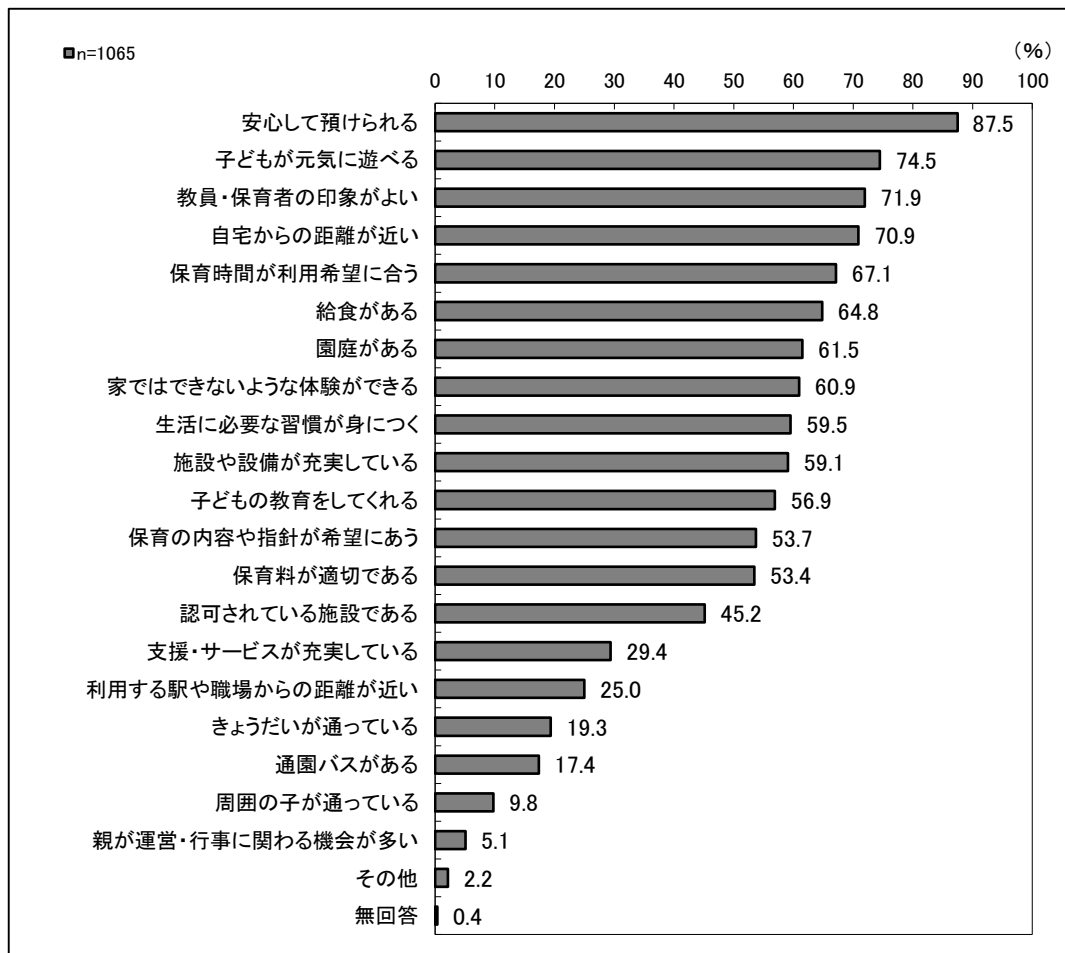
「安心して預けられる」(87.5%)、「子どもが元気に遊べる」(74.5%)、「教員・保育者の印象がよい」(71.9%) が上位 3 位を占める。

「自宅からの距離が近い」(70.9%)、「保育時間が利用希望に合う」(67.1%)、「給食がある」(64.8%) 等がこれに続く。

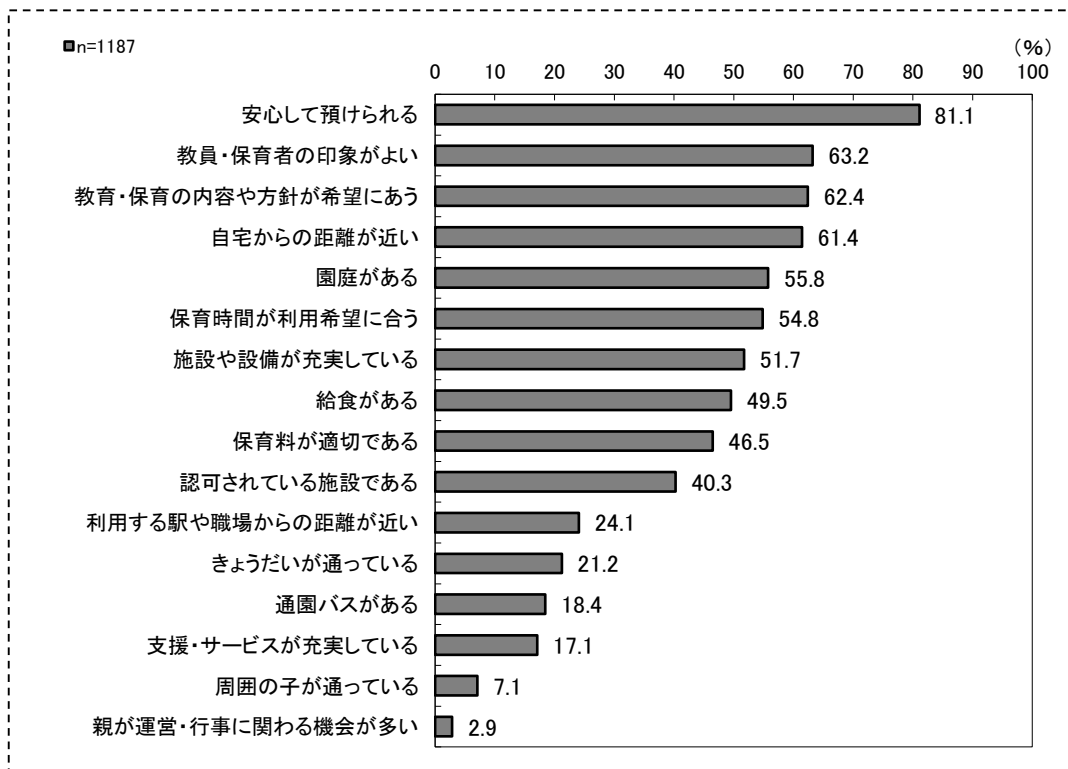
前回調査結果と比較して、「保育の内容や指針が希望にあう」が 8.7 ポイント減少し、「自宅からの距離が近い」が 9.5 ポイント増加している。

■教育・保育の事業を希望する上で重視する条件■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



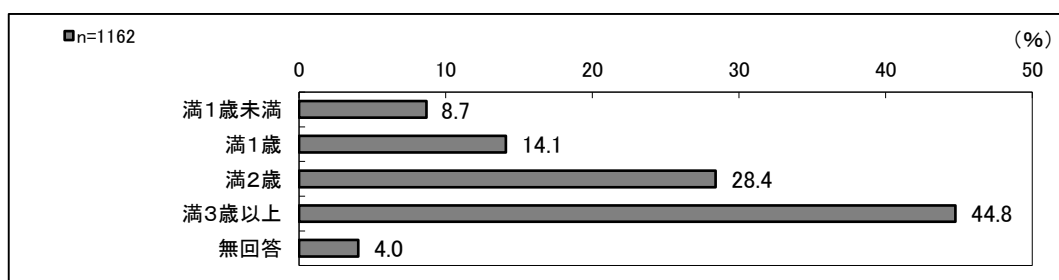
(8) 幼稚園の利用を開始したい子どもの年齢

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業として、「幼稚園」を利用するとしたら、お子さんが何歳の時から利用したいと思いますか（現在、「幼稚園」を利用している場合、お子さんが何歳の時から利用可能だったら良かったと思いますか）。



「満3歳以上」(44.8%)、「満2歳」(28.4%)、「満1歳」(14.1%)、「満1歳未満」(8.7%)。

■幼稚園の利用を開始したい子どもの年齢■



(9) 幼稚園を利用していない理由

※ 問 19-1 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけなかった方のみ
問 23 幼稚園を利用していない理由は何ですか。【複数回答】



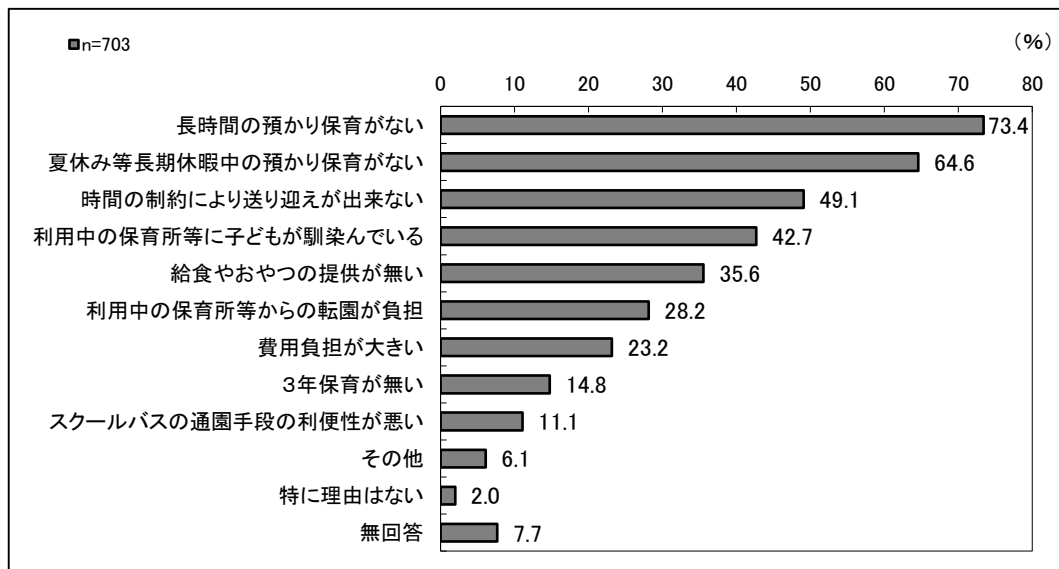
「長時間の預かり保育がない」(73.4%) が最も高い割合を占めている。

「夏休み等長期休暇中の預かり保育がない」(64.6%)、「時間の制約により送り迎えが出来ない」(49.1%)、「利用中の保育所等に子どもが馴染んでいる」(42.7%) 等がこれに続く。

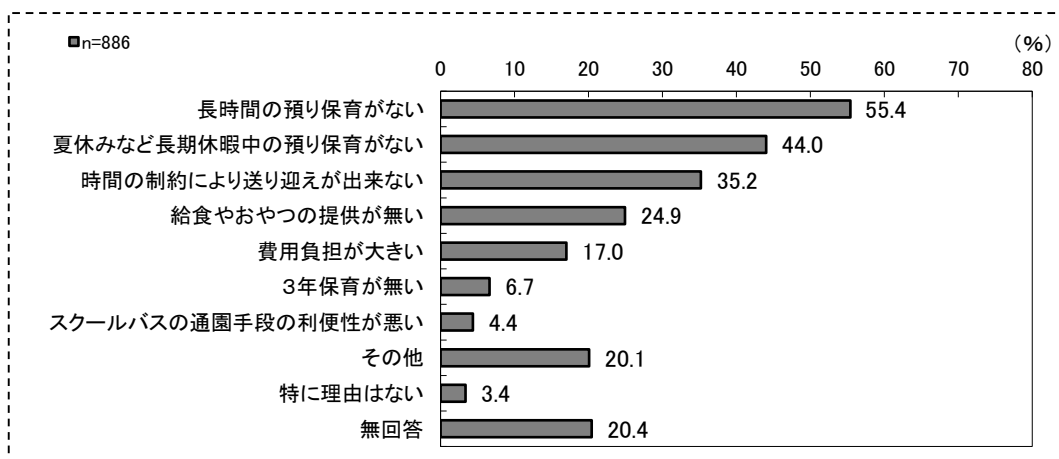
前回調査結果と比較して、「長時間の預かり保育がない」が 18.0 ポイント、「夏休み等長期休暇中の預かり保育がない」が 20.6 ポイント、「時間の制約により送り迎えが出来ない」が 13.9 ポイント増加している。

■ 幼稚園を利用していない理由 ■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



8. 土曜日・休日等の定期的な教育・保育事業の利用について

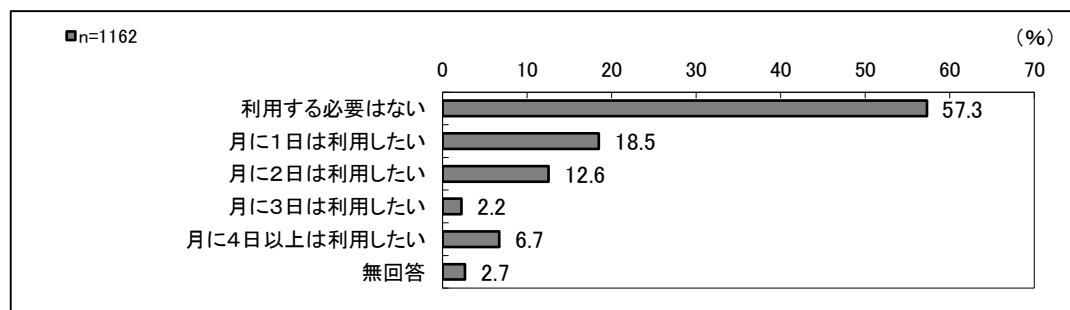
(1) 土曜日：利用希望

問 24 宛名のお子さんについて、土曜日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。

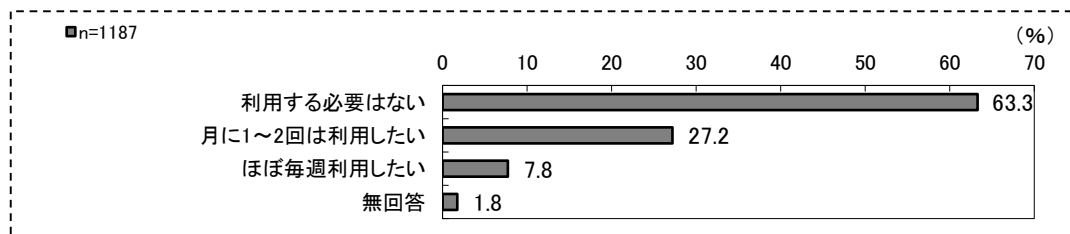
「利用する必要はない」(57.3%) が最も高い割合を占める。
「月に1日は利用したい」(18.5%), 「月に2日は利用したい」(12.6%), 「月に4日以上は利用したい」(6.7%), 「月に3日は利用したい」(2.2%)。

■土曜日：利用希望■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



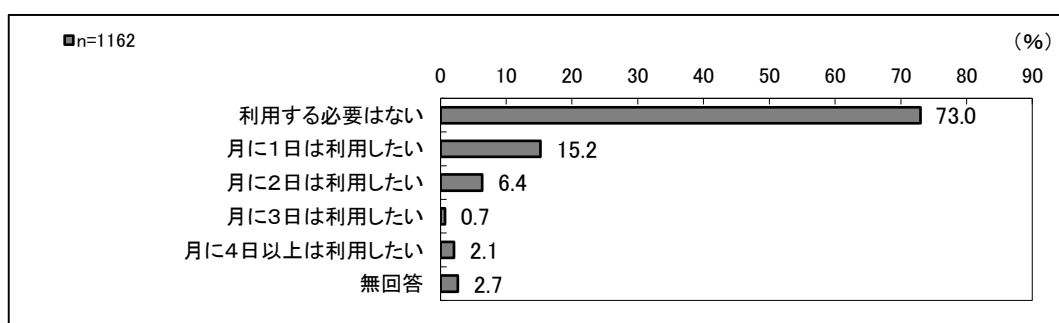
(2) 日曜日・祝日：利用希望

問 25 宛名のお子さんについて、日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。

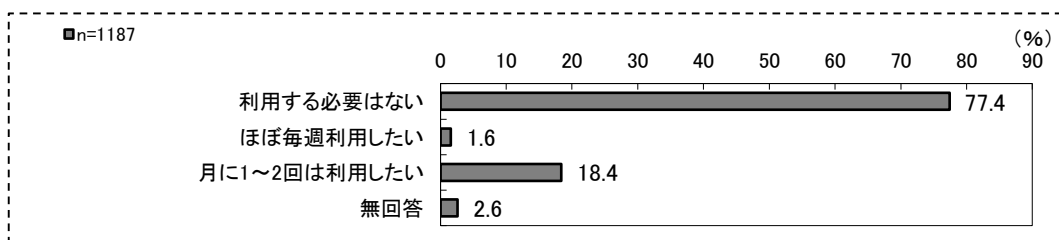
「利用する必要はない」(73.0%) が最も高い割合を占めている。
「月に1日は利用したい」(15.2%), 「月に2日は利用したい」(6.4%), 「月に4日以上は利用したい」(2.1%), 「月に3日は利用したい」(0.7%) がこれに続く。

■日曜日・祝日：利用希望■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(3) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

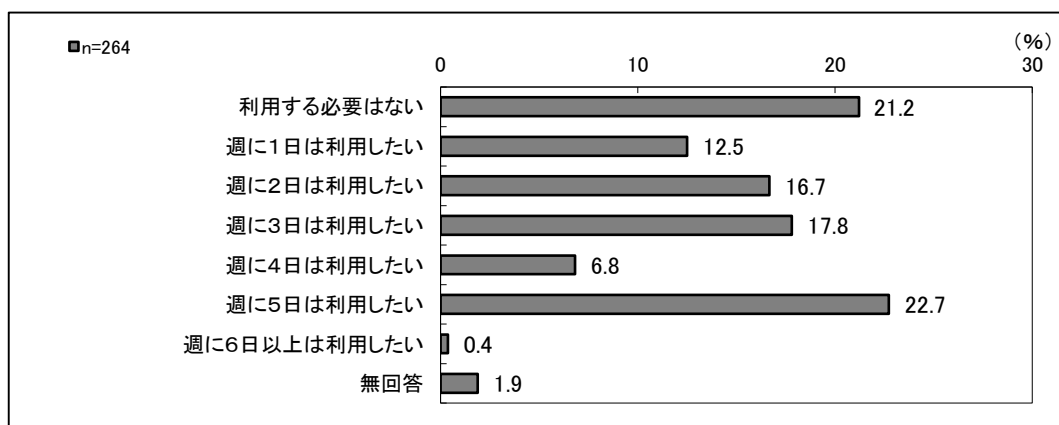
※ 問 19-1 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方のみ
問 26 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休み等の長期休暇中の「預かり保育」の利用希望
はありますか。



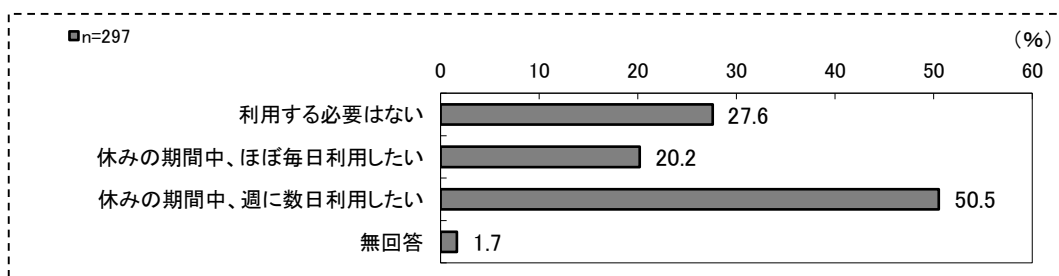
「週に5日は利用したい」(22.7%)が最も高い割合を占めている。
「週に3日は利用したい」(17.8%),「週に2日は利用したい」(16.7%),「週に1日は利用し
たい」(12.5%),「週に4日は利用したい」(6.8%)等がこれに続く。
「利用する必要はない」は21.2%。
前回調査結果に引き続き、「週に5日は利用したい(休みの期間中、ほぼ毎日利用したい)」,
「利用する必要はない」が回答の2割以上を占めている。

■長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望■

【今回調査】



【前回調査(参考)】



9. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

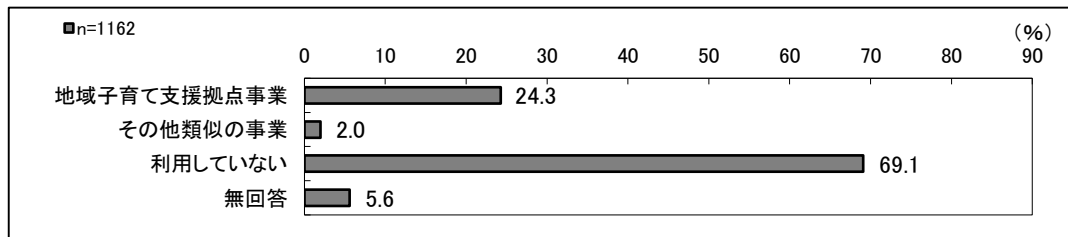
(1) 地域子育て支援事業の利用状況

問 27 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育てひろば」等と呼ばれ、市内の各児童館や子ども家庭支援センターすこやか、プレイセンター等で実施しています。）を利用していますか。

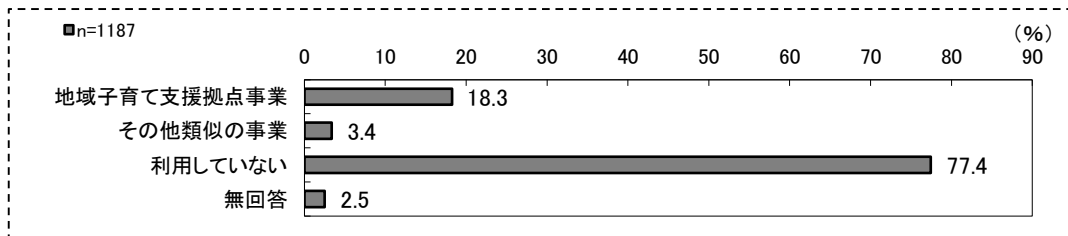
「地域子育て支援拠点事業」(24.3%)、「その他類似の事業」(2.0%)。
前回調査結果と比較して、「地域子育て支援拠点事業」を利用している回答割合は6ポイント増加している。

■地域子育て支援事業の利用状況■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(2) 地域子育て支援事業等の利用回数／月

- 1. 地域子育て支援事業：利用回数／月
- 2. その他類似の事業：利用回数／月

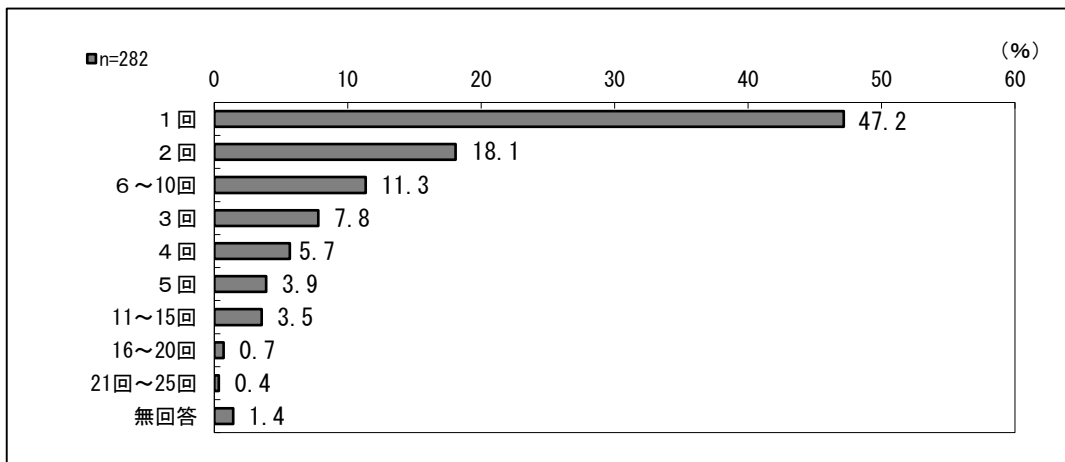


現在の利用状況は以下のとおり。

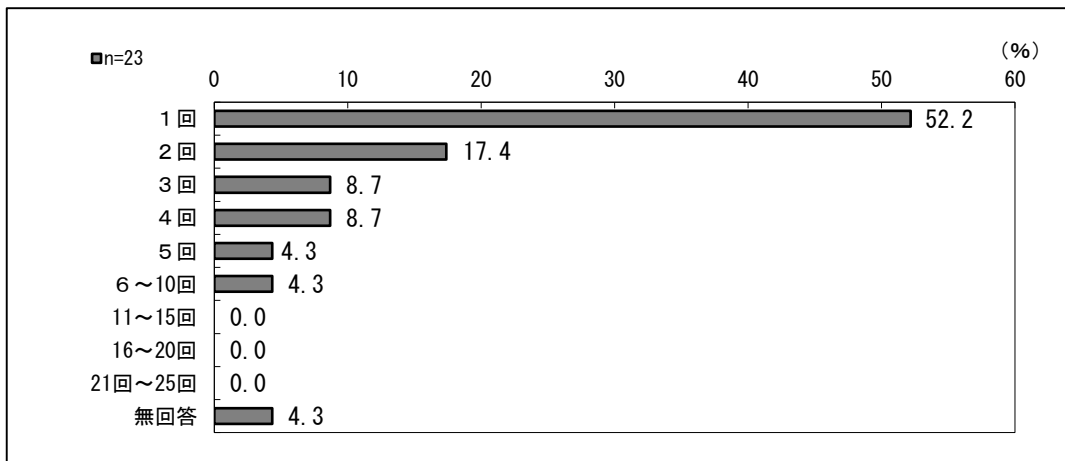
■集計結果 地域子育て支援事業等の利用回数／月■

	地域子育て支援事業 (n=282)	その他類似の事業 (n=23)
平均値	3.20 回	2.23 回
最大値	25.00 回	10.00 回
最小値	0.5 回	1.00 回
無回答数	4 件	1 件

■地域子育て支援事業の利用回数／月■



■その他類似の事業の利用回数／月■



(4) 地域子育て支援事業の利用意向

問 27-1 問 27 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

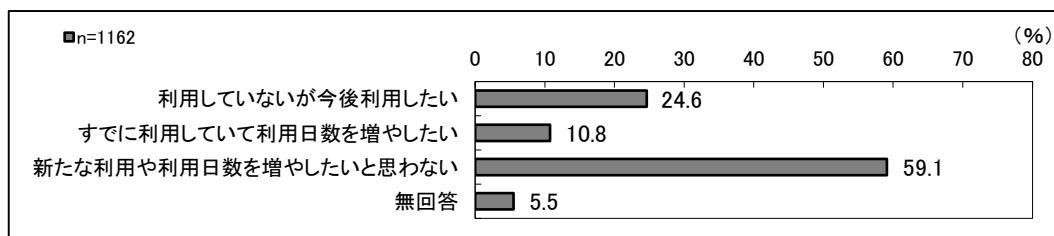


「利用していないが今後利用したい」(24.6%)、「すでに利用していて利用日数を増やしたい」(10.8%)、「新たな利用や利用日数増加したくない」(59.1%)。

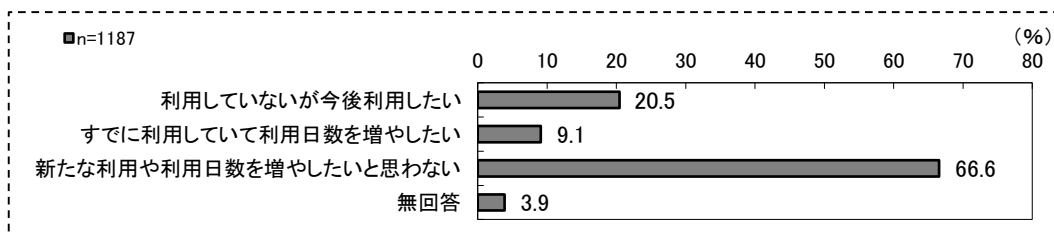
前回調査結果と比較して、「新たな利用や利用日数増加したくない」が7.5ポイント減少している。

■地域子育て支援事業：利用意向■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(5) 地域子育て支援事業の希望利用回数／月

1. (新規で利用したい) 希望利用回数／月
2. (利用を増やしたい) 希望利用回数／月

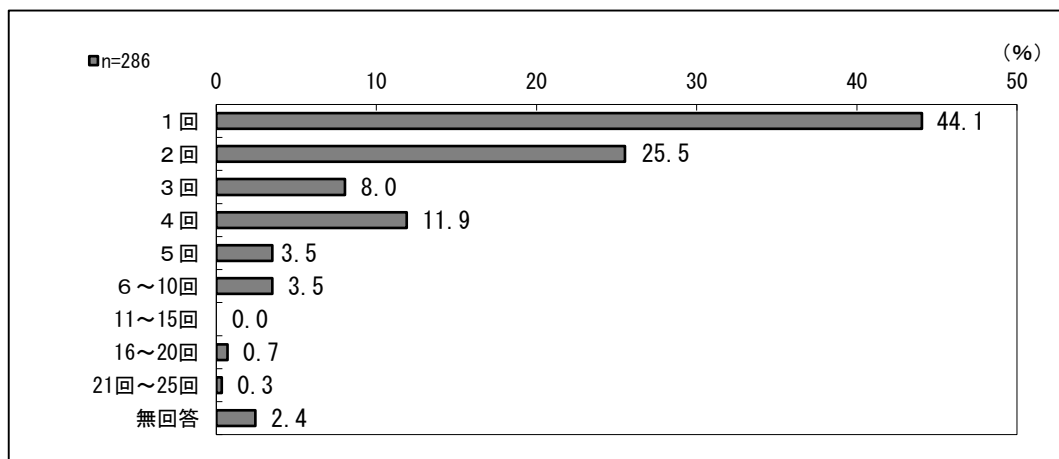


今後の希望利用回数は以下のとおり。

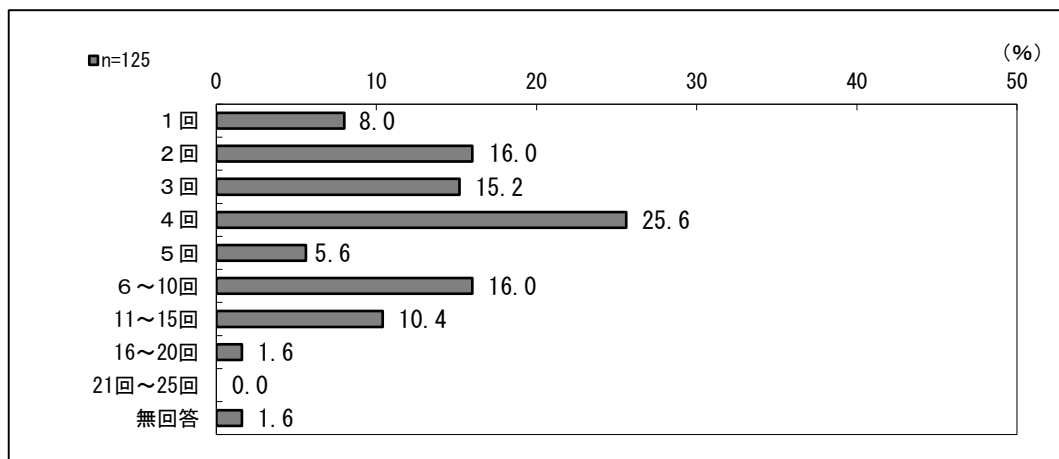
■集計結果 地域子育て支援事業の希望利用回数／月■

	新規で利用したい (n=286)	利用を増やしたい (n=125)
平均値	2.42 回	5.38 回
最大値	25.00 回	20.00 回
最小値	0.5 回	1.00 回
無回答数	7 件	2 件

■新規で利用したい希望回数／月■



■利用を増やしたい希望回数／月■



10. 市の子育て支援サービス等について

(1) 子育てに関する情報の入手先

問 28 あなたは、子育てに関する情報をどこ（誰・何）から入手していますか。【複数回答】

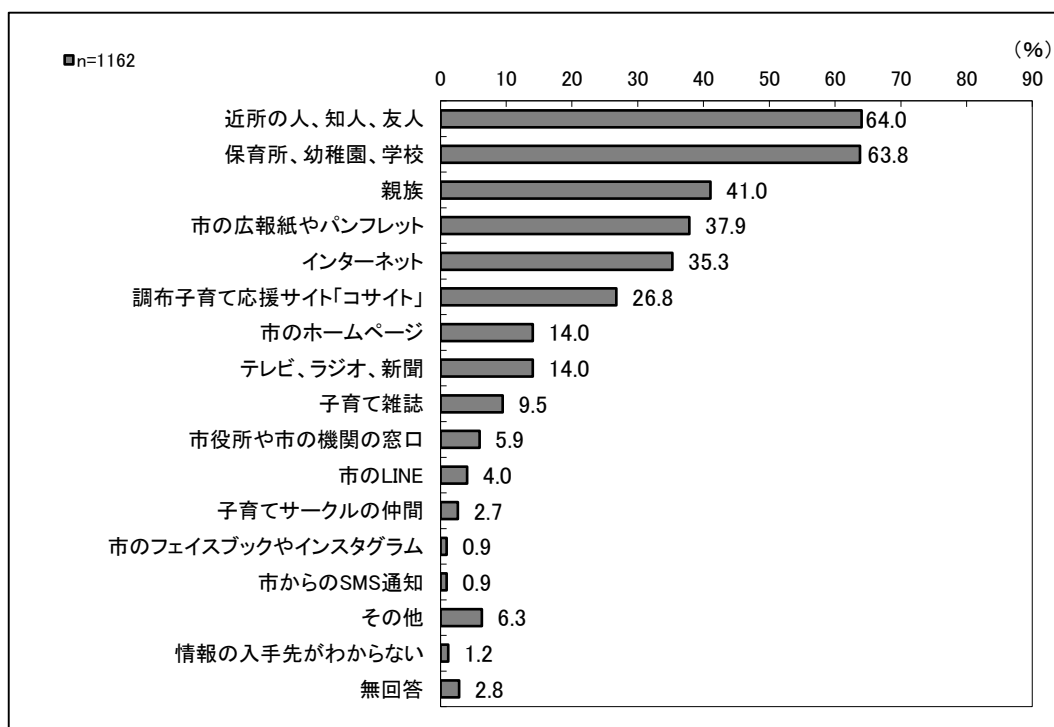
前回調査結果に引き続き、「近所の人、知人、友人」(64.0%)、「保育所、幼稚園、学校」(63.8%)が6割以上と高い割合を占めている。

「親族」(41.0%)、「市の広報紙やパンフレット」(37.9%)、「インターネット」(35.3%)、「調布子育て応援サイト「コサイト」」(26.8%)等がこれに続く。

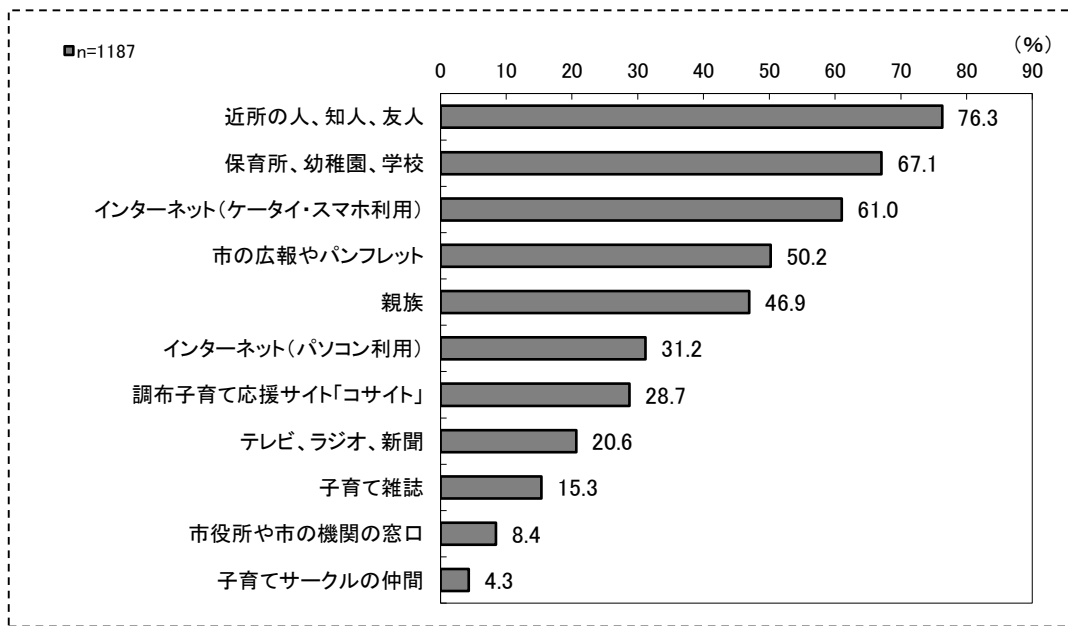
「情報の入手先がわからない」への回答は1.2%であるほか、市のホームページ、フェイスブックやインスタグラム、LINEなどのSNSなどの情報発信による情報の入手が少ない傾向にある。

■子育てに関する情報の入手先■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(2) 子育てに関して欲しい情報

問 28-1 あなたは、子育てに関するどのような情報が欲しいですか。【複数回答】

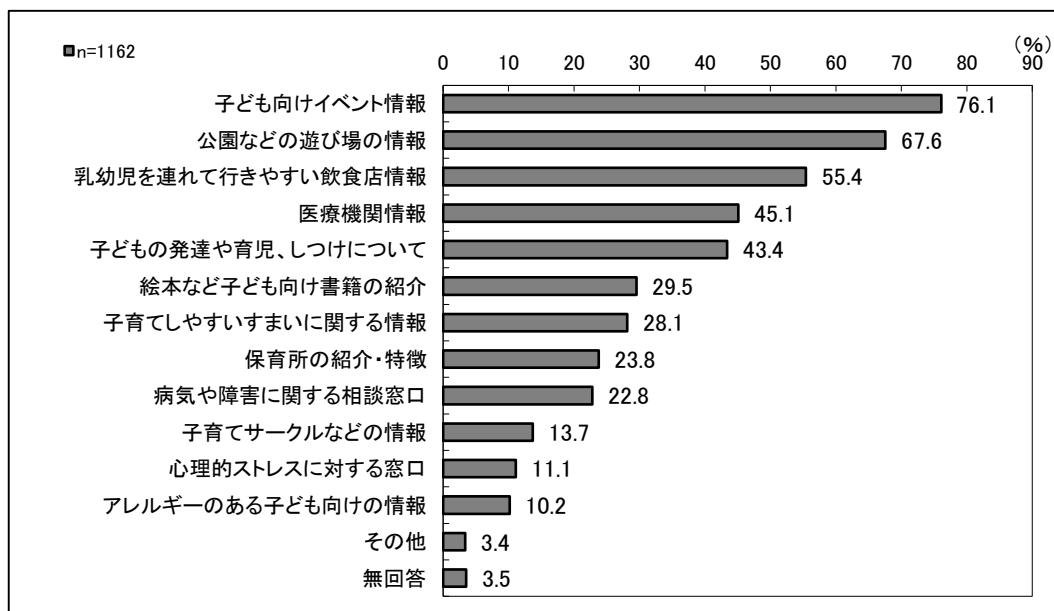
前回調査結果に引き続き、「子ども向けイベント情報」(76.1%)、「公園などの遊び場の情報」(67.6%)が6割以上と高い割合を占めている。

「乳幼児を連れて行きやすい飲食店情報」,「医療機関情報」(45.1%),「子どもの発達や育児,しつけについて」(43.4%),「絵本など子ども向け書籍の紹介」(29.5%),「子育てしやすいすまいに関する情報」(28.1%),「保育所の紹介・特徴」(23.8%)等がこれに続く。

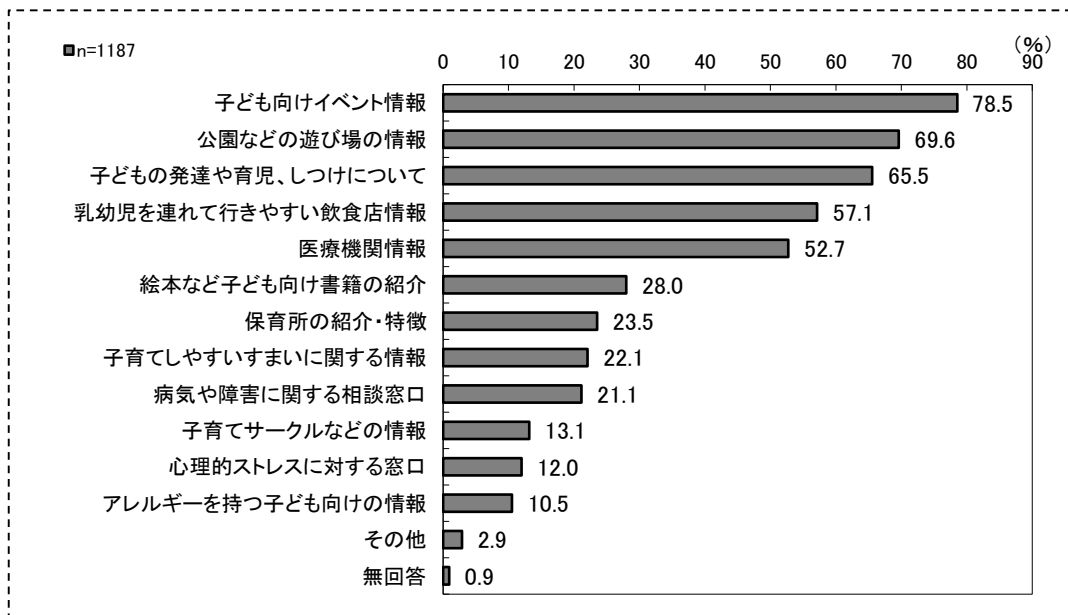
前回調査結果と比較して,「子どもの発達や育児,しつけについて」が22.1ポイント減少している。

■子育てに関して欲しい情報■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(3) 事業・サービス等の認知状況

問 29 下記の事業やサービス等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

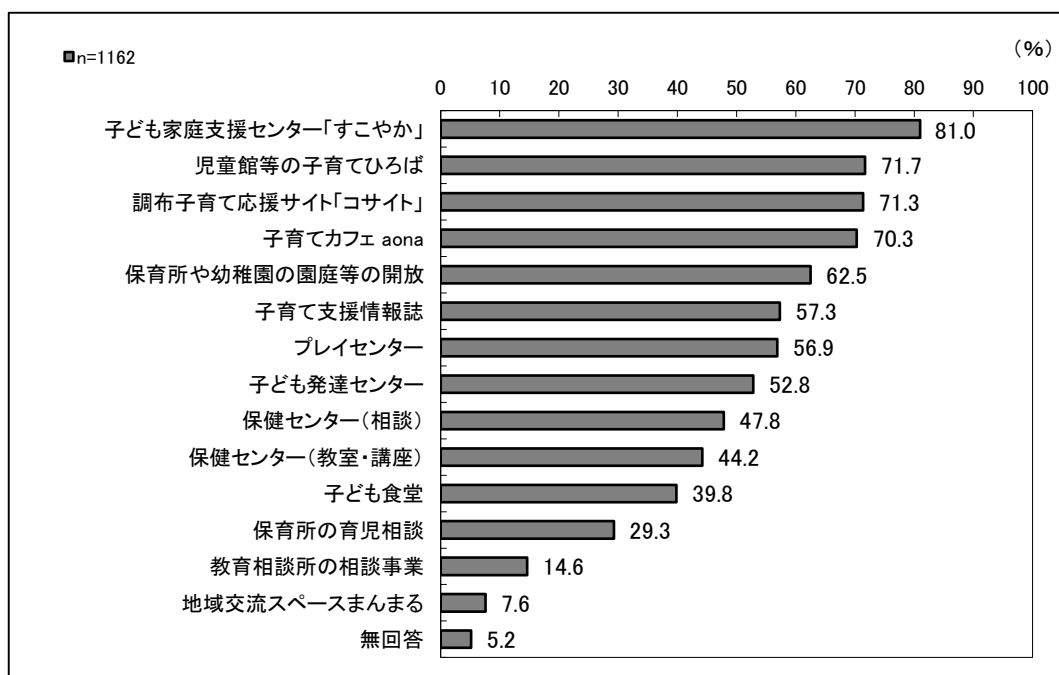
A 事業・サービス等の認知状況

前回調査結果に引き続き、最も認知状況が高かったのは「子ども家庭支援センター「すこやか」」で、81.0%の回答者に認知されている。

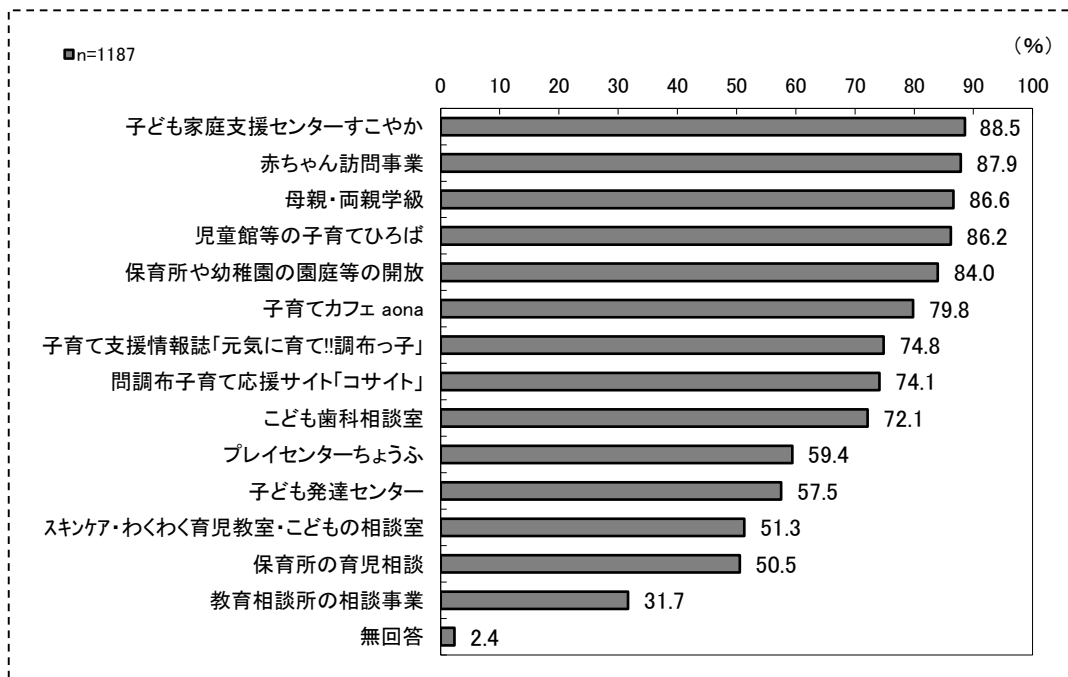
「児童館等の子育てひろば」(71.7%)、「調布子育て応援サイト「コサイト」」(71.3%)、「子育てカフェ aona」(70.3%)等がこれに続く。

■ 事業・サービス等の認知状況 ■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(4) 事業・サービス等の利用状況

問 29 次の施設やサービス等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

B 事業・サービス等の利用状況

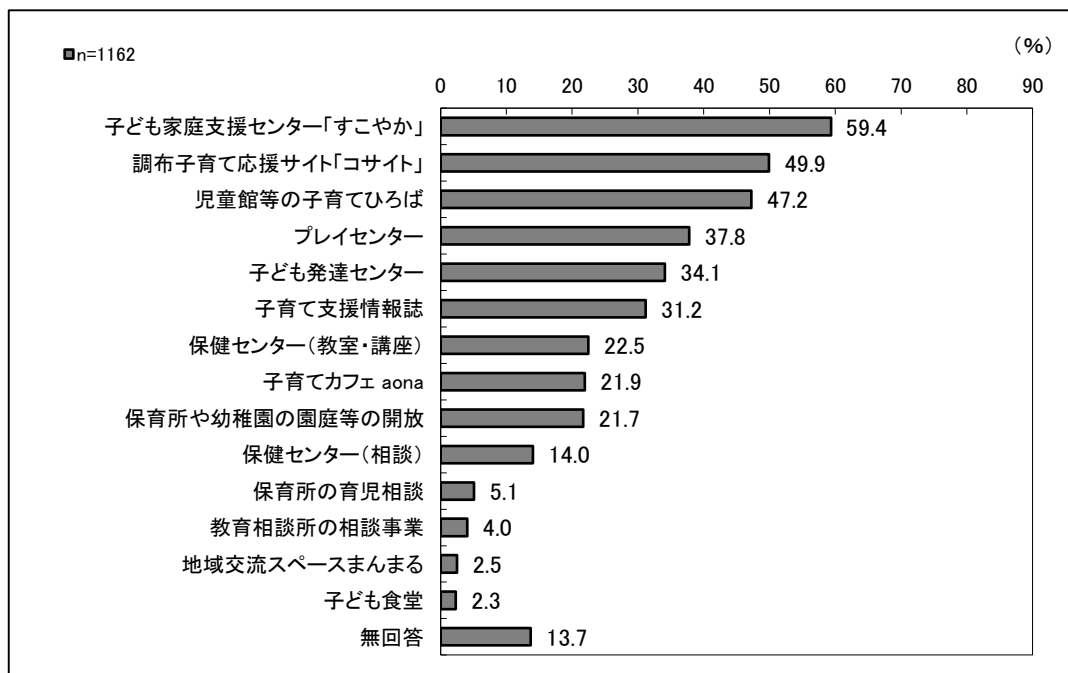
最も利用されているのは「子ども家庭支援センター「すこやか」」で、59.4%の回答者が「利用経験あり」としている。

「調布子育て応援サイト「コサイト」」(49.9%)、「児童館等の子育てひろば」(47.2%)、「プレイセンター」(37.8%)等がこれに続く。

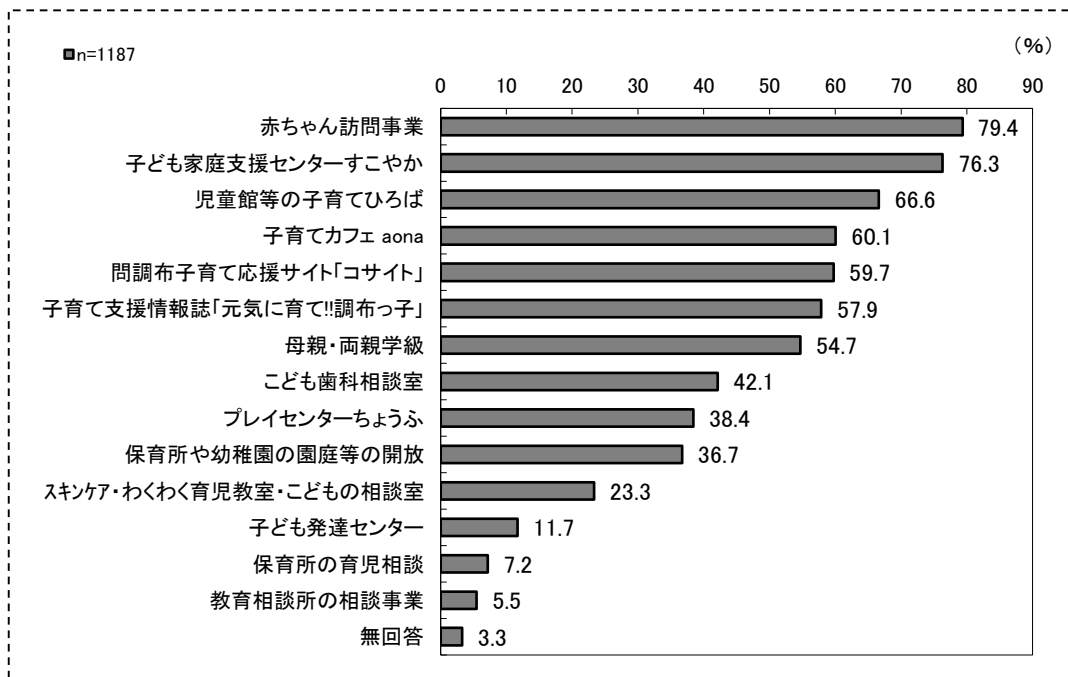
前回調査結果と比較して、「子育てカフェ aona」(38.2ポイント減)、「児童館等の子育てひろば」(19.4ポイント減)、「子ども家庭支援センター「すこやか」」(16.9ポイント減)等の「利用経験あり」が減っている。

■事業・サービス等の利用状況■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(5) 事業・サービス等の利用意向

問 29 次の施設やサービス等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

C 事業・サービス等の利用意向



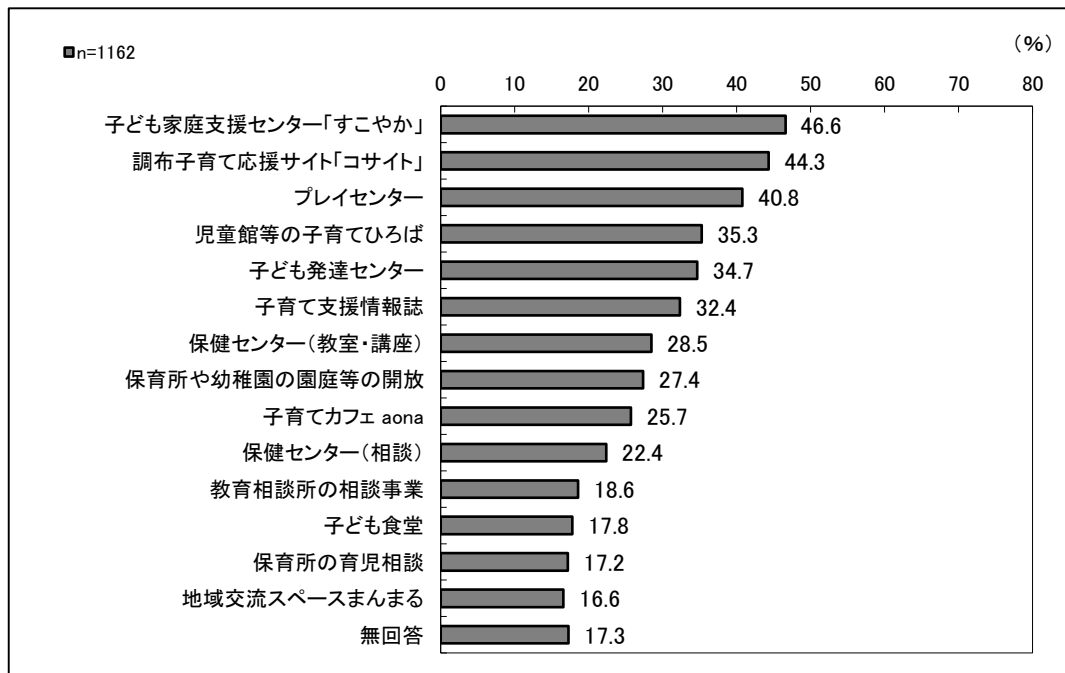
「子ども家庭支援センター「すこやか」(46.6%)、「調布子育て応援サイト「コサイト」(44.3%)、「プレイセンター」(40.8%)が上位3位を占める。

「児童館等の子育てひろば」(35.3%)、「子ども発達センター」(34.7%)、「子育て支援情報誌」(32.4%)、「保健センター(教室・講座)」(28.5%)等がこれに続く。

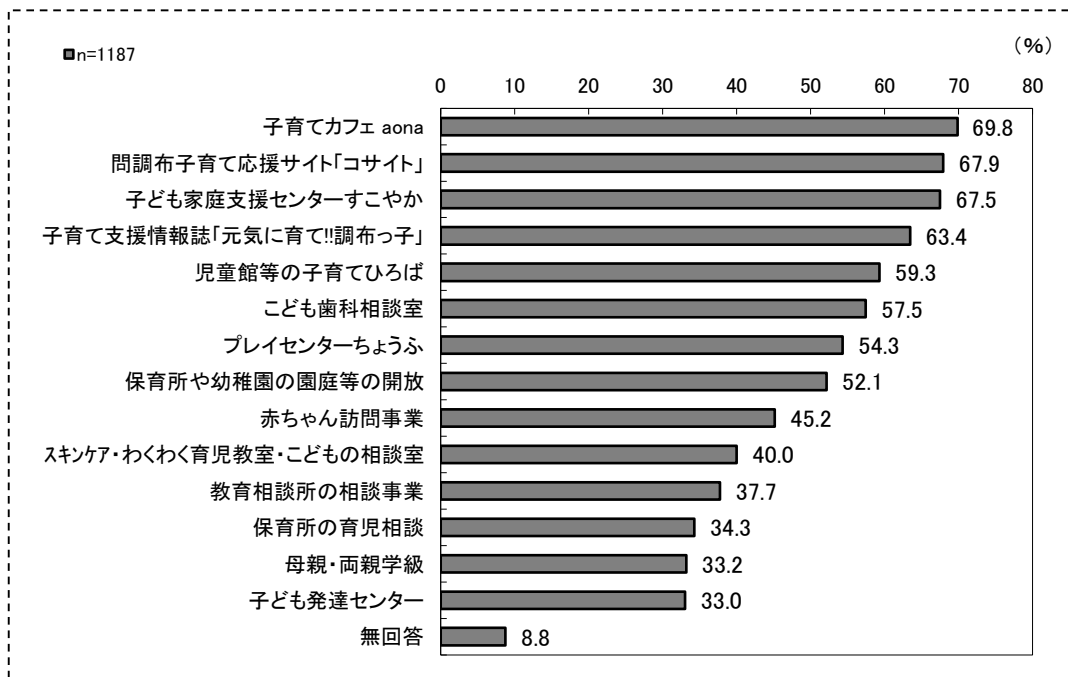
前回調査結果と比較して、「子育てカフェ aona」(44.1ポイント減)、「児童館等の子育てひろば」(24.0ポイント減)、「子ども家庭支援センター「すこやか」(20.9ポイント減)等の利用意向は減少している。

■事業・サービス等の利用意向■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



11. 子どもの病気の際の対応について

(1) 病気やケガで利用できなかったこと

※ 問 19 で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

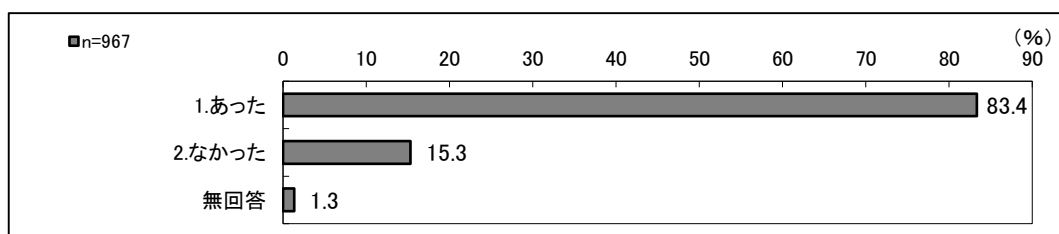
問 30 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」(83.4%), 「なかった」(15.3%)。

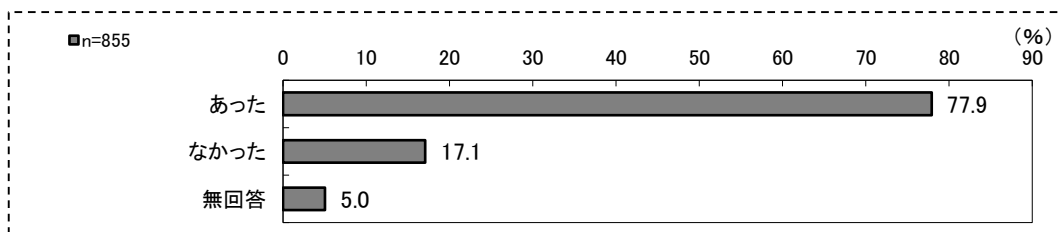
前回調査結果と比較して、「あった」が5.5ポイント増加している。

■病気やケガで利用できなかったこと■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(2) この1年間の対処方法

※ 問30で「1. あった」と回答した方のみ

問30-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

① この1年間の対処方法

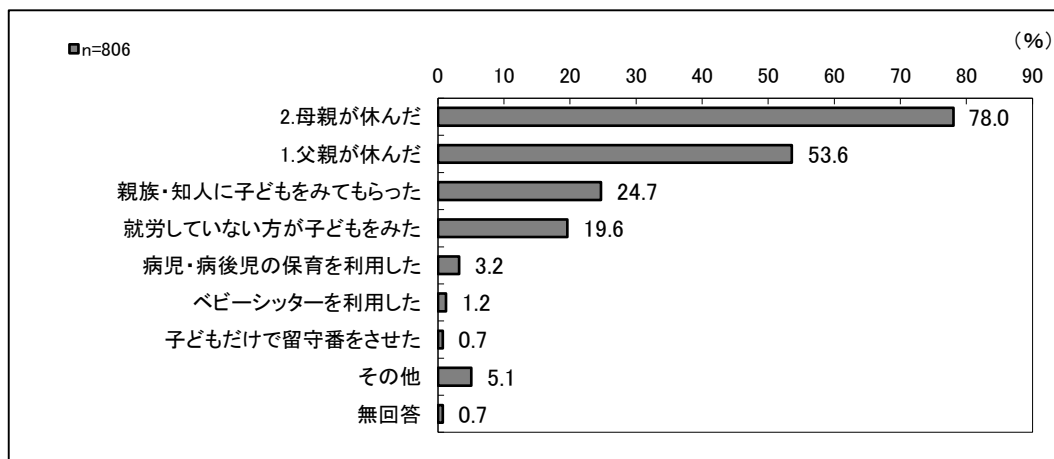
「母親が休んだ」(78.0%)が最も高い割合を占めている。

「父親が休んだ」(53.6%),「親族・知人に子どもをみてもらった」(24.7%),「就労していない方が子どもをみた」(19.6%),「病児・病後児の保育を利用した」(3.2%),「ベビーシッターを利用した」(1.2%),「子どもだけで留守番をさせた」(0.7%)等がこれに続く。

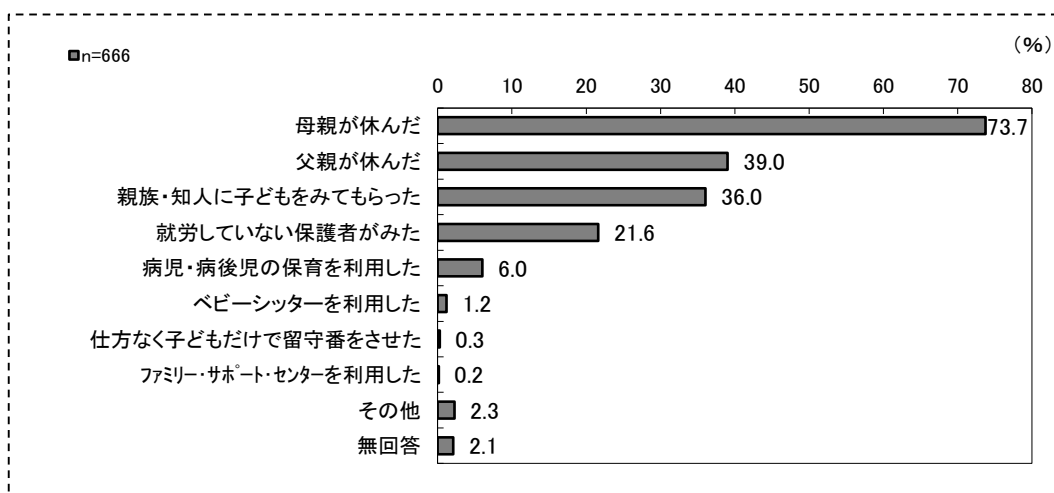
前回調査結果と比較して、「父親が休んだ」が14.6ポイント増加している。

■現状 この1年間の対処方法■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(3) この1年間の対処方法ごとの日数

※ 問30で「1. あった」と回答した方のみ

問30-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

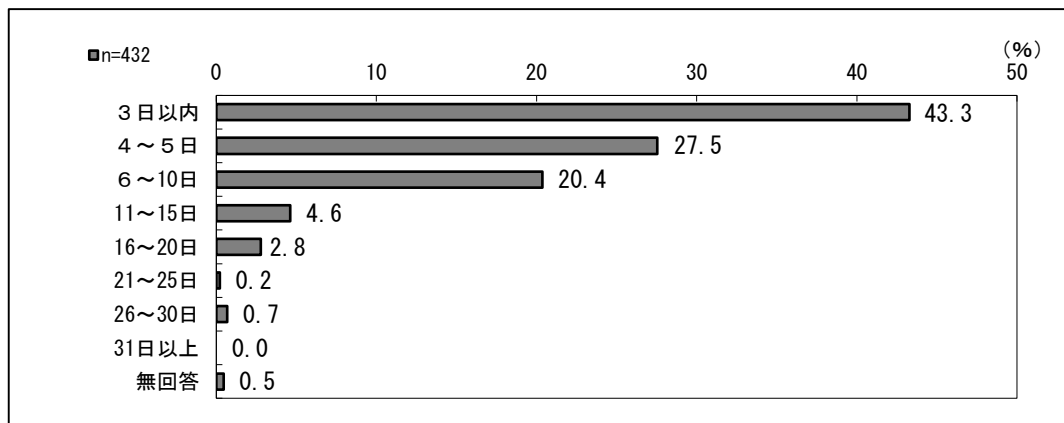


対処方法ごとの日数は以下のとおり。

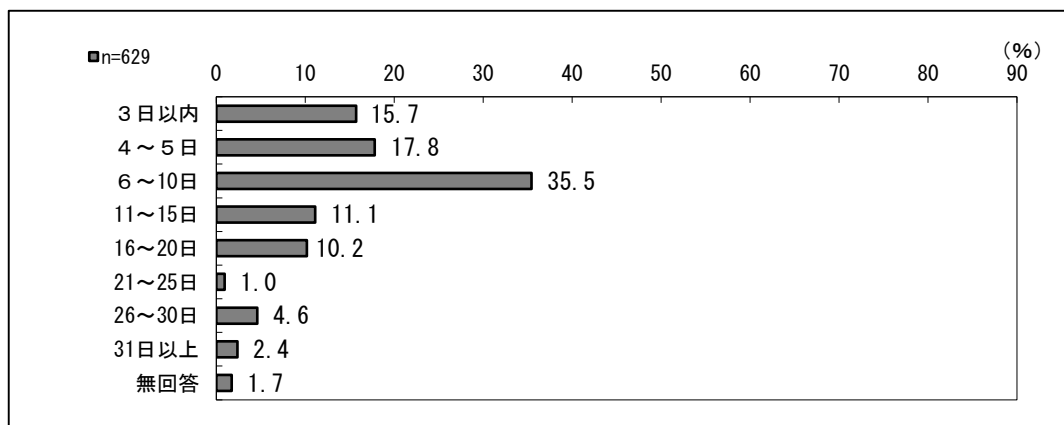
■集計結果 この1年間の対処方法ごとの日数■

	1 (n=432) 父親が休んだ	2 (n=629) 母親が休んだ	3 (n=199) 親族・知人に子どもをみてもらった	4 (n=158) 就労していない方が子どもをみた	5 (n=26) 病児・病後児の保育を利用した	6 (n=10) ベビーシッターを利用した	7 (n=6) 子どもだけで留守番をさせた	8 (n=41) その他
平均値	5.46日	10.81日	7.38日	17.86日	2.81日	7.00日	2.50日	17.27日
最大値	30.00日	60.00日	80.0日	365.00日	10.00日	20.00日	5.00日	200.00日
最小値	0.00日	0.00日	0.00日	1.00日	1.00日	0.00日	1.00日	0.00日
無回答数	0件	9件	3件	7件	0件	1件	0件	4件

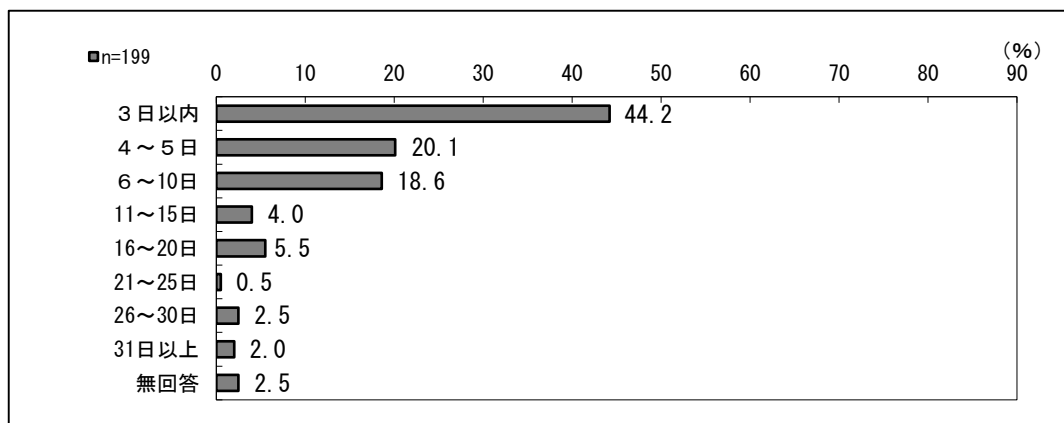
■父親が休んだ日数■



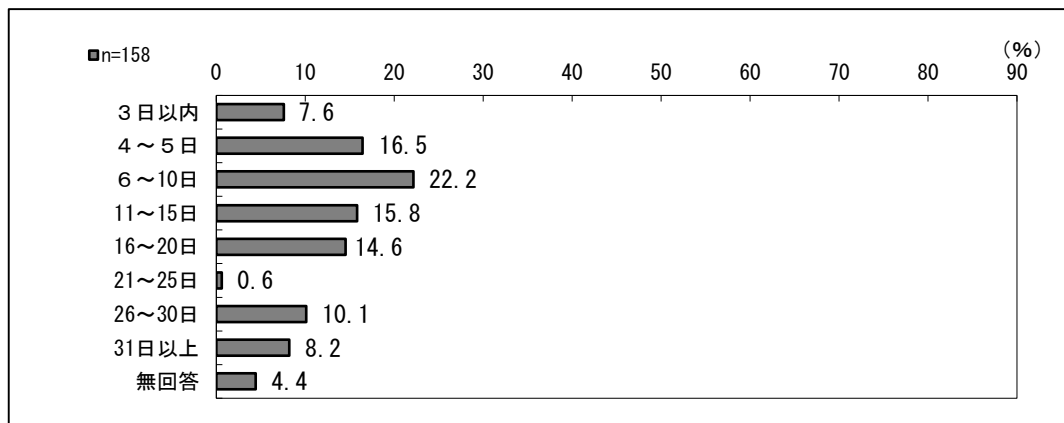
■母親が休んだ日数■



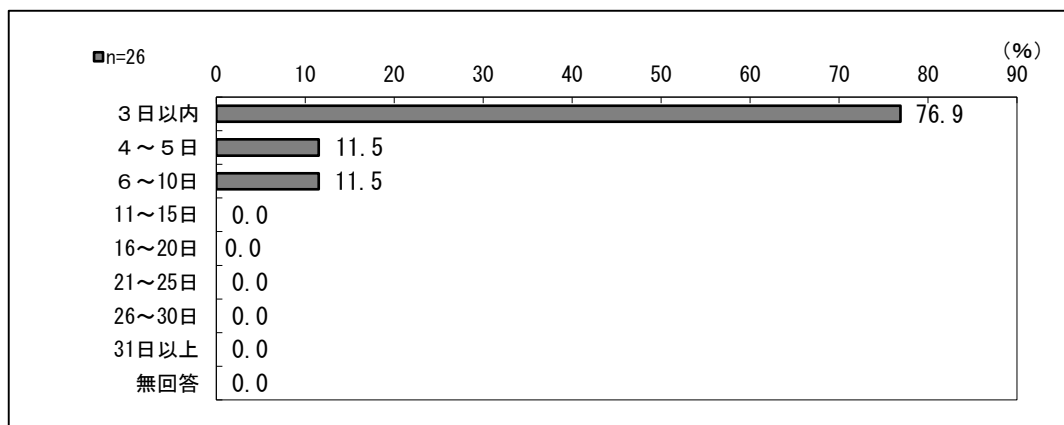
■親族・知人に子どもをみてもらった日数■



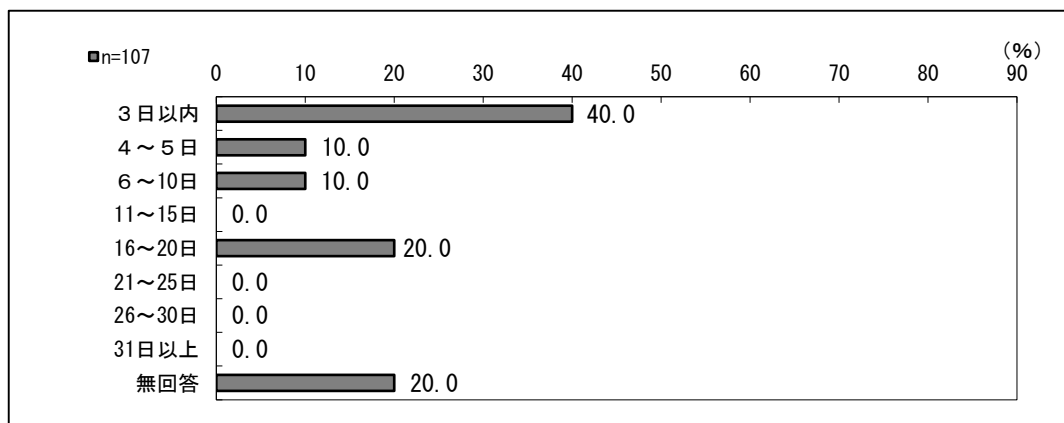
■就労していない方が子どもをみた日数■



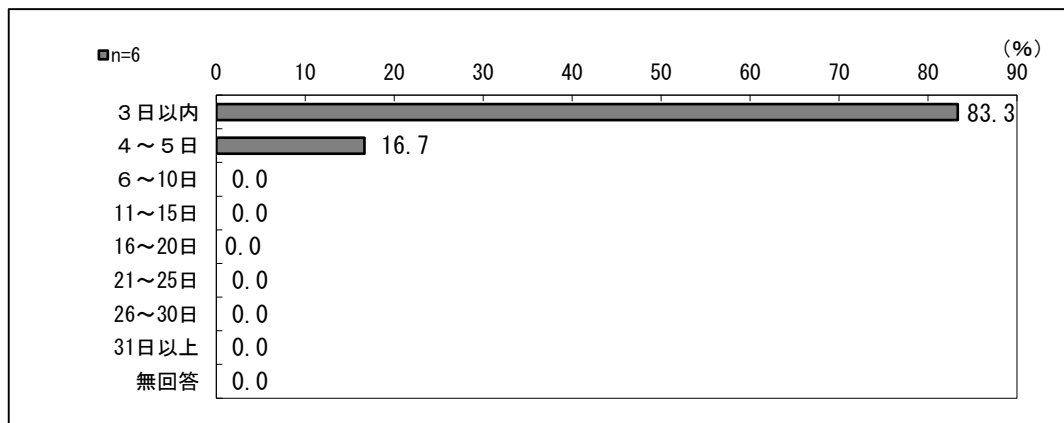
■病児・病後児の保育を利用した日数■



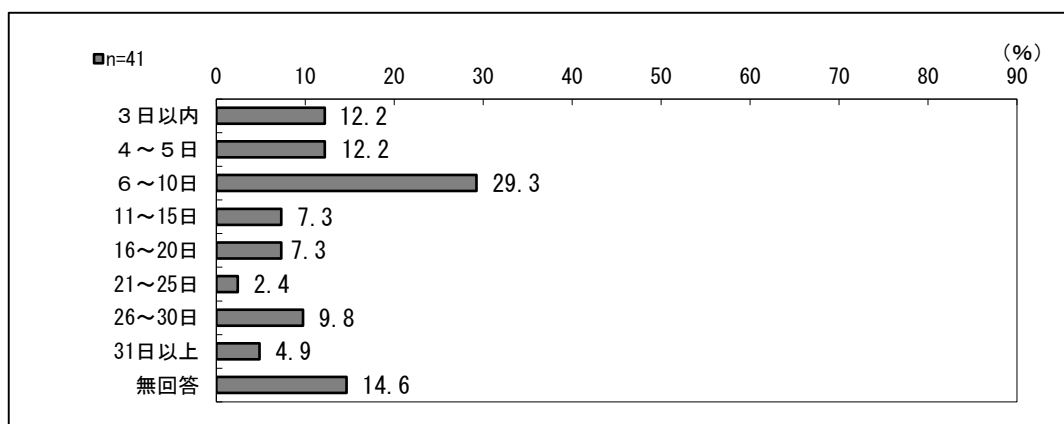
■ベビーシッターを利用した日数■



■子どもだけで留守番をさせた日数■



■その他■



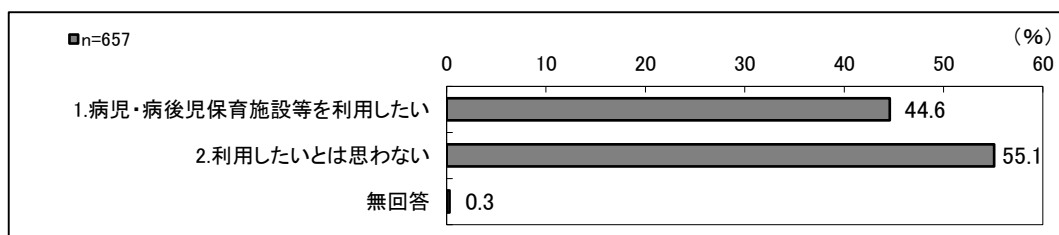
(4) 病児・病後児保育の利用意向

※ 問 30-1 で「1」または「2」のいずれかに○をつけた方のみ
問 30-2 今後、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いますか。

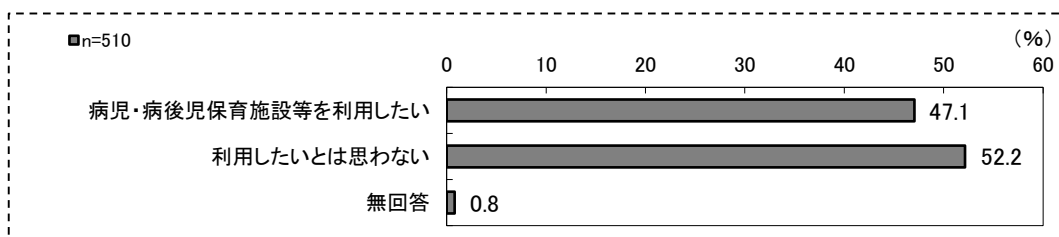
「利用したいとは思わない」(55.1%)、「病児・病後児保育施設等を利用したい」(44.6%)。
前回調査結果との顕著な違いはみられない。

■病児・病後児保育の利用意向■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(5) 利用希望日数／年

問 30-2-1 利用希望日数／年

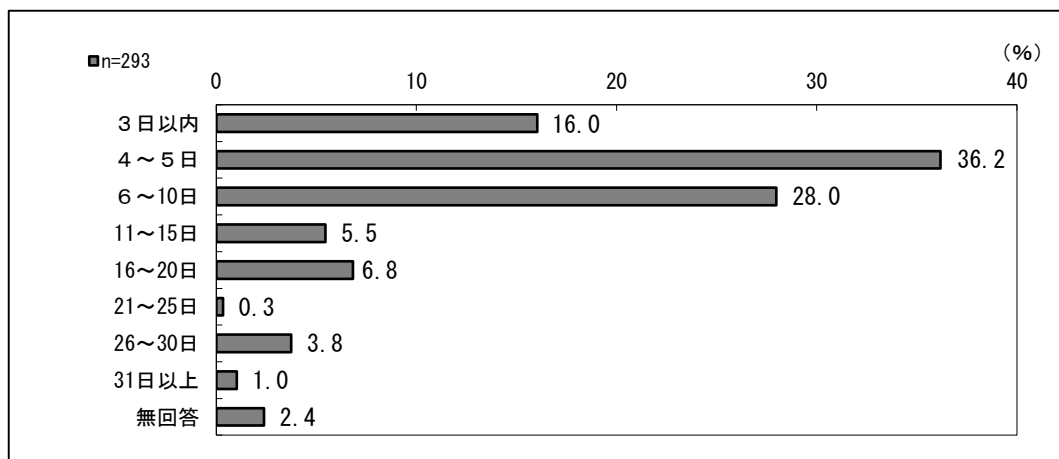


病児・病後児保育の利用希望日数／年は以下のとおり。

■集計結果 利用希望日数／年■

n=293	利用希望日数／年
平均値	8.78 日
最大値	60.00 日
最小値	0.00 日
無回答数	4 件

■病児・病後児保育の利用希望日数／年■



(6) 利用したいと思わない理由

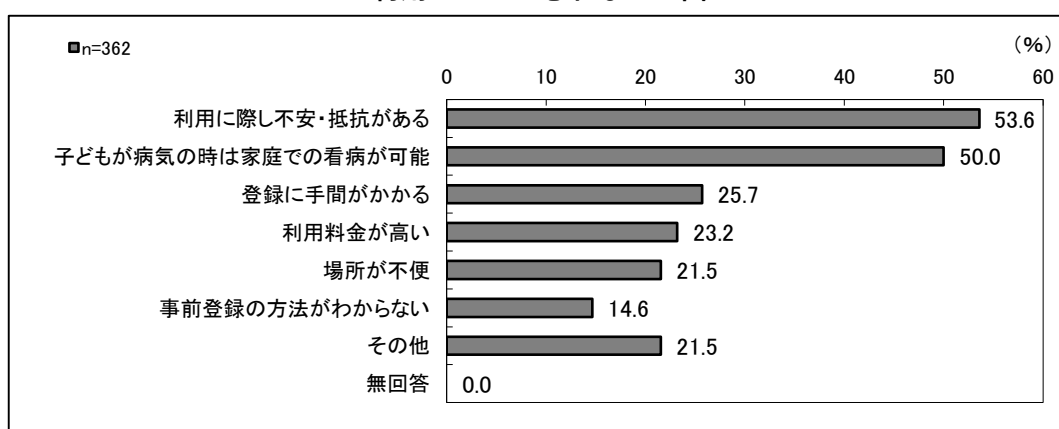
※ 問 30-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方のみ
問 30-3 利用したいと思わない理由をお答えください。【複数回答】



「利用に際し不安・抵抗がある」(53.6%) が最も高い割合を占めている。

「子どもが病気の際は家庭での看病が可能」(50.0%), 「登録に手間がかかる」(25.7%), 「利用料金が高い」(23.2%), 「場所が不便」(21.5%), 「事前登録の方法がわからない」(14.6%), 等がこれに続く。

■利用したいと思わない理由■



12. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 不定期に利用している事業

問 31 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している（利用したことがある）事業や今後利用したい事業について伺います。

次のうち、利用している（利用したことがある）事業についてあてはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を□内に数字でご記入ください。

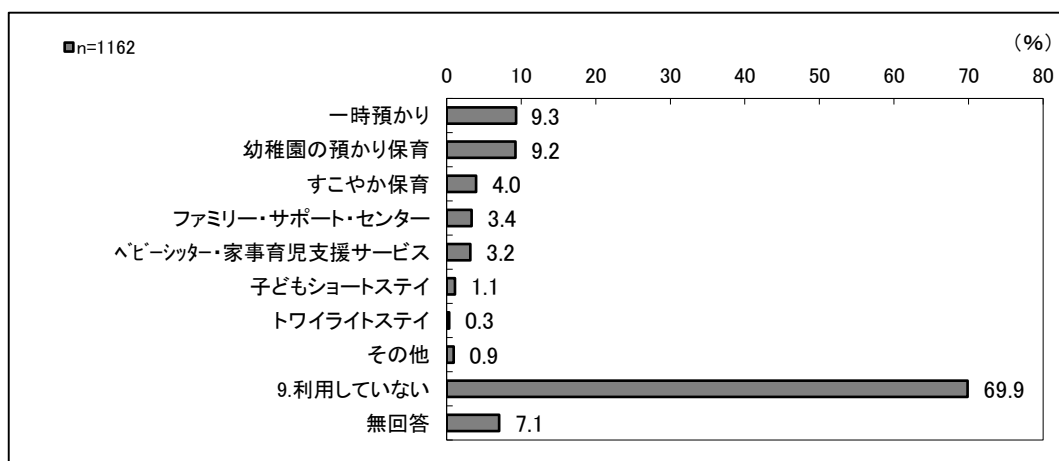


前回調査結果に引き続き、「利用していない」（69.9%）が最も高い割合を占めている。

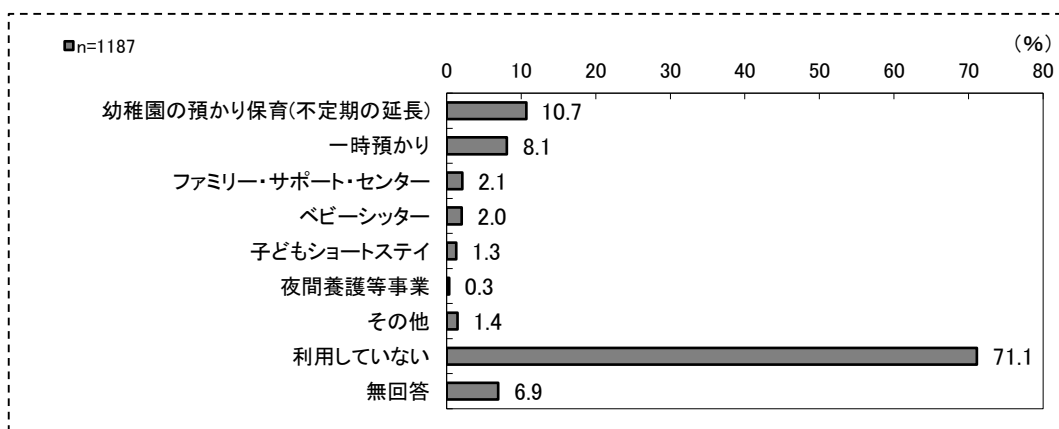
「一時預かり」（9.3%）、「幼稚園の預かり保育」（9.2%）、「すこやか保育」（4.0%）等がこれに続く。

■不定期に利用している事業■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(2) 不定期に利用している事業の利用日数

問 31 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している（利用したことがある）事業や今後利用したい事業について伺います。

次のうち、利用している（利用したことがある）事業についてあてはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を□内に数字でご記入ください。

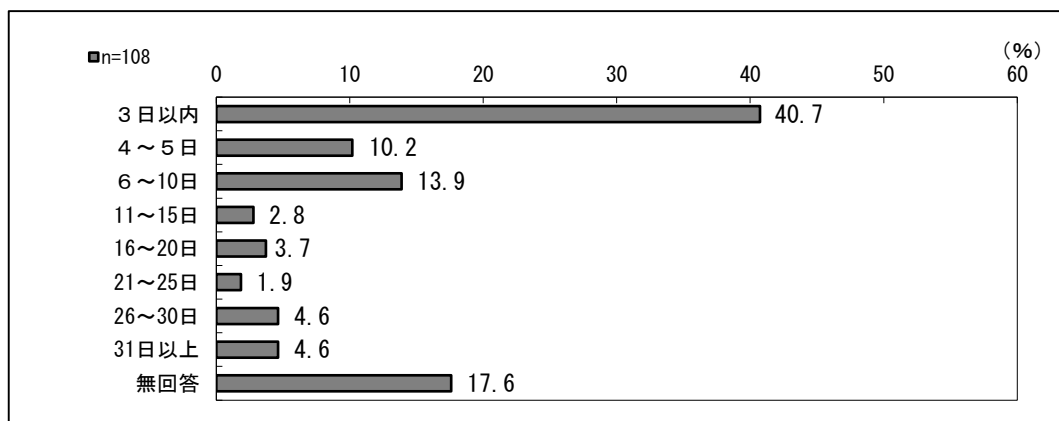


サービスごとの年間利用日数は以下のとおり。

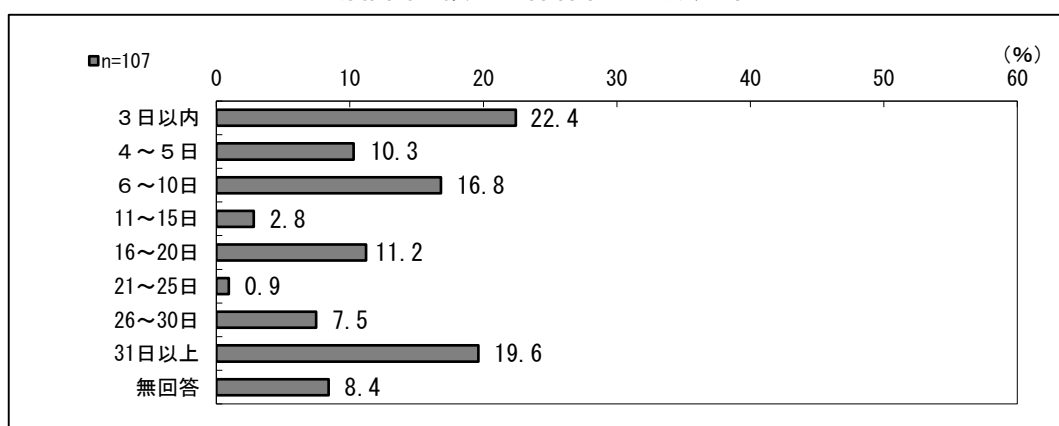
■集計結果 不定期に利用している事業の利用日数／年■

	1 (n=108) 一時預かり	2 (n=107) 幼稚園の預かり保育	3 (n=39) ファミリー・サポート・センター	4 (n=46) すこやか保育	5 (n=4) トワイライトステイ	6 (n=13) 子どもショートステイ	7 (n=37) 家事育児支援サービス ベビーシッター	8 (n=11) その他
平均値	10.03 日	26.85 日	7.64 日	5.66 日	8.00 日	8.92 日	9.34 日	9.45 日
最大値	108.00 日	201.00 日	50.00 日	50.00 日	20.00 日	48.00 日	50.00 日	30.00 日
最小値	0.00 日	0.00 日	0.00 日	0.00 日	1.00 日	0.00 日	0.00 日	0.00 日
無回答数	14 件	8 件	6 件	5 件	1 件	1 件	2 件	0 件

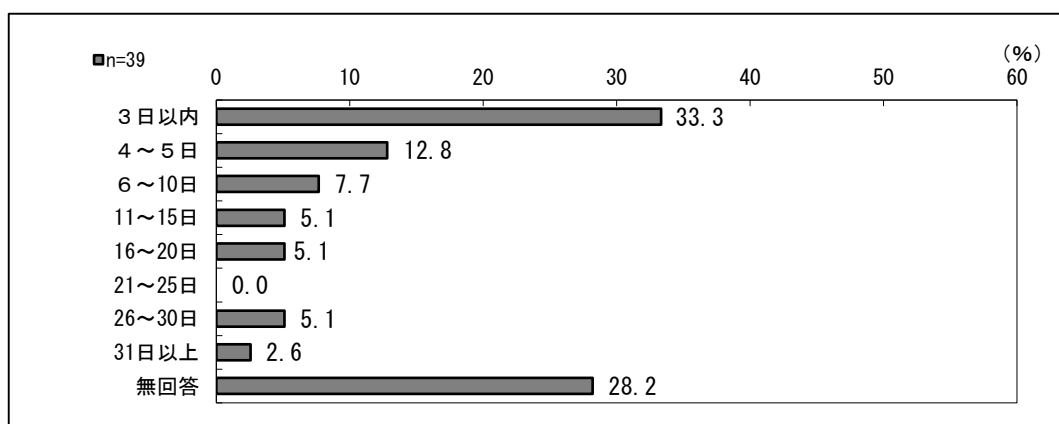
■一時預かり利用日数／年■



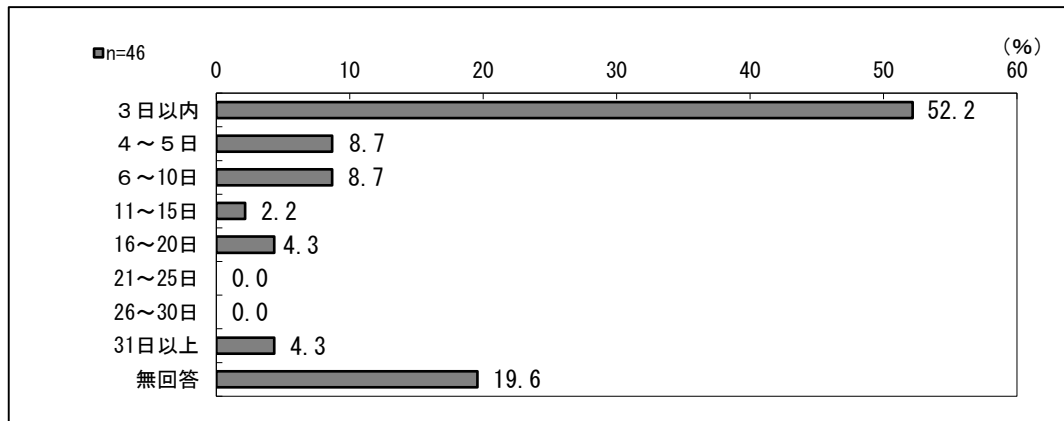
■幼稚園の預かり保育利用日数／年■



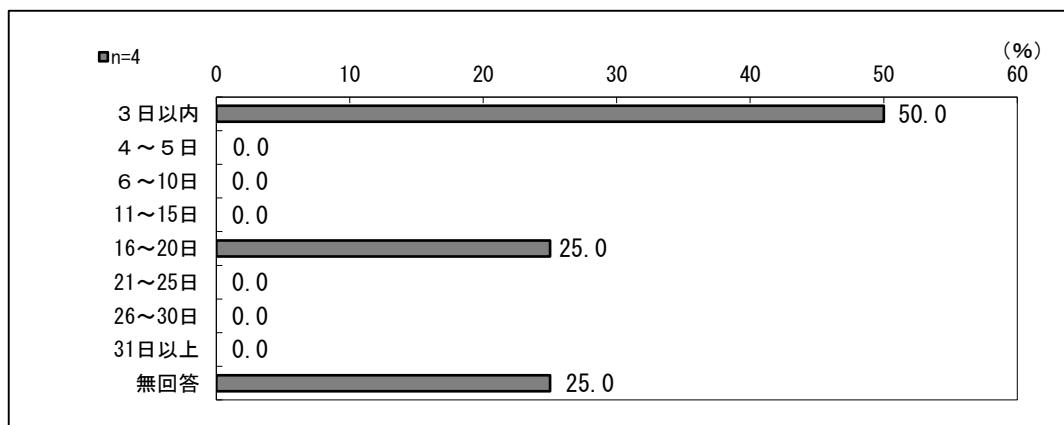
■ファミリー・サポート・センター利用日数／年■



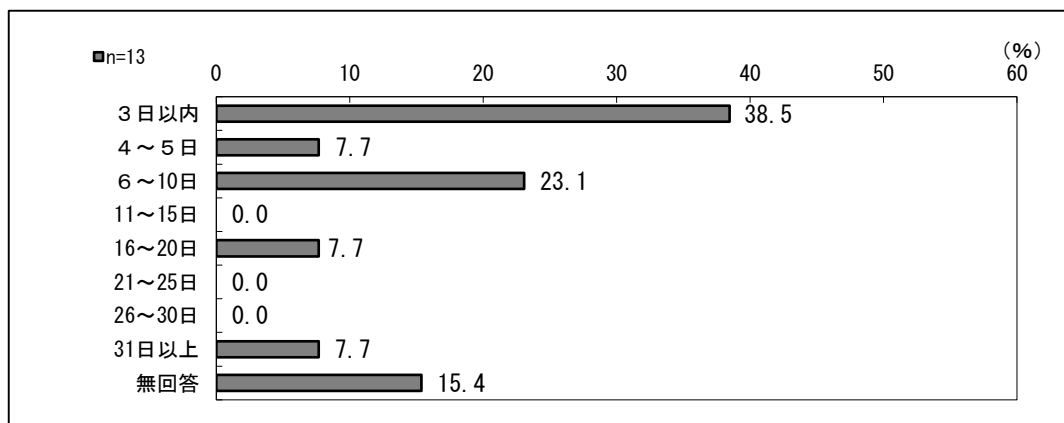
■すこやか保育利用日数／年■



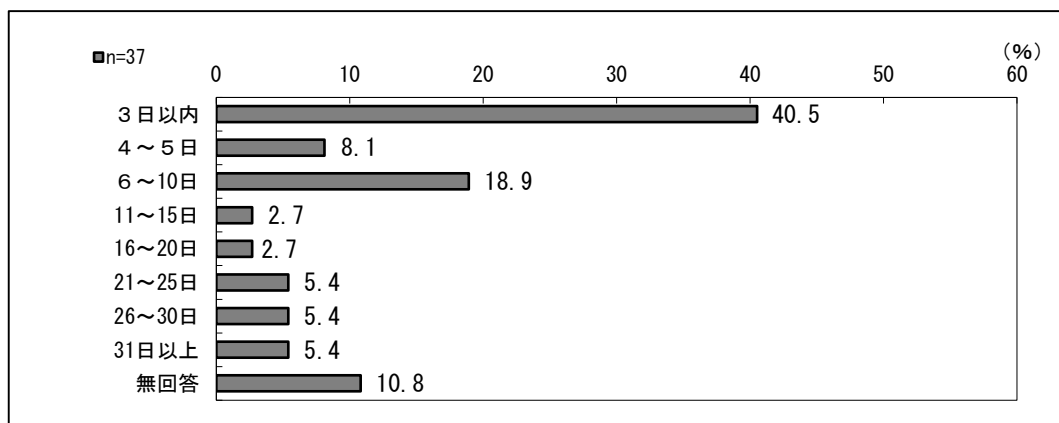
■トワイライトステイ利用日数／年■



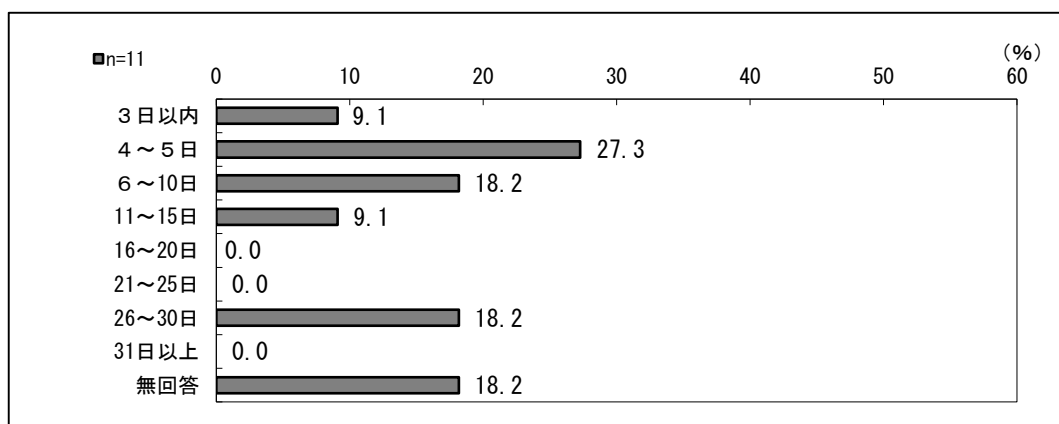
■子どもショートステイ利用日数／年■



■ベビーシッター・家事育児支援サービス利用日数／年■



■その他利用日数／年■



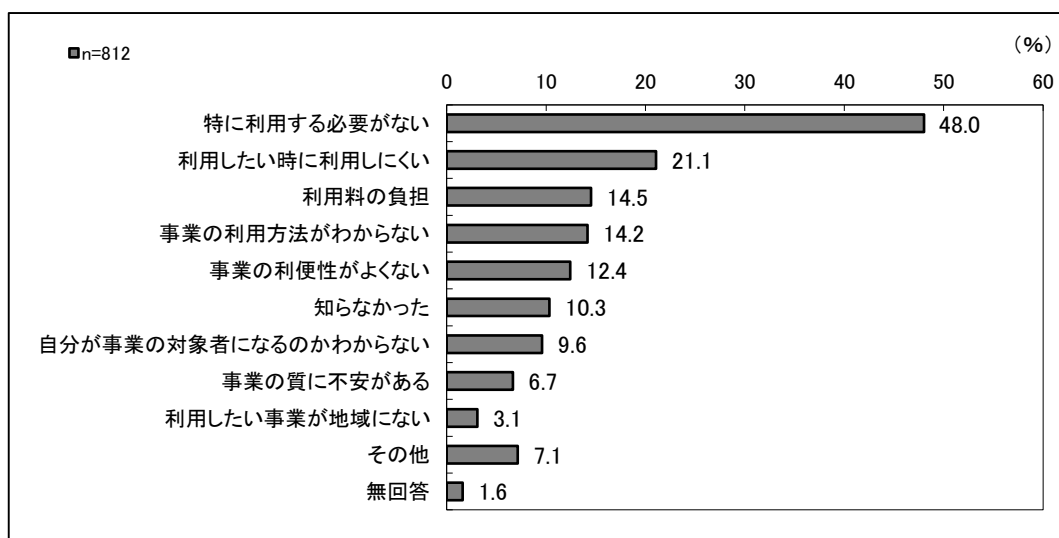
(3) 利用していない理由

※ 問 31 で「9. 利用していない」に○をつけた方のみ
問 31-1 利用していない理由をお答えください。



「特に利用する必要がない」(48.0%) 最も高い割合を占めている。
「利用したい時に利用しにくい」(21.1%), 「利用料の負担」(14.5%), 「事業の利用方法がわからない」(14.2%) 等がこれに続く。

■利用していない理由■



(4) 今後利用したい事業

※ 問 31 で「9. 利用していない」に○をつけた方のみ

問 31-2 次のうち、今後利用したい事業についてあてはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を□内に数字でご記入ください。

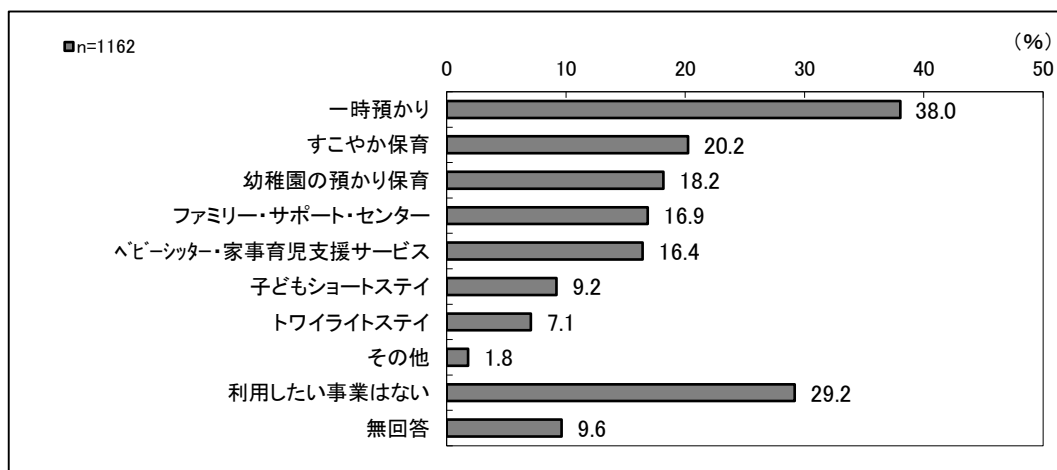


「一時預かり」(38.0%) が最も高い割合を占めている。

「すこやか保育」(20.2%)、「幼稚園の預かり保育」(18.2%)、「ファミリー・サポート・センター」(16.9%) 等がこれに続く。

「利用したい事業はない」は 29.2%。

■今後利用したい事業■



(5) 今後利用したい事業の利用希望日数

※ 問 31 で「9. 利用していない」に○をつけた方のみ

問 31-2 次のうち、今後利用したい事業についてあてはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を□内に数字でご記入ください。

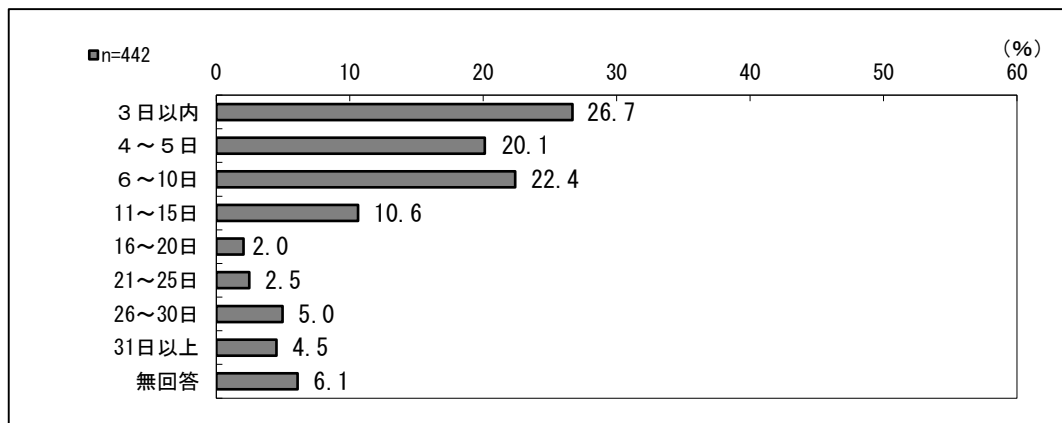


サービスごとの年間利用希望日数は以下のとおり。

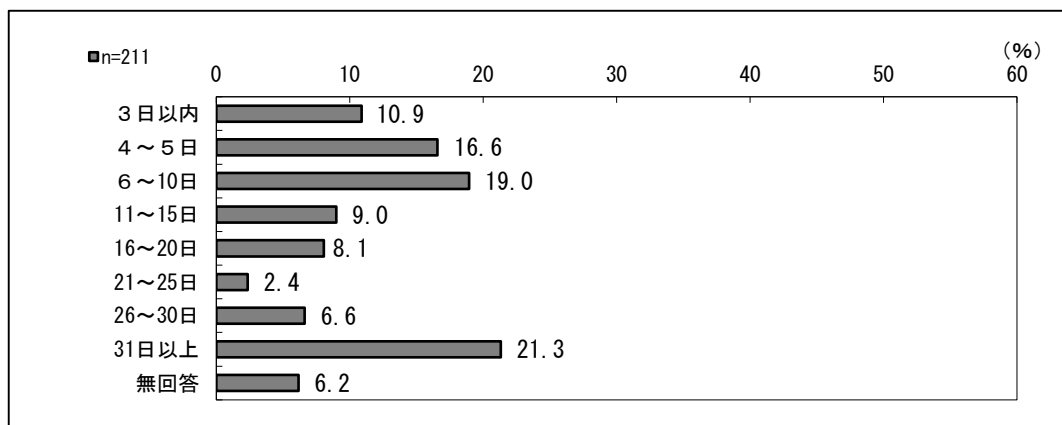
■集計結果 今後利用したい事業の利用希望日数／年■

	1 (n=442) 一時預かり	2 (n=211) 幼稚園の預かり保育	3 (n=196) ファミリー・サポート・センター	4 (n=235) すこやか保育	5 (n=82) トワイライトステイ	6 (n=107) 子どもショートステイ	7 (n=191) 家事育児支援サービス ベビーシッター	8 (n=21) その他
平均値	12.35 日	32.90 日	25.64 日	9.38 日	7.49 日	5.84 日	12.04 日	19.47 日
最大値	340.00 日	255.00 日	240.00 日	192.00 日	100.00 日	50.00 日	200.0 日	200.00 日
最小値	0.00 日	0.00 日	0.00 日	0.00 日	0.00 日	0.00 日	0.00 日	0.00 日
無回答数	18 件	11 件	19 件	14 件	4 件	8 件	10 件	6 件

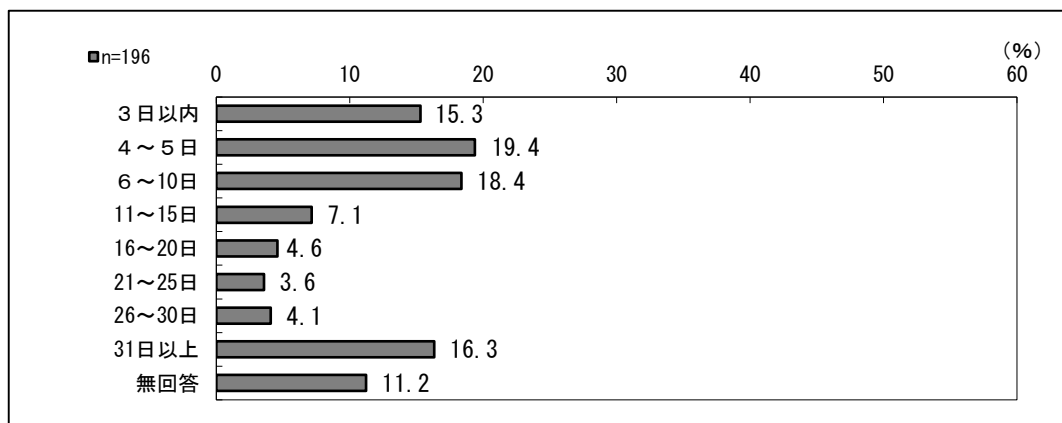
■一時預かり利用希望日数／年■



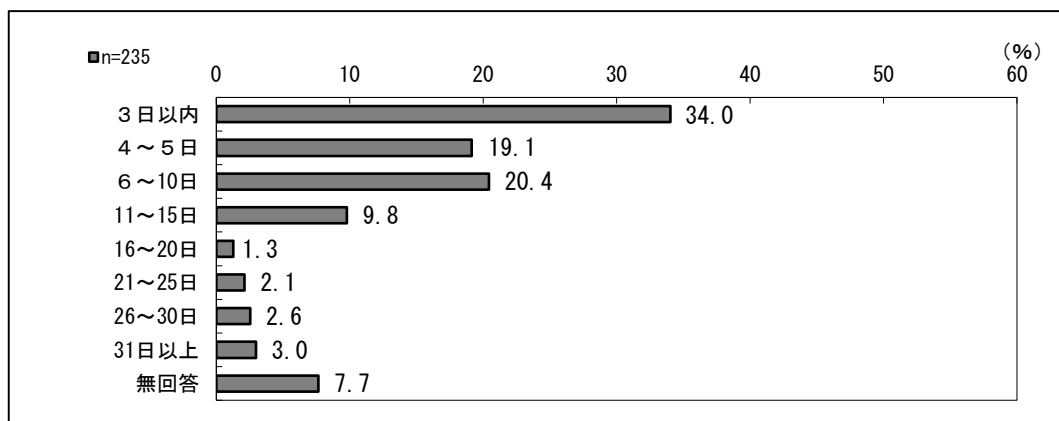
■幼稚園の預かり保育利用希望日数／年■



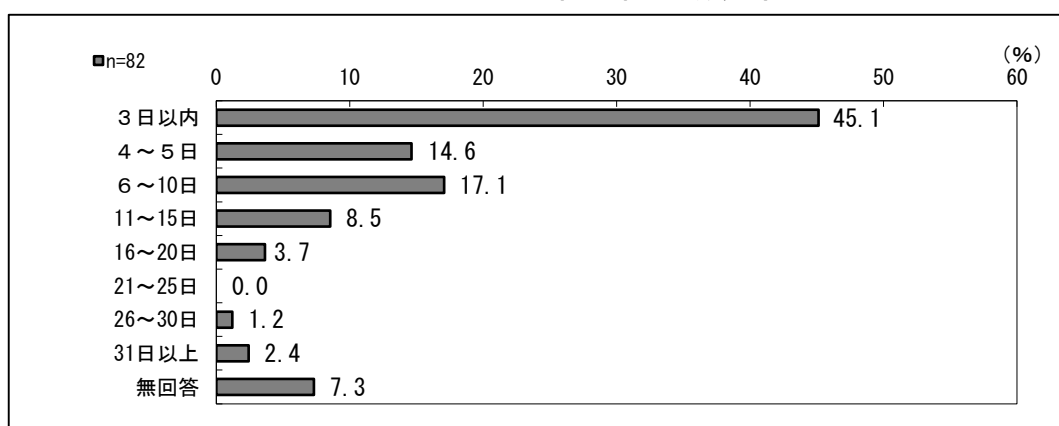
■ファミリー・サポート・センター利用希望日数／年■



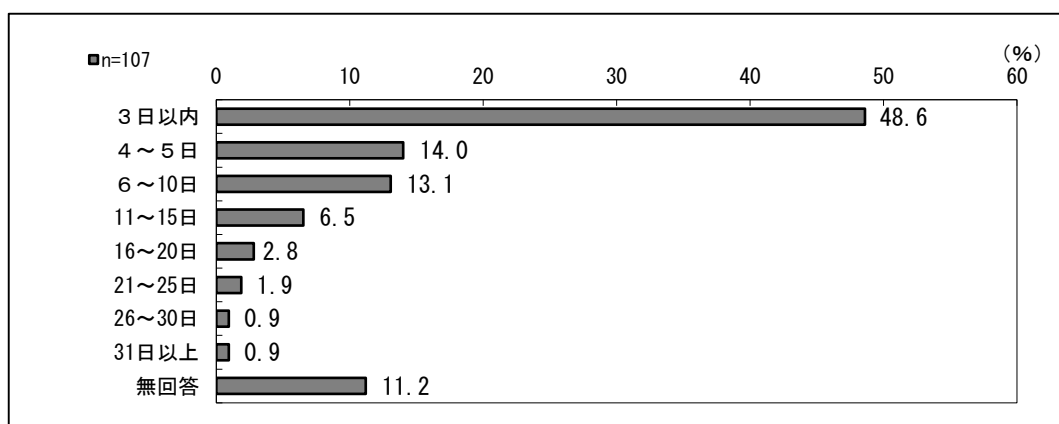
■すこやか保育利用希望日数／年■



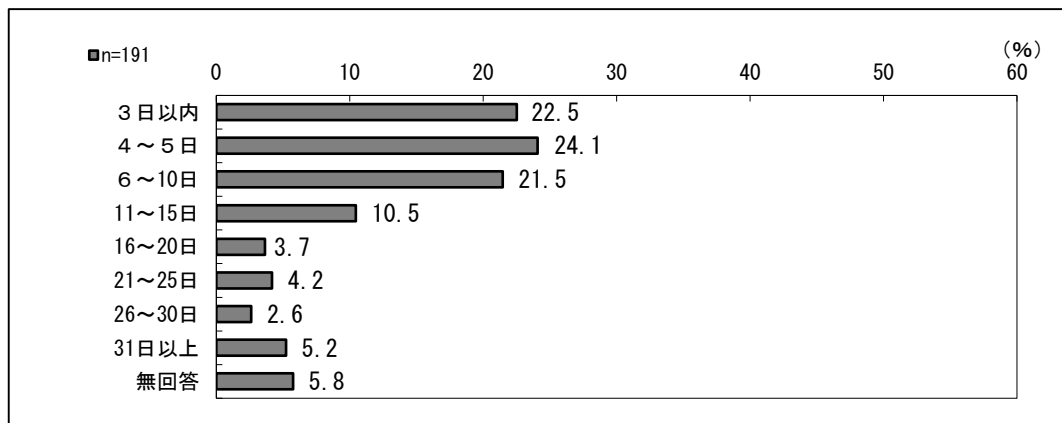
■トワイライトステイ利用希望日数／年■



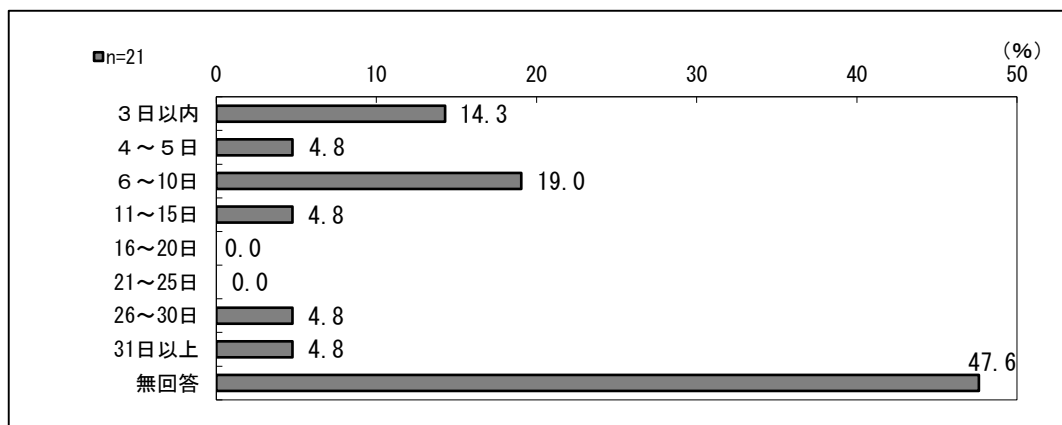
■子どもショートステイ利用希望日数／年■



■ベビーシッター・家事育児支援サービス利用希望日数／年■



■その他利用希望日数／年■



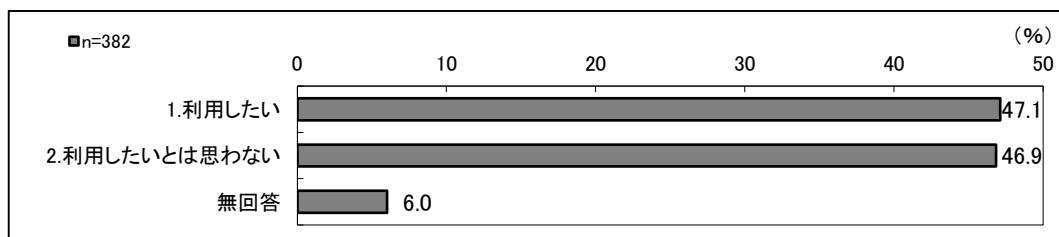
(6) 定期預かり事業の利用意向

※ 宛名のお子さんが0歳児から2歳児（令和2年4月2日以降生まれ）の方のみ
問 32 宛名のお子さんについて、定期預かり事業（(仮称) こども誰でも通園制度※）の利用希望はありますか。



「利用したい」（47.1%）、「利用したいとは思わない」（46.9%）。

■ 定期預かり事業の利用意向 ■



(7) 定期預かり事業の利用希望

※ 問 32 で、「1. 利用したい」に○をつけた方のみ

問 32-1 (1) 利用希望日数および利用希望時間と、(2) 利用開始を希望する子どもの年齢をそれぞれお答えください。

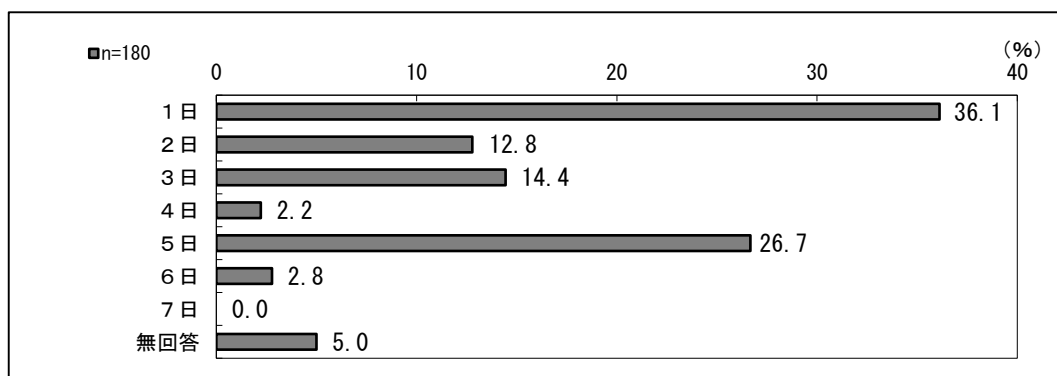
(1) - 1 利用希望日数/週

定期預かり事業の利用希望は以下のとおり。

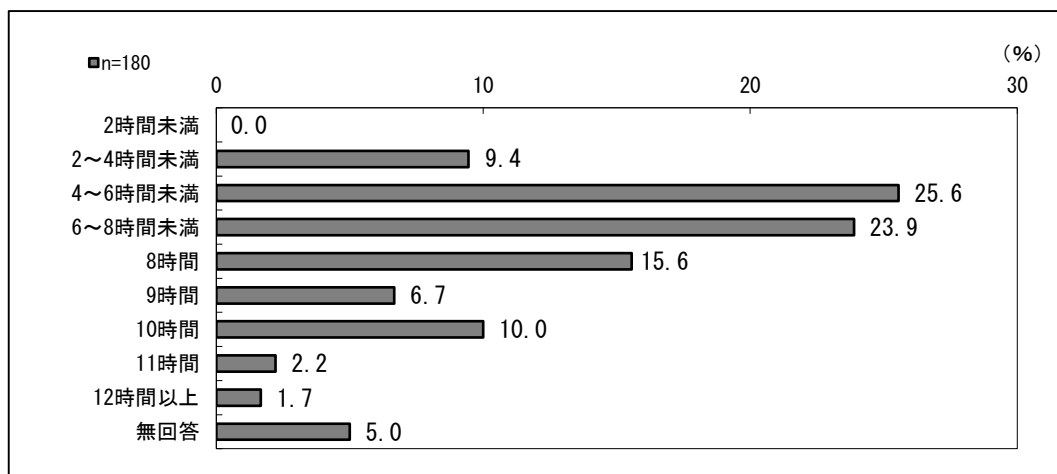
■集計結果 定期預かり事業 利用希望日数および利用希望時間■

n=180	利用希望日数/週	利用希望時間/日
平均値	2.76 日	6.57 時間
最大値	6.00 日	12.00 時間
最小値	2.00 日	2.00 時間
無回答数	8 件	9 件

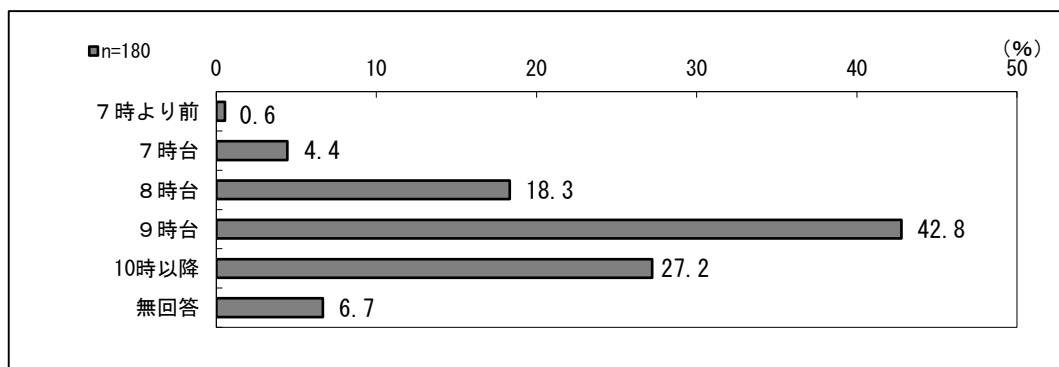
■定期預かり事業の利用希望日数/週■



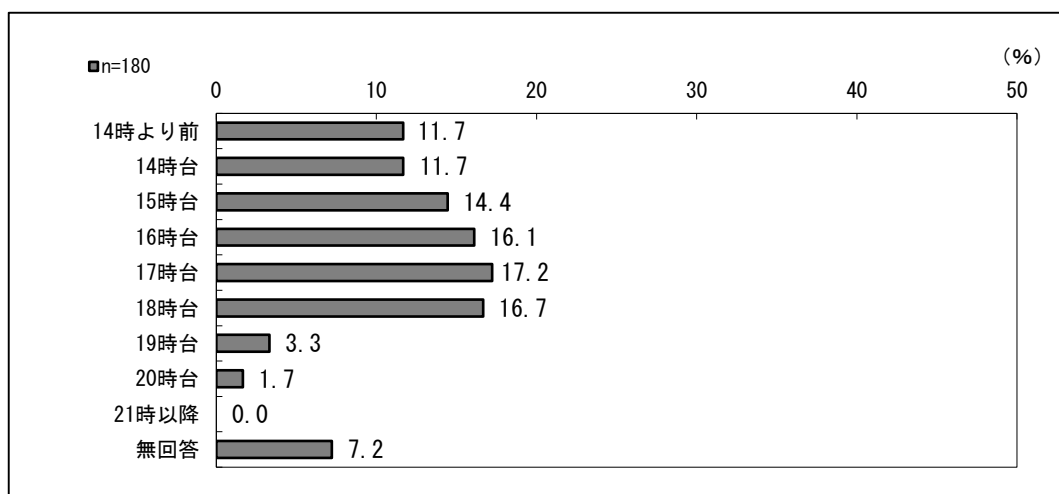
■定期預かり事業の利用希望時間/日■



■定期預かり事業の希望開始時刻■



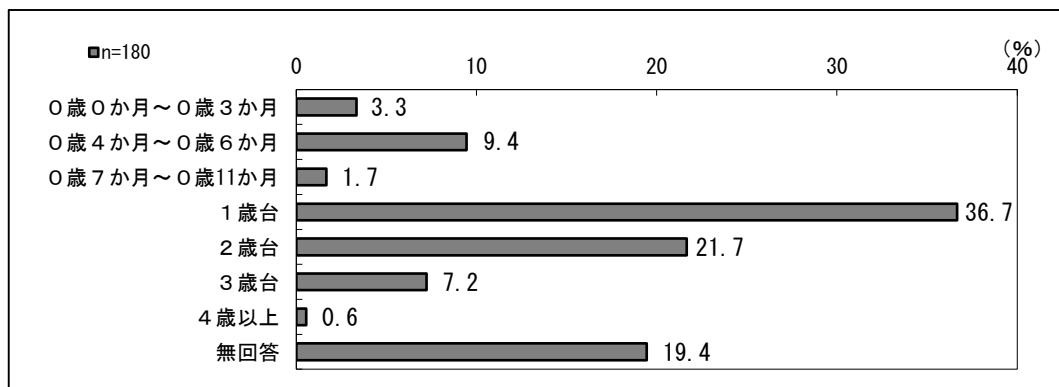
■定期預かり事業の希望終了時刻■



■集計結果 利用開始希望年齢■

n=180	利用開始希望年齢
平均値	1歳5か月
最大値	4歳0か月
最小値	0歳0か月
無回答数	35件

■定期預かり事業の利用開始希望年齢■



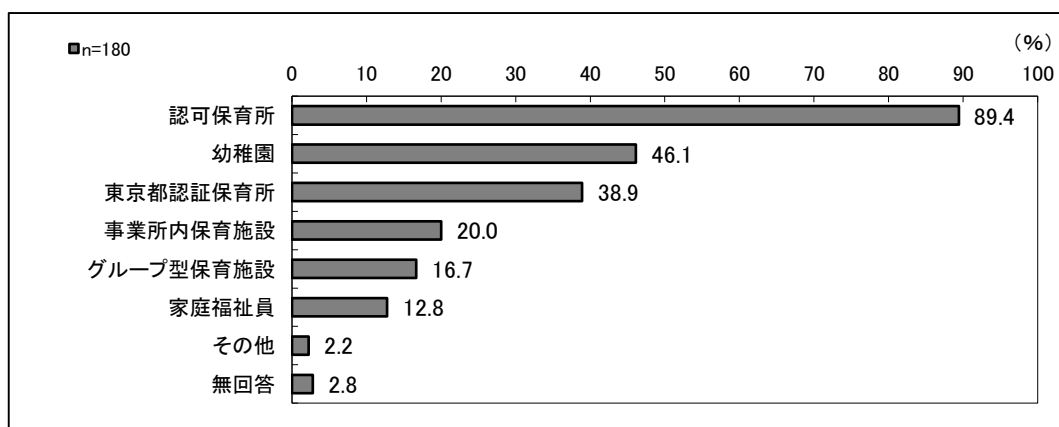
(8) 定期預かり事業を利用したい場所

問 32-2 現在の希望として、定期預かり事業（(仮称) こども誰でも通園制度）をどこで利用したいですか。【複数回答】



「認可保育所」(89.4%) が最も高い割合を占めている。
「幼稚園」(46.1%)、「東京都認証保育所」(38.9%)、「事業所内保育施設」(20.0%) 等がこれに続く。

■定期預かり事業を利用したい場所■



(9) 定期預かり事業を利用したい理由

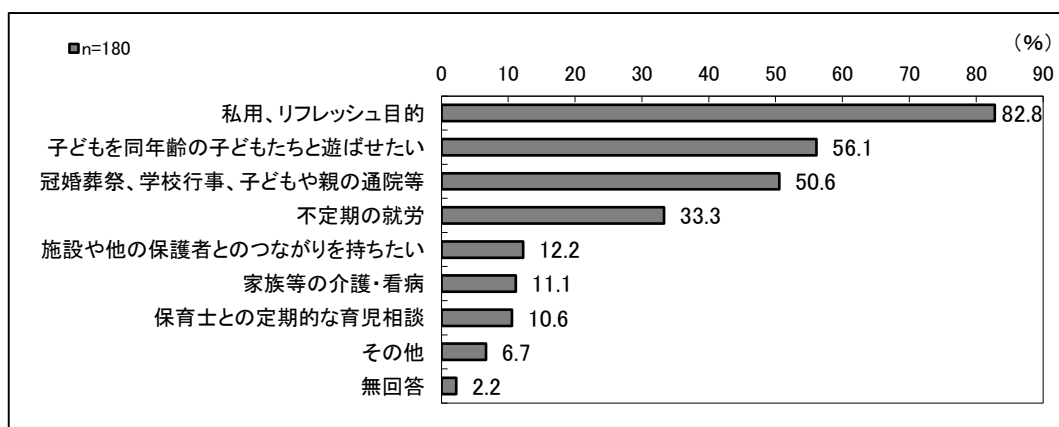
問 32-3 定期預かり事業（(仮称) こども誰でも通園制度）の利用を希望する理由をお答えください。【複数回答】



「私用、リフレッシュ目的」(82.8%) が最も高い割合を占めている。

「子どもを同年齢の子どもたちと遊ばせたい」(56.1%)、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(50.6%)、「不定期の就労」(33.3%) 等がこれに続く。

■定期預かり事業を利用したい理由■



13. 体験の状況について

(1) 過去1年間の体験

問 33 過去1年間において、あなたのご家庭で、お子さんは次のような体験をしましたか。

【複数回答】

①アウトドア（海水浴やキャンプ、山、川等）に行く、②動物園・水族館・美術館・映画館等に行く、③遊園地やテーマパークに行く、④幼児塾・幼児教室・通信教育等の教育、⑤習い事をする



過去1年間の体験については以下のとおり。

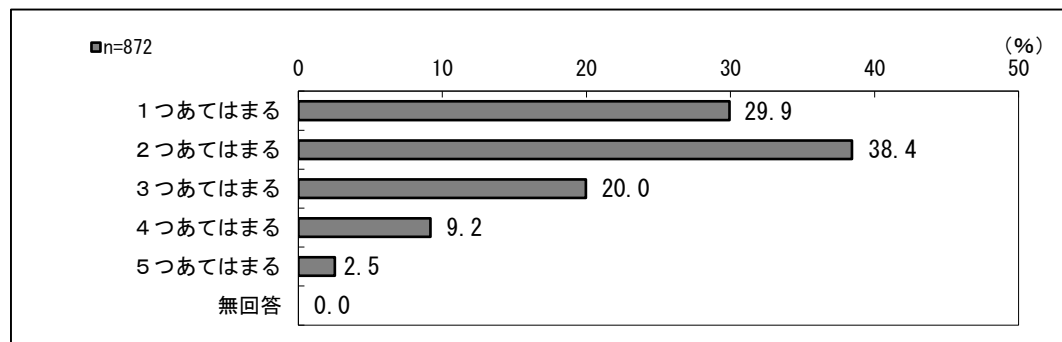
「幼児塾・幼児教室・通信教育等の教育」、「習い事をする」については、「ない」の割合が「ある」の割合を上回る。

また、「ない」に該当する項目数を集計したところ、「3つ以上あてはまる」が31.7%となった。

■過去1年間の体験■

(%)	ある	ない	無回答	n
アウトドアに行く	66.2	29.8	4.0	1162
動物園・水族館・美術館・映画館等に行く	89.0	6.3	4.7	1162
遊園地やテーマパークに行く	80.7	14.8	4.5	1162
幼児塾・幼児教室・通信教育等の教育	34.6	60.4	5.0	1162
習い事をする	44.5	50.8	4.7	1162

■「ない」該当数■

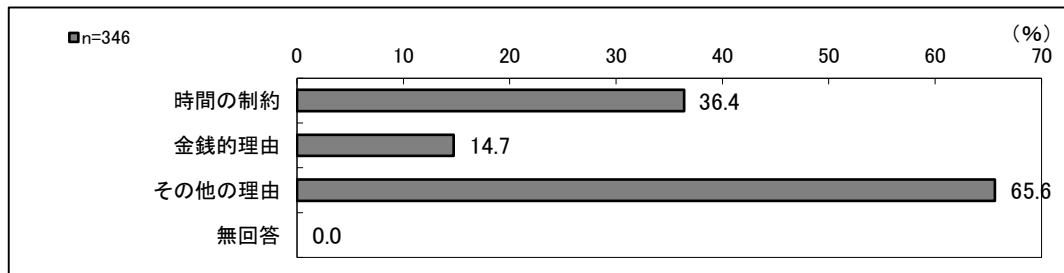


(2) ない理由 ① アウトドアに行く

① アウトドアに行く【複数回答】

「時間の制約」(36.4%)が「金銭的理由」(14.7%)を上回る。

■ない理由 ① アウトドアに行く■

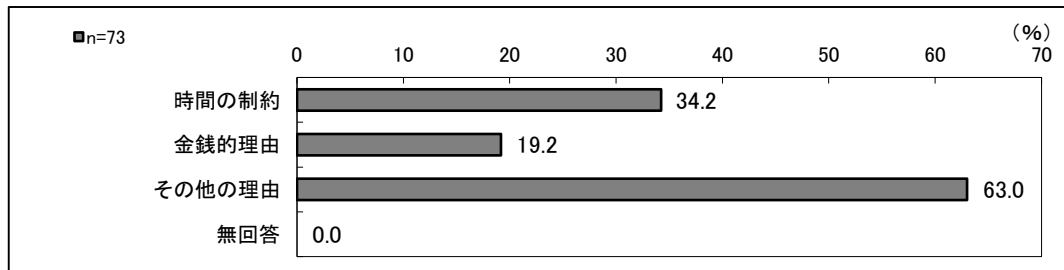


(3) ない理由 ② 動物園・水族館・美術館・映画館等に行く

② 動物園・水族館・美術館・映画館等に行く【複数回答】

「時間の制約」(34.2%)が「金銭的理由」(19.2%)を上回る。

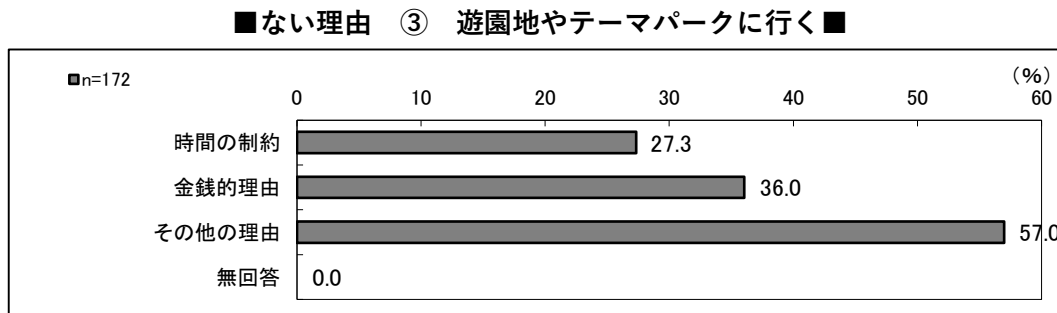
■ない理由 ② 動物園・水族館・美術館・映画館等に行く■



(4) ない理由 ③ 遊園地やテーマパークに行く

③ 遊園地やテーマパークに行く【複数回答】

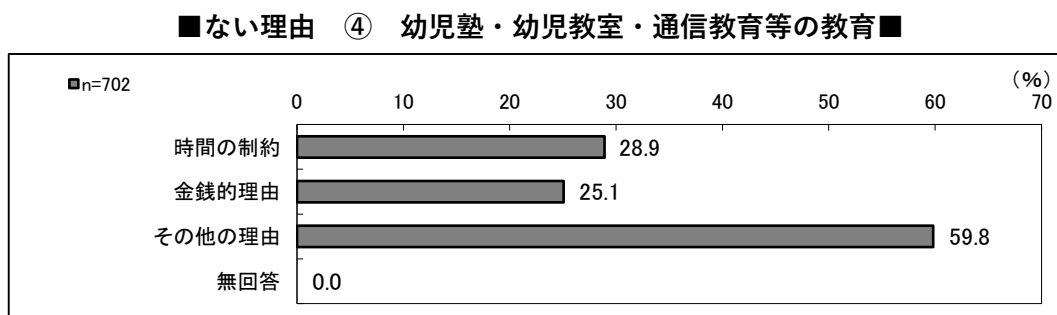
「金銭的理由」(36.0%)が「時間の制約」(27.3%)を上回る。



(5) ない理由 ④ 幼児塾・幼児教室・通信教育等の教育

④ 幼児塾・幼児教室・通信教育等の教育【複数回答】

「時間の制約」(28.9%)が「金銭的理由」(25.1%)を上回る。



14. 児童虐待について

(1) 児童虐待の認知状況

問 34 児童虐待について次のことを知っていますか。

前回調査結果と比較して、児童虐待防止法の認知状況は 10.8 ポイント増加しており、通報先や相談機関の認知状況は 5 割未満で、顕著な違いは見られない。

■ 児童虐待の認知状況 ■

【今回調査】

(%)	知っている	知らない	無回答	n
児童虐待防止法	74.9	21.0	4.1	1162
児童虐待発見時の通報先	47.2	48.5	4.2	1162
虐待に関する相談機関	48.9	47.0	4.1	1162

【前回調査（参考）】

(%)	知っている	知らない	無回答	n
児童虐待防止法	64.1	34.0	1.9	1187
児童虐待発見時の通報先	44.9	53.4	1.7	1187
虐待に関する相談機関	45.2	53.2	1.5	1187

(2) 児童虐待を発見した際の通告・通報先

問 35 児童虐待を発見した場合には、以下、選択欄のどちらにも通告や通報等ができます。その中でも、あなたは、どちらに連絡しようと思いますか。

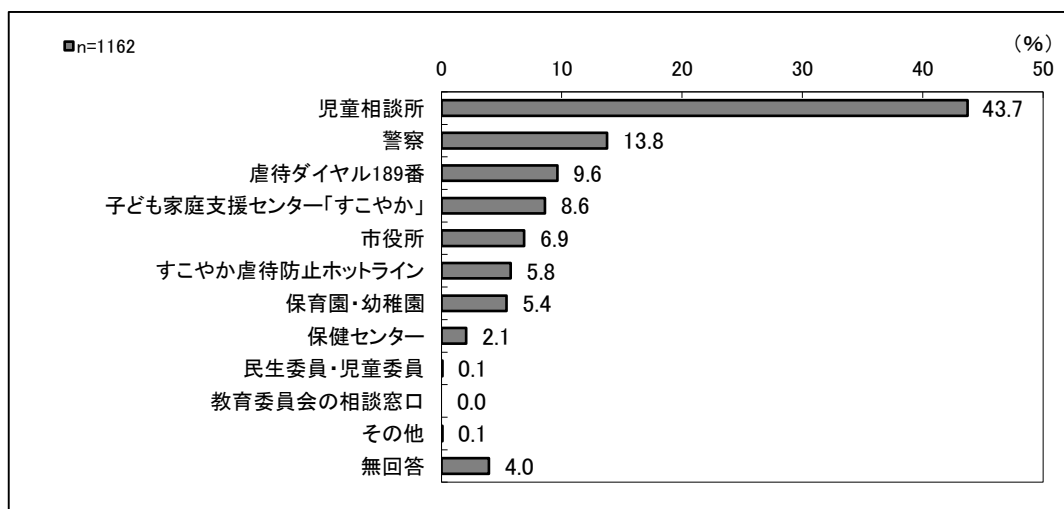


「児童相談所」(43.7%) が最も高い割合を占めている。

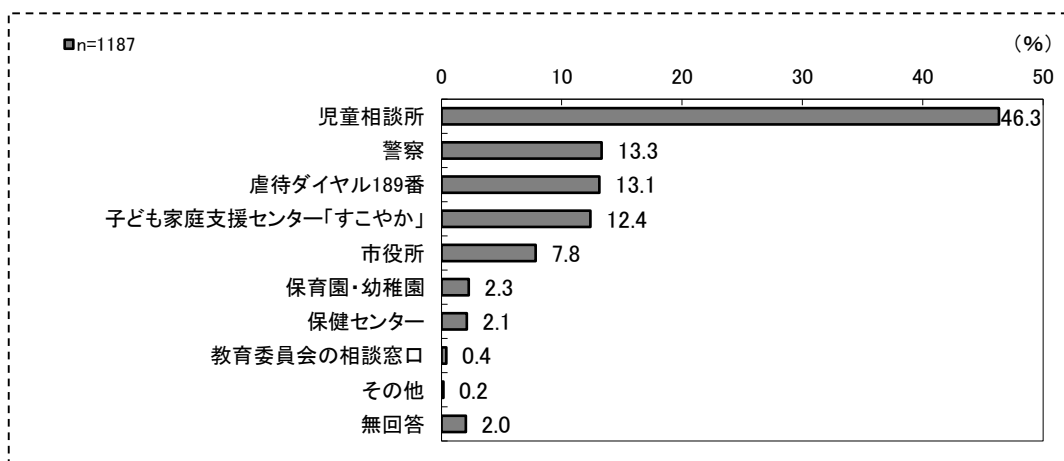
「警察」(13.8%), 「虐待ダイヤル189番」(9.6%), 「子ども家庭支援センター「すこやか」」(8.6%), 「市役所」(6.9%) 等がこれに続く。

■児童虐待を発見した際の通告・通報先■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



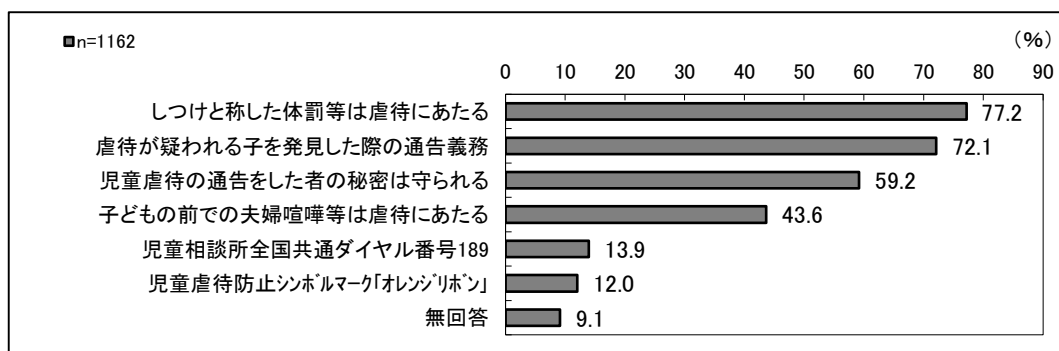
(3) 児童虐待について知っていること

問 36 児童虐待について、あなたは以下のことを知っていますか。【複数回答】

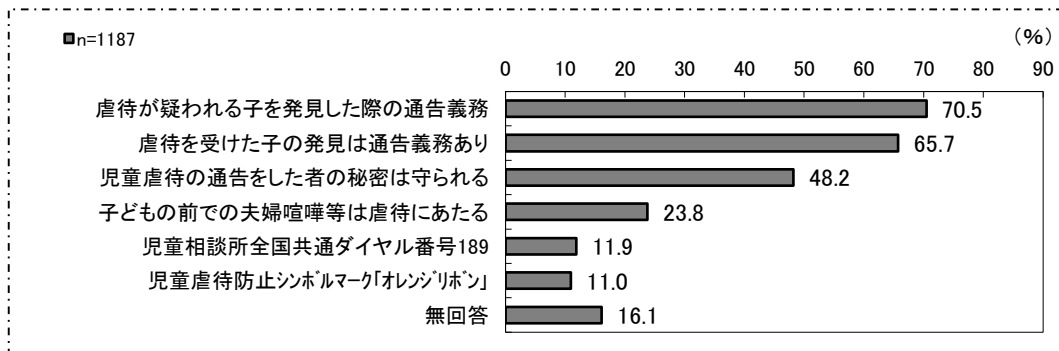
「しつけと称した体罰等は虐待にあたる」(77.2%)、「虐待が疑われる子を発見した際の通告義務」(72.1%)、「児童虐待の通告をした者の秘密は守られる」(59.2%)、「子どもの前での夫婦喧嘩等は虐待にあたる」(43.6%)の回答が高い割合を占めている。

■児童虐待について知っていること■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



15. ヤングケアラーについて

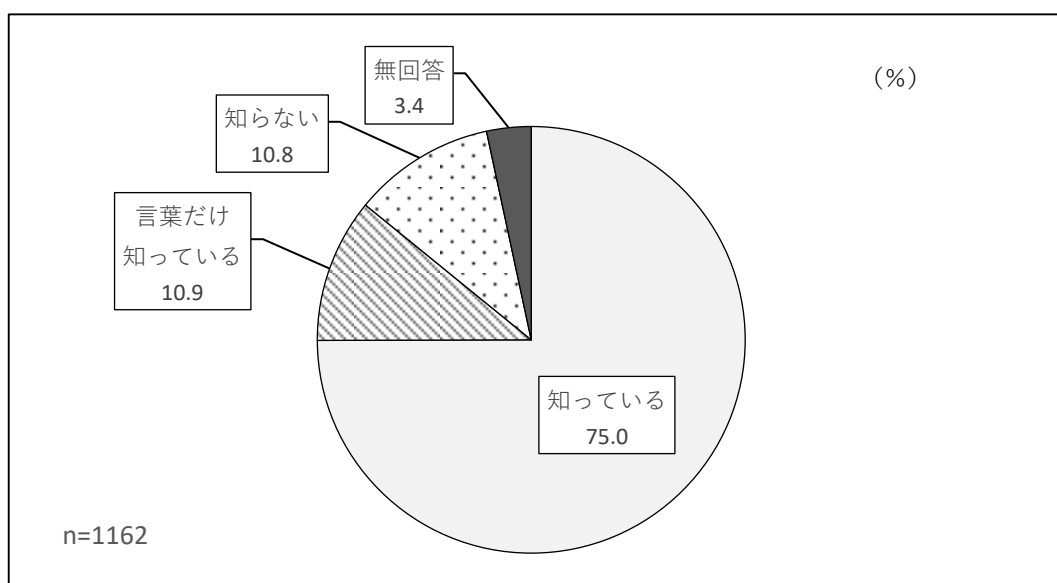
(1) ヤングケアラーという言葉を知っているか

問 37 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。

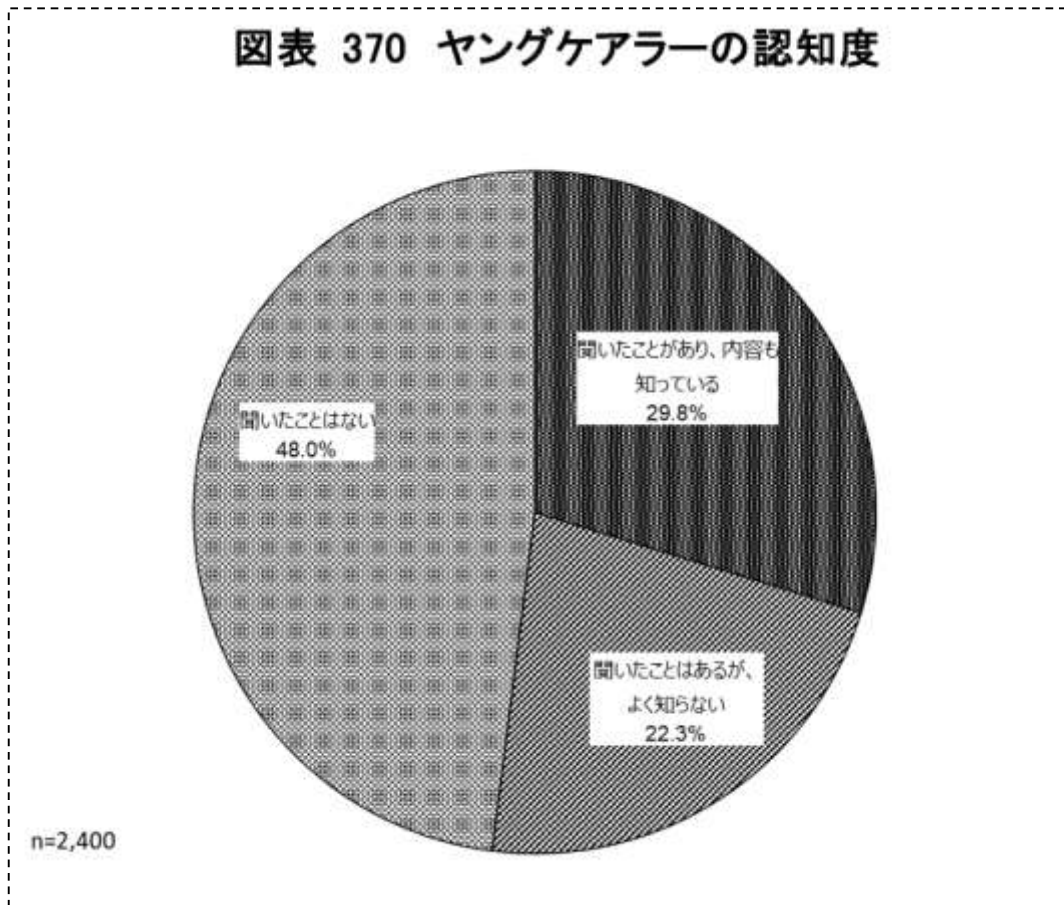
「知っている」(75.0%)、「言葉だけ知っている」(10.9%)、「知らない」(10.8%)。と回答者の7割以上が「知っている」と回答している。

■ヤングケアラーという言葉を知っているか■

【今回調査】



図表 370 ヤングケアラーの認知度



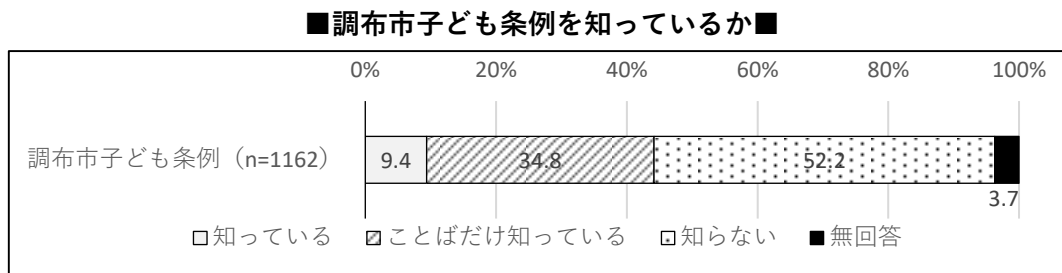
調査対象：日本全国の20代から70代以上の男女
調査期間：2021年12月17日～2021年12月20日

16. 調布市子ども条例及び子どもの権利について

(1) 調布市子ども条例を知っているか

問 38 あなたは、「調布市子ども条例」について知っていますか。

「知らない」(52.2%)、「言葉だけ知っている」(34.8%)、「知っている」(9.4%)。
回答者の過半数が「知らない」と回答している。



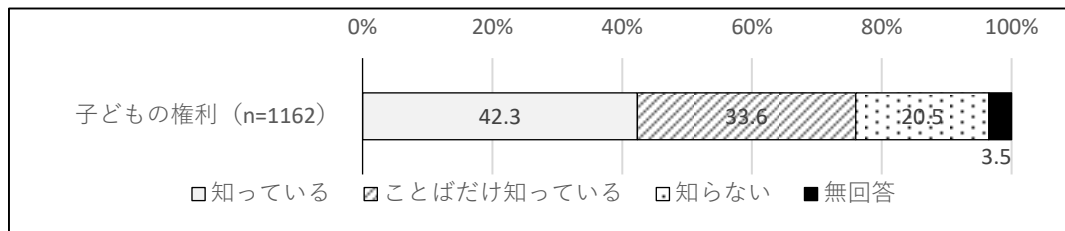
(2) 子どもの権利を知っているか

問 39 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。

「知っている」(42.3%), 「言葉だけ知っている」(33.6%), 「知らない」(20.5%)。
 回答者の過半数が「言葉だけ知っている」、「知らない」と回答している。

■子どもの権利を知っているか■

【今回調査】



【公益財団法人 日本財団 こども1万人意識調査 (参考)】



調査対象：全都道府県男女 10～18 歳

調査期間：2023 年 3 月 6 日～3 月 12 日

【公益財団法人 日本財団 こども1万人意識調査 (参考)】



調査対象：全国 15 歳 (中学生除く)～80 代

調査期間：2019 年 8 月 5 日～2019 年 8 月 10 日

(3) 大切だと思う子どもの権利

問 39-1 子どもにとって大切だと思う「子どもの権利」として、あてはまるものは次のうちどれですか。【複数回答】

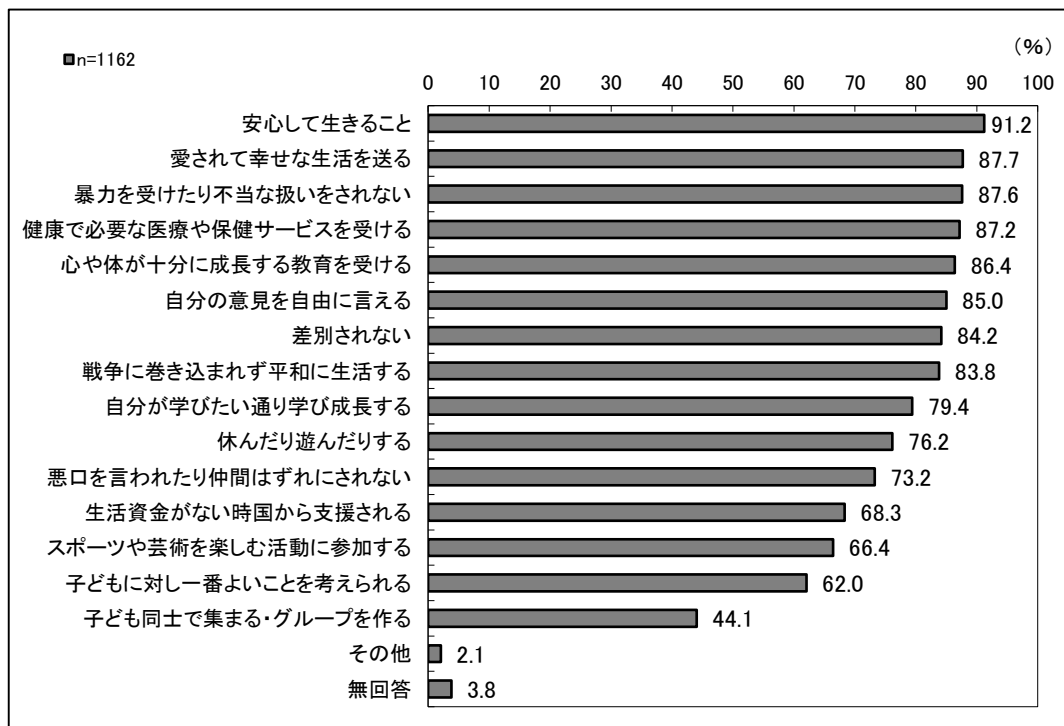


「安心して生きること」が91.2%で最も高い割合を占めている。

「愛されて幸せな生活を送る」(87.7%)、「暴力を受けたり不当な扱いをされない」(87.6%)、「健康に必要な医療や保健サービスを受ける」(87.2%)、「心や体が十分に成長する教育を受ける」(86.4%)等がこれに続く。

「子ども同士で集まる・グループを作る」(44.1%)を除くすべての選択肢で回答割合が50%を超えており、どの選択肢も重要であると認識されている。

■大切だと思う子どもの権利■



(4) 行政や関係機関の取組として必要なこと

問 40 子育てについて考えたとき、今後、行政や関係機関の取組として必要と思うこと、重要と思うことは何ですか。【複数回答】

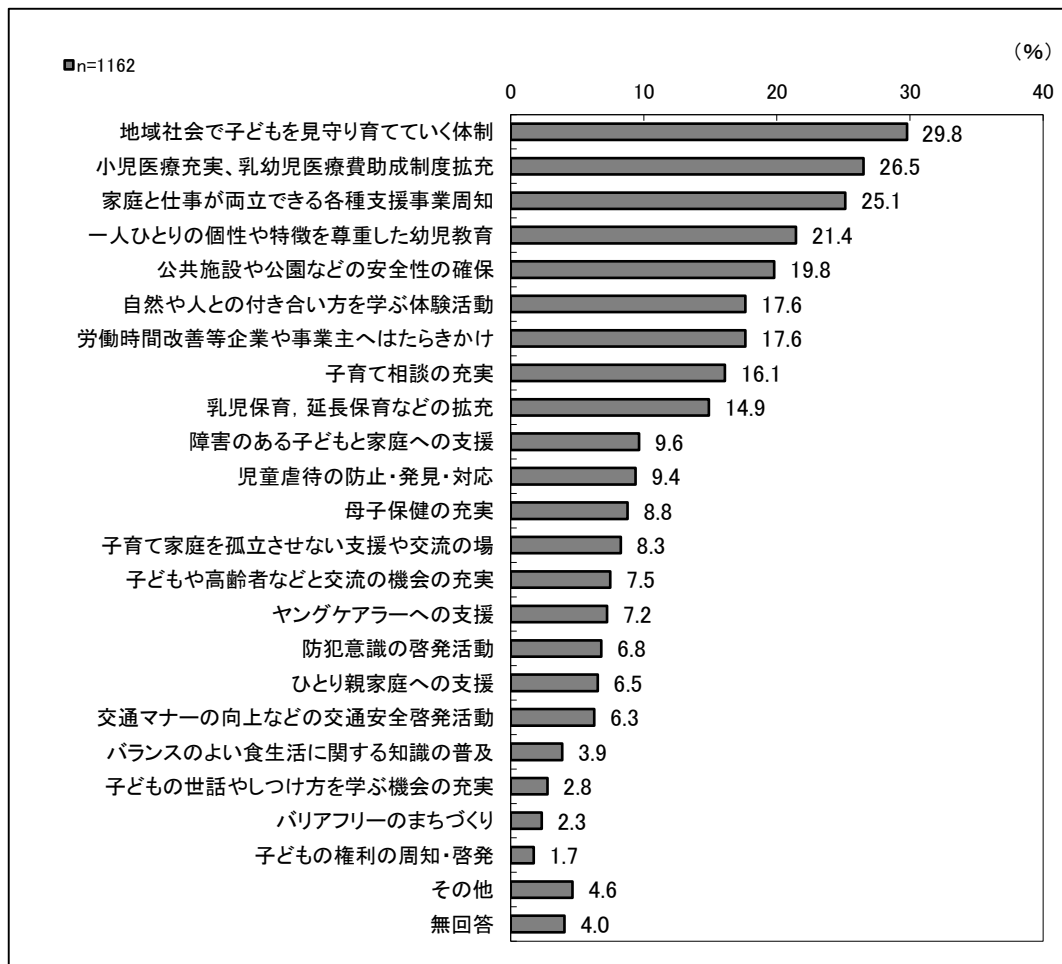


「地域社会で子どもを見守り育てていく体制」が29.8%で最も高い割合を占めており、“地域ぐるみで子どもの育ちを支える”取組が重要とされている。

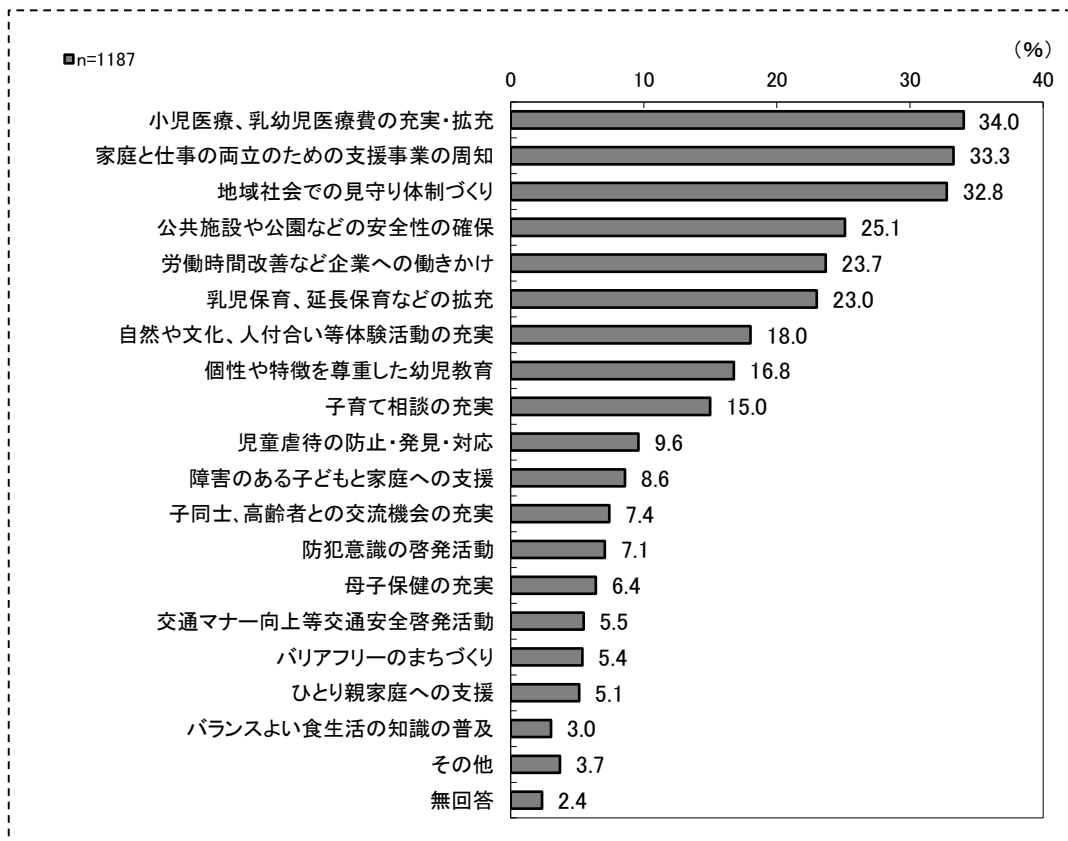
また、「小児医療充実、乳幼児医療費助成制度拡充」(26.5%)、「家庭と仕事が両立できる各種支援事業周知」(25.1%)、「一人ひとりの個性や特徴を尊重した幼児教育」(21.4%)で回答が2割を超える。

■行政や関係機関の取組として必要なこと■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(5) 市の子育て環境や支援への満足度

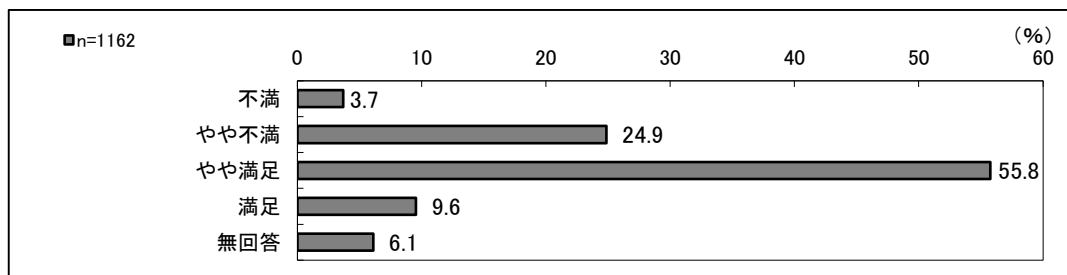
問 41 調布市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

「やや満足」(55.8%)と「満足」(9.6%), を足し合わせた“満足”が 65.4%, 「やや不満」(24.9%)と「不満」(3.7%) を足し合わせた“不満”が 28.6%と回答している。

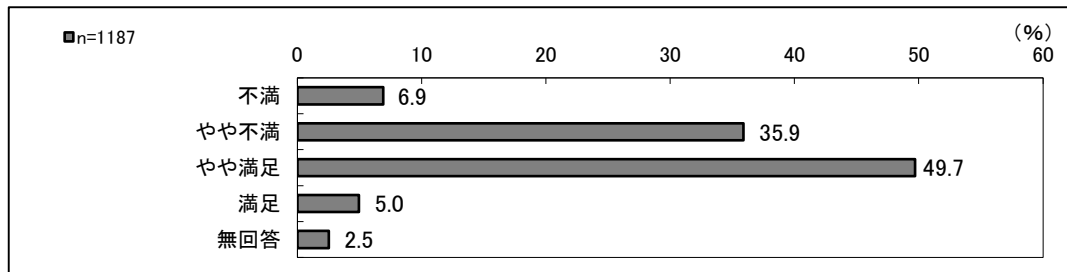
前回調査結果と比較して, “満足”が 10.7 ポイントの増加。“不満”が 14.2 ポイントの減少となった。

■市の子育て環境や支援への満足度■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(6) 魅力的だと思う、他自治体の子育て支援環境

問 42 これまでに、「転居を検討したくなるほど魅力的」に感じた、他自治体の子育て支援策や子育て環境があれば、お教えてください。



入力作業中。

(7) 市の子育て支援や子育て環境における課題と改善策

問 43 調布市における子育て支援や子育て環境に関して、(1) 課題だと思うこと、(2) どう改善すべきかについて、考えがあればお書きください。



入力作業中。

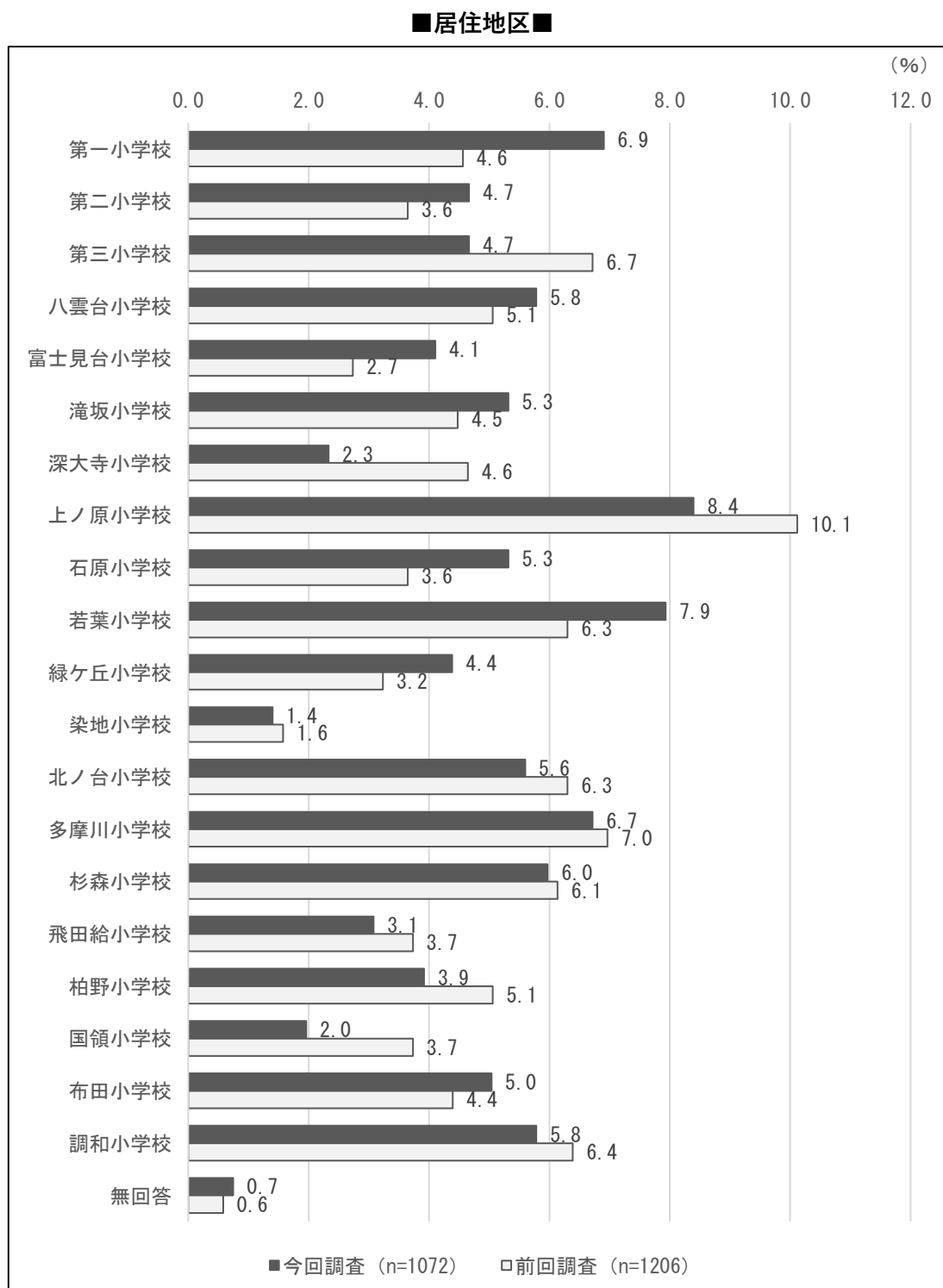
第3部 小学生の保護者対象調査

子ども・子育て支援に関するニーズ調査【小学生の保護者】

1. 居住地区について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区としてあてはまるのは次のうちどれですか。



2. 本人と家庭の状況について

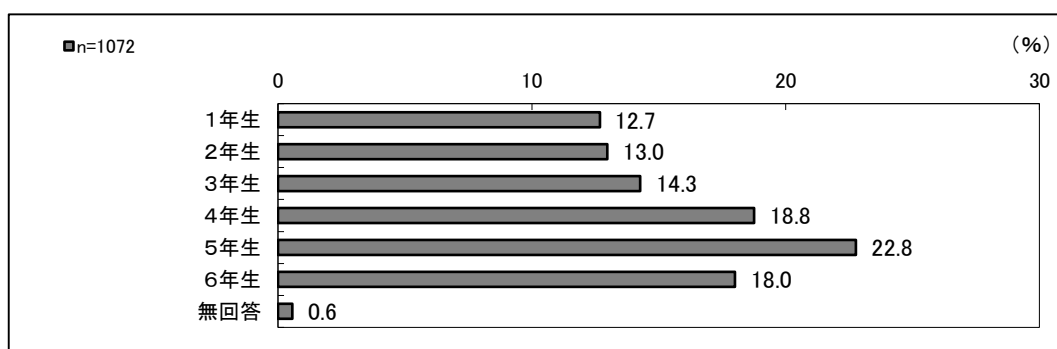
(1) 学年

問2 宛名のお子さんは、現在何年生ですか。

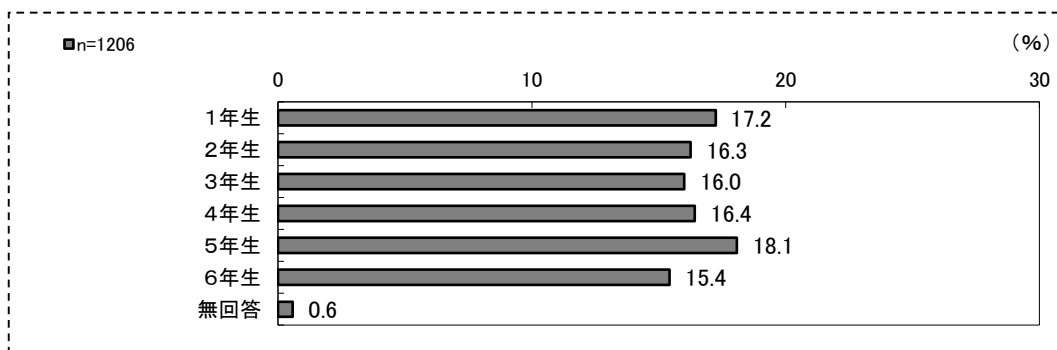
「5年生」(22.8%)、「4年生」(18.8%)、「6年生」(18.0%)、「3年生」(14.3%)、「2年生」(13.0%)、「1年生」(12.7%)。

■ 学年 ■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(2) 兄・姉の人数

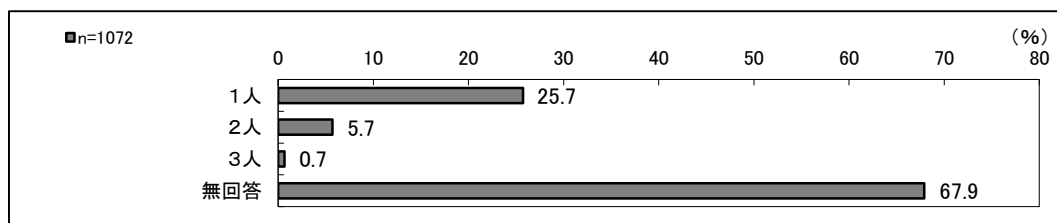
問3 宛名のお子さんのきょうだいについて人数でお答えください。

(1)宛名のお子さんの兄・姉



「1人」(25.7%), 「2人」(5.7%), 「3人」(0.7%)。

■兄・姉の人数■



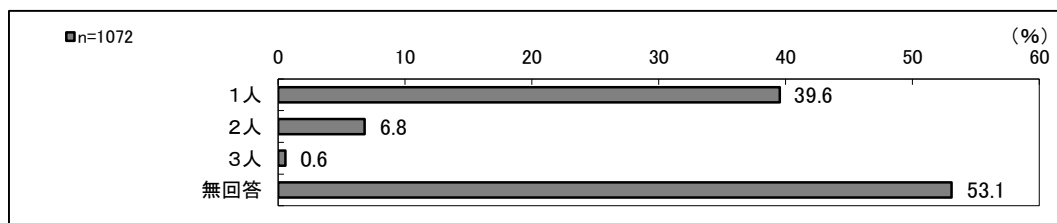
(3) 弟・妹の人数

(2)宛名のお子さんの弟・妹



「1人」(39.6%), 「2人」(6.8%), 「3人」(0.6%)。

■弟・妹の人数■



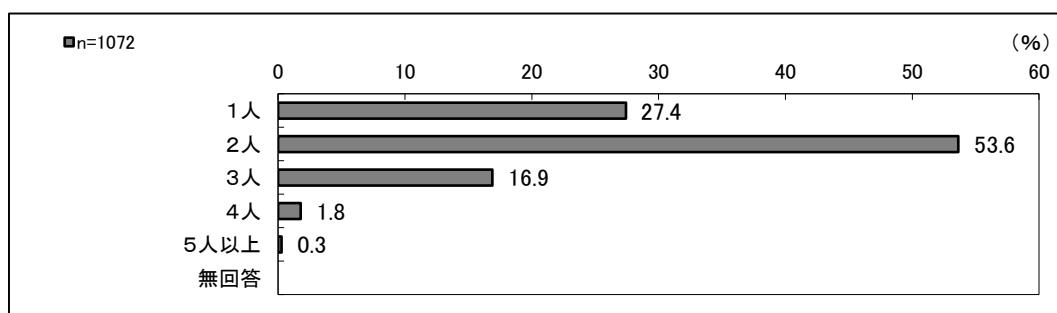
(4) きょうだいの人数

問3(1), (2)の回答から宛名のお子さんを含むきょうだいの人数を算出したところ、「1人」(27.4%), 「2人」53.6%, 「3人」(16.9%), 「4人」(1.8%), 「5人」(0.3%)となった。

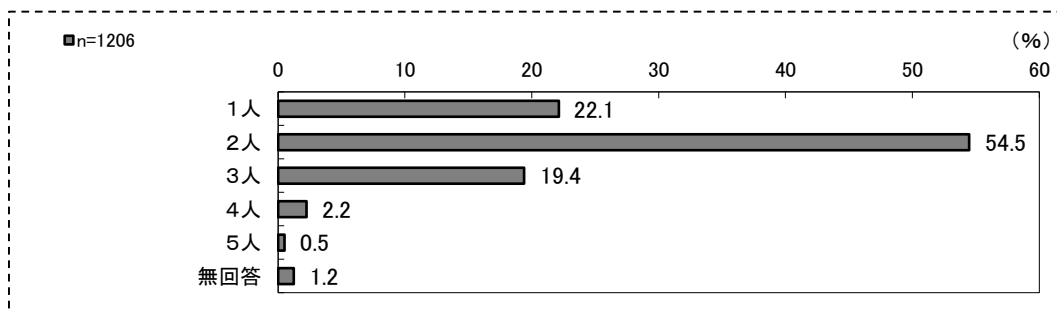
前回調査結果と比べると、きょうだいの人数が「1人」の割合が5.3ポイント増加しており、「2人以上」(72.6%)の割合は4.0ポイント減少している。

■きょうだいの人数■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



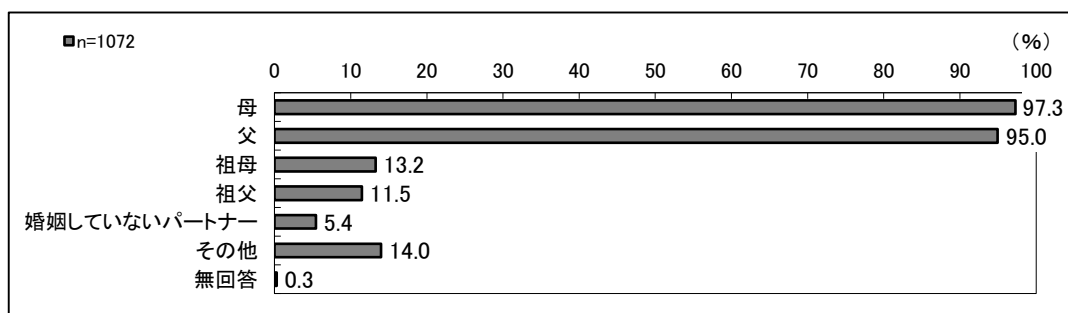
(5) 生計を一にする家族

問4 宛名のお子さんと生計を一にするご家族はどなたですか。【複数回答】

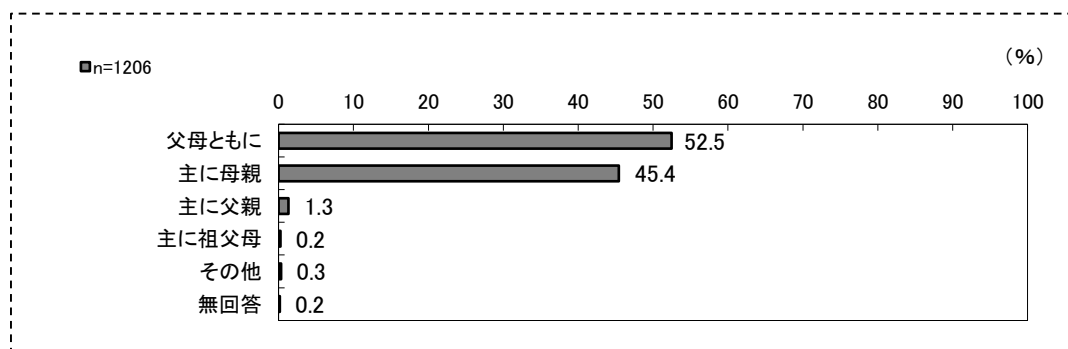
「母」(97.3%), 「父」(95.0%), 「祖母」(13.2%), 「祖父」(11.5%), 「婚姻していないパートナー」(5.4%), 「その他」(14.0%)。

■生計を一にする家族■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】主に子育てをしている人



(6) 生計を一にするが同居していない家族

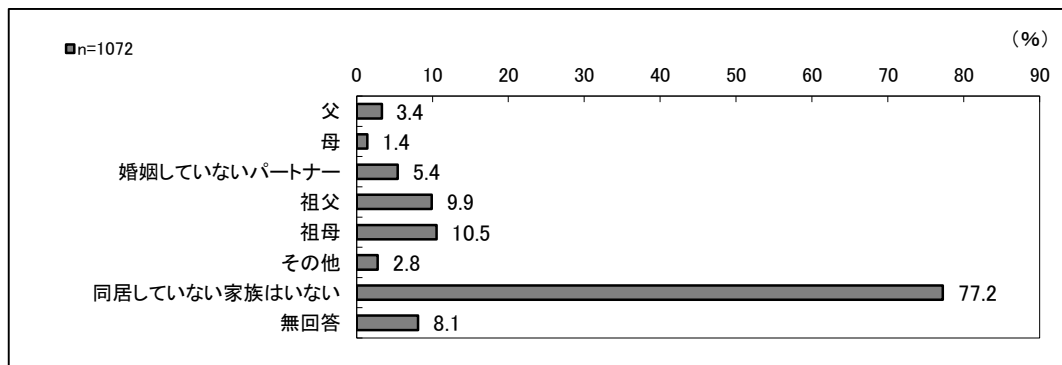
問5 宛名のお子さんと生計を一にするご家族のうち同居していない方はいますか。

【複数回答】



「祖母」(10.5%)、「祖父」(9.9%)、「婚姻していないパートナー」(5.4%)、「父」(3.4%)、「母」(1.4%)、「その他」(2.8%)、「同居していない家族はいない」(77.2%)。

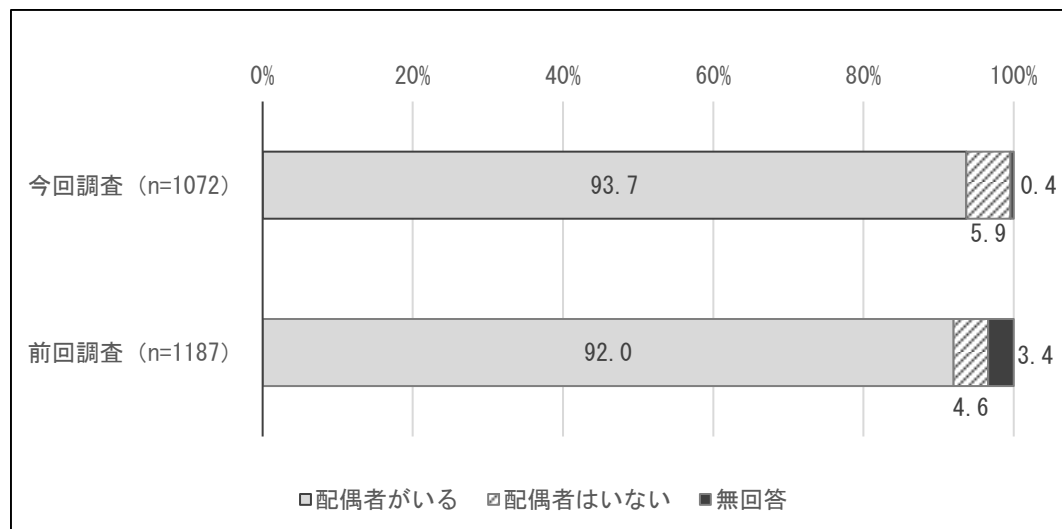
■生計を一にするが同居していない家族■



(7) 回答者の配偶関係等

問4, 問5の回答結果等から, 回答者の配偶関係を整理した結果は次のとおりとなっている。前回調査結果との顕著な違いはみられない。

■回答者の配偶関係等■



(8) 住まいの形態

問6 宛名のお子さんの現在のお住まいについて、あてはまるものは次のうちどれですか。

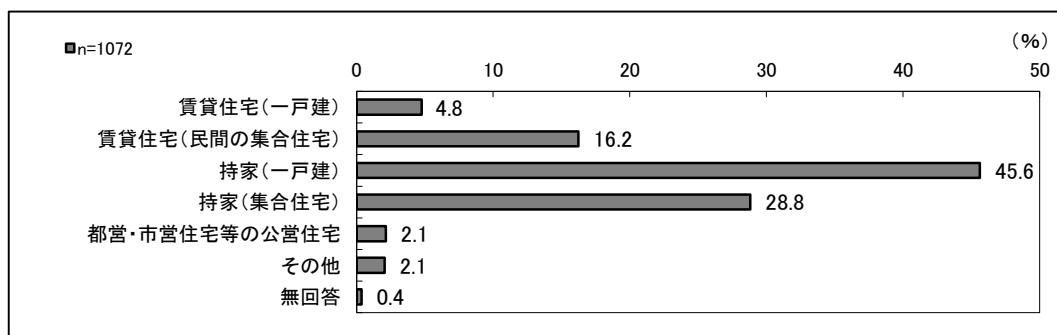
【複数回答】



「持家（一戸建）」（45.6%）, 「持家（集合住宅）」（28.8%）, 「賃貸住宅（民間の集合住宅）」（16.2%）, 「賃貸住宅（一戸建）」（4.8%）, 「都営・市営住宅等の公営住宅」（2.1%）, 「その他」（2.1%）。「持家（一戸建）」, 「持家（集合住宅）」の割合が74.4%で7割以上を占めている。

問8の世帯年収とのクロス集計結果をみると、世帯年収（税込）“400万円未満”では「賃貸住宅（民間の集合住宅）」の割合が高く、“400万円以上”では「持家（一戸建）」, 「持家（集合住宅）」の割合が高まることがわかる。

■住まいの形態■



■世帯年収と住まいの形態とのクロス集計表■

	合計	問6 住まいの形態						
		賃貸住宅 (一戸建)	賃貸住宅 (民間の 集合住宅)	持家(一 戸建)	持家(集 合住宅)	都営・市 営住宅等 の公営住 宅	その他	無回答
全体	1072	51	174	489	309	23	22	4
	100.0%	4.8%	16.2%	45.6%	28.8%	2.1%	2.1%	0.4%
問8 世帯年収	収入なし	6	0	3	0	0	3	0
		100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	100万円未満	8	1	4	3	0	0	0
		100.0%	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	100万円～200万円未満	12	2	2	4	1	3	0
		100.0%	16.7%	16.7%	33.3%	8.3%	25.0%	0.0%
	200万円～300万円未満	30	1	11	10	5	3	0
		100.0%	3.3%	36.7%	33.3%	16.7%	10.0%	0.0%
	300万円～400万円未満	46	3	17	15	5	6	0
		100.0%	6.5%	37.0%	32.6%	10.9%	13.0%	0.0%
	400万円～500万円未満	63	3	21	21	16	1	1
		100.0%	4.8%	33.3%	33.3%	25.4%	1.6%	1.6%
	500万円～600万円未満	80	5	20	33	17	4	1
	100.0%	6.3%	25.0%	41.3%	21.3%	5.0%	1.3%	
600万円～700万円未満	89	0	25	34	28	1	1	
	100.0%	0.0%	28.1%	38.2%	31.5%	1.1%	1.1%	
700万円～800万円未満	109	8	14	56	27	1	3	
	100.0%	7.3%	12.8%	51.4%	24.8%	0.9%	2.8%	
800万円～1,000万円未満	225	11	16	123	62	3	10	
	100.0%	4.9%	7.1%	54.7%	27.6%	1.3%	4.4%	
1,000万円以上	385	15	40	180	146	1	3	
	100.0%	3.9%	10.4%	46.8%	37.9%	0.3%	0.8%	

3. 子育て環境について

(1) 日頃子どもをみてもらえる人の有無

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる（学童クラブや塾・習い事のお迎え、勉強や宿題をみてる、食事や入浴の世話、家事のお手伝いなど）親族・知人はいますか。

【複数回答】

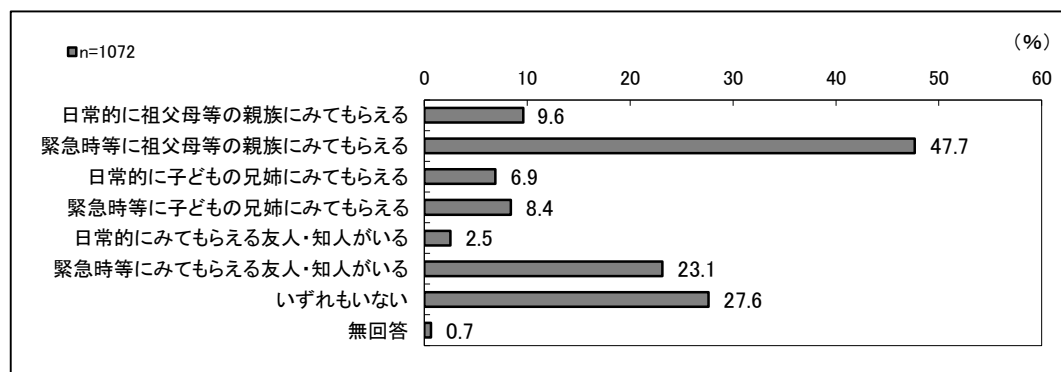


「緊急時等に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が47.7%で約半数を占めている。

「緊急時等にみてもらえる友人・知人がいる」(23.1%), 「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(9.6%), 「緊急時等に子どもの兄姉にみてもらえる」(8.4%), 「日常的に子どもの兄姉にみてもらえる」(6.9%), 「日常的にみてもらえる友人・知人がいる」(2.5%) 等がこれに続く。

「いずれもない」の割合は27.6%で全体の3割弱となっている。

■日頃子どもをみてもらえる人の有無■



4. 保護者の就労状況等について

(1) 世帯年収

問8 世帯の年収（税込）は次のうちどれにあたりますか。

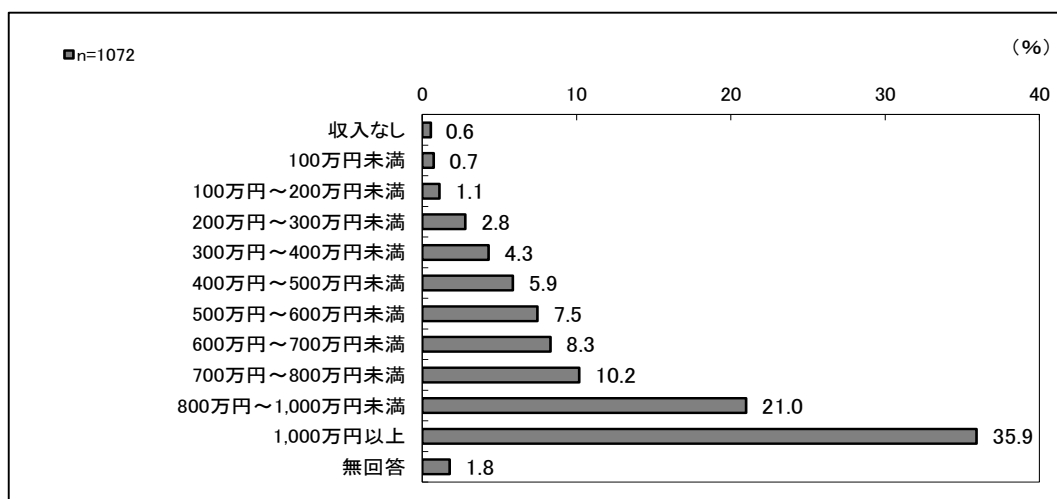
「1,000万円以上」が35.9%と前回調査結果に引き続き最も高い割合となった。

「800万円～1,000万円未満」（21.0%）, 「700万円～800万円未満」（10.2%）, 「600万円～700万円未満」（8.3%）, 「500万円～600万円未満」（7.5%）, 「400万円～500万円未満」（5.9%）, 「300万円～400万円未満」（4.3%）, 「200万円～300万円未満」（2.8%）, 「100万円～200万円未満」（1.1%）, 「100万円未満」（0.7%）, 「収入なし」（0.6%）がこれに続く。

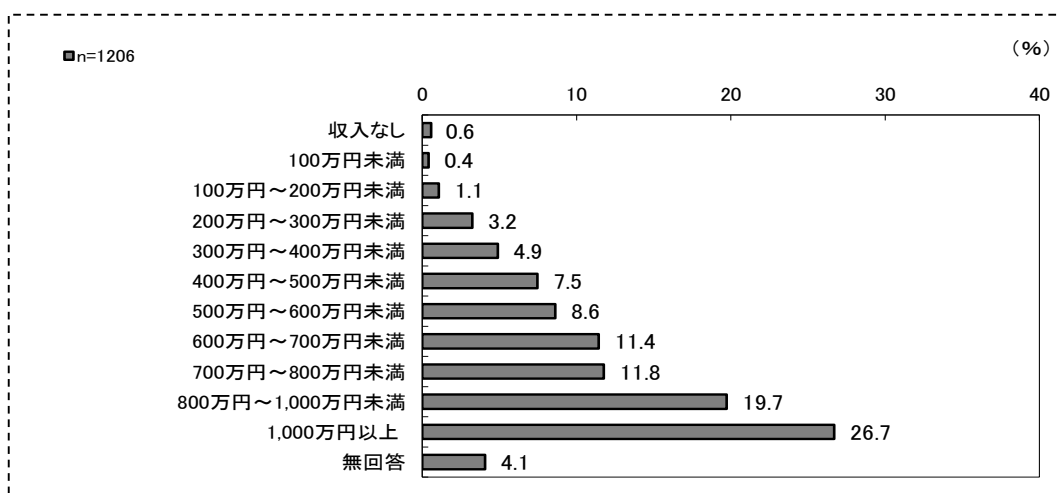
前回調査結果に引き続き世帯年収（税込）“800万円以上”が全体の約半数を占めるが、およそ10世帯に1世帯は“400万円未満”の世帯となっている。

■世帯年収■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(2) 経済的理由のために世帯で持っていないもの

問9 次のうち、経済的理由のためにあなたの世帯で持っていないものはありますか。

【複数回答】



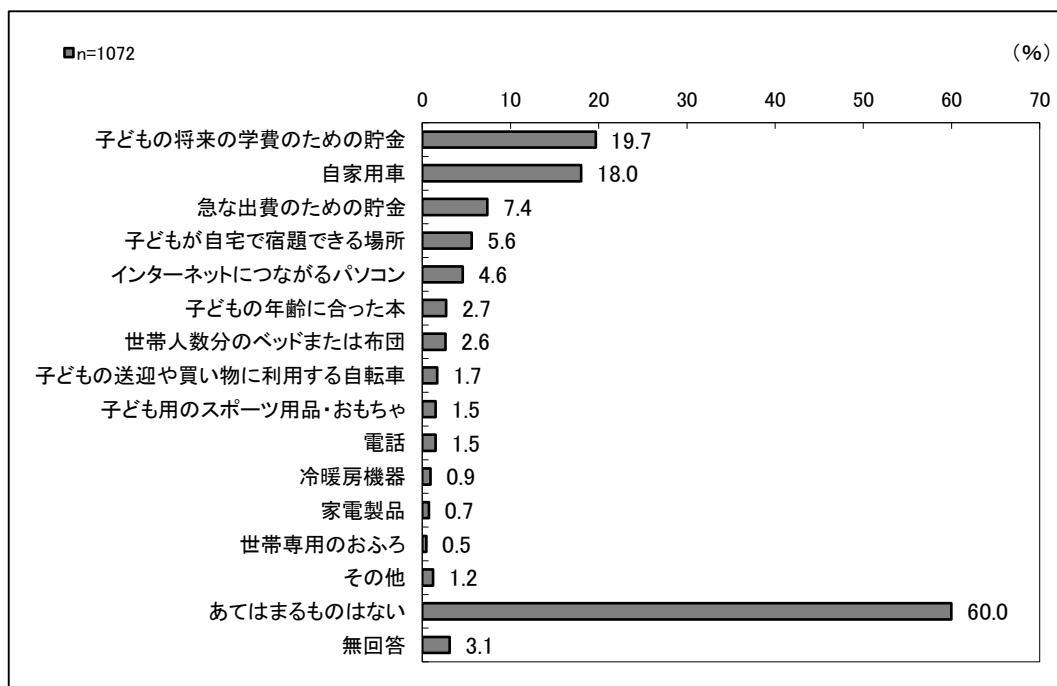
「あてはまるものはない」が60.0%で最も高い割合を占めている。

あてはまるものとしては、「子どもの将来の学費のための貯金」(19.7%)、「自家用車」(18.0%)への回答が多くなった。

問8の世帯年収とのクロス集計結果をみると、世帯年収(税込)“500万円未満”で「子どもの将来の学費のための貯金」又は「自家用車」が最も高い割合を占める。

一方、世帯年収(税込)“500万円以上”では「あてはまるものはない」が最も高い割合を占める。

■経済的理由のために世帯で持っていないもの■



■世帯年収と経済的理由のために世帯で持っていないものとのクロス集計表■

	合計	問9 経済的理由のために世帯で持っていないもの								
		子どもの年齢に合った本	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが自宅で宿題できる場所	子どもの送迎や買い物に利用する自転車	冷暖房機器	家電製品	電話	インターネットにつながるパソコン	
全体	1072	29	16	60	18	10	8	16	49	
	100.0%	2.7%	1.5%	5.6%	1.7%	0.9%	0.7%	1.5%	4.6%	
問8 世帯年収	収入なし	6	0	2	1	1	0	0	0	
	100万円未満	8	2	3	2	0	0	0	4	
	100万円～200万円未満	12	0	1	2	1	1	1	1	
	200万円～300万円未満	30	6	2	3	1	1	0	8	
	300万円～400万円未満	46	3	0	6	0	0	2	5	
	400万円～500万円未満	63	2	0	7	2	1	0	3	
	500万円～600万円未満	80	4	2	7	1	0	0	6	
	600万円～700万円未満	89	1	1	6	1	1	1	2	
	700万円～800万円未満	109	5	4	12	3	2	2	6	
	800万円～1,000万円未満	225	5	2	6	3	2	1	4	
	1,000万円以上	385	1	2	6	2	1	1	2	
		100.0%	0.3%	0.5%	1.6%	0.5%	0.3%	0.3%	0.5%	1.0%

	合計	問9 経済的理由のために世帯で持っていないもの								
		世帯専用のおふろ	世帯人数分のベッドまたは布団	自家用車	子どもの将来の学費のための貯金	急な出費のための貯金	その他	あてはまるものはない	無回答	
全体	1072	5	28	193	211	79	13	643	33	
	100.0%	0.5%	2.6%	18.0%	19.7%	7.4%	1.2%	60.0%	3.1%	
問8 世帯年収	収入なし	6	0	1	3	1	0	2	0	
	100万円未満	8	0	3	7	4	0	0	0	
	100万円～200万円未満	12	1	3	8	4	0	3	0	
	200万円～300万円未満	30	0	2	10	17	8	1	5	
	300万円～400万円未満	46	1	2	19	18	9	1	15	
	400万円～500万円未満	63	0	1	21	20	12	1	21	
	500万円～600万円未満	80	0	2	27	28	6	1	32	
	600万円～700万円未満	89	0	2	24	24	6	2	38	
	700万円～800万円未満	109	2	4	22	27	14	0	58	
	800万円～1,000万円未満	225	1	3	32	30	9	1	157	
	1,000万円以上	385	0	5	30	26	3	6	309	
		100.0%	0.0%	1.3%	7.8%	6.8%	0.8%	1.6%	80.3%	2.6%

(3) 経済的理由のために購入・契約・支払いを見送ったもの

問 10 過去1年間において、経済的理由のためにやむを得ず購入や契約、支払いを見送ったものはありますか。【複数回答】



「あてはまるものはない」が76.3%で最も高い割合を占めている。

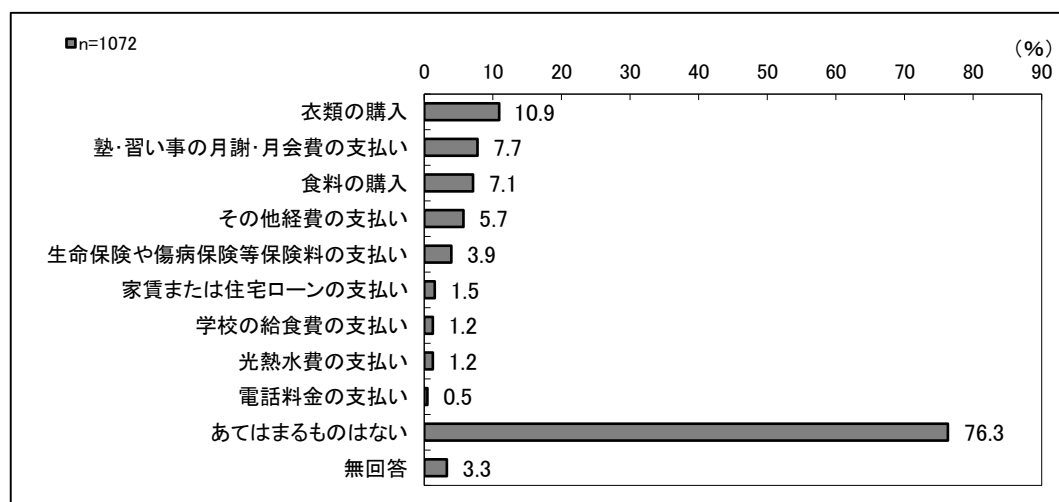
あてはまるものとしては、「衣類の購入」(10.9%)、「塾・習い事の月謝・月会費の支払い」(7.7%)、「食料の購入」(7.1%)への回答が多くなった。

「生命保険や傷病保険等保険料の支払い」(3.9%)、「家賃または住宅ローンの支払い」(1.5%)、「学校の給食費の支払い」(1.2%)、「光熱水費の支払い」(1.2%)、「電話料金の支払い」(0.5%)等がこれに続く。

問8の世帯年収とのクロス集計結果をみると、世帯年収(税込)が低くなるにつれて、「あてはまるものはない」が減少する。

世帯年収(税込)“700万円未満”までの回答者の1割以上が、「衣類の購入」、「塾・習い事の月謝・月会費の支払い」を見送ったことがあると回答している。

■経済的理由のために購入・契約・支払いを見送ったもの■



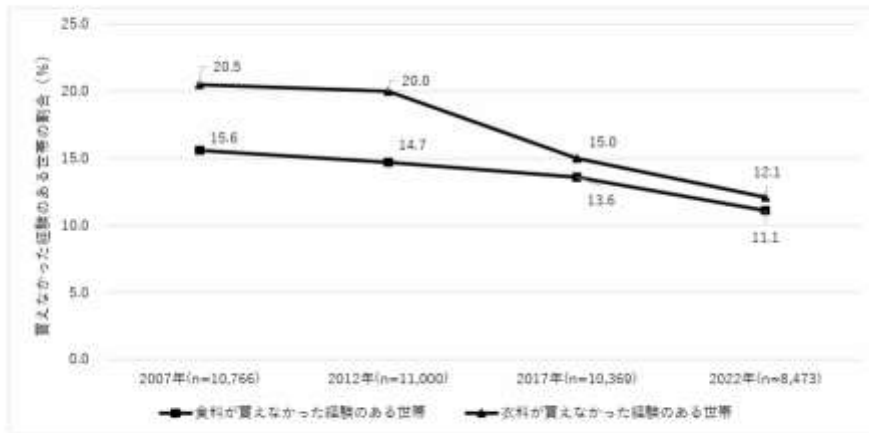
■世帯年収と経済的理由のために購入・契約・支払いを見送ったものとのクロス集計表■

	合計	問10 経済的理由のために購入・契約・支払いを見送ったもの							
		衣類の購入	食料の購入	学校の給食費の支払い	塾・習い事の月謝・月会費の支払い	家賃または住宅ローンの支払い	光熱水費の支払い	電話料金の支払い	生命保険や傷病保険等保険料の支払い
全体	1072 100.0	117 10.9	76 7.1	13 1.2	83 7.7	16 1.5	13 1.2	5 0.5	42 3.9
問8 世帯年収									
収入なし	6 100.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
100万円未満	8 100.0	5 62.5	4 50.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	4 50.0
100万円～200万円未満	12 100.0	4 33.3	1 8.3	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
200万円～300万円未満	30 100.0	14 46.7	10 33.3	2 6.7	4 13.3	4 13.3	2 6.7	0 0.0	7 23.3
300万円～400万円未満	46 100.0	11 23.9	9 19.6	2 4.3	9 19.6	1 2.2	1 2.2	1 2.2	6 13.0
400万円～500万円未満	63 100.0	13 20.6	6 9.5	2 3.2	7 11.1	2 3.2	3 4.8	2 3.2	4 6.3
500万円～600万円未満	80 100.0	15 18.8	12 15.0	2 2.5	12 15.0	3 3.8	4 5.0	0 0.0	4 5.0
600万円～700万円未満	89 100.0	14 15.7	5 5.6	2 2.2	10 11.2	4 4.5	2 2.2	2 2.2	5 5.6
700万円～800万円未満	109 100.0	7 6.4	6 5.5	2 1.8	9 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.8
800万円～1,000万円未満	225 100.0	18 8.0	14 6.2	0 0.0	17 7.6	1 0.4	0 0.0	0 0.0	7 3.1
1,000万円以上	385 100.0	13 3.4	8 2.1	0 0.0	12 3.1	1 0.3	0 0.0	0 0.0	2 0.5

	合計	問10 経済的理由のために購		
		その他経費の支払い	あてはまるものはない	無回答
全体	1072 100.0	61 5.7	818 76.3	35 3.3
問8 世帯年収				
収入なし	6 100.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0
100万円未満	8 100.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0
100万円～200万円未満	12 100.0	2 16.7	5 41.7	0 0.0
200万円～300万円未満	30 100.0	5 16.7	12 40.0	0 0.0
300万円～400万円未満	46 100.0	5 10.9	26 56.5	1 2.2
400万円～500万円未満	63 100.0	6 9.5	41 65.1	0 0.0
500万円～600万円未満	80 100.0	5 6.3	49 61.3	2 2.5
600万円～700万円未満	89 100.0	8 9.0	61 68.5	4 4.5
700万円～800万円未満	109 100.0	5 4.6	91 83.5	1 0.9
800万円～1,000万円未満	225 100.0	10 4.4	179 79.6	7 3.1
1,000万円以上	385 100.0	12 3.1	343 89.1	10 2.6

【国立社会保障・人口問題研究所 生活と支え合いに関する調査（参考）】

図表 II-1 食料・衣料の困窮経験のある世帯の割合（2007年～2022年）



注) 世帯票により集計している。合計に無回答を含む。

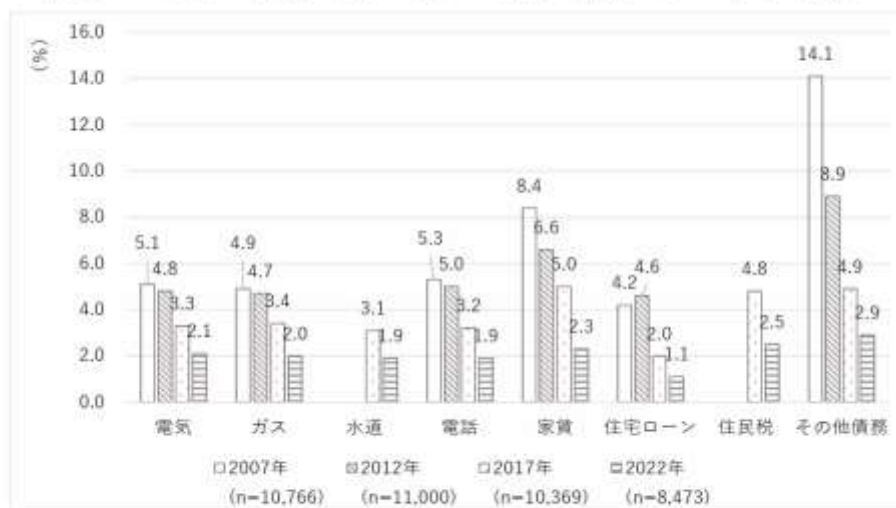
調査対象：令和4年国民生活基礎調査（厚生労働省実施）の調査地区 5,530 地区（令和2年国勢調査区から層化無作為抽出）の中から選ばれた 300 地区内の全ての世帯の世帯主及び 18 歳以上の世帯員（世帯主を含む）

調査時期：2022年7月1日を調査の基準日としたもの

※ 「こども大綱」における“こども・若者、子育て当事者の置かれた状況等を把握するための指標”の1つ

【国立社会保障・人口問題研究所 生活と支え合いに関する調査（参考）】

図表 II-4 過去1年間に料金の未払い・債務の滞納があった世帯の割合



注) 世帯票により集計している。「あった」とした世帯数 / (「該当しない」と無回答を除く世帯数)。サンプルサイズは無回答と「該当しない」を除外する前の数値である。

調査対象：令和4年国民生活基礎調査（厚生労働省実施）の調査地区 5,530 地区（令和2年国勢調査区から層化無作為抽出）の中から選ばれた 300 地区内の全ての世帯の世帯主及び 18 歳以上の世帯員（世帯主を含む）

調査時期：2022年7月1日を調査の基準日としたもの

※ 「こども大綱」における“こども・若者、子育て当事者の置かれた状況等を把握するための指標”の1つ

(4) 母親の就労状況

※ 主に母親の状況について

問 11 宛名のお子さんの「母親」の現在の就労状況（自営業，農業，家族従事者含む）についてお答えください。



「就労中／フルタイム」(42.0%)，「就労中／パート・アルバイト等」(34.4%)，「以前就労していたが今はしていない」(18.7%)，「これまで就労したことがない」(1.8%)，「就労中／フルタイムで産休・育休・介護休業中」(1.2%)，「就労中／パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中」(0.4%)。

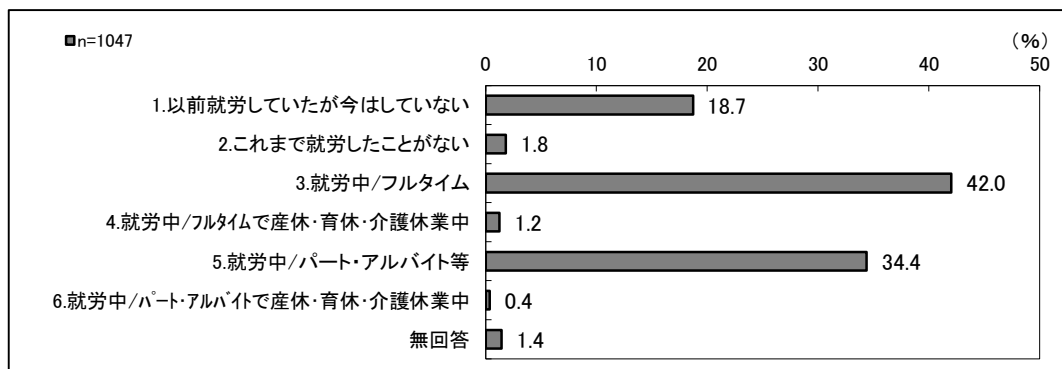
前回調査結果と比較して，「以前就労していたが今はしていない」が 7.0 ポイント減少している。一方，「就労中／フルタイム」が 11.3 ポイント増加しており，フルタイム就労の割合が高くなっている。

世帯年収 700 万円以上の世帯では，「就労中／フルタイム」の割合が高い。

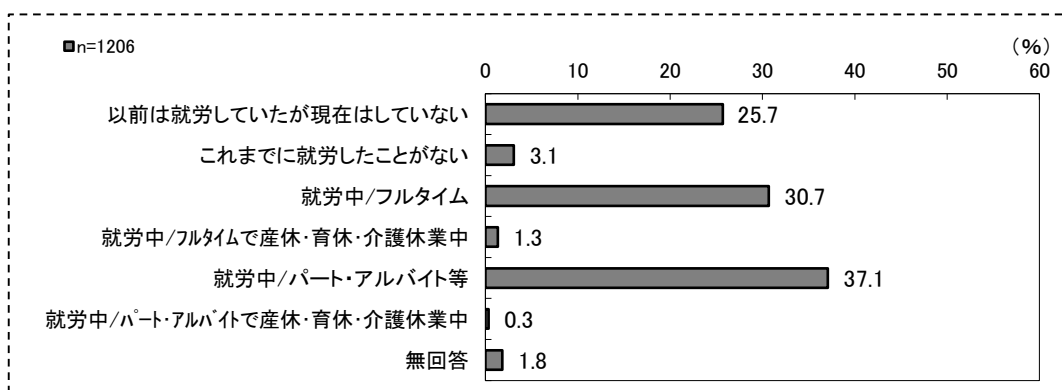
また，ひとり親家庭では「就労中／フルタイム」の割合が高い。

■母親の就労状況■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



■世帯年収と母親の就労状況とのクロス集計表■

	合計	問11 母親の就労状況						無回答	非該当
		以前就労していたが今はしていない	これまで就労したことがない	就労中/フルタイム	就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業	就労中/パート・アルバイト等	就労中/パート・アルバイトで産休・育休・		
全体	1047 100.0	196 18.7	19 1.8	440 42.0	13 1.2	360 34.4	4 0.4	15 1.4	25
問8 世帯年収									
収入なし	6 100.0	4 66.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0
100万円未満	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 75.0	0 0.0	1 12.5	0
100万円～200万円未満	12 100.0	1 8.3	0 0.0	4 33.3	0 0.0	7 58.3	0 0.0	0 0.0	0
200万円～300万円未満	30 100.0	6 20.0	1 3.3	12 40.0	0 0.0	11 36.7	0 0.0	0 0.0	0
300万円～400万円未満	44 100.0	7 15.9	1 2.3	16 36.4	1 2.3	19 43.2	0 0.0	0 0.0	2
400万円～500万円未満	61 100.0	12 19.7	1 1.6	19 31.1	0 0.0	28 45.9	0 0.0	1 1.6	2
500万円～600万円未満	77 100.0	20 26.0	1 1.3	26 33.8	0 0.0	29 37.7	1 1.3	0 0.0	3
600万円～700万円未満	86 100.0	18 20.9	5 5.8	28 32.6	0 0.0	35 40.7	0 0.0	0 0.0	3
700万円～800万円未満	108 100.0	21 19.4	0 0.0	43 39.8	2 1.9	41 38.0	1 0.9	0 0.0	1
800万円～1,000万円未満	217 100.0	48 22.1	3 1.4	86 39.6	5 2.3	72 33.2	1 0.5	2 0.9	8
1,000万円以上	379 100.0	54 14.2	6 1.6	201 53.0	5 1.3	110 29.0	1 0.3	2 0.5	6

■配偶者の有無と母親の就労状況とのクロス集計表■

	合計	問11 母親の就労状況						無回答	非該当
		以前就労していたが今はしていない	これまで就労したことがない	就労中/フルタイム	就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中	就労中/パート・アルバイト等	就労中/パート・アルバイトで産休・育休・		
全体	1047 100.0	196 18.7	19 1.8	440 42.0	13 1.2	360 34.4	4 0.4	15 1.4	25
配偶関係									
配偶者がいる	994 100.0	190 19.1	19 1.9	407 40.9	13 1.3	349 35.1	4 0.4	12 1.2	0
配偶者がいない	50 100.0	6 12.0	0 0.0	33 66.0	0 0.0	11 22.0	0 0.0	0 0.0	25

(5) 母親の就労希望について

※ 問11で「1」または「2」に○をつけた方のみ

問11-1 就労したいという希望はありますか。

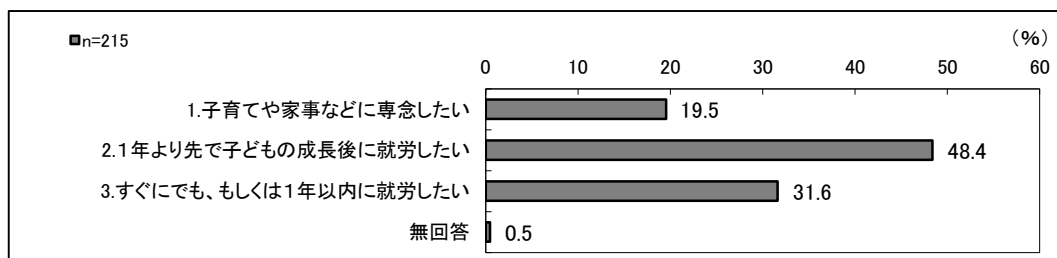


「1年より先で子どもの成長後に就労したい」(48.4%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(31.6%)、「子育てや家事などに専念したい」(19.5%)。

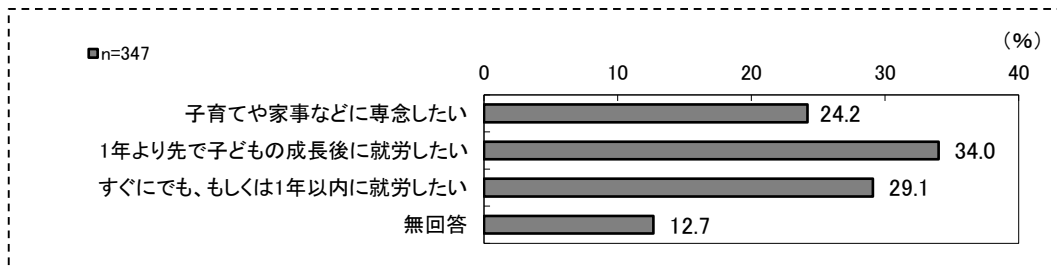
前回調査結果と比較して、「1年より先で子どもの成長後に就労したい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が増加しており、就労意向の割合が高くなっている。

■ 母親の就労希望について ■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



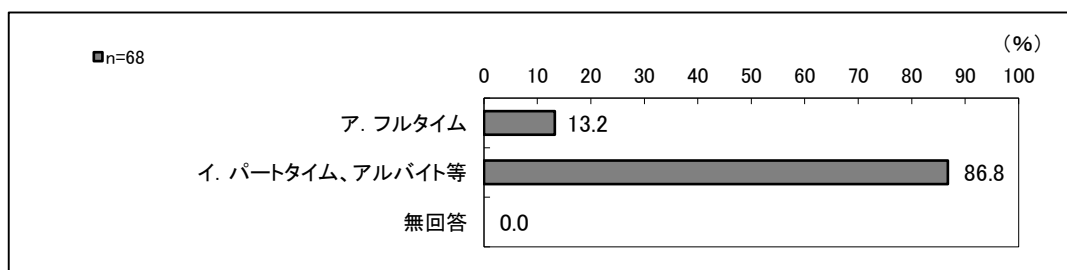
(6) 母親：希望の就労形態

※ 問 11-1 で「3」に○をつけた方のみ
問 11-1-1 希望の就労形態

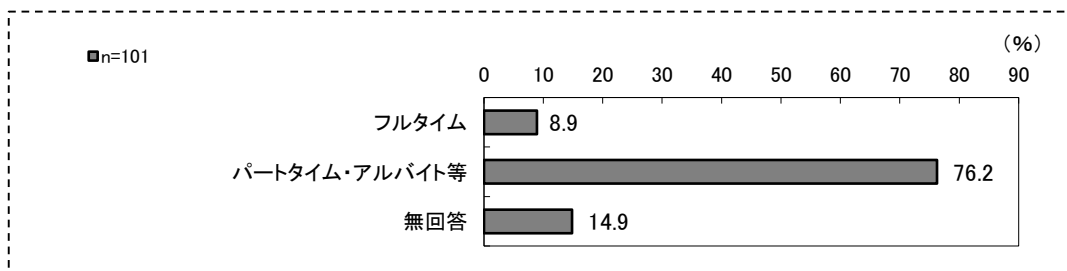
「パートタイム、アルバイト等」(86.8%), 「フルタイム」(13.2%)。

■希望の就労形態■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(7) 母親：パートタイム・アルバイト等就労の希望

※ 問 11-1-1 で「イ」に○をつけた方のみ

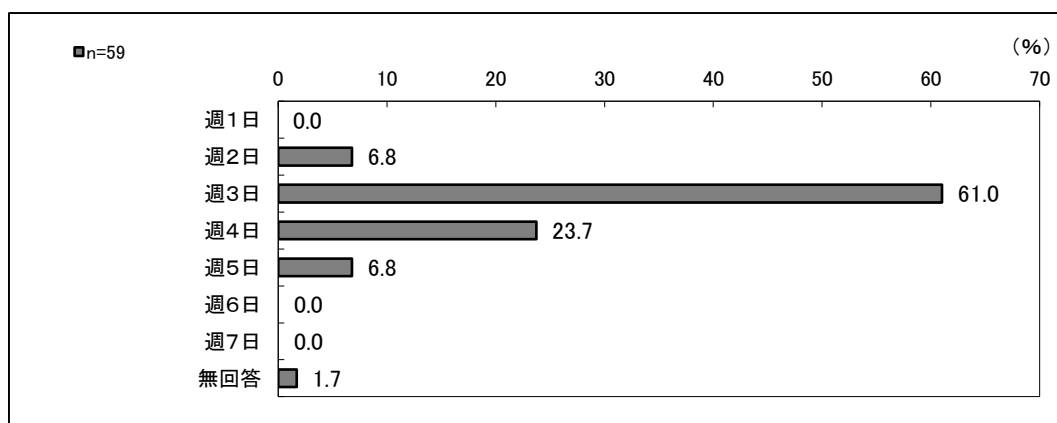
問 11-1-2 母親：希望就労日数／週

問 11-1-3 母親：希望就労時間／日

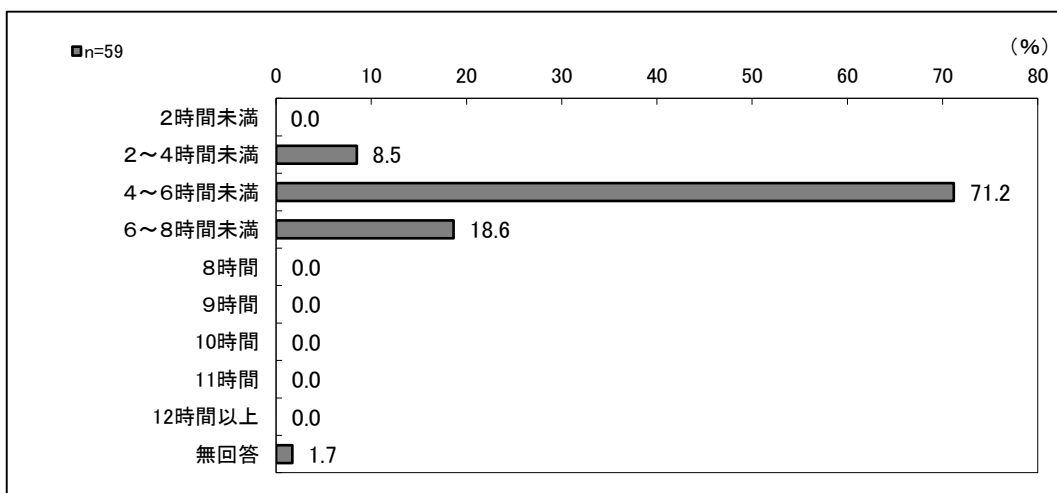


パート・アルバイトとしての母親の1週当たり希望就労日数は「週3日」(61.0%)、1日当たり希望就労時間は「4～6時間」(71.2%)が最も高い割合を占めている。

■ 母親：希望就労日数／週 ■



■ 母親：希望就労時間／日 ■



(8) 母親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間

※ 問11で「3」～「6」に○をつけた方のみ

問11-2 現在の、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

- ① 母親：週当たり就労日数
- ② 母親：1日当たり就労時間



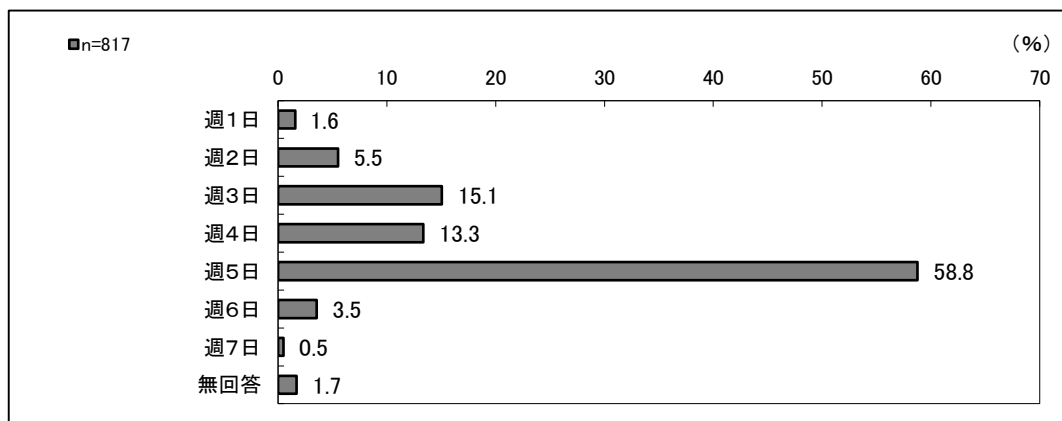
母親の1週当たり労働日数は「週5日」(58.8%)、1日当たり就労時間は「8時間」(32.8%)が最も高い割合を占めている。

回答者の13.4%は、1日当たり就労時間が“9時間以上”となっている。

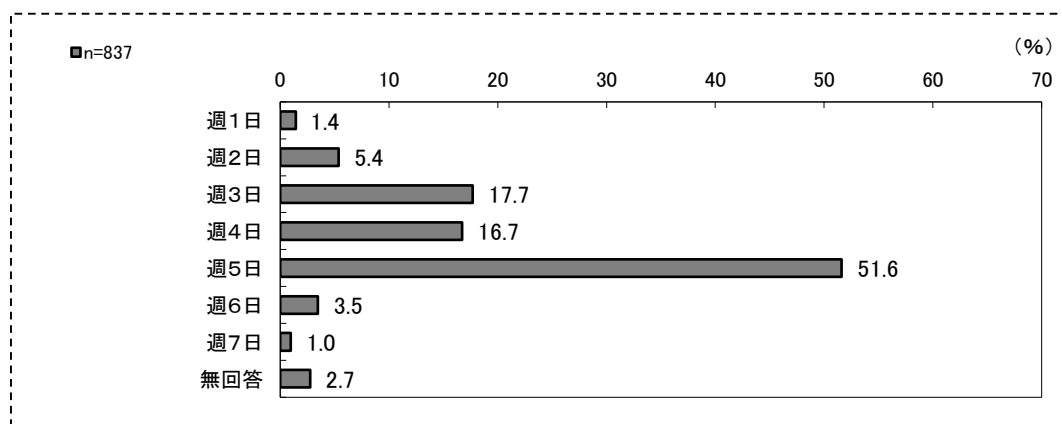
前回調査結果と比較して、就労時間が“9時間以上”の割合は、2.8ポイント増加している。

■母親：週当たり就労日数■

【今回調査】

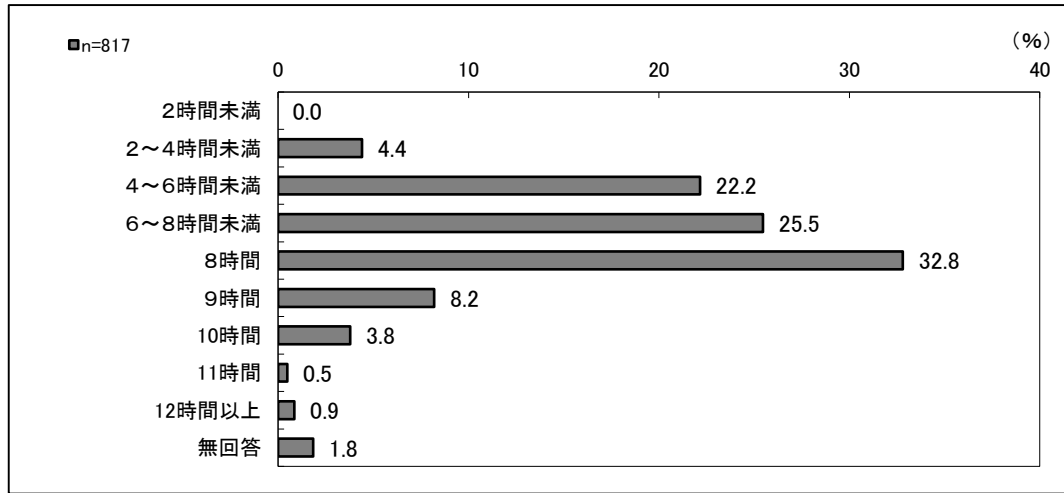


【前回調査 (参考)】

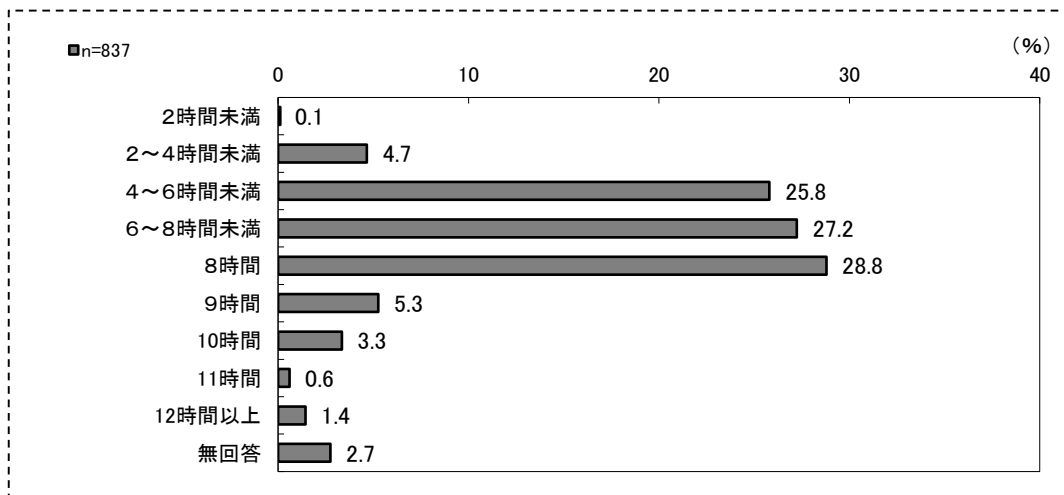


■母親：1日当たり就労時間■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(9) 母親のフルタイムへの転換希望

※ 問11で「5」「6」に○をつけた方のみ

問11-3 フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。

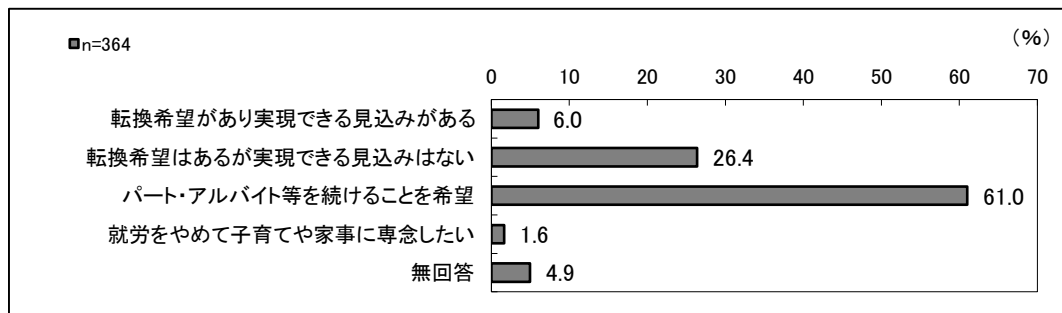


「パート・アルバイト等続けることを希望」（61.0%）、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」（26.4%）、「転換希望があり実現できる見込みがある」（6.0%）、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」（1.6%）。

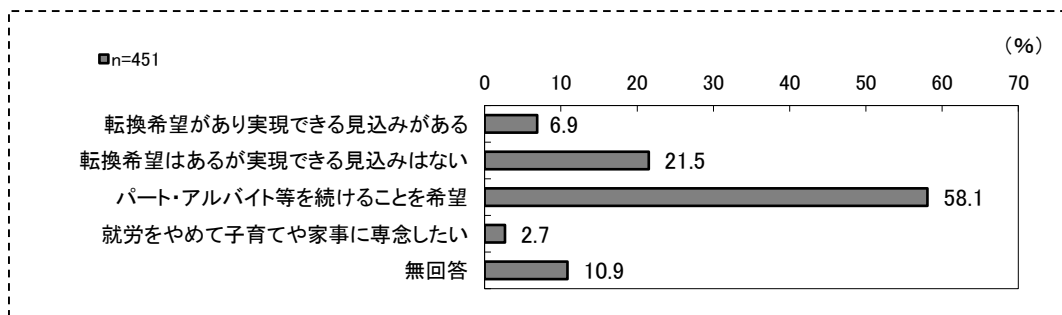
前回調査結果に引き続き、「パート・アルバイト等続けることを希望」が約6割を占めている。

■母親のフルタイムへの転換希望■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(10) 父親の就労状況

※ 主に父親の状況について

問 12 宛名のお子さんの「父親」の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）についてお答えください。



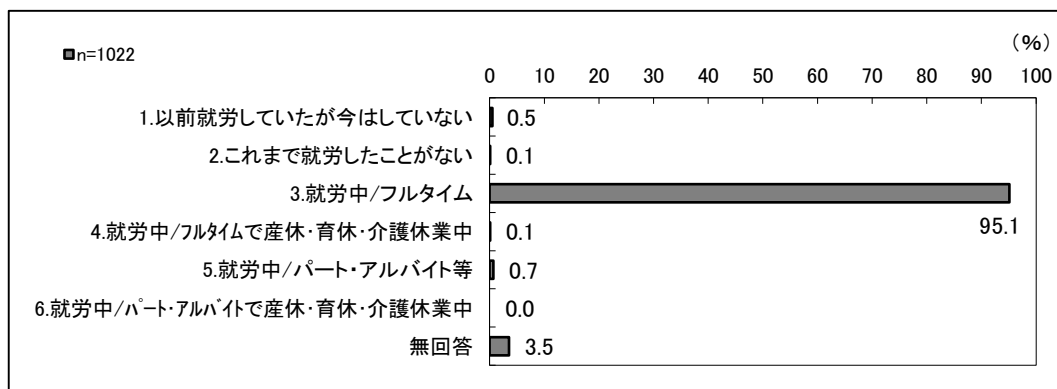
「就労中/フルタイム」が95.1%で大半を占める。

「就労中/パート・アルバイト等」(0.7%)、「以前就労していたが今はしていない」(0.5%)、「これまで就労したことがない」(0.1%)、「就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中」(0.1%)がこれに続く。

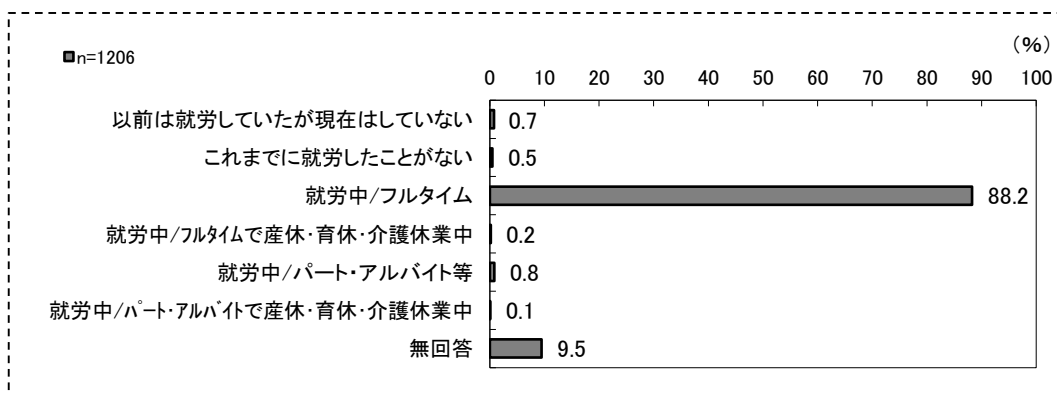
前回調査結果と比較して、「就労中/フルタイム」が6.9ポイント増加している。

■父親の就労状況■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(11) 父親の就労希望について

※ 問12で「1」または「2」に○をつけた方のみ

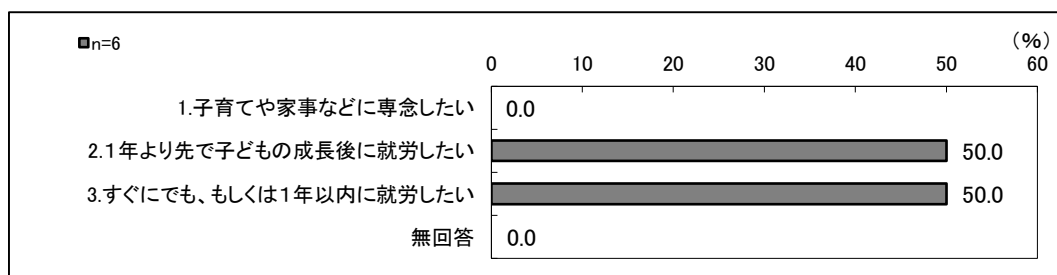
問12-1 就労したいという希望はありますか。



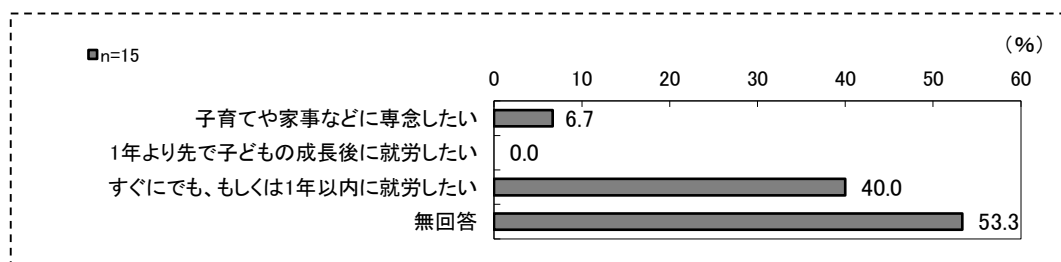
「1年より先で子どもの成長後に就労したい」(50.0%), 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(50.0%)。

■父親の就労希望について■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



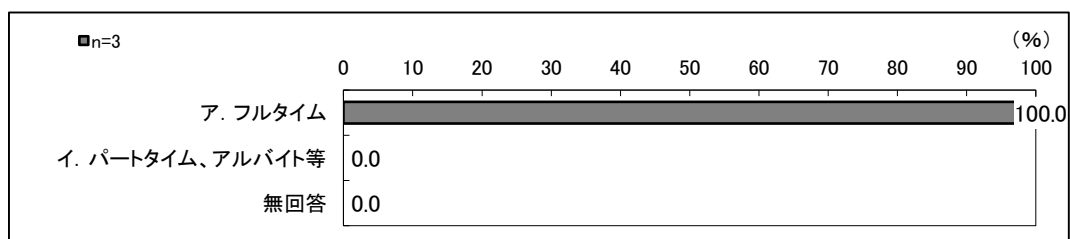
(12) 父親：希望の就労形態

※ 問 12-1 で「3」に○をつけた方のみ
問 12-1-1 希望の就労形態

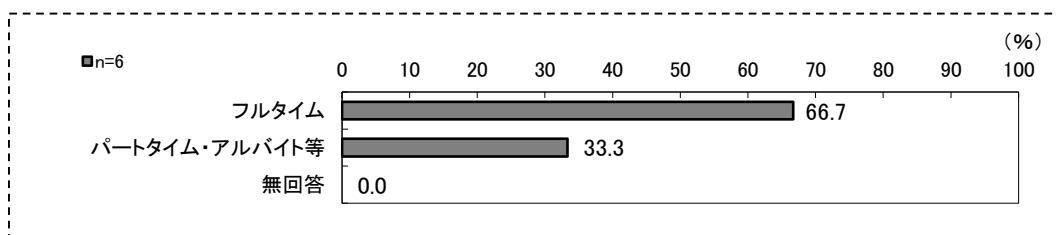
「フルタイム」(100.0%)。

■希望の就労形態■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(13) 父親：パートタイム・アルバイト等就労の希望

※ 問 12-1-1 で「イ」に○をつけた方のみ
問 12-1-2 父親：希望就労日数/週
問 12-1-3 父親：希望就労時間/日

該当者なし。

(14) 父親：現在の1週当たり就労日数および1日当たり就労時間

※ 問12で「3」～「6」に○をつけた方のみ

問12-2 現在の、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

- ① 父親：週当たり就労日数
- ② 父親：1日当たり就労時間



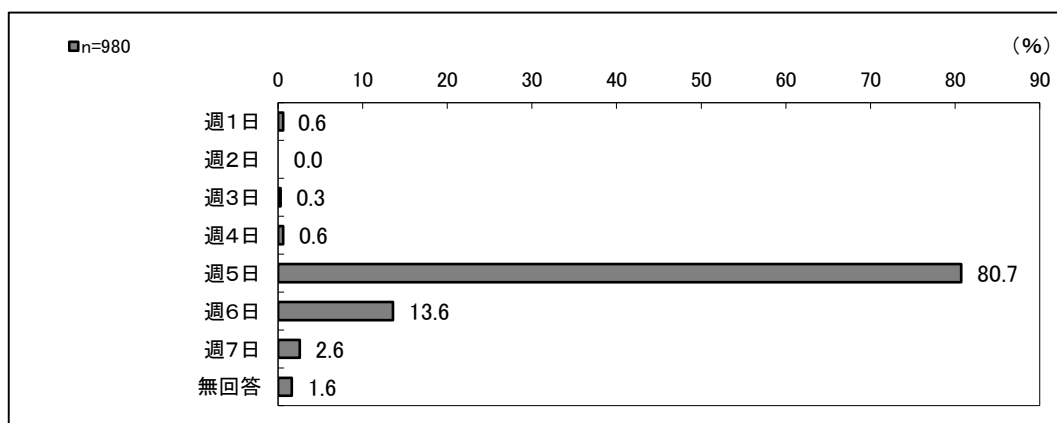
父親の1週当たり労働日数は「週5日」(80.7%)、1日当たり就労時間は「8時間」(36.5%)が最も高い割合を占めている。

回答者の41.2%は、1日当たり就労時間が“10時間以上”となっている。

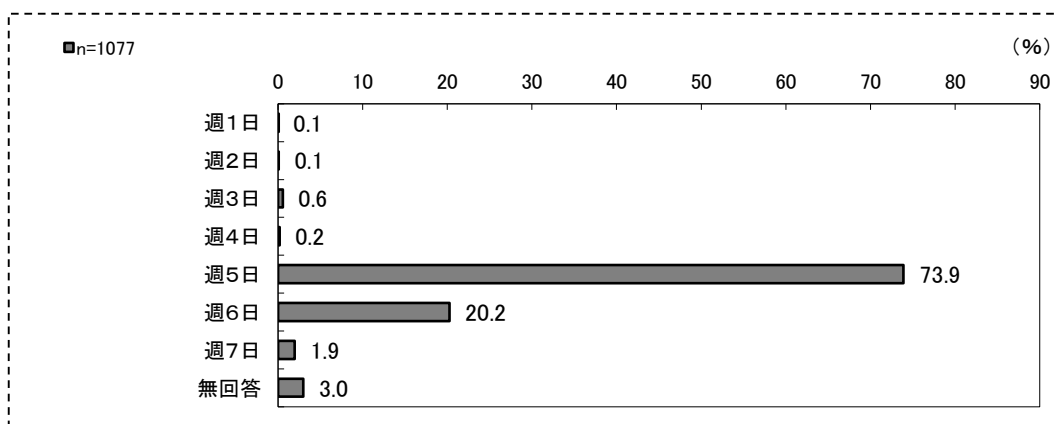
前回調査結果と比較して、就労時間が“10時間以上”の割合は、15.6ポイント減少している。

■父親：週当たり就労日数■

【今回調査】

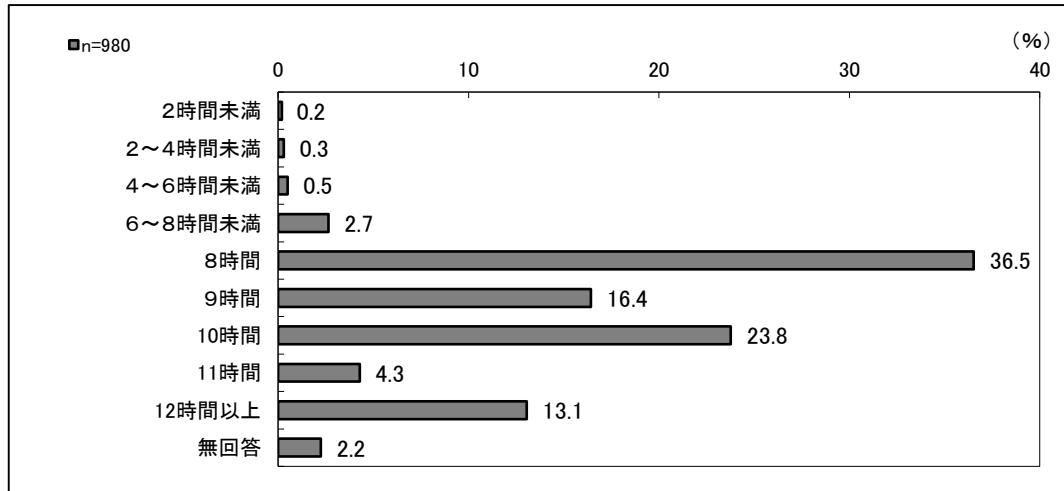


【前回調査 (参考)】

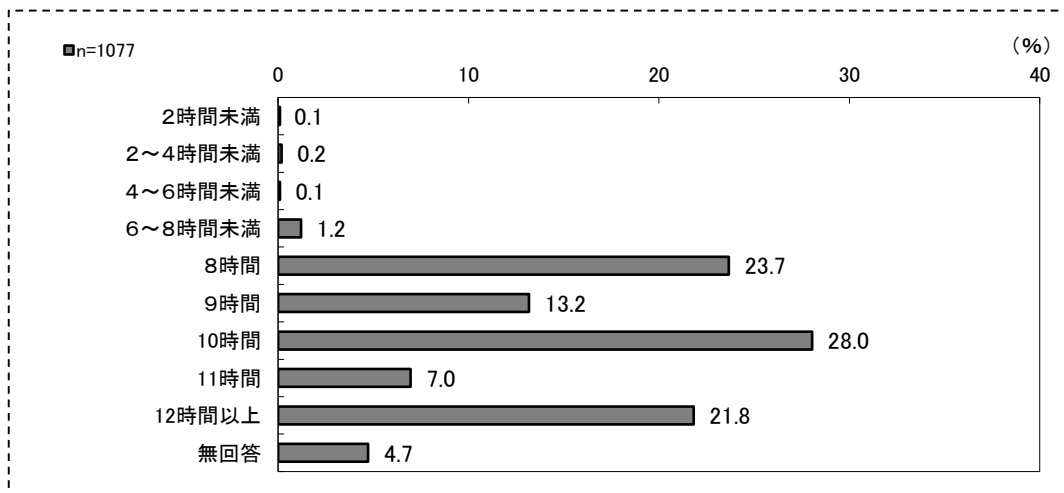


■父親：1日当たり就労時間■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(15) 父親のフルタイムへの転換希望

※ 問12で「5」「6」に○をつけた方のみ

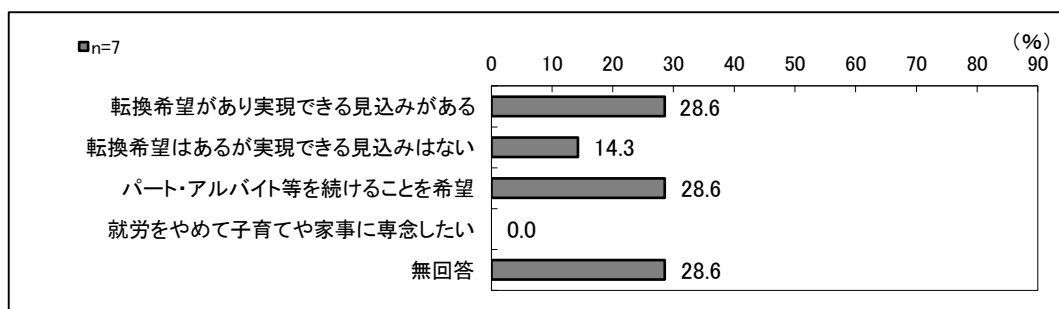
問12-3 フルタイム（1週5日程度，1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。



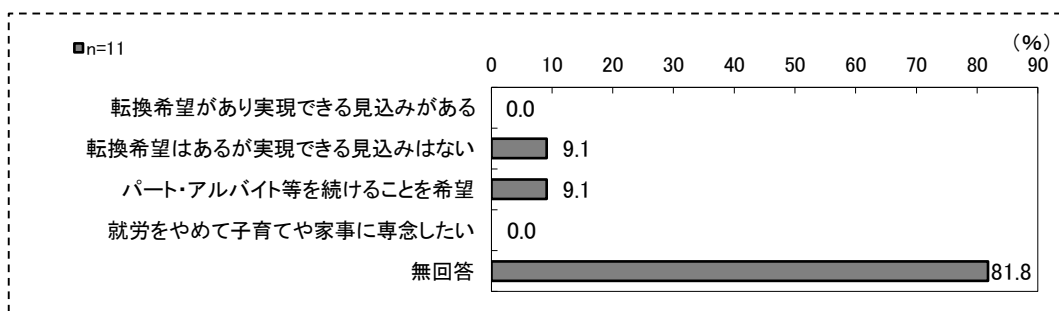
「転換希望があり実現できる見込みがある」(28.6%)，「パート・アルバイト等続けることを希望」(28.6%)，「転換希望はあるが実現できる見込みはない」(14.3%)。

■父親のフルタイムへの転換希望■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



5. 子育ての不安・悩み等について

(1) 子育てでの不安や悩み

問 13 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。【複数回答】

「子どもの進路や進学のこと」(52.2%)、「子どもの学費のこと」(42.5%)、「子どもの学力のこと」(36.0%)と、子どもの教育・進路に関する不安や悩みが上位3位までを占める。

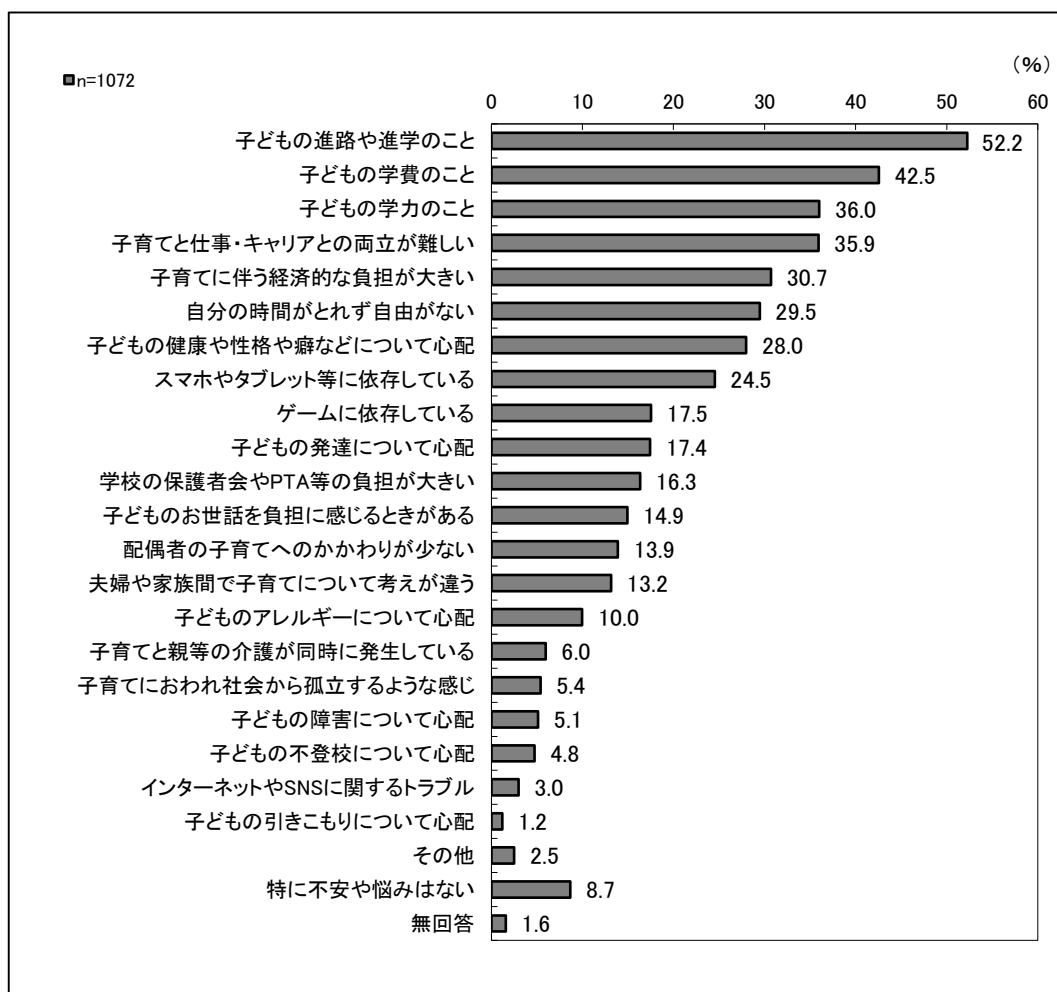
「子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい」(35.9%)、「子育てに伴う経済的な負担が大きい」(30.7%)、「自分の時間がとれず自由がない」(29.5%)、「子どもの健康や性格や癖などについて心配」(28.0%)等がこれに続く。

「特に不安や悩みはない」は8.7%。

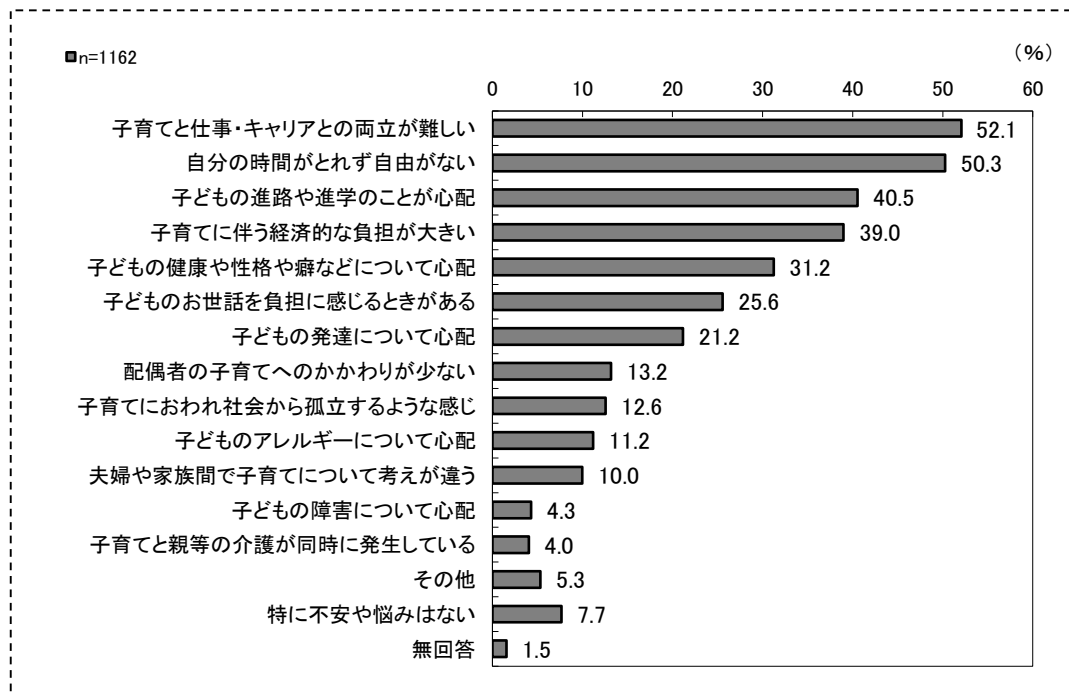
未就学児保護者調査で最も回答割合の高かった、「子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい」については、小学生の保護者の回答でも上位となっているものの、回答割合は16.2ポイント減少している。

■子育てでの不安や悩み■

【小学生の保護者対象調査の結果】



【未就学児の保護者対象調査の結果】



(2) 気軽に相談できる相談先

問 14 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）は誰（どこ）ですか。【複数回答】

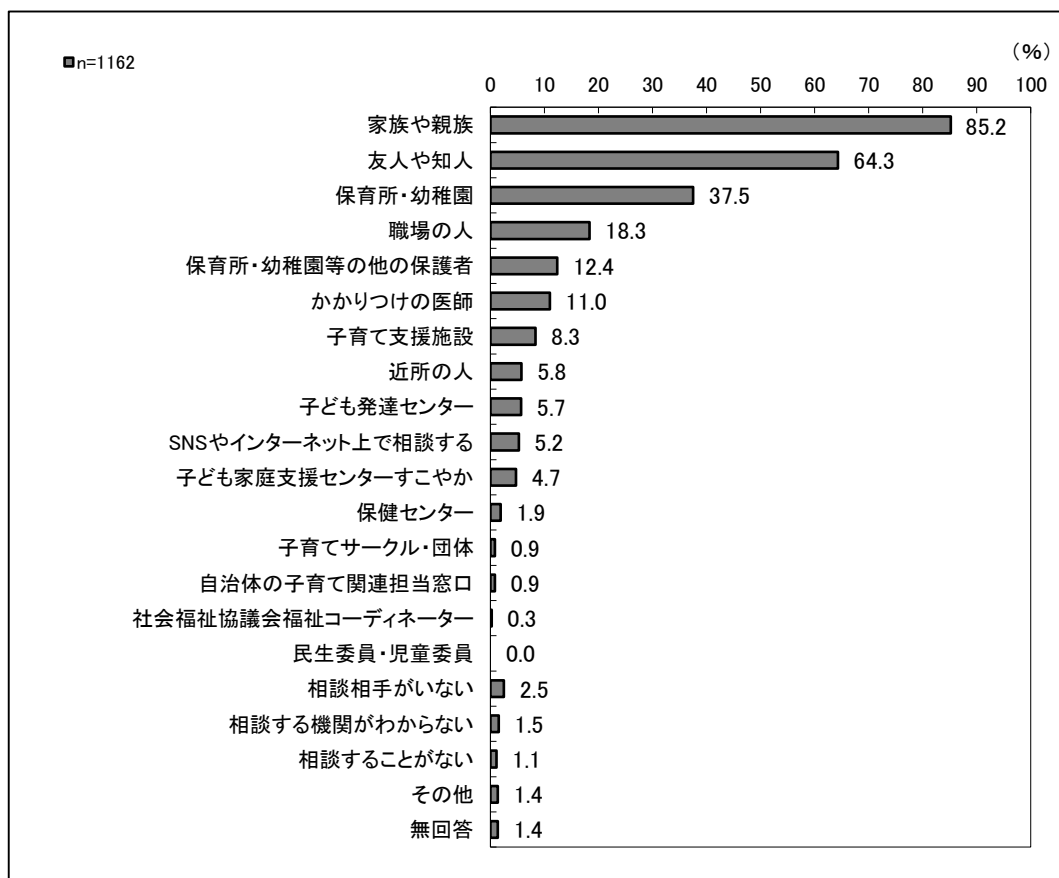


「家族や親族」(77.5%)、「友人や知人」(65.0%) が回答の半数以上を占め身近な人を相談先とする傾向が強い。

「学校の先生」(20.9%)、「職場の人」(19.1%)、「学校の他の保護者」(14.4%) 等がこれに続く。

「相談相手がない」とする回答は 3.8%となっている。

■ 気軽に相談できる相談先 ■



(3) 地域交流の場の利用の有無

問 15 地域との繋がりや交流ができる，次のような地域交流の場を利用したことがありますか。【複数回答】

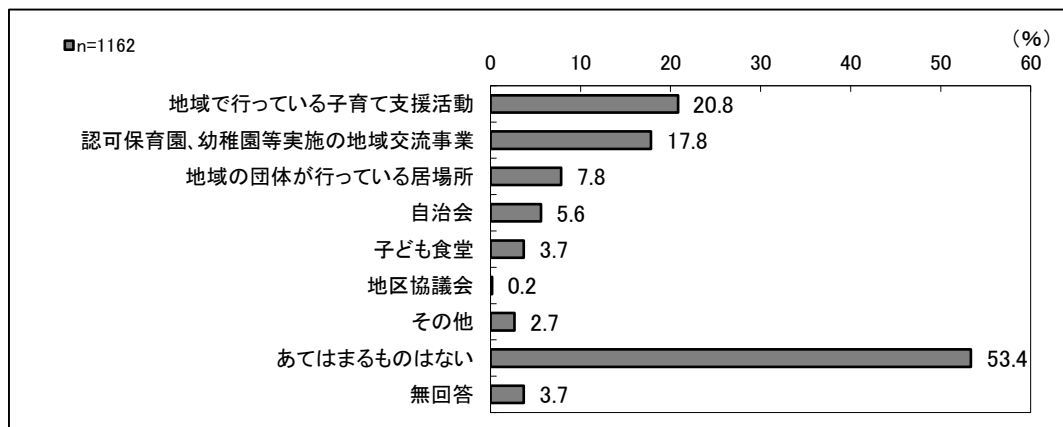


「あてはまるものはない」が 58.3%で地域での活動や場を利用したことがない回答が約6割を占める。

「地域で行っている子育て支援活動」(14.9%)，「自治会」(11.9%)，「認可保育園、幼稚園等実施の地域交流事業」(10.9%)，「子ども食堂」(7.3%)，「地域の団体が行っている居場所」(6.7%)等がこれに続く。

地域での活動や場をしたことがある回答は2割未満となっている。

■地域での活動や場の利用の有無■



(4) あるとよいと思う地域の活動

問 15-1 地域との繋がりや交流ができる場には、どのような活動があると良いと思いますか。

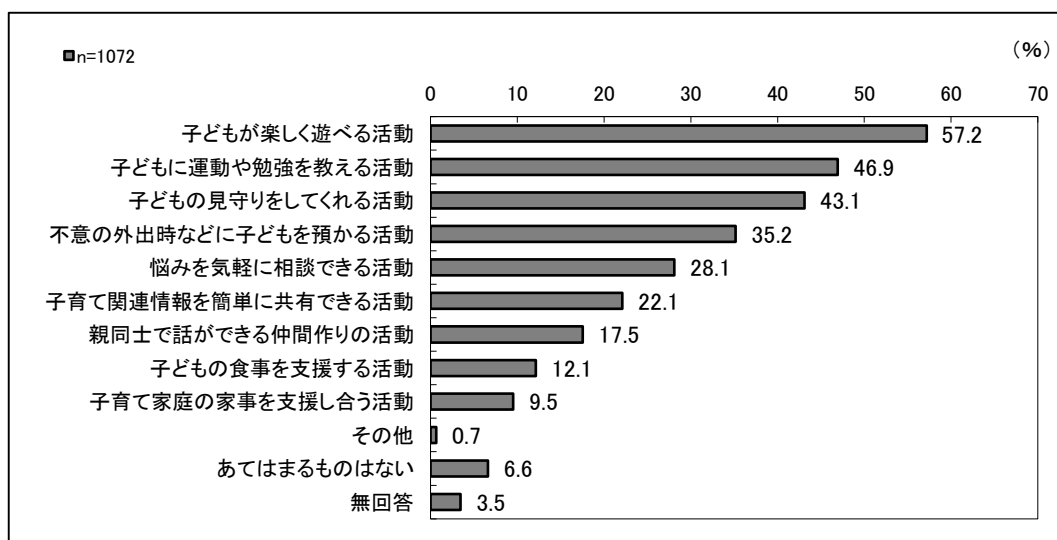
【複数回答】



「子どもが楽しく遊べる活動」(57.2%)、「子どもに運動や勉強を教える活動」(46.9%)、「子どもの見守りをしてくれる活動」(43.1%)が上位3位までを占める。

「不意の外出時などに子どもを預かる活動」(35.2%)、「悩みを気軽に相談できる活動」(28.1%)、「子育て関連情報を簡単に共有できる活動」(22.1%等がこれに続く。

■あるとよいと思う地域交流の活動■



(5) 理想とする子どもの人数

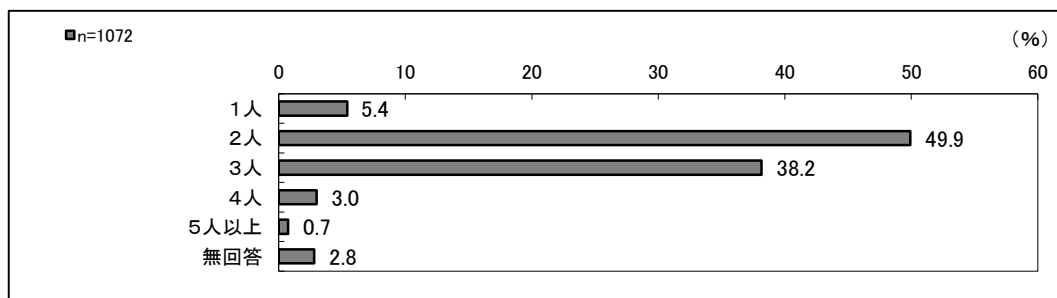
問 16 理想とするお子さんの人数は何人くらいですか。

「2人」(49.9%), 「3人」(38.2%), 「1人」(5.4%), 「4人」(3.0%), 「5人以上」(0.7%)。 「2人」以上の回答が91.8%で大半を占める。一方で、問3(1), (2)の回答から算出した(4)きょうだいの人数と比較すると理想とする子どもの人数よりも実際のきょうだいの人数は少ない。

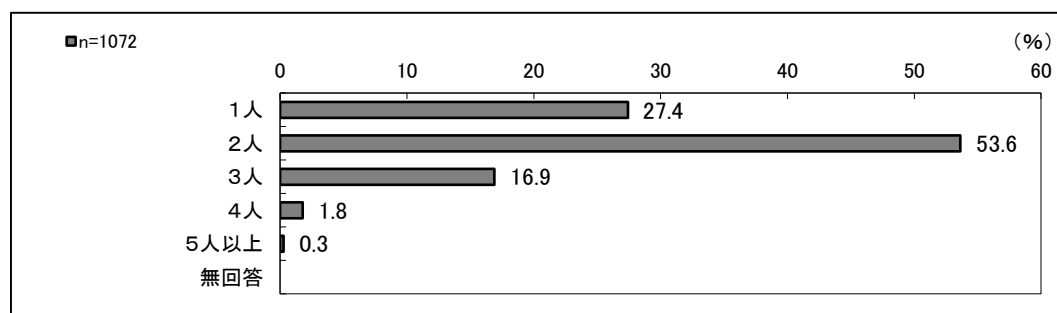
参考資料「国立社会保障・人口問題研究所 出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」をみると、調布市の調査結果と同様、国全体としても「平均予定子ども数」が「平均理想子ども数」を下回っている。

■理想とする子どもの人数■

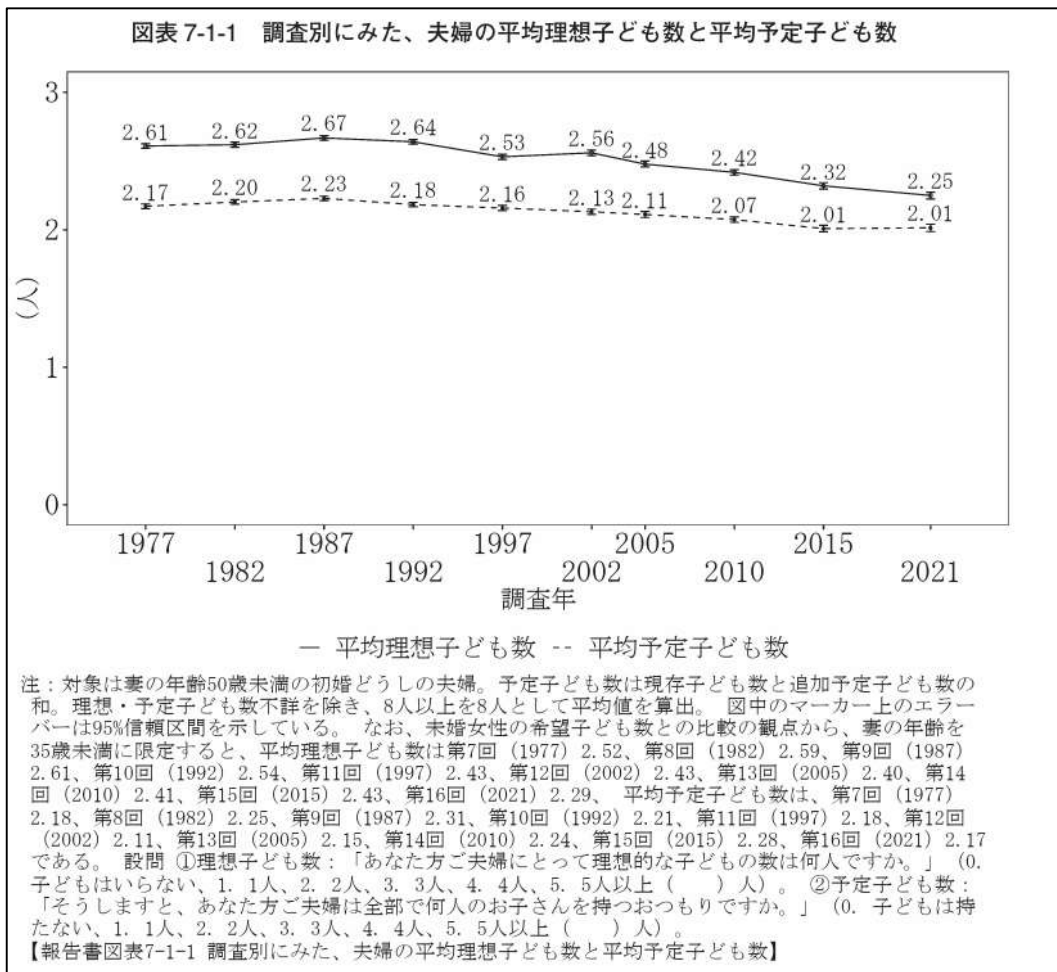
【今回調査】



【今回調査(参考)】問3(1), (2)の回答から算出した, (4)きょうだいの人数



図表 7-1-1 調査別に見た、夫婦の平均理想子ども数と平均予定子ども数



調査対象：「令和3年国民生活基礎調査」で設定された調査区から無作為に選ばれた全国1,000調査区に居住する18歳以上55歳未満の独身者と妻の年齢が55歳未満の夫婦（回答者は妻）

調査時期：2021年6月（6月30日現在の事実）

※ 「こども大綱」における「こども・若者、子育て当事者の置かれた状況等を把握するための指標」の1つ

(6) 理想とする人数の子どもを育てやすくなるための課題

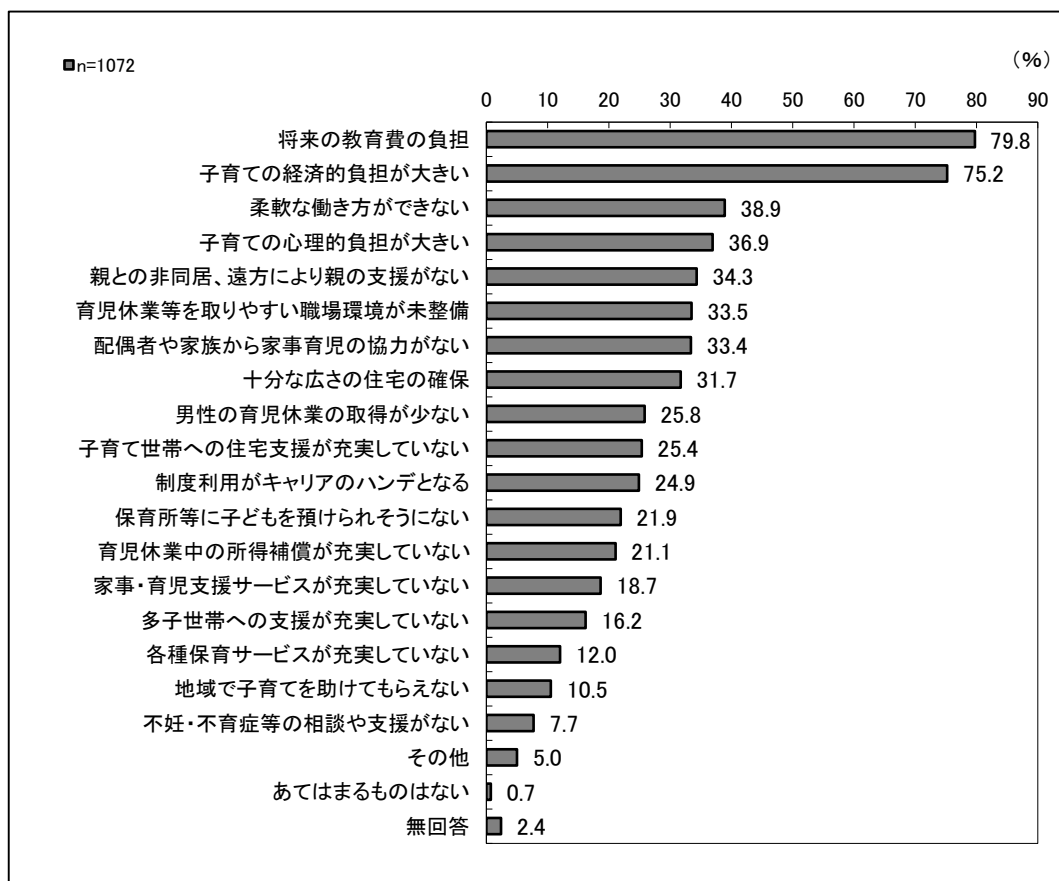
問 16-1 すべての人が理想とする人数の子どもを育てやすくなるためには、どのようなことが課題になるとお考えですか。【複数回答】



「将来の教育費の負担」(79.8%)、「子育ての経済的負担が大きい」(75.2%)が回答者の7割以上を占める。子どもを育てやすくなるためには、経済的な要因の改善が必要と回答する傾向が強い。

「柔軟な働き方ができない」(38.9%)、「子育ての心理的負担が大きい」(36.9%)、「親との非同居、遠方により親の支援がない」(34.3%)、「育児休業等を取りやすい職場環境が未整備」(33.5%)等がこれに続く。

■理想とする人数の子どもを育てやすくなるための課題■



6. 市の子育て支援サービス等について

(1) 子育てに関する情報の入手先

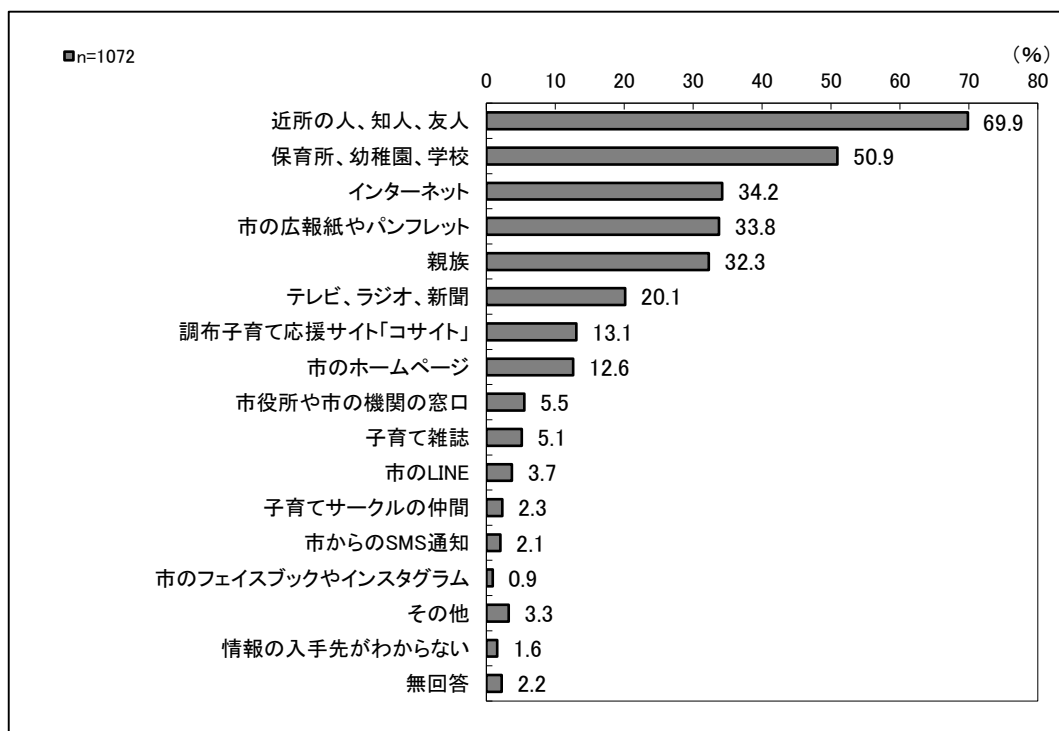
問 17 あなたは、子育てに関する情報をどこ（誰・何）から入手していますか。【複数回答】

「近所の人、知人、友人」が69.9%で約7割を占める。

「保育所、幼稚園、学校」(50.9%)、「インターネット」(34.2%)、「市の広報紙やパンフレット」(33.8%)、「親族」(32.3%)、「テレビ、ラジオ、新聞」(20.1%)等がこれに続く。

「情報の入手先がわからない」への回答が1.6%であるほか、市のホームページ、フェイスブックやインスタグラム、LINEなどのSNSなどの情報発信による情報の入手が少ない傾向にある。

■子育てに関する情報の入手先■



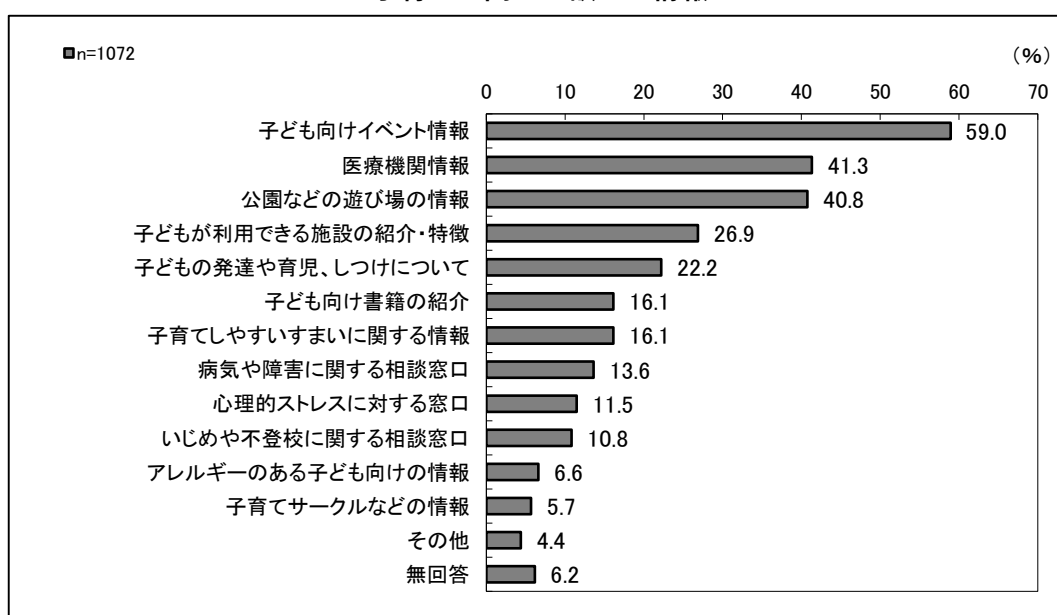
(2) 子育てに関して欲しい情報

問 17-1 あなたは、子育てに関するどのような情報が欲しいですか。【複数回答】

「子ども向けイベント情報」(59.0%)、「医療機関情報」(41.3%)、「公園などの遊び場の情報」(40.8%)が上位3位を占める。

「子どもが利用できる施設の紹介・特徴」(26.9%)、「子どもの発達や育児、しつけについて」(22.2%)、「子ども向け書籍の紹介」(16.1%)、「子育てしやすいすまいに関する情報」(16.1%)等がこれに続く。

■子育てに関して欲しい情報■



(3) 事業・サービス等の認知状況

問 18 次の施設やサービス等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

A 事業・サービス等の認知状況【複数回答】

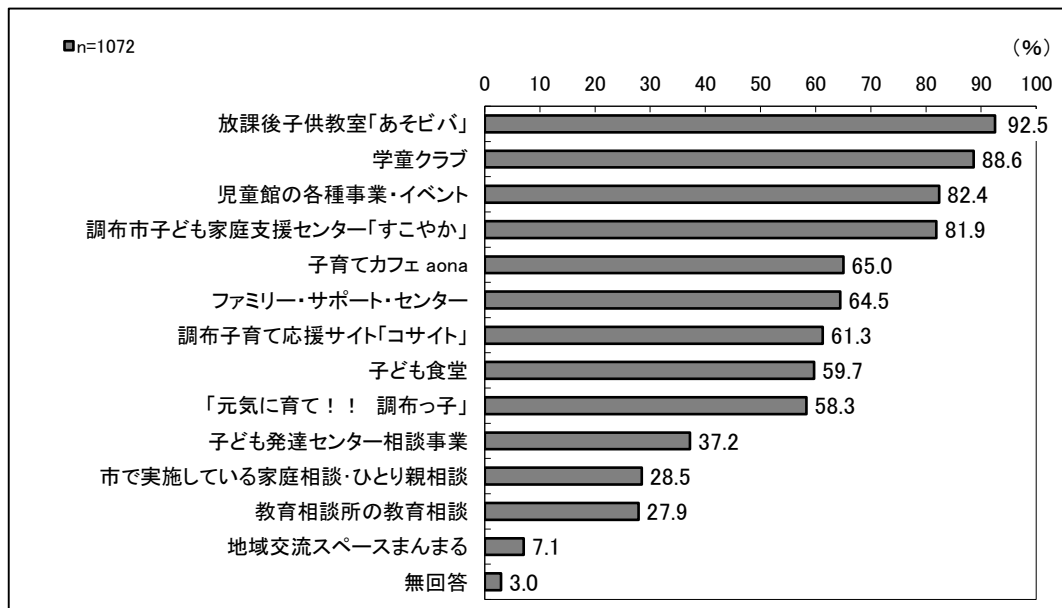
最も認知状況が高かったのは「放課後子供教室「あそびバ」」で、92.5%の回答者に認知されている。

「学童クラブ」(88.6%)、「児童館の各種事業・イベント」(82.4%)、「調布市子ども家庭支援センター「すこやか」」(81.9%)、「子育てカフェ aona」(65.0%)等がこれに続く。

前回調査結果と比較して、「子育てカフェ aona」,「調布子育て応援サイト「コサイト」」等の認知割合が高かった。

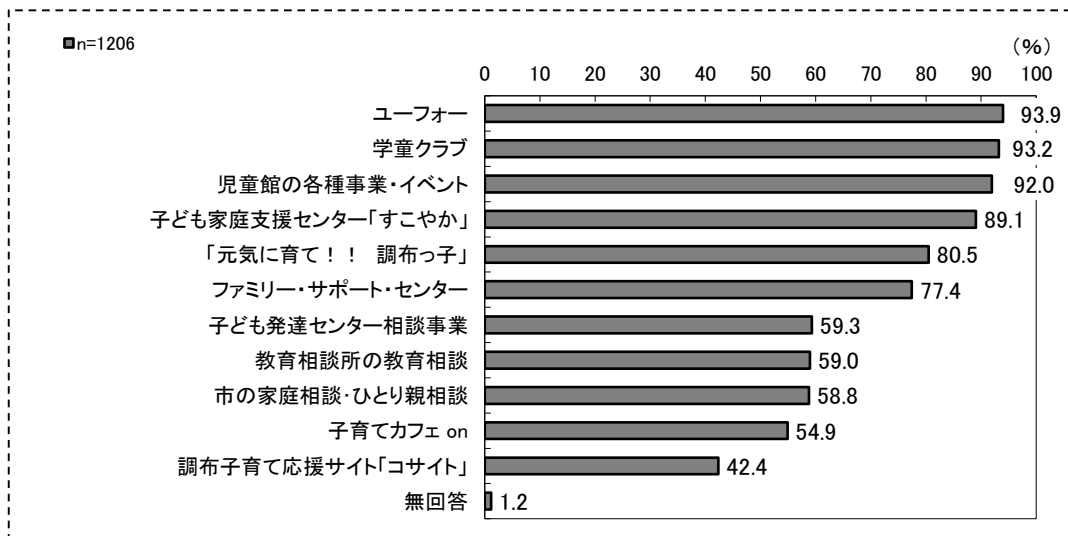
■ 事業・サービス等の認知状況 ■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



(4) 事業・サービス等の利用状況

B 事業・サービス等の利用状況【複数回答】

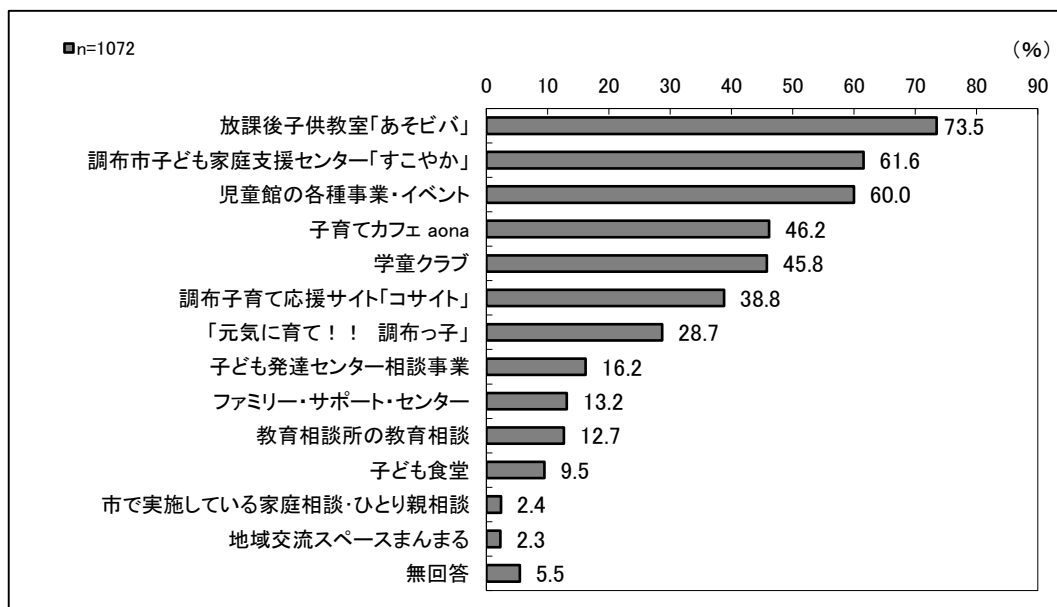
最も利用されているのは「放課後子供教室「あそびバ」」で、73.5%の回答者が「利用経験あり」としている。

「調布市子ども家庭支援センター「すこやか」」(61.6%)、「児童館の各種事業・イベント」(60.0%)、「子育てカフェ aona」(46.2%)、「学童クラブ」(45.8%)等がこれに続く。

前回調査結果と比較して、「元気に育て！！調布っ子」(18.1ポイント減)、「児童館の各種事業・イベント」(13.0ポイント減)、「放課後子供教室「あそびバ」」(7.8ポイント減)等の「利用経験あり」が減っている。

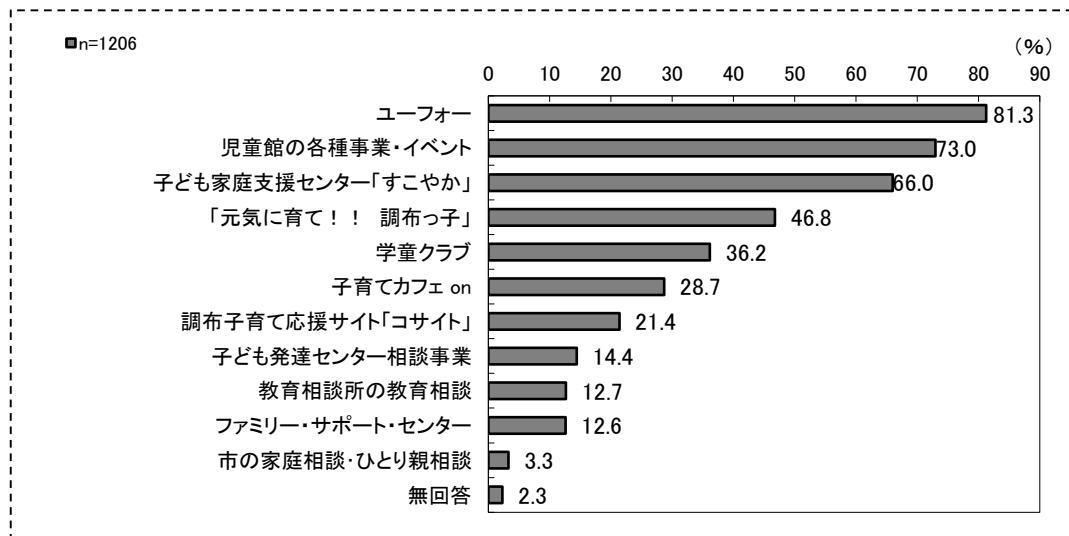
■事業・サービス等の利用状況■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



(5) 事業・サービス等の利用意向

C 事業・サービス等の利用意向【複数回答】

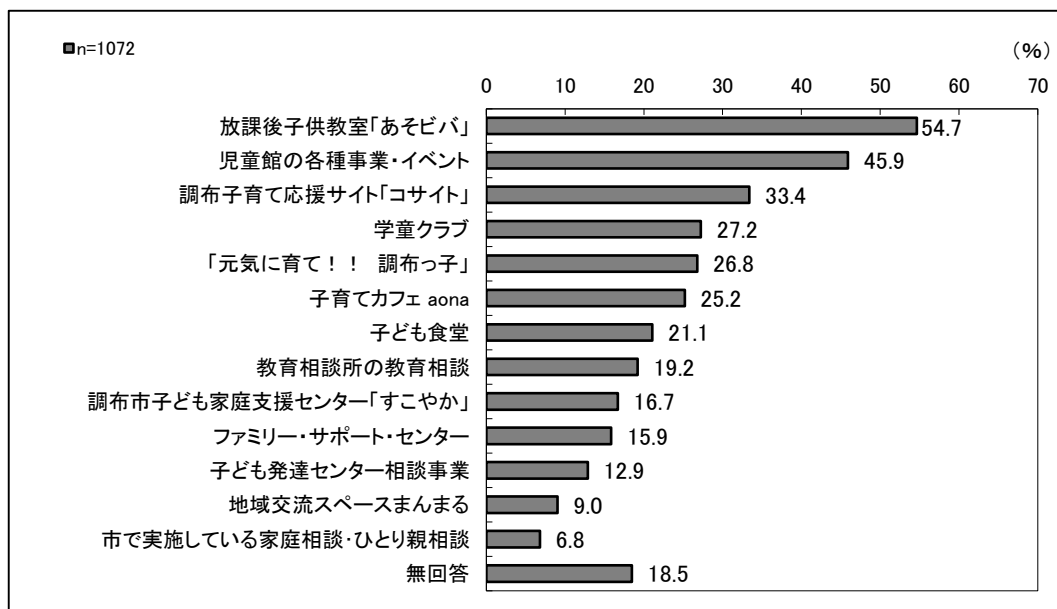
「放課後子供教室「あそびバ」(54.7%)の利用意向が半数以上を占めている。

「児童館の各種事業・イベント」(45.9%),「調布子育て応援サイト「コサイト」」(33.4%),「学童クラブ」(27.2%),「「元気に育て!! 調布っ子」」(26.8%)等がこれに続く。

前回調査結果と比較して、「放課後子供教室「あそびバ」(7.9ポイント減),「児童館の各種事業・イベント」(15.0ポイント減)の利用意向は他と比較すると高いものの,回答割合は減少している。

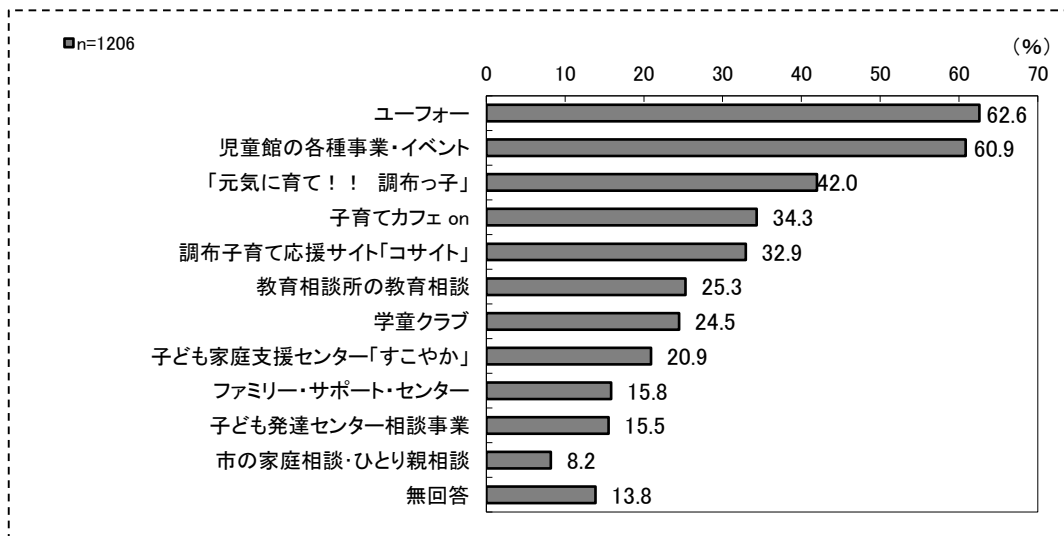
■事業・サービス等の利用意向■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユフォー」は,令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 現状 ① 学校終了後～17:00

問 19 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。

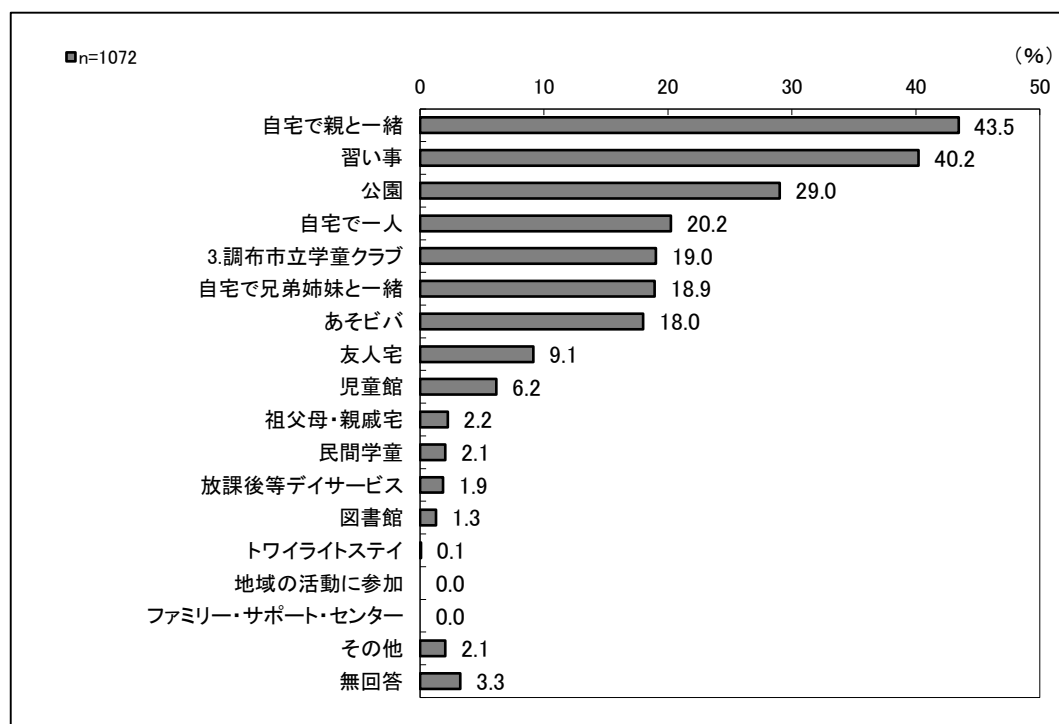
(1) 学校終了後～17:00【複数回答】

「自宅で親と一緒に」が43.5%、「習い事」が40.2%で高い割合を占めている。
「公園」(29.0%)、「自宅で一人」(20.2%)、「調布市立学童クラブ」(19.0%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(18.9%)、「あそびバ」(18.0%)等がこれに続く。

前回調査結果と比較して、「自宅で親と一緒に」、「習い事」、「公園」、「自宅で一人」等への回答割合が増加している。

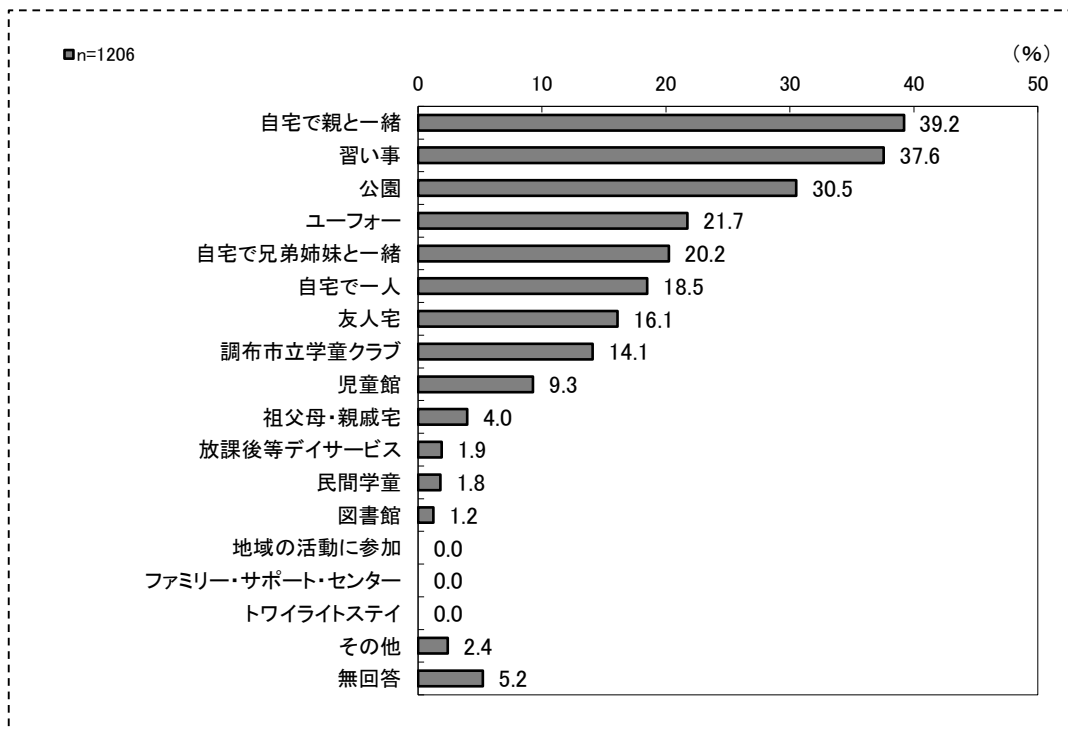
■現状 (1) 学校終了後～17:00■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」と変更されました。

【前回調査（参考）】



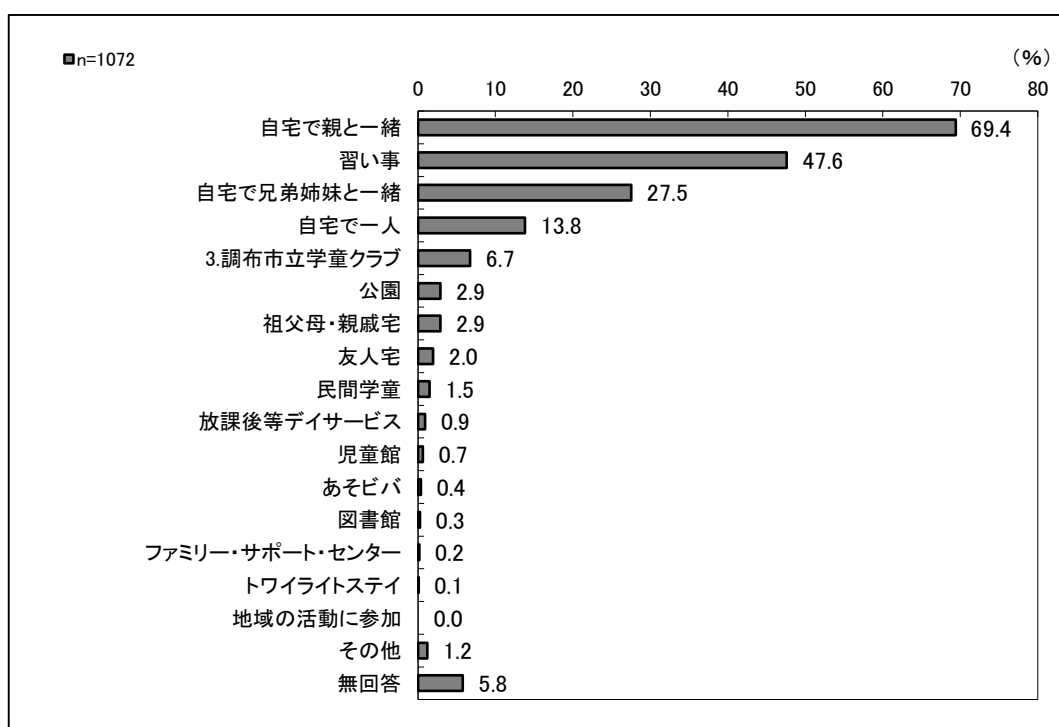
(2) 現状 ② 17:00~19:00

(2) 17:00~19:00【複数回答】

「自宅で親と一緒に」が69.4%、「習い事」が47.6%で高い割合を占めている。
「習い事」(47.6%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(27.5%)等がこれに続く。
前回調査結果と比較して、「自宅で親と一緒に」、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」、「自宅で一人」等への回答割合が増加している。

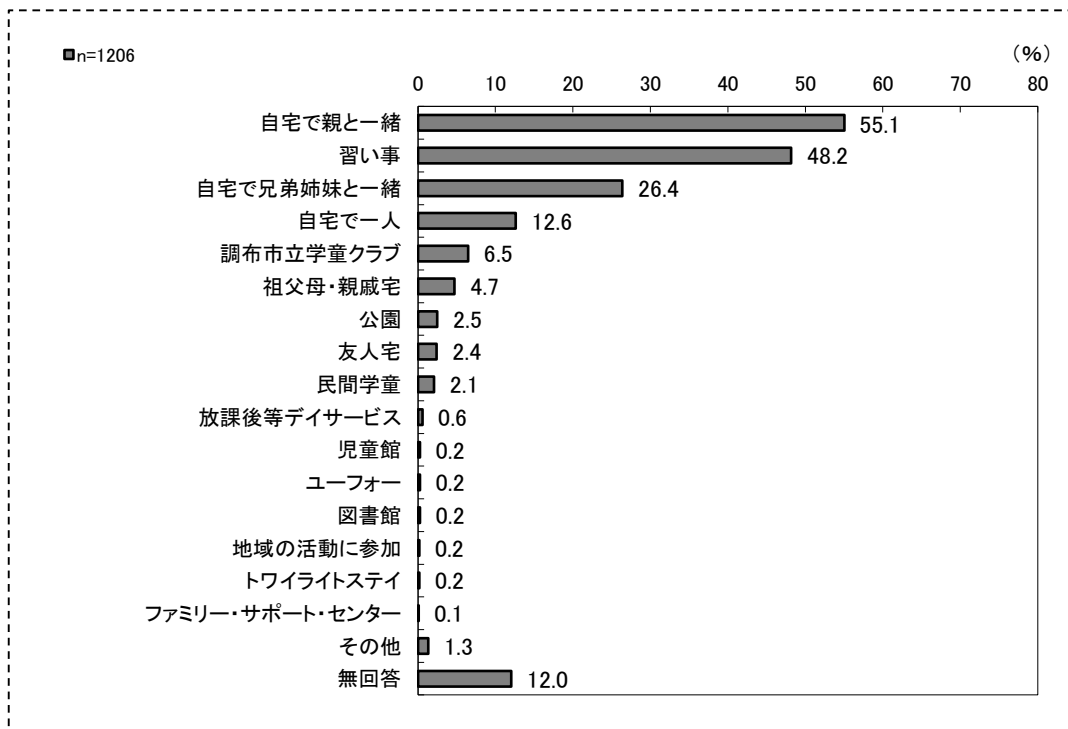
■現状 (2) 17:00~19:00■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユーフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



(3) 現状 ③ 19:00～

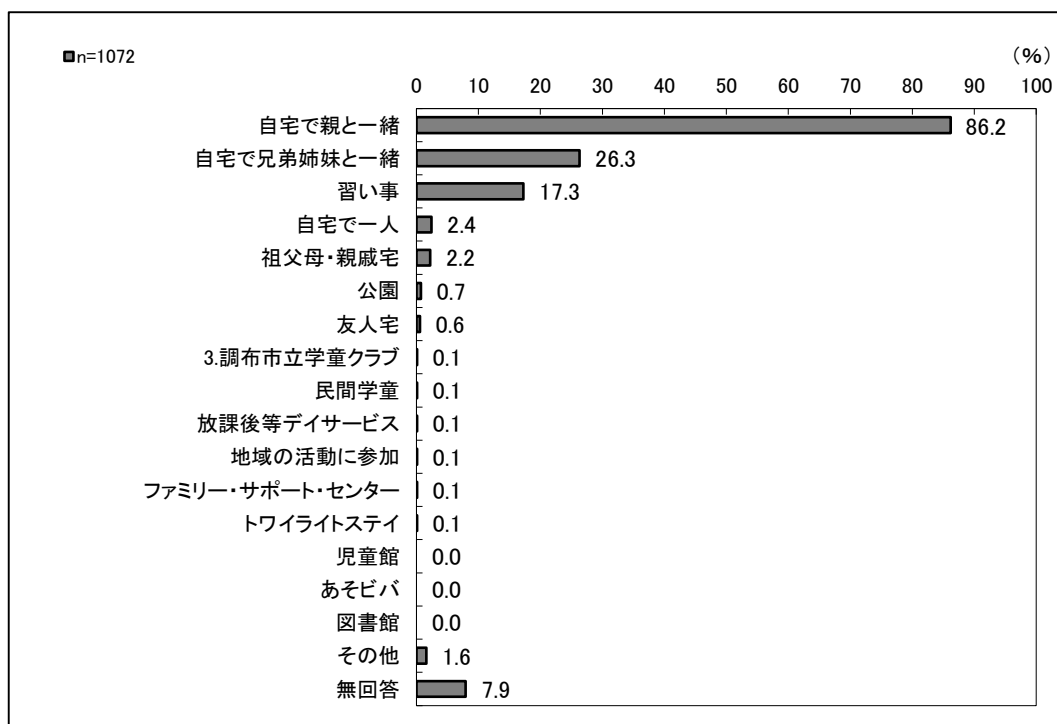
(3) 19:00～【複数回答】

「自宅で親と一緒に」(86.2%)が最も高い割合で、前回調査結果から17.9ポイント増加している。

「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(26.3%)、「習い事」(17.3%)等がこれに続く。

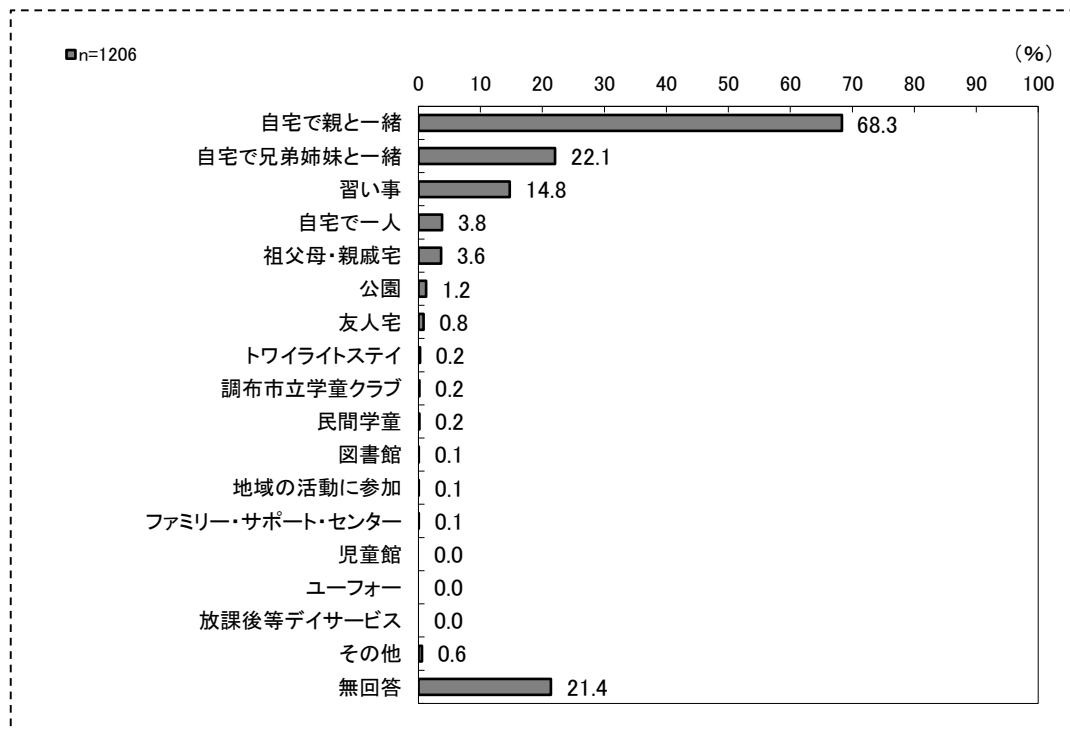
■現状 (3) 19:00～■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユーフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



(4) ① 現在低学年：希望－低学年 (1) 学校終了後～17：00

※ 小学校1年生～3年生の方のみ

問 19-1 放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
小学校低学年(1～3年生)の場合と小学校高学年(4～6年生)になった場合について、
下記(1)～(3)の時間帯ごとに、あてはまるもの3つまでに○をつけてください。高学
年については、先のことになりますが、現在お持ちの考えでお答えください。

① 現在低学年：希望－低学年 (1) 学校終了後～17：00【複数回答】



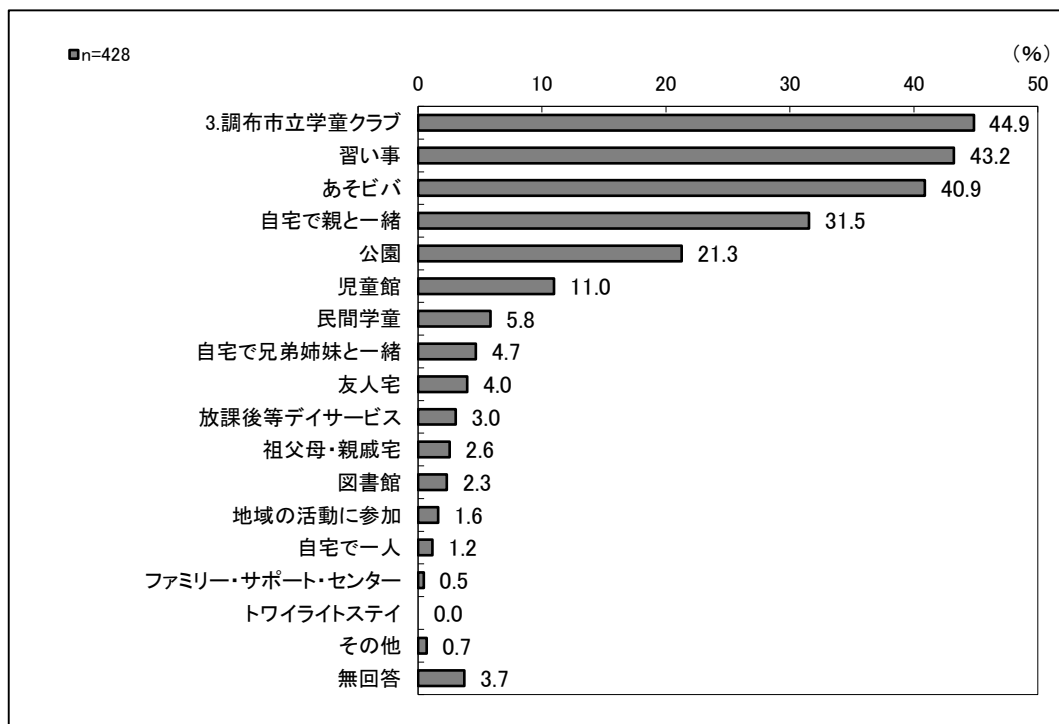
「調布市立学童クラブ」(44.9%)、「習い事」(43.2%)、「あそびバ」(40.9%)の回答が高い割合を占めている。

「自宅で親と一緒に」(31.5%)、「公園」(21.3%)、「児童館」(11.0%)等がこれに続く。

低学年時における「調布市立学童クラブ」(44.9%)は、前回調査結果と比較して16.3ポイント増加している。

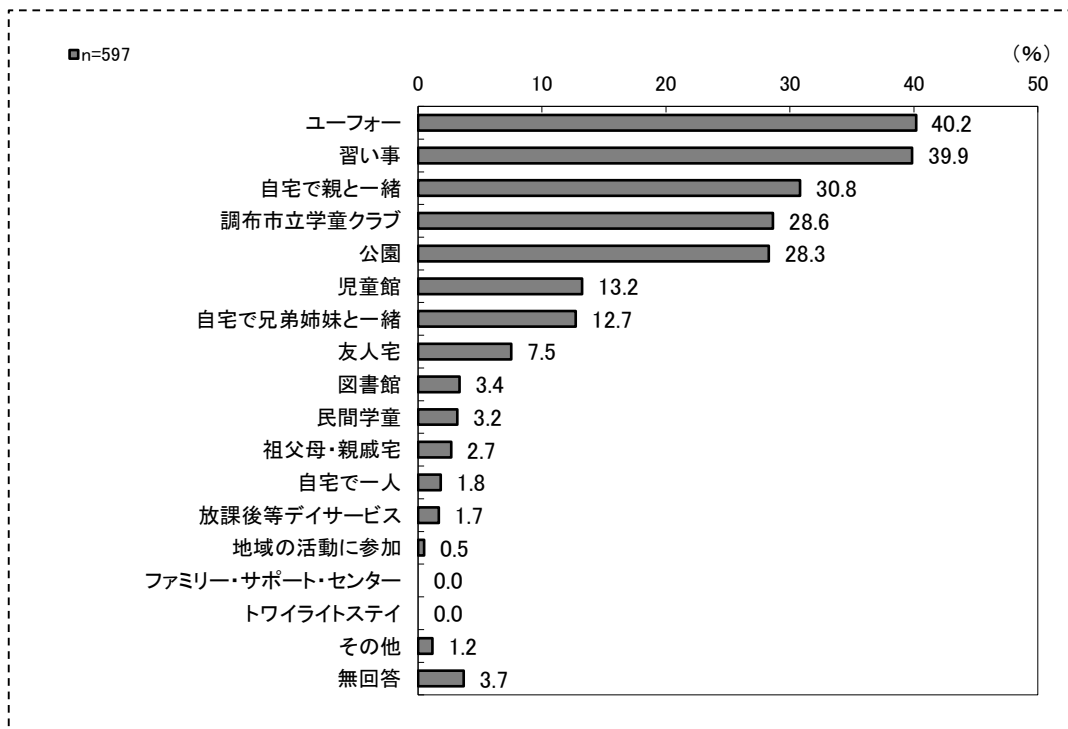
■① 現在低学年：希望－低学年 (1) 学校終了後～17：00■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



(5) ① 現在低学年：希望－低学年 (2) 17:00～19:00

① 現在低学年：希望－低学年 (2) 17:00～19:00 【複数回答】

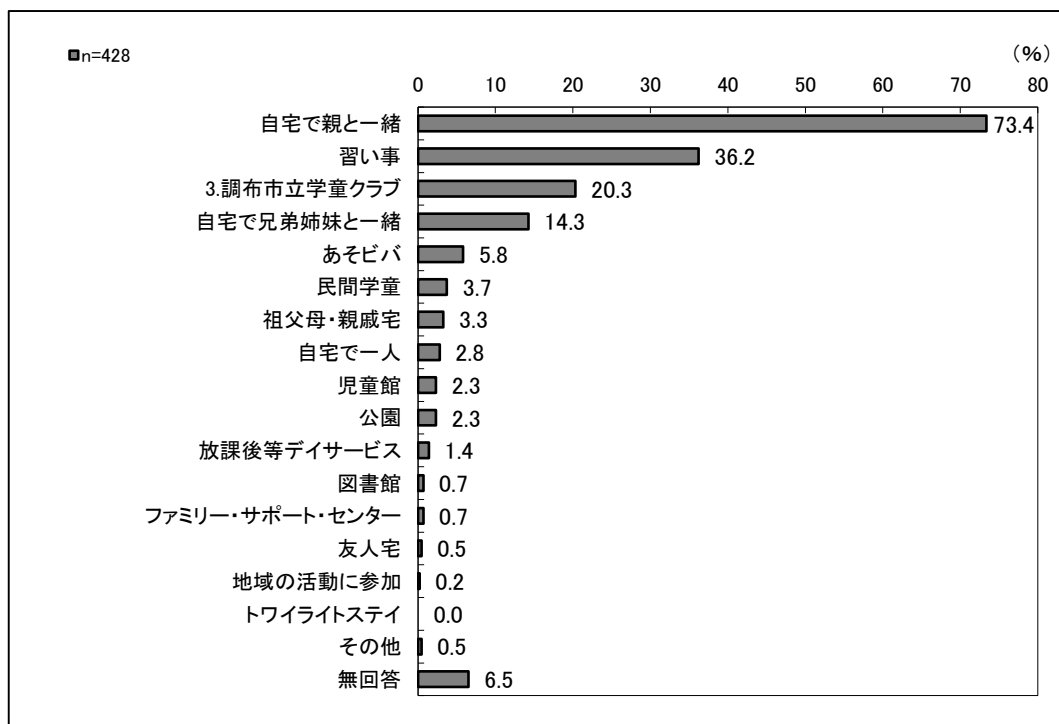
「自宅で親と一緒に」(73.4%)が最も高い割合で、前回調査結果から16.8ポイント増加している。

「習い事」(36.2%)、「調布市立学童クラブ」(20.3%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(14.3%)、等がこれに続く。

「調布市立学童クラブ」(20.3%)は、前回調査結果と比較して4.2ポイント増加している。

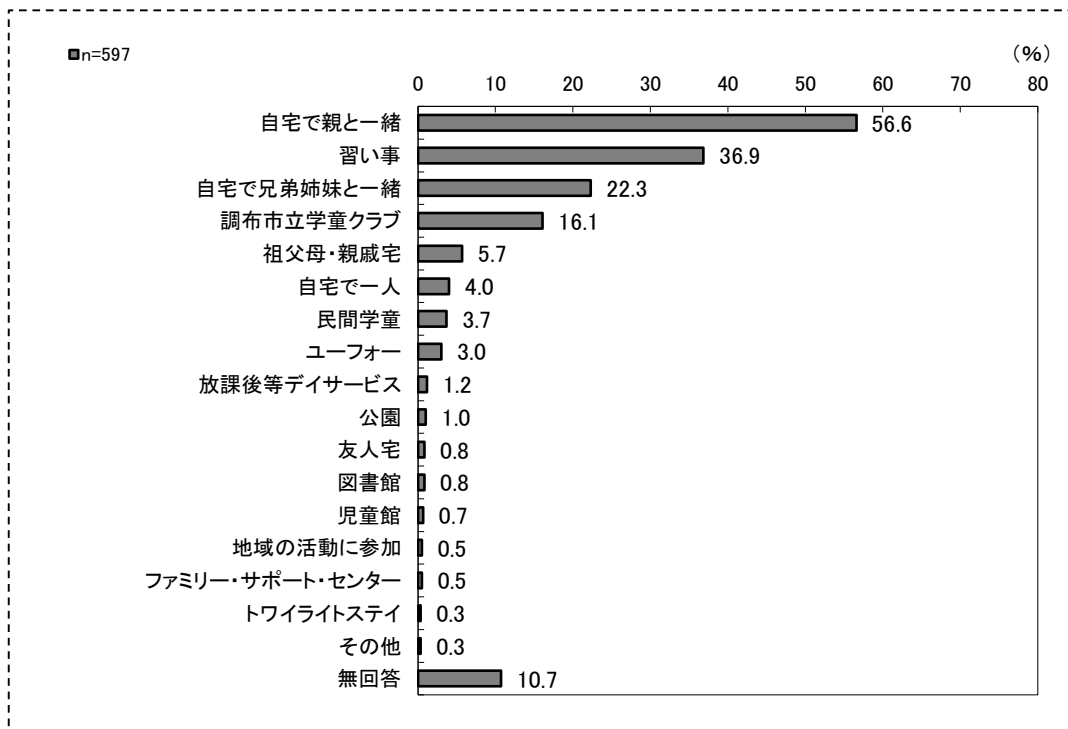
■① 現在低学年：希望－低学年 (2) 17:00～19:00■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユーフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



(6) ① 現在低学年：希望－低学年 (3) 19:00～

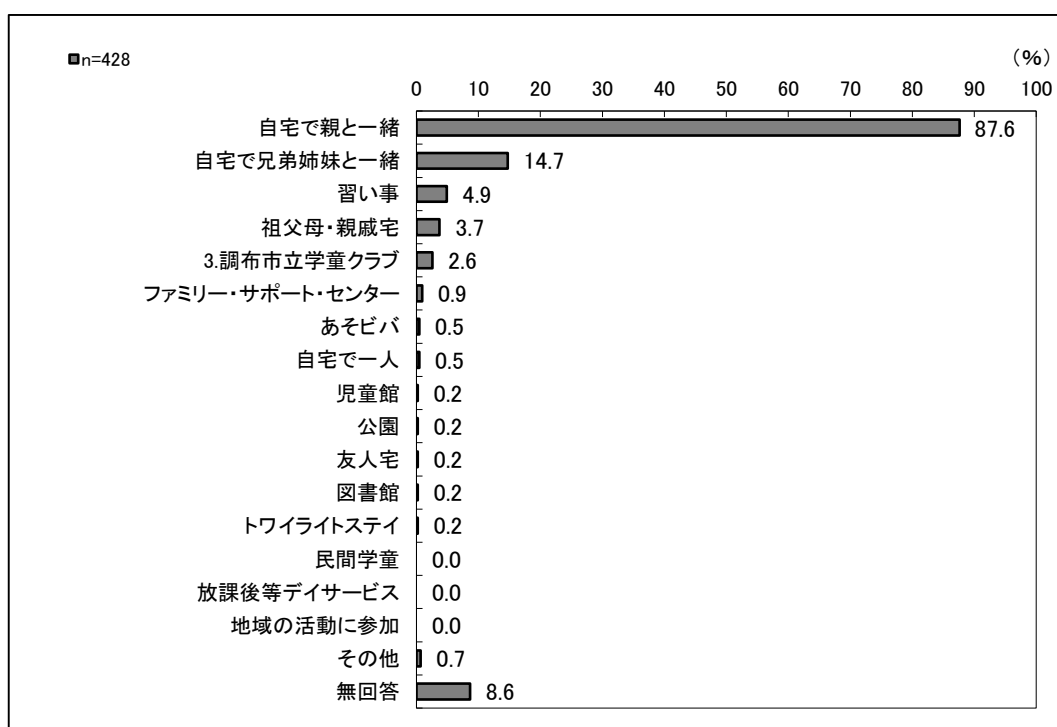
① 現在低学年：希望－低学年 (3) 19:00～【複数回答】

「自宅で親と一緒に」(87.6%)が最も高い割合で、前回調査結果から15.9ポイント増加している。

「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(14.7%)、「習い事」(4.9%)、「祖父母・親戚宅」(3.7%)等がこれに続く。

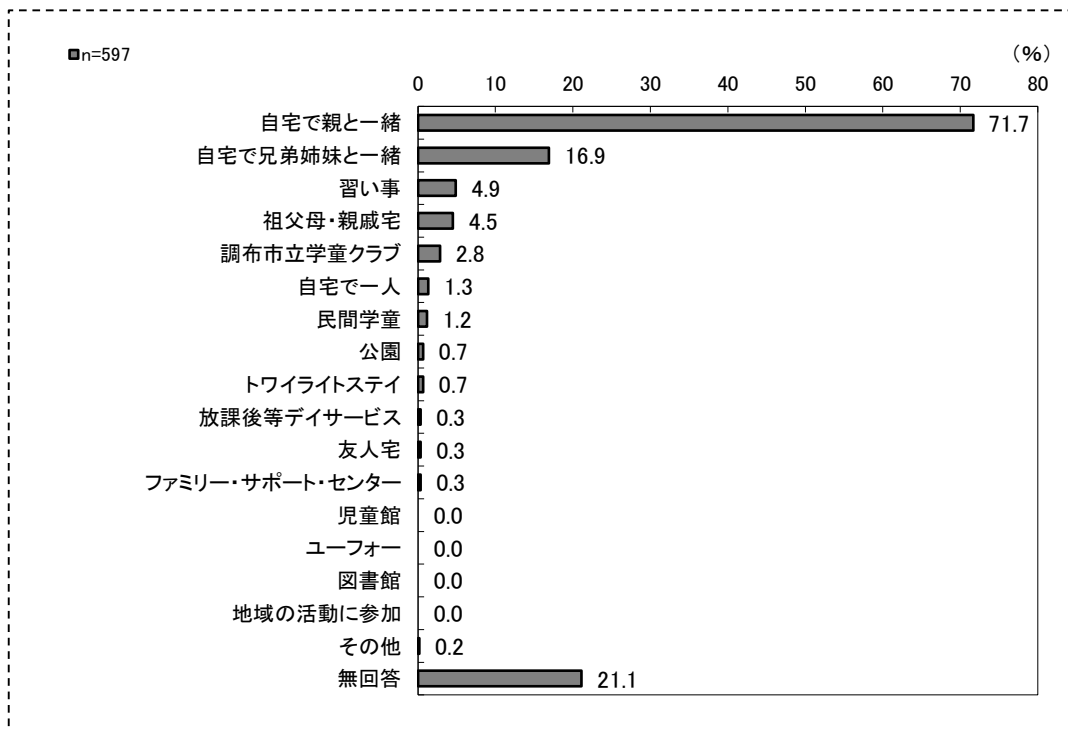
■ ① 現在低学年：希望－低学年 (3) 19:00～ ■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



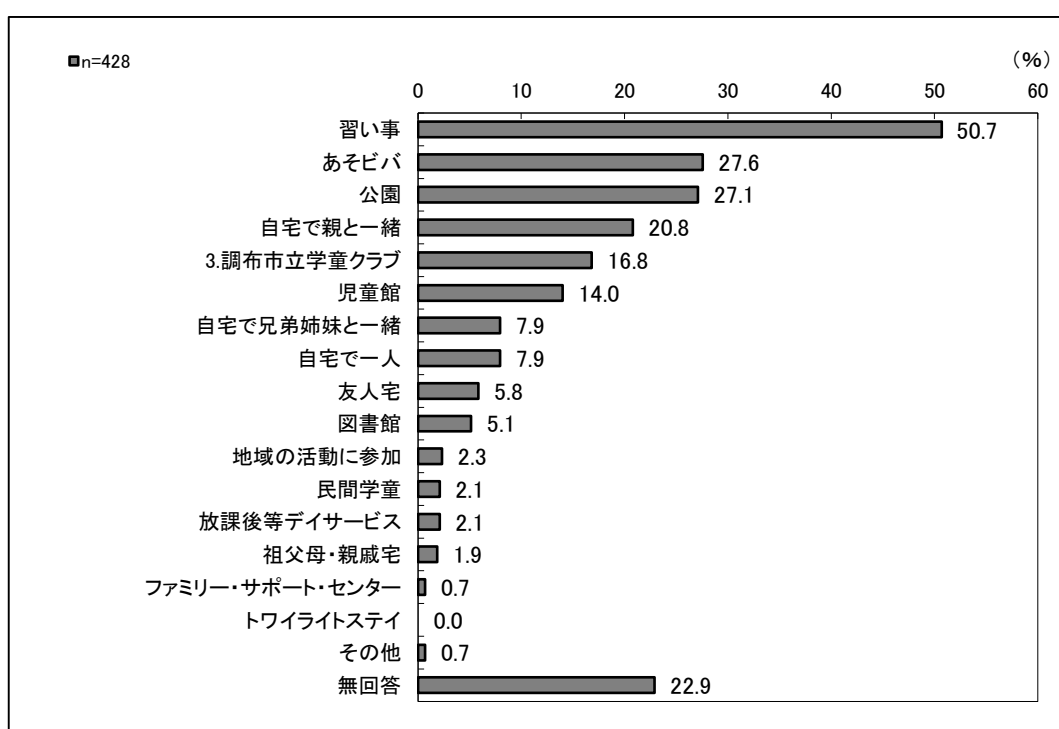
(7) ② 現在低学年：希望－高学年 (1) 学校終了後～17：00

② 現在低学年：希望－高学年 (1) 学校終了後～17：00 【複数回答】

「習い事」(50.7%)が最も高い割合で、前回調査結果から6.5ポイント増加している。
「あそびバ」(27.6%)、「公園」(27.1%)、「自宅で親と一緒に」(20.8%)、「調布市立学童クラブ」
(16.8%)、「児童館」(14.0%)等がこれに続く。
「あそびバ」(27.6%)は、前回調査結果と比較して5.3ポイント増加している。

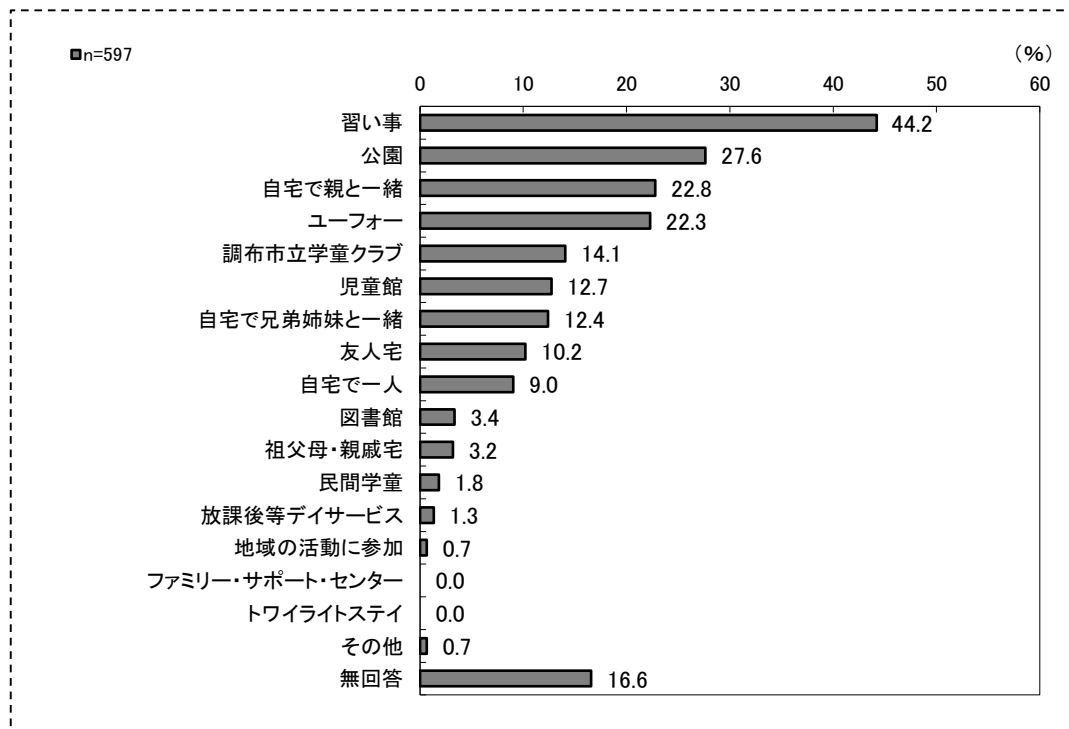
■② 現在低学年：希望－高学年 (1) 学校終了後～17：00■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユーフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



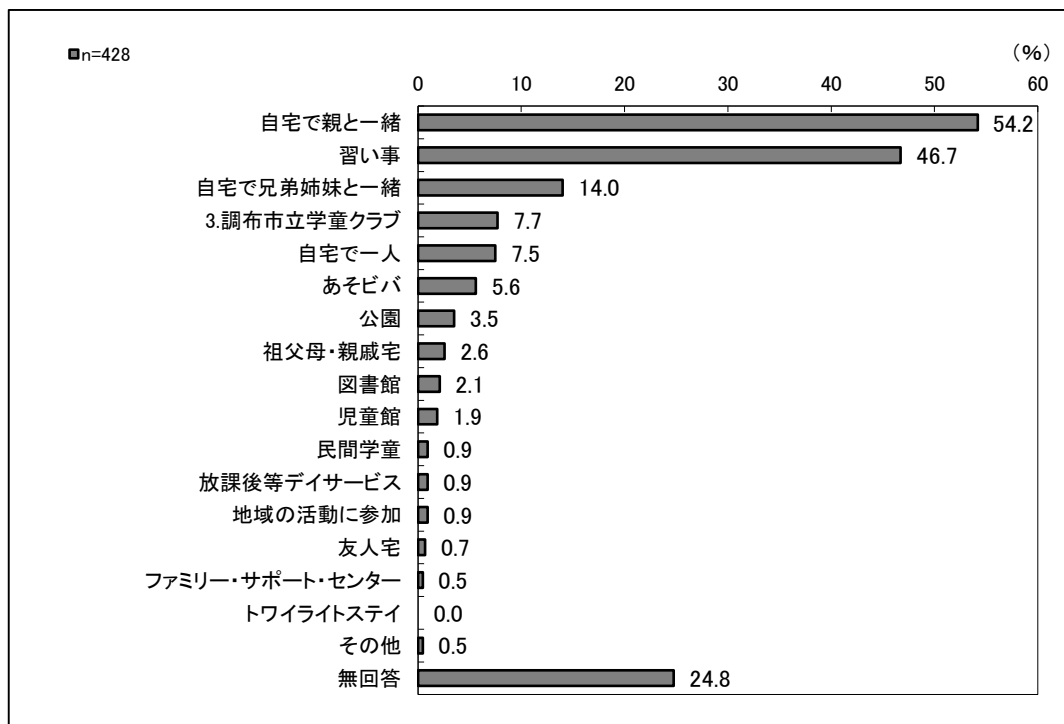
(8) ② 現在低学年：希望－高学年 (2) 17:00～19:00

② 現在低学年：希望－高学年 (2) 17:00～19:00【複数回答】

「自宅で親と一緒に」(54.2%)、「習い事」(46.7%)に回答が高い割合を占めている。
「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(14.0%)、「調布市立学童クラブ」(7.7%)、「自宅で一人」(7.5%)、「あそびバ」(5.6%)等がこれに続く。
「自宅で親と一緒に」(54.2%)は、前回調査結果と比較して9.5ポイント増加している。

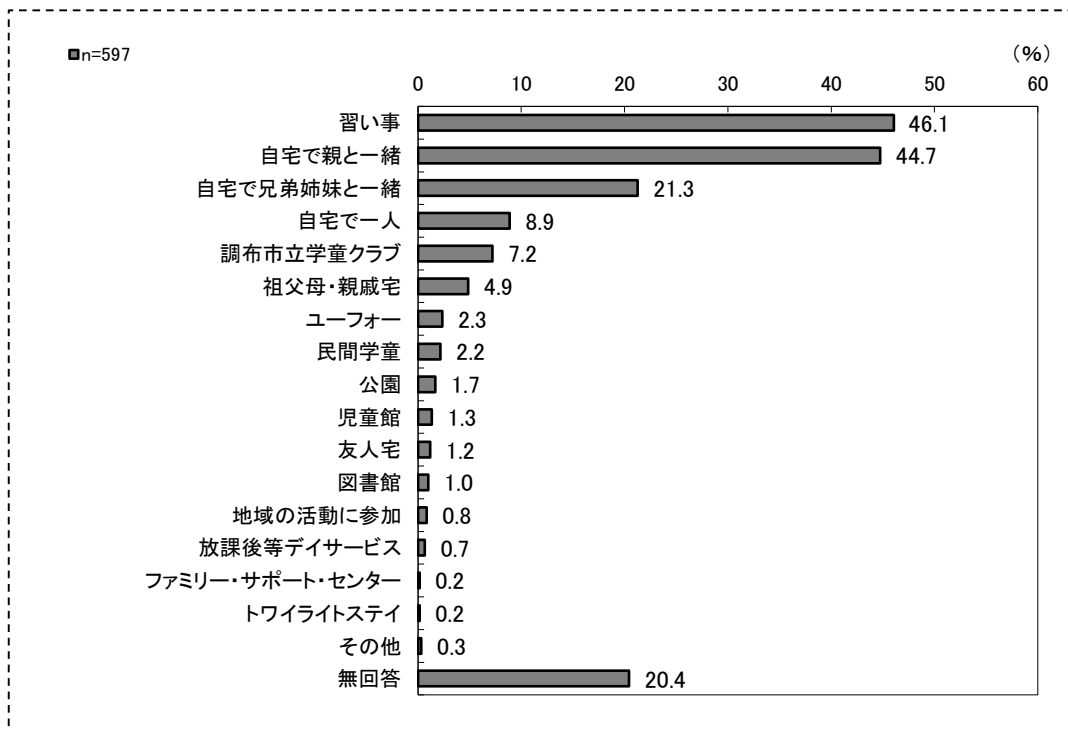
■② 現在低学年：希望－高学年 (2) 17:00～19:00■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユーフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



(9) ② 現在低学年：希望－高学年 (3) 19:00～

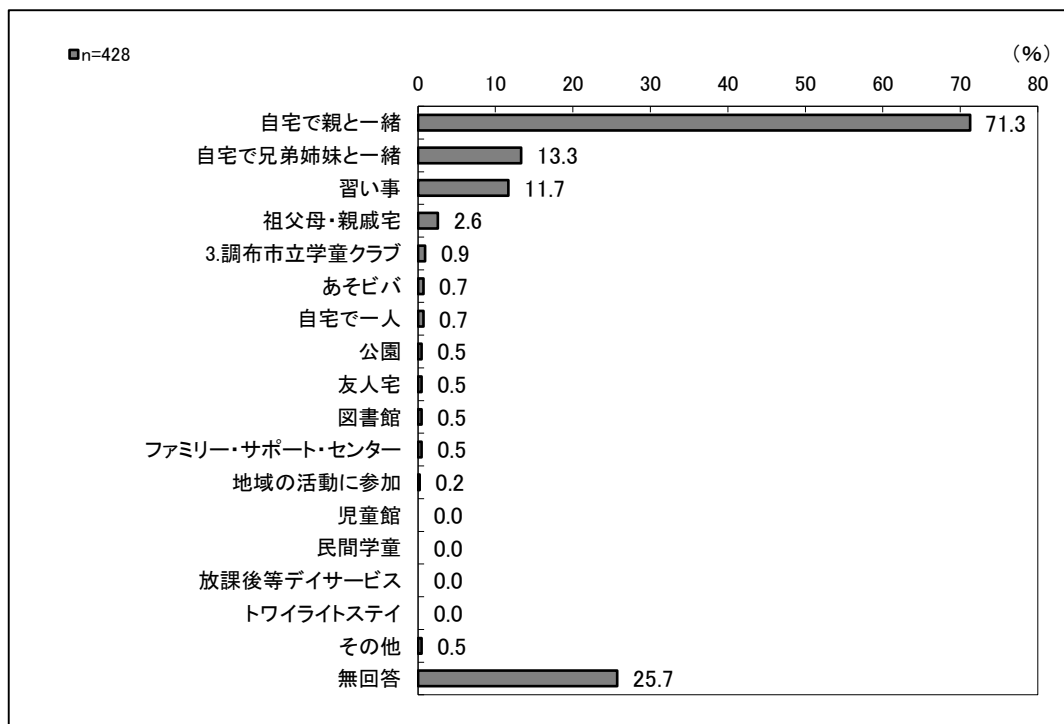
② 現在低学年：希望－高学年 (3) 19:00～【複数回答】

「自宅で親と一緒に」(71.3%)が最も高い割合で、前回調査結果から8.5ポイント増加している。

「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(13.3%)、「習い事」(11.7%)等がこれに続く。

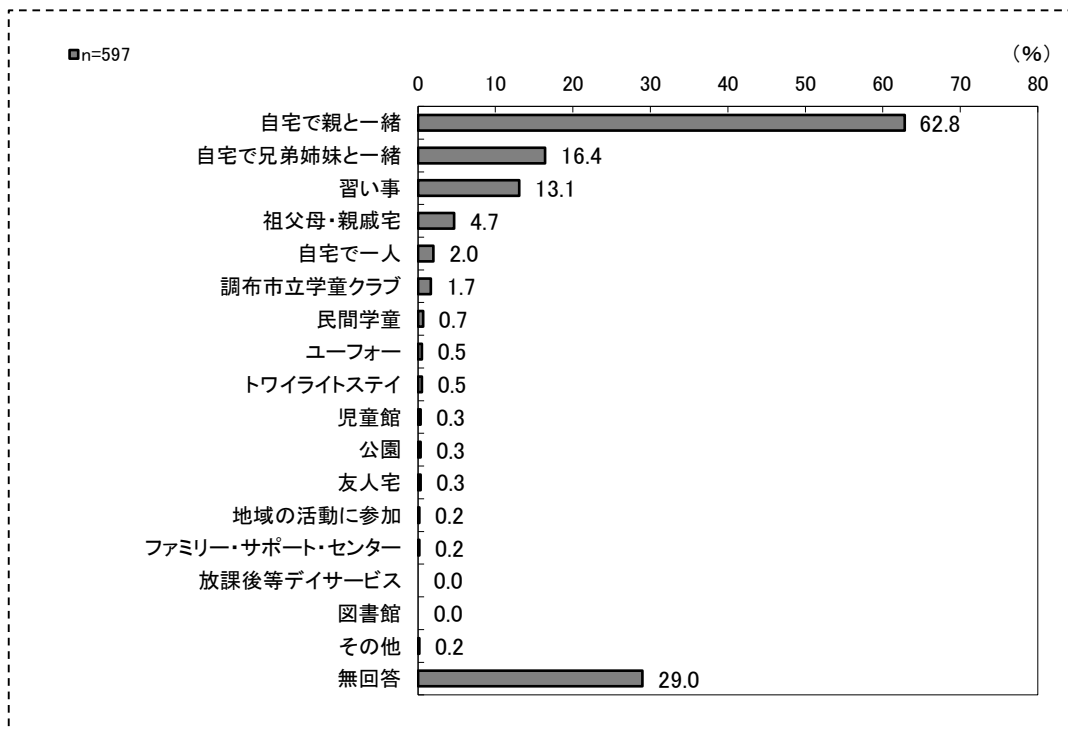
■② 現在低学年：希望－高学年 (3) 19:00～■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユーフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



(10) 現在高学年：希望－高学年 (1) 学校終了後～17：00

※ 小学校4年生～6年生の方のみ

問 19-2 放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

【複数回答】

(1) 学校終了後～17：00 【複数回答】

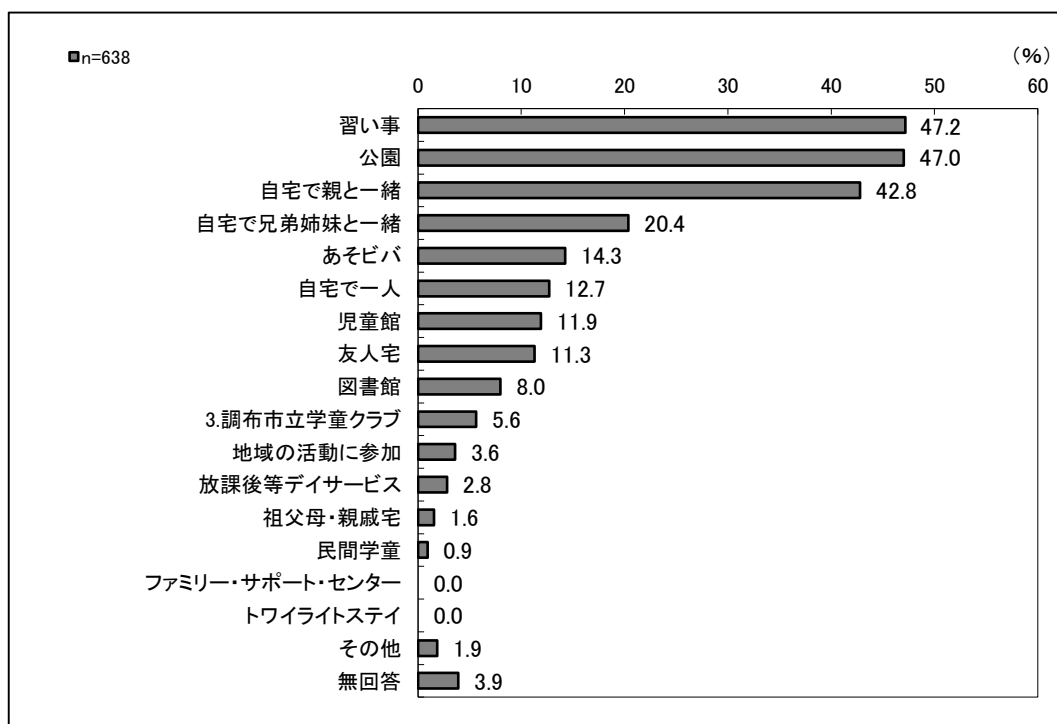
「習い事」(47.2%)、「公園」(47.0%)、「自宅で親と一緒に」(42.8%)に回答が高い割合を占めている。

「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(20.4%)、「あそびバ」(14.3%)、「自宅で一人」(12.7%)、「児童館」(11.9%)、「友人宅」(11.3%)等がこれに続く。

「自宅で親と一緒に」(47.2%)は、前回調査結果と比較して12.8ポイント増加している。

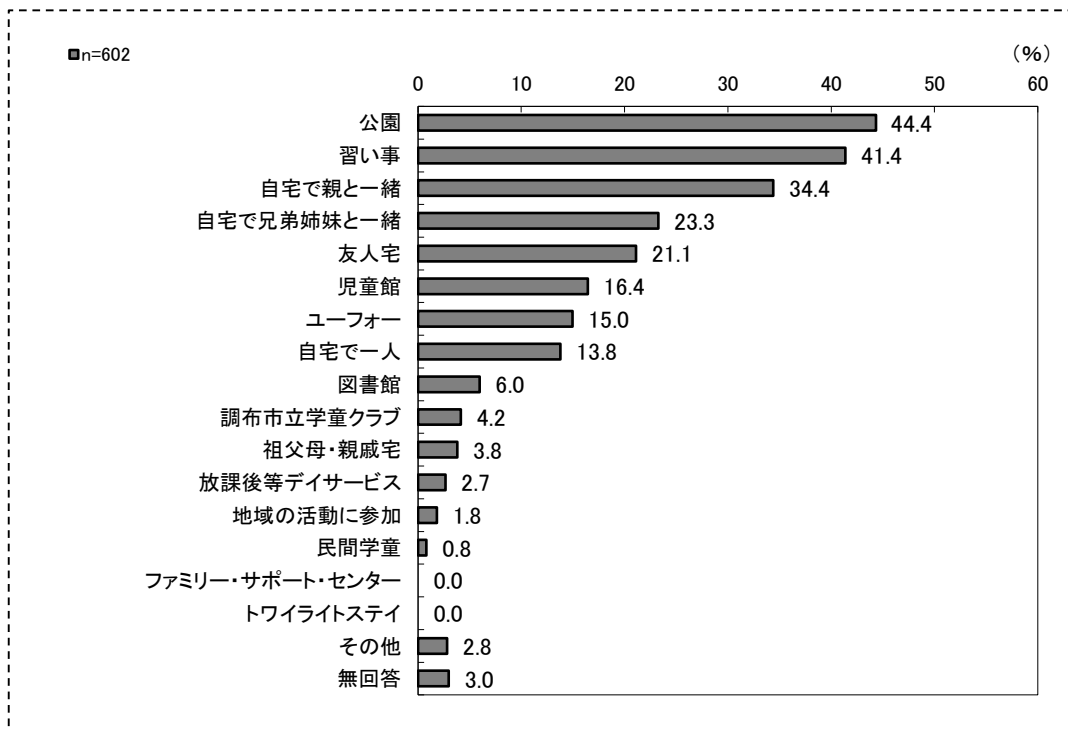
■現在高学年：希望－高学年 (1) 学校終了後～17：00■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



(11) 現在高学年：希望－高学年 (2) 17:00～19:00

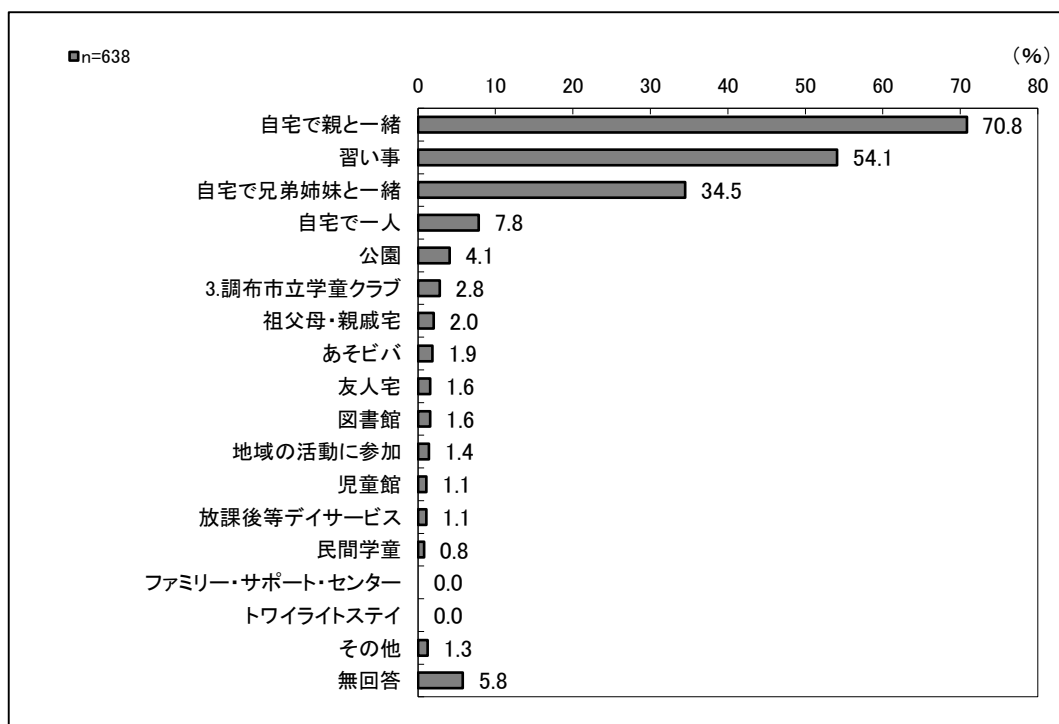
(2) 17:00～19:00 【複数回答】

「自宅で親と一緒に」(70.8%)が最も高い割合で、前回調査結果から11.5ポイント増加している。

「習い事」(54.1%)、「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(34.5%)等がこれに続く。

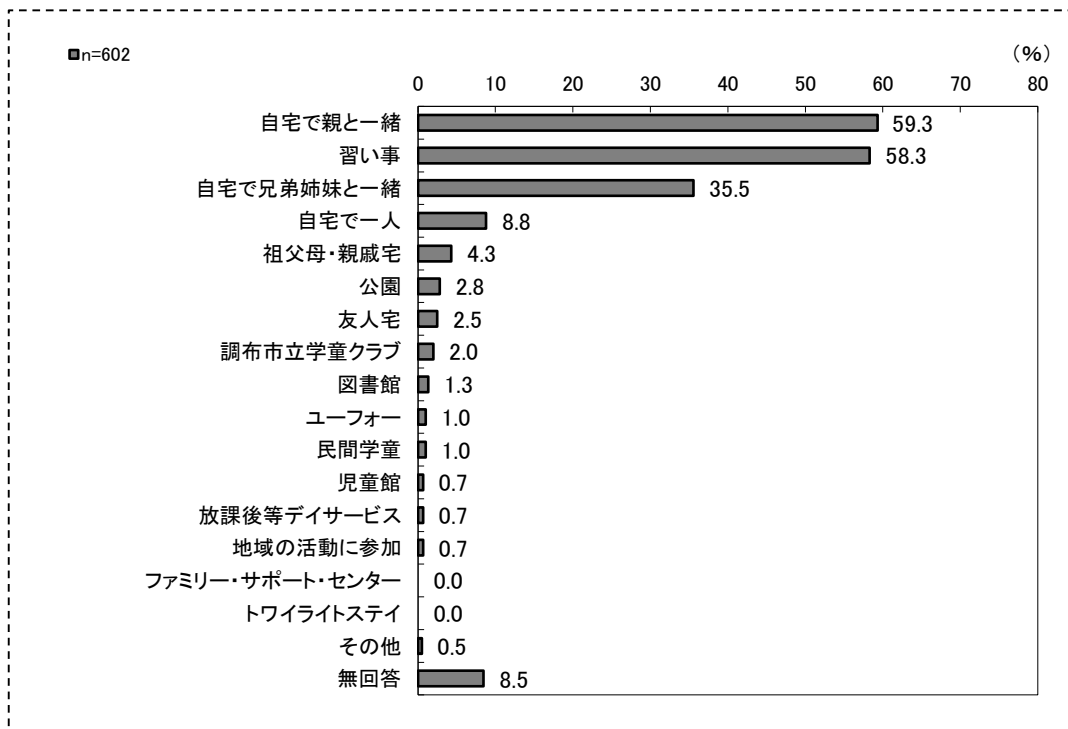
■現在高学年：希望－高学年 (2) 17:00～19:00■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユーフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



(12) 現在高学年：希望－高学年 (3) 19:00～

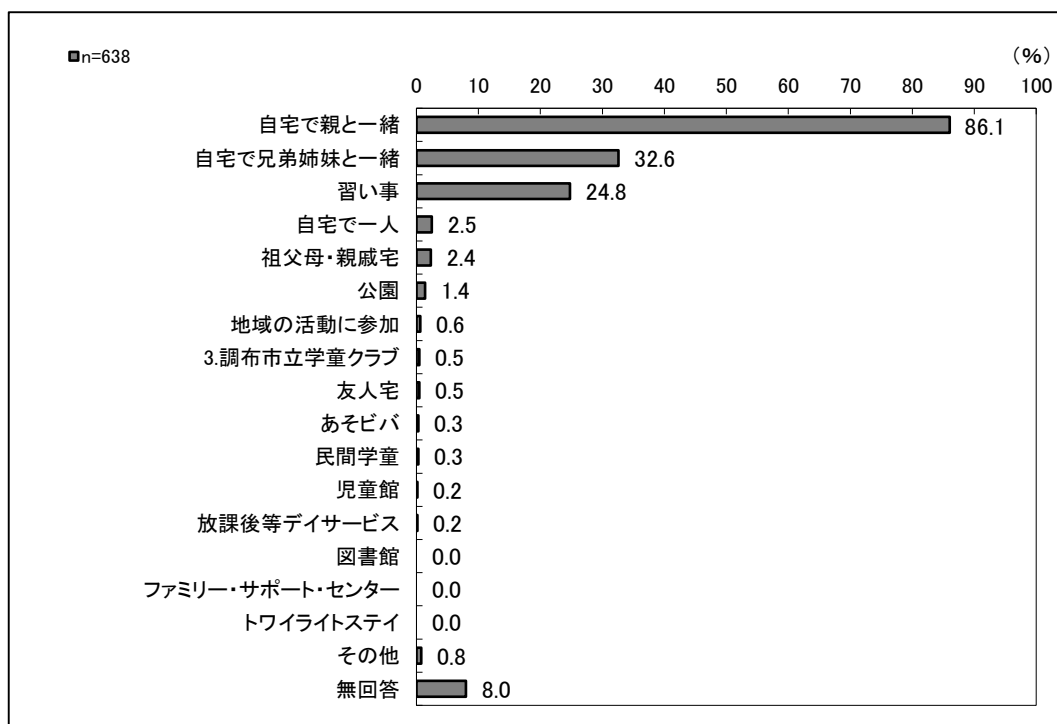
(3) 19:00～【複数回答】

「自宅で親と一緒に」(86.1%)が最も高い割合で、前回調査結果から12.7ポイント増加している。

「自宅で兄弟姉妹と一緒に」(32.6%)、「習い事」(24.8%)等がこれに続く。

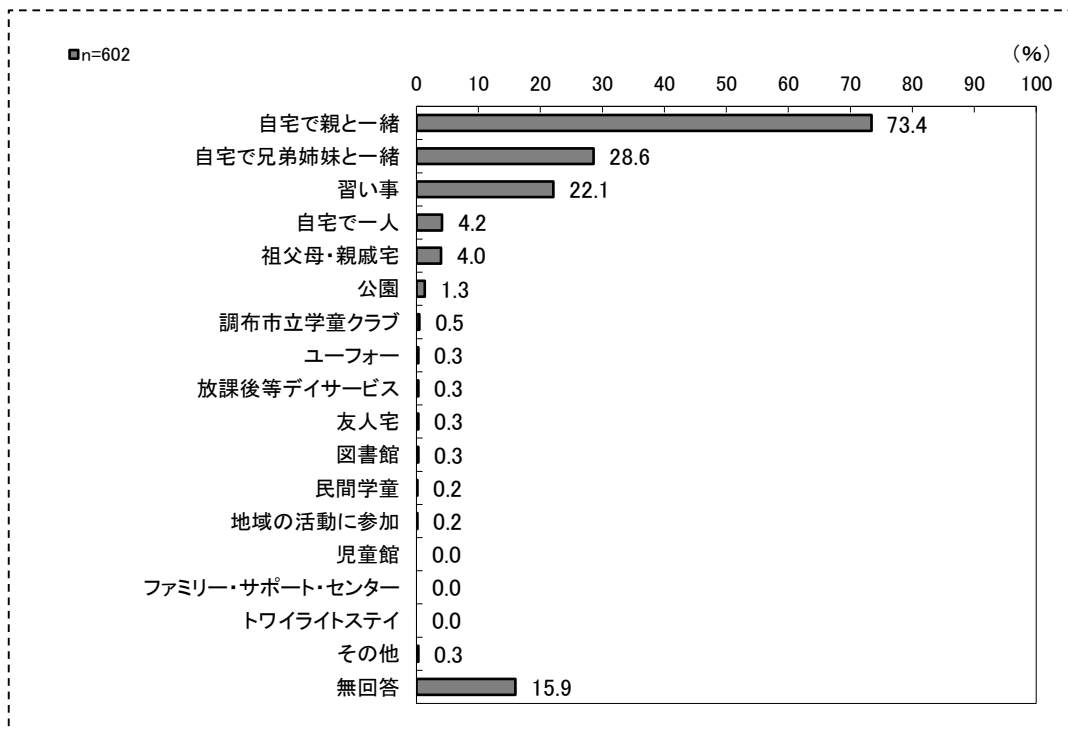
■現在高学年：希望－高学年 (3) 19:00～■

【今回調査】



※放課後子供教室「ユフォー」は、令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

【前回調査（参考）】



(13) 学童クラブ：利用希望学年

※ 問 19-1 または問 19-2 で小学校高学年（4～6年生）時に、「3. 調布市立学童クラブ」に
○をつけた方のみ

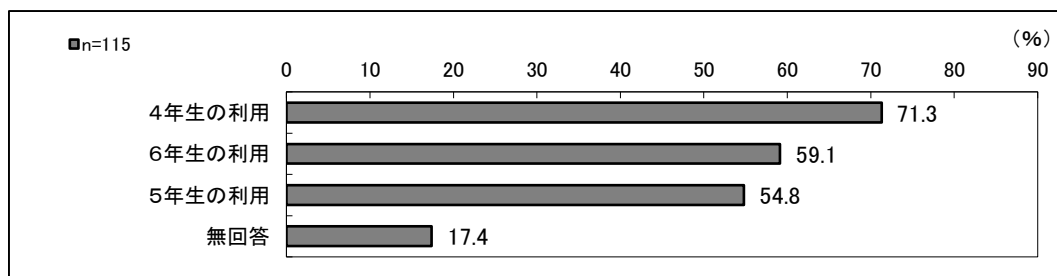
問 19-3 （1）何年生まで学童クラブの利用希望がありますか。【複数回答】



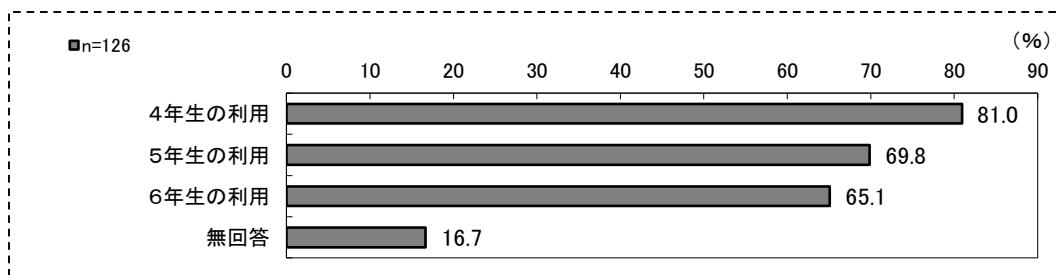
「4年生の利用」(71.3%)、「6年生の利用」(59.1%)、「5年生の利用」(54.8%)。
前回調査結果から若干利用意向が低下したものの、回答者の過半数が6年生までの継続利用を希望している。

■学童クラブ：利用希望学年■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(14) 学童クラブ：利用希望時期 4年生

※ 問 19-1 または問 19-2 で小学校高学年（4～6年生）時に、「3. 調布市立学童クラブ」に
○をつけた方のみ

問 19-3 (2)-1 学童クラブ：利用希望時期 4年生

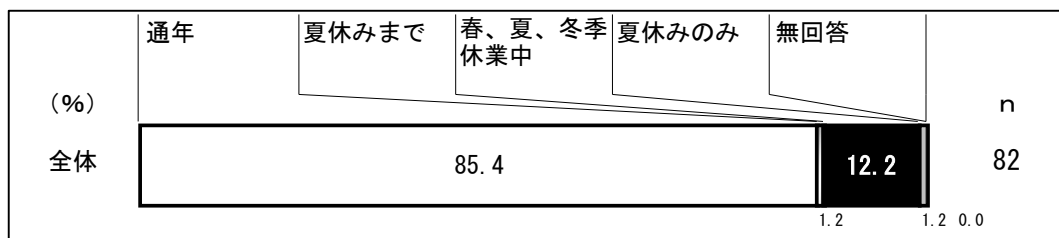


「通年」（85.4%）の利用希望が大半を占めているが、10世帯に1世帯程度が「春、夏、冬季休業中」（12.2%）の利用を希望している。

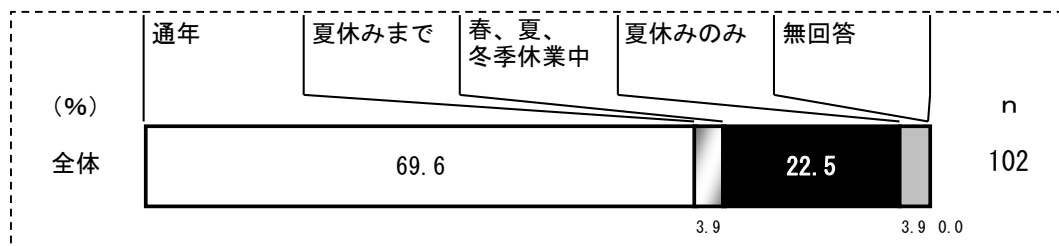
前回調査結果と比較して、「通年」（15.8ポイント増）、「春、夏、冬季休業中」（8.3ポイント増）の利用希望が増えている。

■学童クラブ：利用希望時期 4年生■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(15) 学童クラブ：利用希望時期 5年生

※ 問 19-1 または問 19-2 で小学校高学年（4～6年生）時に、「3. 調布市立学童クラブ」に
○をつけた方のみ

問 19-3 (2)-2 学童クラブ：利用希望時期 5年生

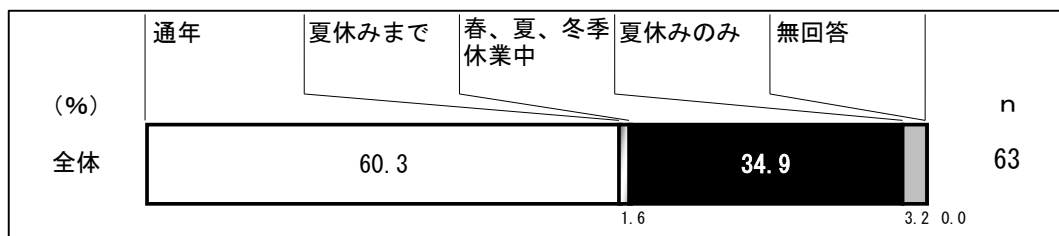


「通年」(60.3%) の利用希望が過半数を占め、「春、夏、冬季休業中」(34.9%) の利用希望が
3 割以上となっている。

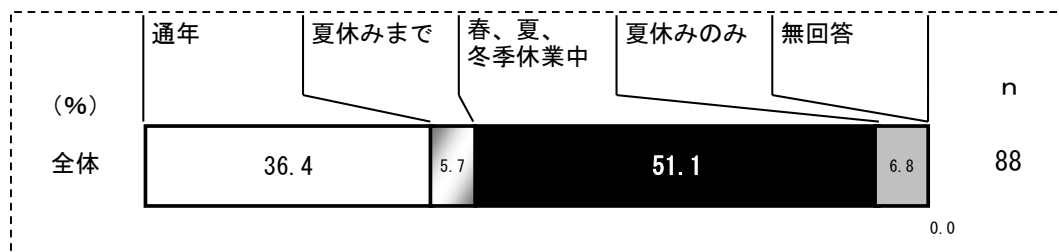
前回調査結果と比較して、「春、夏、冬季休業中」(14.2 ポイント減) の利用希望が減り、「通
年」(23.9 ポイント増) の利用希望が増えている。

■学童クラブ：利用希望時期 5年生■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(16) 学童クラブ：利用希望時期 6年生

※ 問 19-1 または問 19-2 で小学校高学年（4～6年生）時に、「3. 調布市立学童クラブ」に
○をつけた方のみ

問 19-3 (2)-3 学童クラブ：利用希望時期 6年生

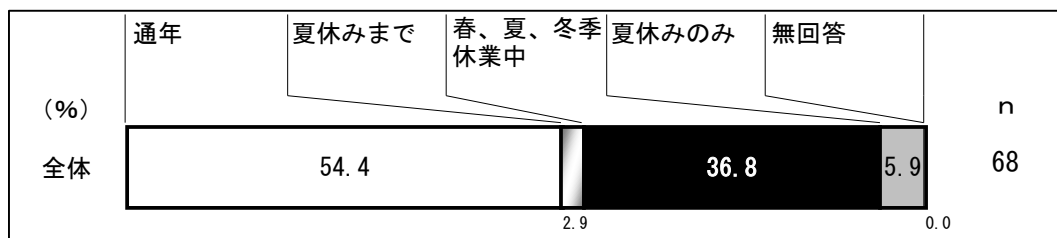


「通年」(54.4%) の利用希望が過半数を占め、「春、夏、冬季休業中」(36.8%) の利用希望が
3割以上となっている。

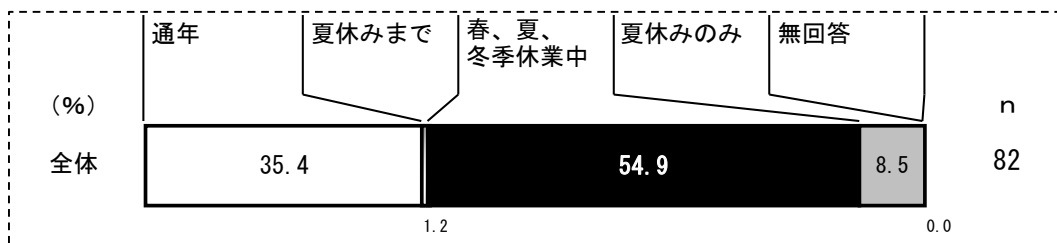
前回調査結果と比較して、「春、夏、冬季休業中」(18.1ポイント減) の利用希望が減り、「通
年」(19.0ポイント増) の利用希望が増えている。

■学童クラブ：利用希望時期 6年生■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(17) 学童クラブ：利用していない理由

※ 問 19 で「3. 調布市立学童クラブ」を選択していない方のみ

問 19-4 現在、宛名のお子さんが学童クラブを利用していない理由は何ですか。【複数回答】



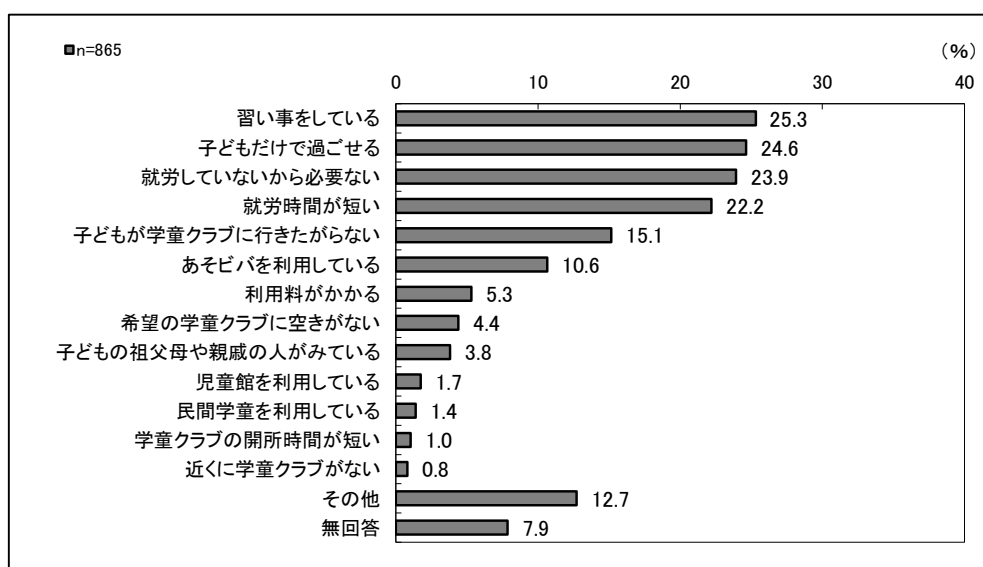
「習い事をしている」が 25.3% で最も高い割合を占めている。

「子どもだけで過ごせる」(24.6%)、「就労していないから必要ない」(23.9%)、「就労時間が短い」(22.2%)、「子どもが学童クラブに行きたがらない」(15.1%)、「あそびバを利用している」(10.6%) 等がこれに続く。

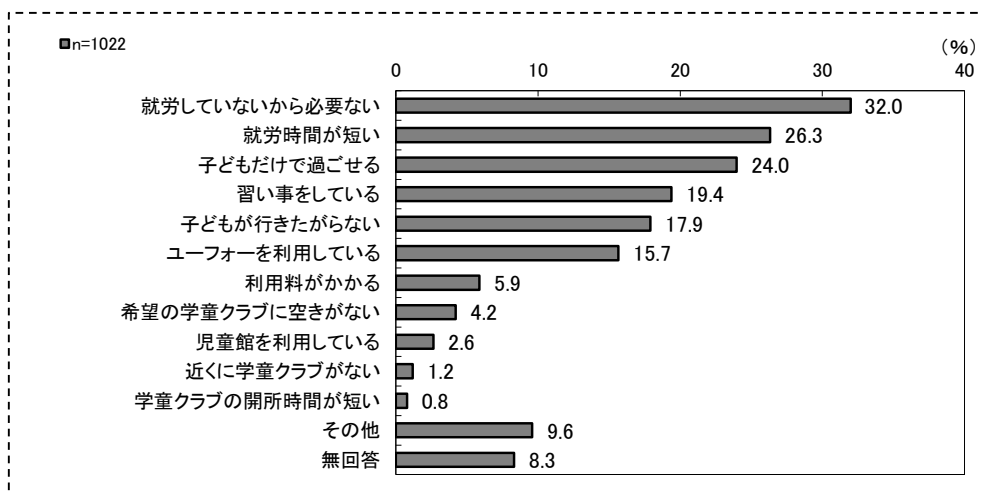
前回調査で最も高い割合となった「就労していないから必要ない」は 8.1 ポイント減少している。

■学童クラブ：利用していない理由■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



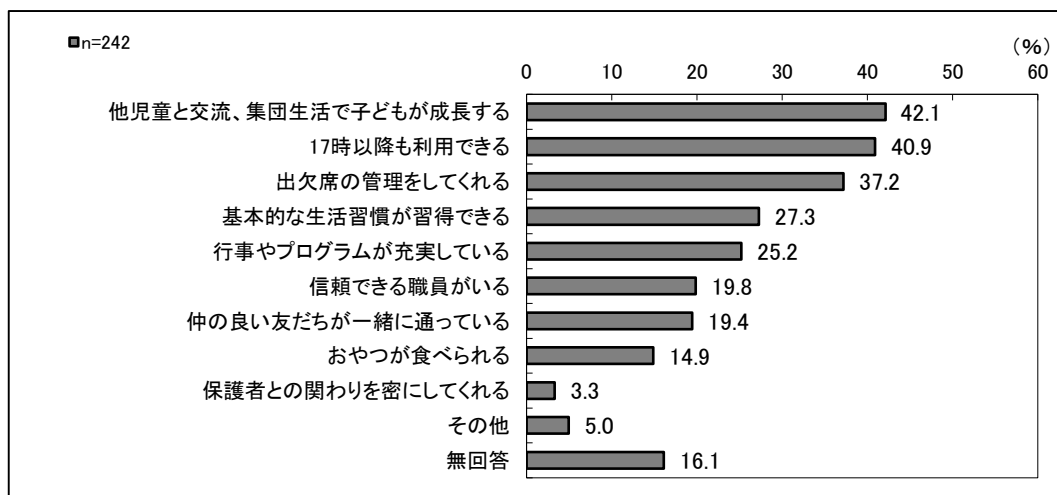
(18) 学童クラブ：利用したい理由

※ 問 19-1 または問 19-2 で「3. 調布市立学童クラブ」に○をつけた方
問 19-5 利用したい理由についてお答えください。【複数回答】

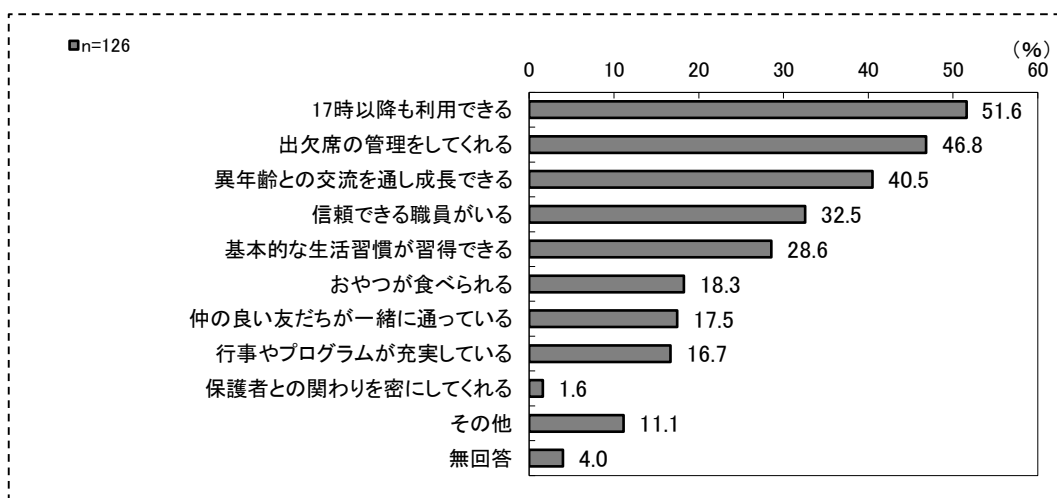
「他児童と交流、集団生活で子どもが成長する」が42.1%で最も高い割合を占めている。
「17時以降も利用できる」(40.9%)、「出欠席の管理をしてくれる」(37.2%)、「基本的な生活習慣が習得できる」(27.3%)、「行事やプログラムが充実している」(25.2%)等がこれに続く。
前回調査で最も高い割合となった「17時以降も利用できる」は10.7ポイント減少している。

■学童クラブ：利用したい理由■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(19) あそびバへの登録, 利用の有無

問 20 現在, 宛名のお子さんはあそびバに登録し, 利用していますか。

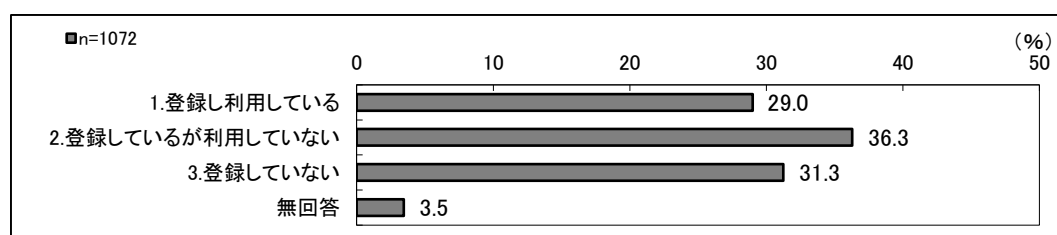
「登録しているが利用していない」(36.3%), 「登録していない」(31.3%), 「登録し利用している」(29.0%)。

「登録しているが利用していない」は前回調査と比較して9.8ポイント増加している。

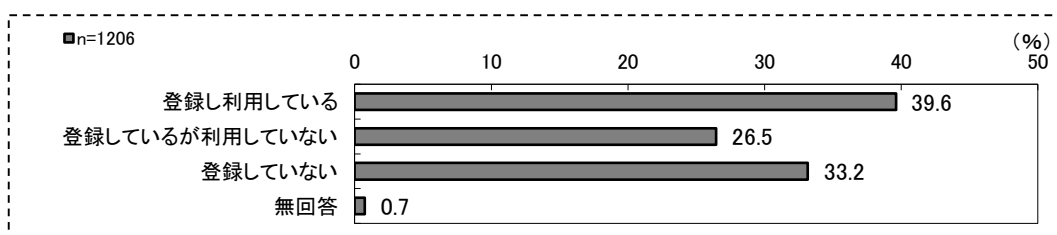
※ 放課後子供教室「ユーフォー」は, 令和5年度から名称が「あそびバ」へと変更されました。

■あそびバへの登録, 利用の有無■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(20) 利用回数／週

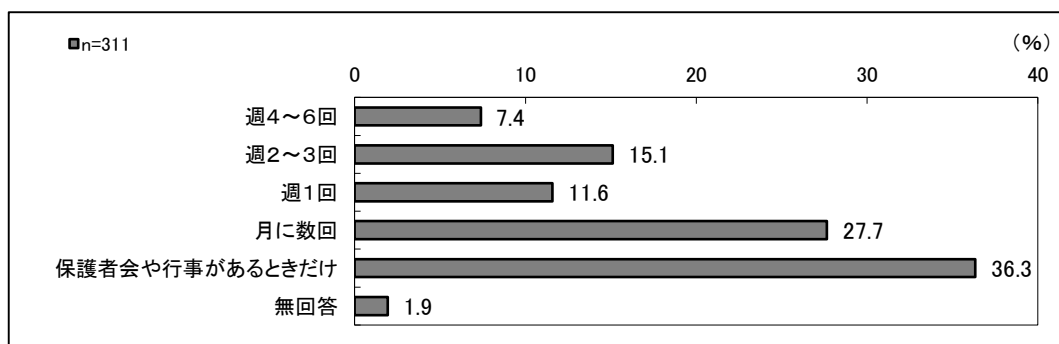
※ 問 20 で「1. 登録し、利用している」に○をつけた方のみ
問 20-1 あそびバに週何回ぐらい行きますか。



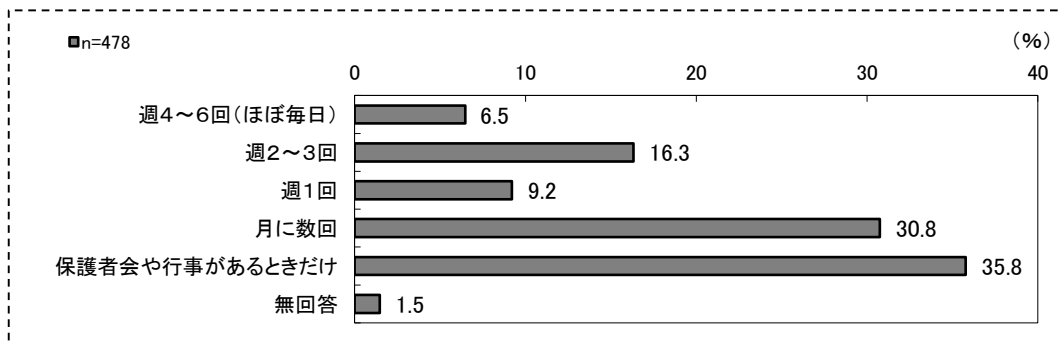
前回調査結果に引き続き、「保護者会や行事があるときだけ」(36.3%)、「月に数回」(27.7%)、「週2～3回」(15.1%)が上位3位を占めている。

■利用回数／週■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(21) あそびバ：利用している理由

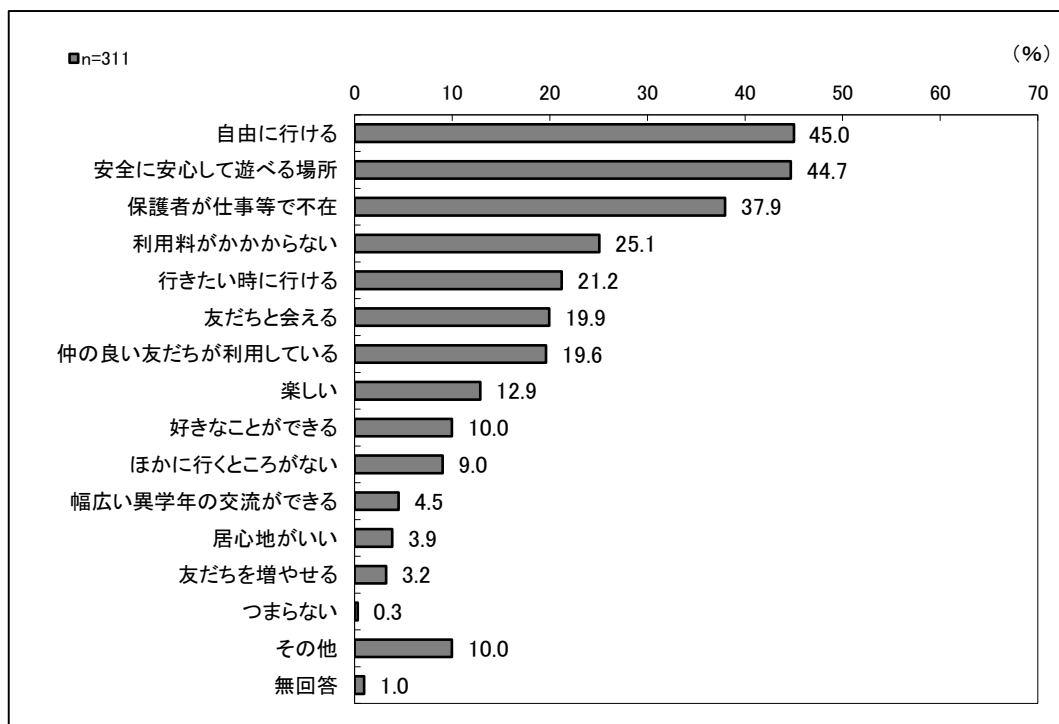
問 20-2 あそびバを利用している理由は何ですか。【複数回答】

前回調査結果に引き続き、「自由に行ける」(45.0%)、「安全に安心して遊べる場所」(44.7%)が高い割合を占めている。

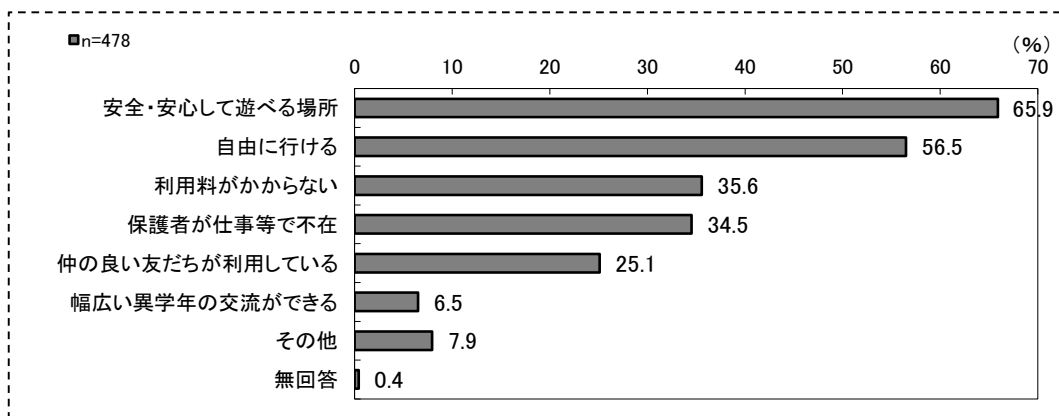
「保護者が仕事等で不在」(37.9%)、「利用料がかからない」(25.1%)、「行きたい時に行ける」(21.2%)、「友だちと会える」(19.9%)、「仲の良い友だちが利用している」(19.6%)等がこれに続く。

■ あそびバ：利用している理由 ■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(22) 現状のあそびバの開設時間帯をどう感じているか

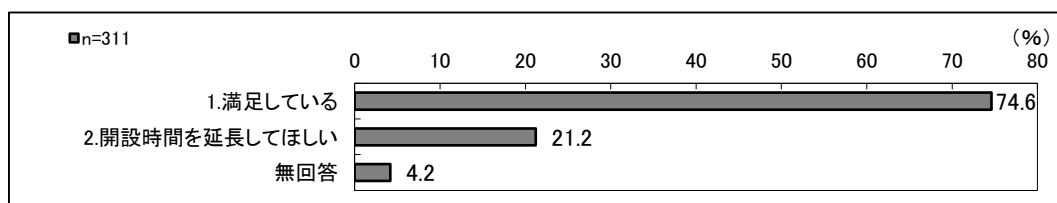
問 20-3 現状のあそびバの開設時間帯をどう感じていますか。



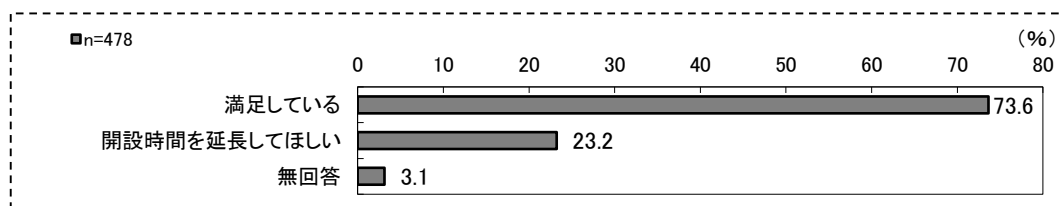
前回調査結果に引き続き、回答者の7割以上が「満足している」と回答している一方で、2割以上が「開設時間を延長してほしい」と回答している。

■現状のあそびバの開設時間帯をどう感じているか■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(23) あそびバ：利用希望時間 (1) 学校がある日

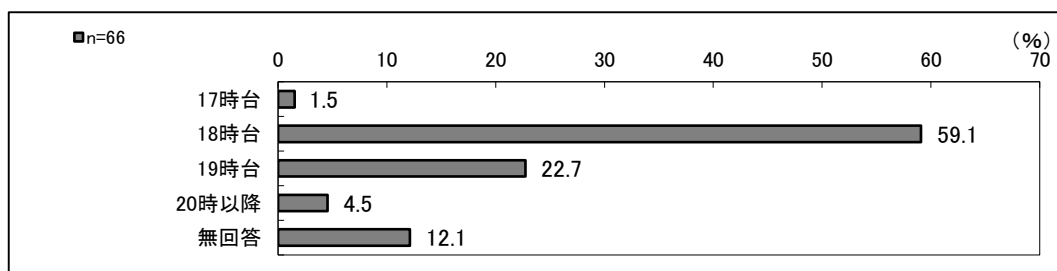
※ 問 20-3 で「2. 開設時間を延長してほしい」に○をつけた方のみ

問 20-4 希望する開設時間について、数字でご記入ください。

(1) 学校がある日

希望終了時刻

■集計結果 あそびバ：利用希望時間 (1) 学校がある日 終了時刻■



(24) あそびバ:利用希望時間 (2) 学校が休みの日

※ 問 20-3 で「2. 開設時間を延長してほしい」に○をつけた方のみ

問 20-4 希望する開設時間について、数字でご記入ください。

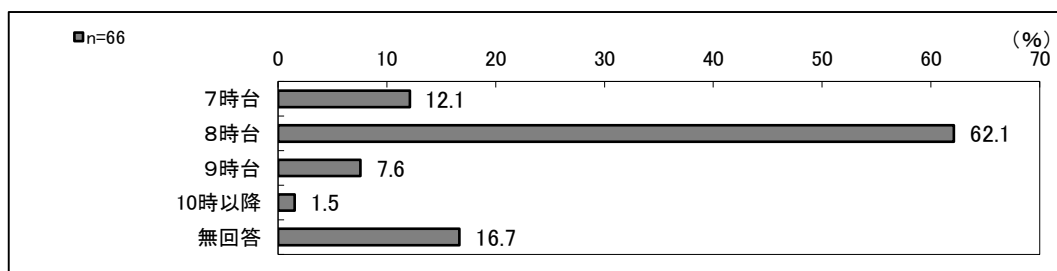
(2) 学校が休みの日

ア. 開始時刻

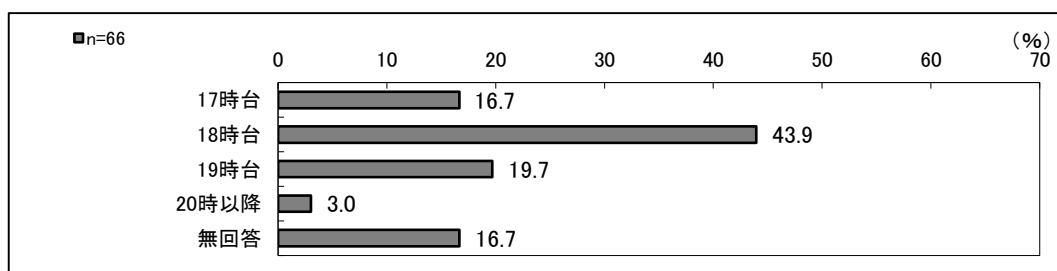
イ. 終了時刻

■集計結果 あそびバ:利用希望時間 (2) 学校が休みの日■

【開始時刻】



【終了時刻】



(25) あそびバ：利用・登録していない理由

※ 問 20 で「2. 登録しているが、利用していない」または「3. 登録していない」に○をつけた方のみ

問 20-5 あそびバを利用・登録していない理由は何ですか。【複数回答】

「家にいる方がいい」が 37.0% で最も高い割合を占めている。

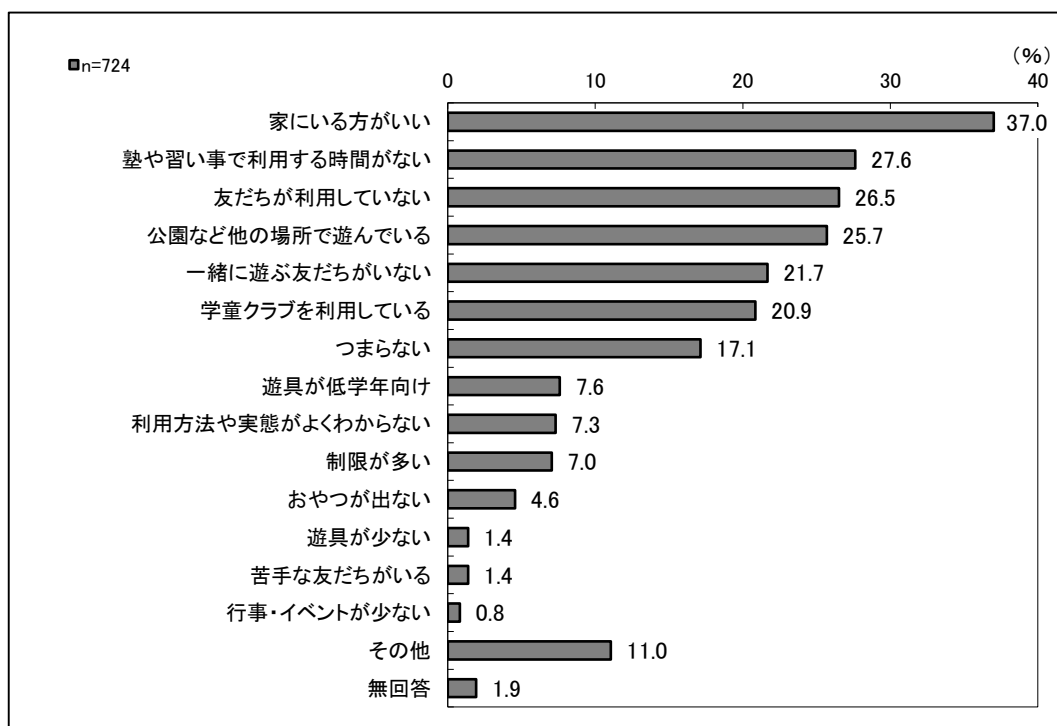
「塾や習い事で利用する時間がない」(27.6%)、「友だちが利用していない」(26.5%)、「公園など他の場所で遊んでいる」(25.7%)、「一緒に遊ぶ友だちがいない」(21.7%)、「学童クラブを利用している」(20.9%) 等がこれに続く。

7.3% が「利用方法や実態がよくわからない」と回答している。

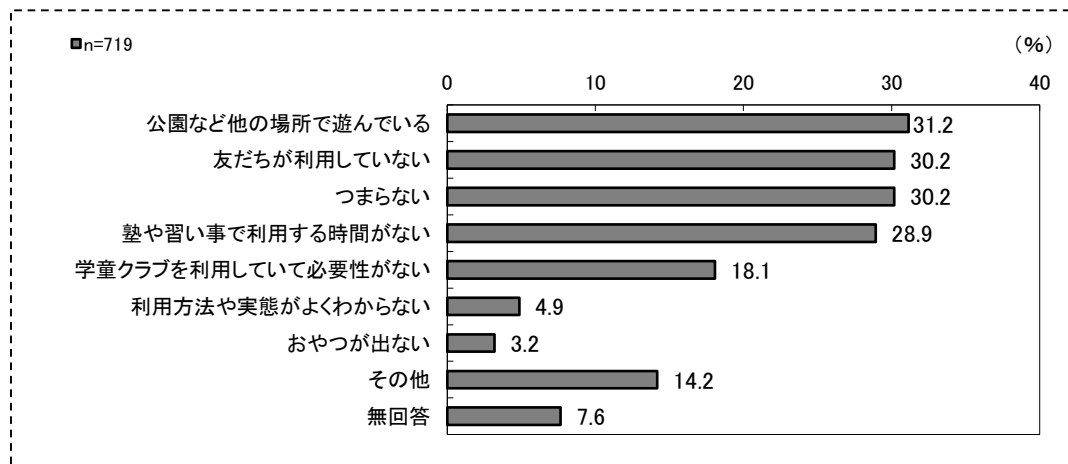
前回調査結果と比較して、「つまらない」(17.1%) の回答は 13.1 ポイント減少している。

■あそびバ：利用・登録していない理由■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



(26) 児童館：利用していない理由

※ 問 19 で「1. 児童館」を選択していない方のみ

問 21 現在、宛名のお子さんが児童館を利用していない理由は何ですか。【複数回答】

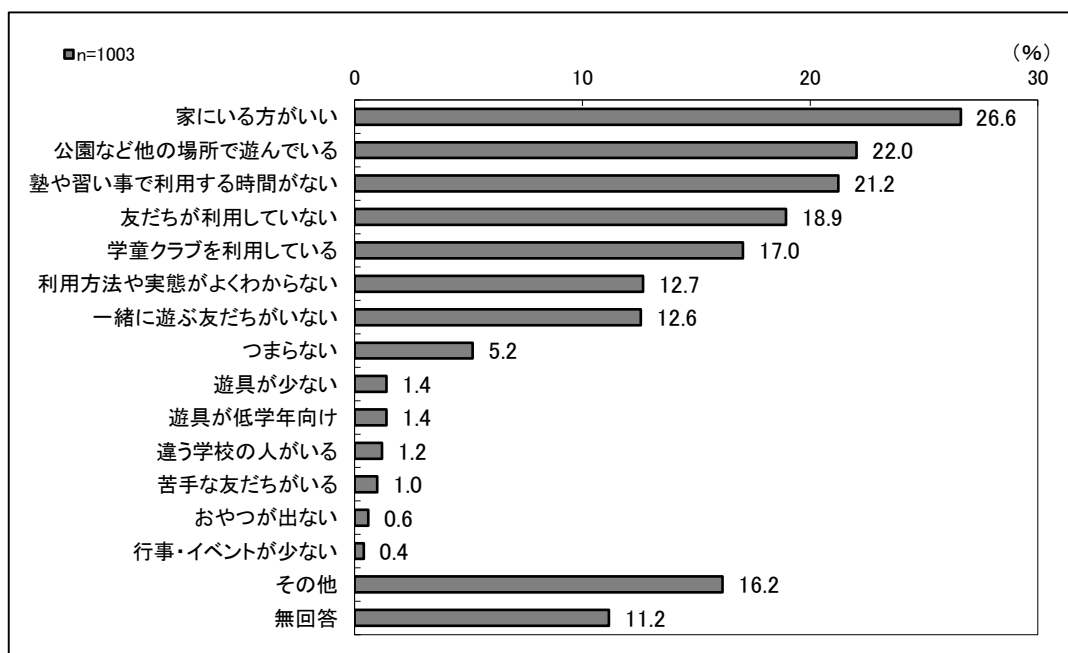


「家の方がいい」が 26.6% で最も高い割合を占めている。

「公園など他の場所で遊んでいる」(22.0%)、「塾や習い事で利用する時間がない」(21.2%)、「友だちが利用していない」(18.9%)、「学童クラブを利用している」(17.0%)、「利用方法や実態がよくわからない」(12.7%)、「一緒に遊ぶ友だちがいない」(12.6%) 等がこれに続く。

12.7% が「利用方法や実態がよくわからない」と回答している。

■ 児童館：利用していない理由 ■

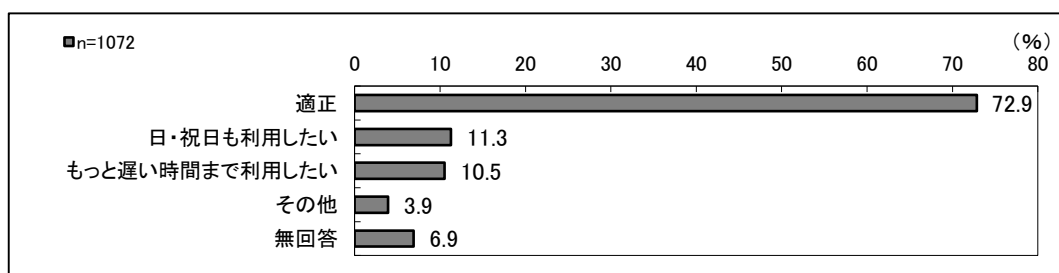


(27) 現状の児童館の開設時間帯をどう感じているか

問 22 現状の児童館の開設時間帯をどう感じますか。【複数回答】

回答者の7割以上が「適正」(72.9%)と回答している一方で1割以上が「日・祝日も利用したい」(11.3%)、「もっと遅い時間まで利用したい」(10.5%)と回答している。

■現状の児童館の開設時間帯をどう感じているか■

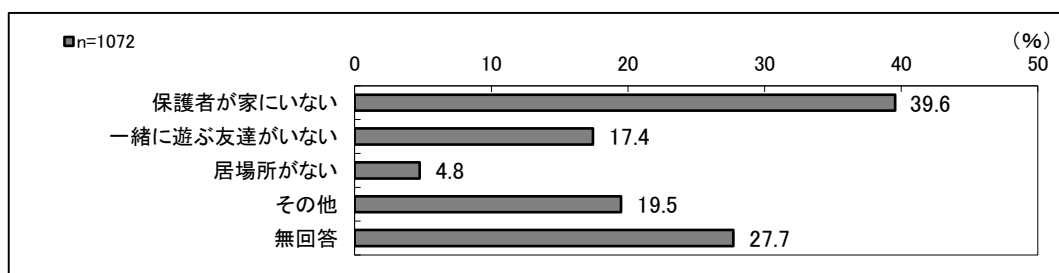


(28) 放課後の過ごし方について心配なこと

問 23 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について、心配なことは何ですか。【複数回答】

「保護者が家にいない」が39.6%で最も高い割合を占めている。「一緒に遊ぶ友達がいない」(17.4%)、「居場所がない」(4.8%)等がこれに続く。

■放課後の過ごし方について心配なこと■

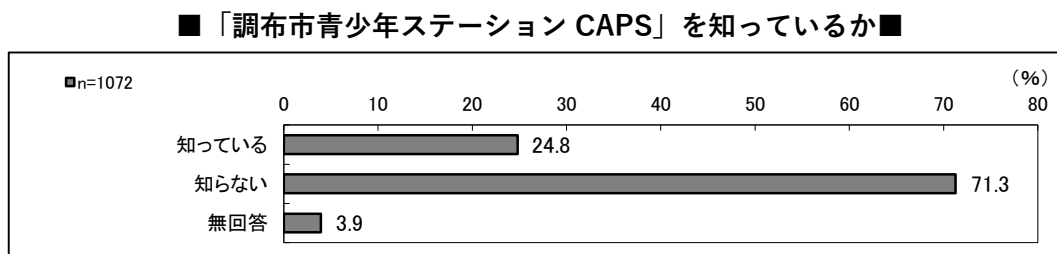


(29) 「調布市青少年ステーション CAPS」を知っているか

問 24 「調布市青少年ステーション CAPS」のことを知っていますか。



回答者の7割以上が「知らない」と回答している。



8. 体験の状況について

(1) 過去1年間の体験

問 25 過去1年間において、あなたのご家庭で、お子さんは次のような体験をしましたか。

①アウトドア（海水浴やキャンプ、山、川等）に行く、②動物園・水族館・美術館・映画館等に行く、③遊園地やテーマパークに行く、④塾に行く、⑤習い事をする



「アウトドア（海水浴やキャンプ、山、川等）に行く」（70.8%）、「動物園・水族館・美術館・映画館等に行く」（88.2%）、「遊園地やテーマパークに行く」（78.9%）、「習い事」（81.9%）と体験が「ある」の回答が7割以上を占める。

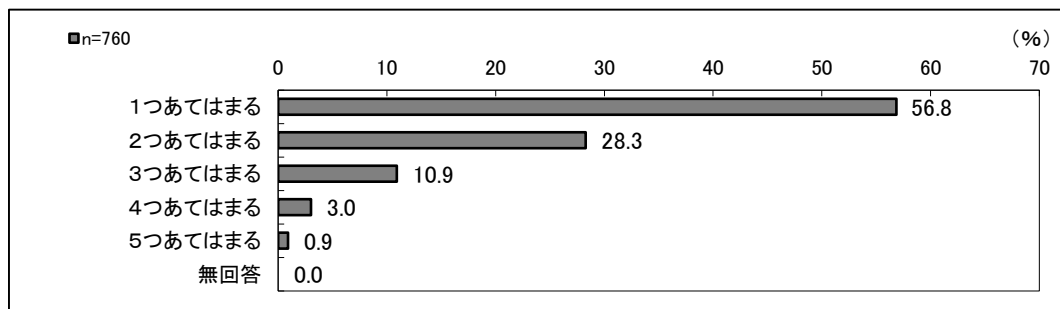
「塾に行く」が「ある」（42.4%）とした割合は、「ない」（52.4%）とした割合よりも低い。

また、「ない」に該当する項目数を集計したところ、“3つ以上あてはまる”が14.8%となった。

■過去1年間の体験■

	(%)			n
	ある	ない	無回答	
アウトドアに行く	70.8	25.7	3.5	1072
動物園・水族館・美術館・映画館等に行く	88.2	7.3	4.6	1072
遊園地やテーマパークに行く	78.9	16.4	4.7	1072
塾に行く	42.4	52.4	5.1	1072
習い事をする	81.9	13.7	4.4	1072

■「ない」該当数■

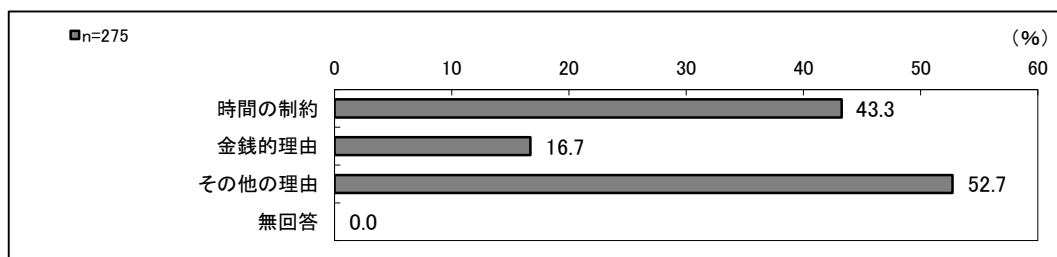


(2) ない理由 ① アウトドアに行く【複数回答】

① アウトドアに行く

「時間の制約」(43.3%)が「金銭的理由」(16.7%)を上回る。

■ない理由 ① アウトドアに行く■

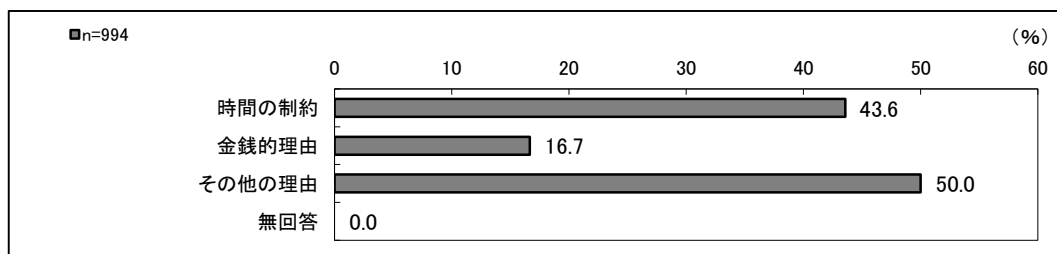


(3) ない理由 ② 動物園・水族館・美術館・映画館等に行く【複数回答】

② 動物園・水族館・美術館・映画館等に行く

「時間の制約」(43.6%)が「金銭的理由」(16.7%)を上回る。

■ない理由 ② 動物園・水族館・美術館・映画館等に行く■

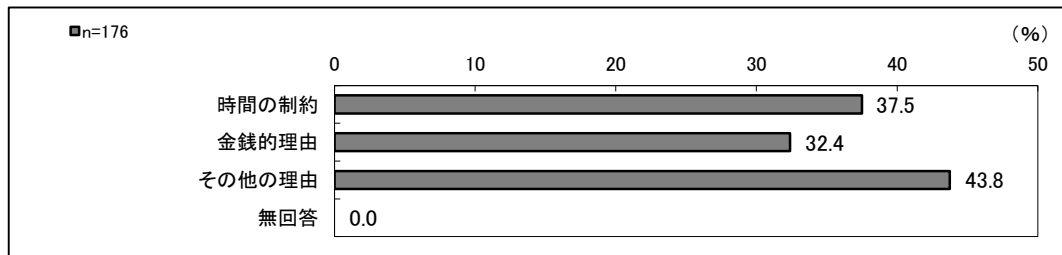


(4) ない理由 ③ 遊園地やテーマパークに行く【複数回答】

③ 遊園地やテーマパークに行く

「時間の制約」(37.5%)が「金銭的理由」(32.4%)を上回る。

■ない理由 ③ 遊園地やテーマパークに行く■

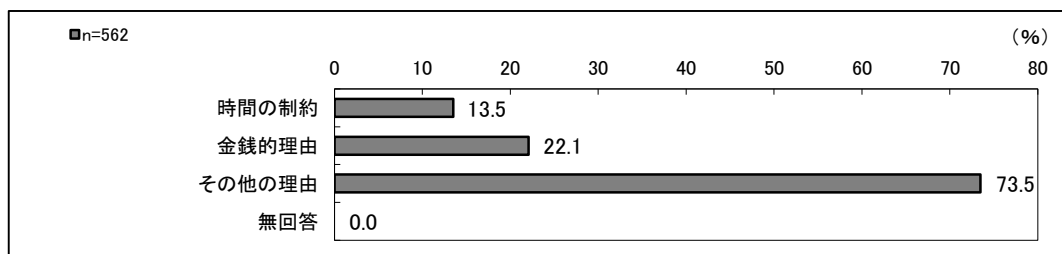


(5) ない理由 ④ 塾に行く【複数回答】

④ 塾に行く

「金銭的理由」(22.1%)が「時間の制約」(13.5%)を上回る。

■ない理由 ④ 塾に行く■

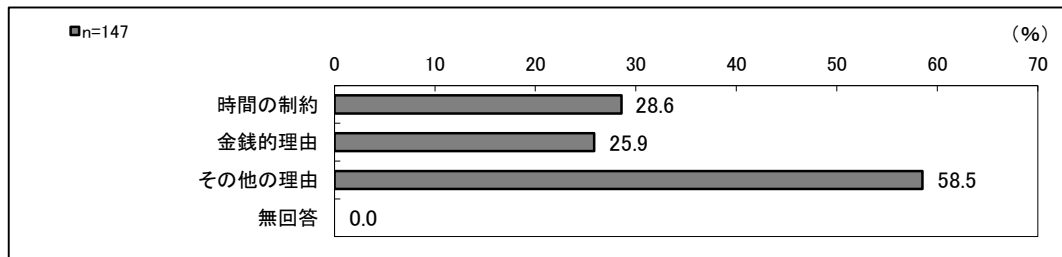


(6) ない理由 ⑤ 習い事に行く【複数回答】

⑤ 習い事に行く

「時間の制約」(28.6%)が「金銭的理由」(25.9%)を上回る。

■ない理由 ⑤ 習い事に行く■



9. 児童虐待について

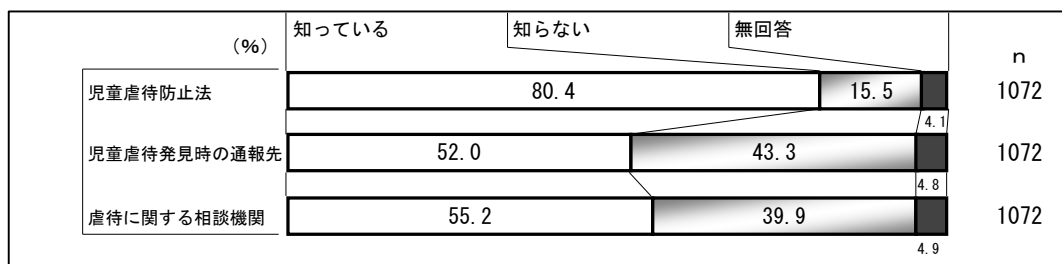
(1) 児童虐待の認知状況

問 26 児童虐待について次のことを知っていますか。

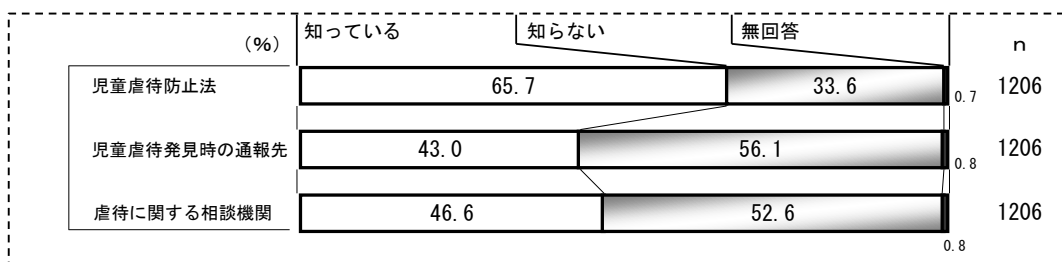
前回調査結果と比較して、「児童虐待防止法」(14.7ポイント増),「児童虐待発見時の通報先」(9.0ポイント増),「虐待に関する相談機関」(8.6ポイント増)の認知状況は上がっている。

■児童虐待の認知状況■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(2) 児童虐待を発見した際の通告・通報先

問 27 児童虐待を発見した場合には、以下、選択欄のどちらにも通告や通報等ができます。その中でも、あなたは、どちらに連絡しようと思いますか。

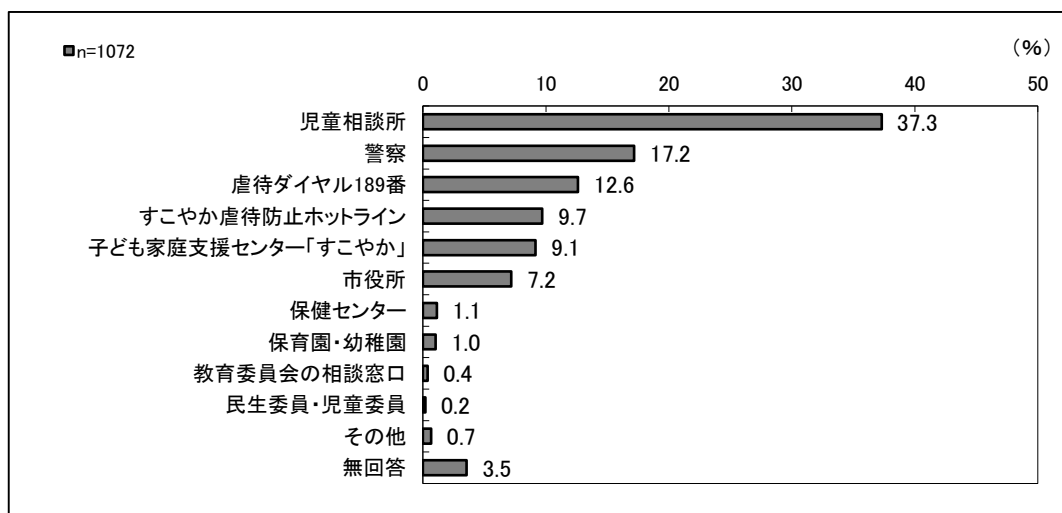


前回調査結果に引き続き、「児童相談所」(37.3%)が最も高い割合を占めている。

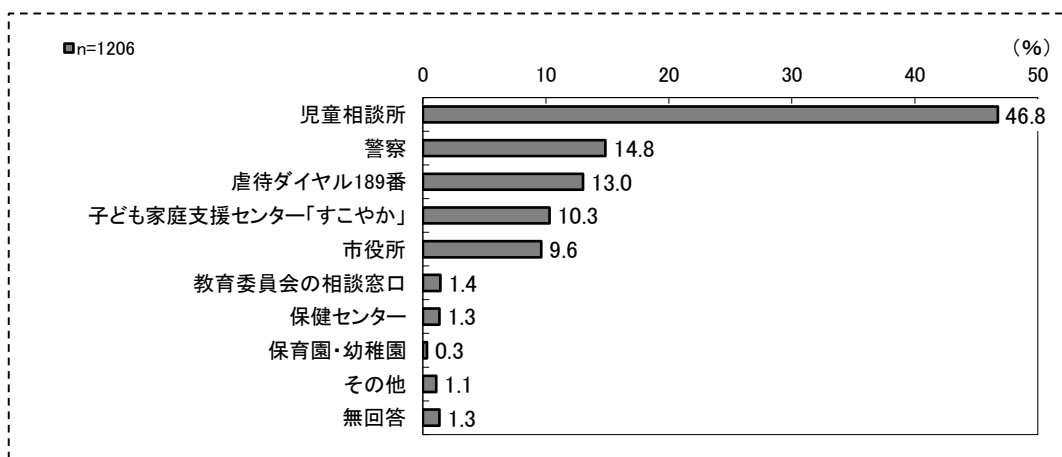
「警察」(17.2%),「虐待ダイヤル189番」(12.6%),「すこやか虐待防止ホットライン」(9.7%),「子ども家庭支援センター「すこやか」」(9.1%)等がこれに続く。

■児童虐待を発見した際の通告・通報先■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(3) 児童虐待について知っていること

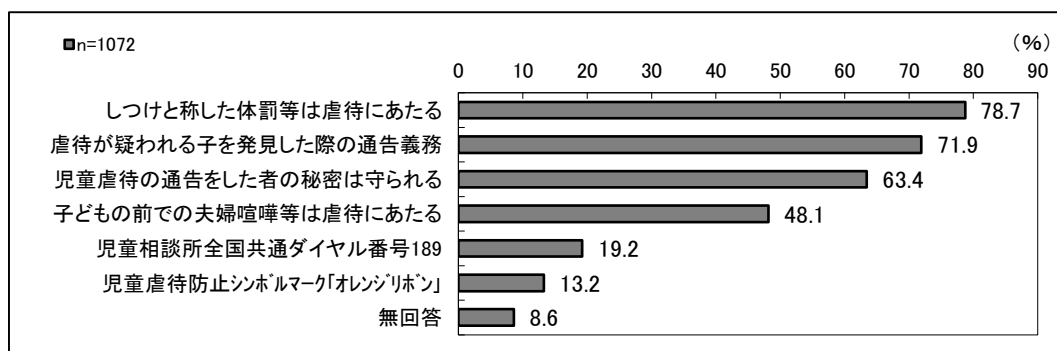
問 28 児童虐待について、あなたは以下のことを知っていますか。【複数回答】

「しつけと称した体罰等は虐待にあたる」(78.7%)が最も高い割合を占める。

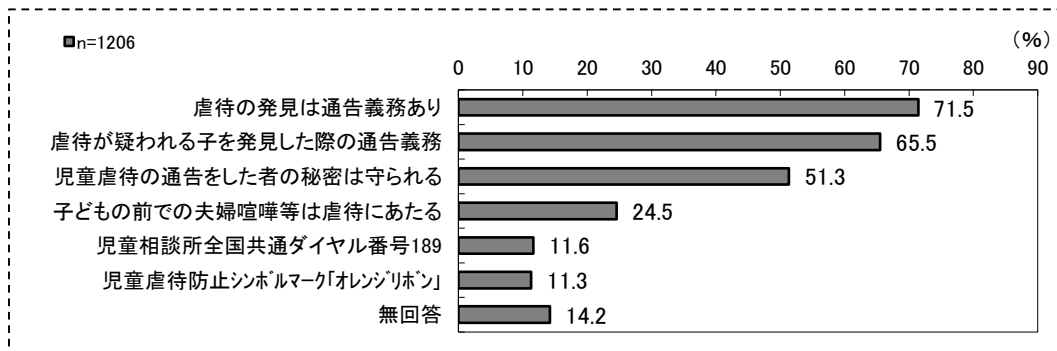
「虐待が疑われる子を発見した際の通告義務」(71.9%)、「児童虐待の通告をした者の秘密は守られる」(63.4%)、「子どもの前での夫婦喧嘩等は虐待にあたる」(48.1%)等がこれに続く。

■児童虐待について知っていること■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



10. ヤングケアラーについて

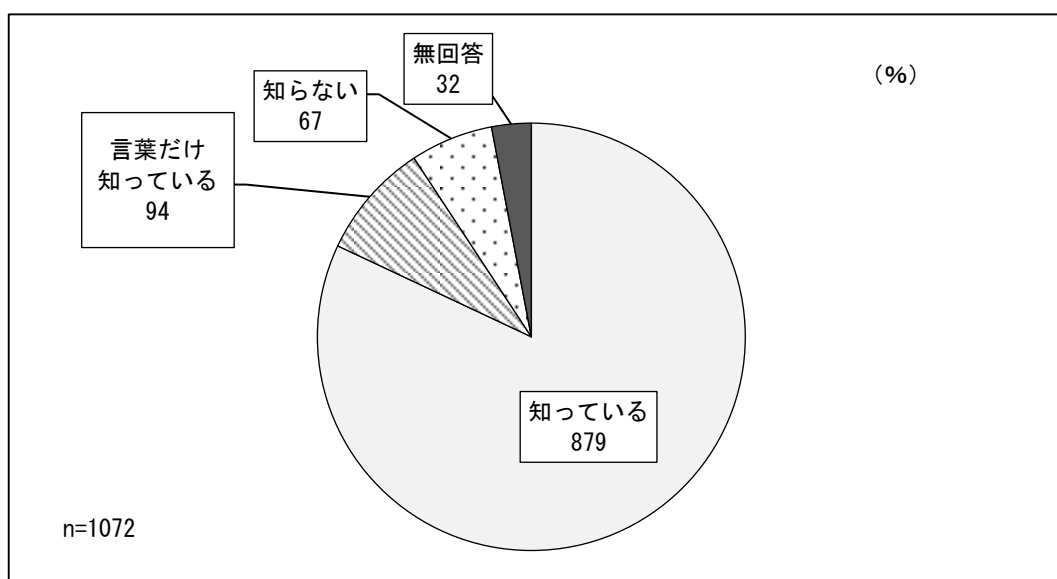
(1) ヤングケアラーという言葉を知っているか

問 29 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。

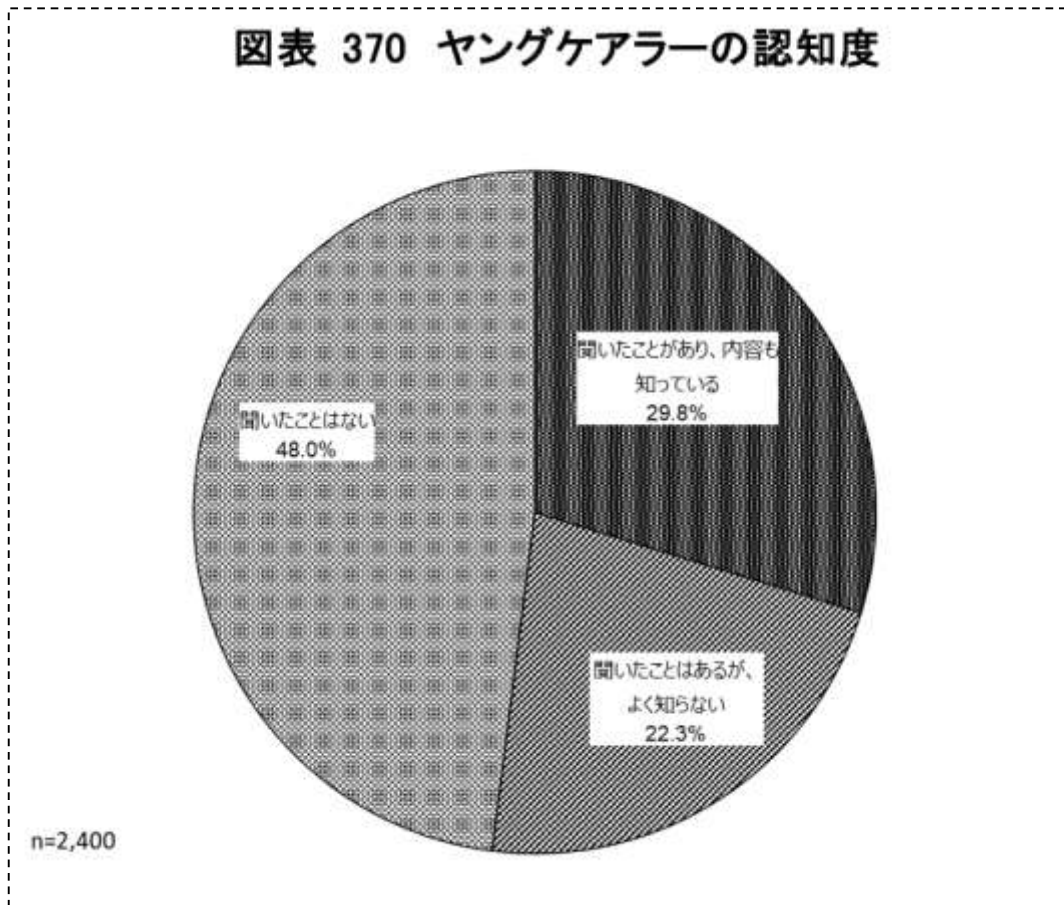
「知っている」(82.0%), 「言葉だけ知っている」(8.8%) と回答者の8割以上が「知っている」と回答している。

■ヤングケアラーという言葉を知っているか■

【今回調査】



図表 370 ヤングケアラーの認知度



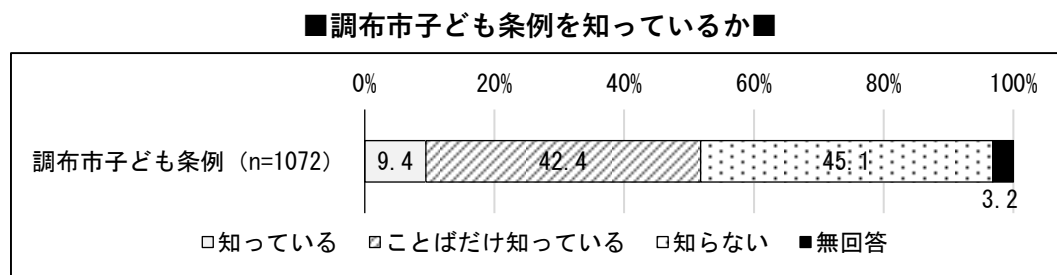
調査対象：日本全国の20代から70代以上の男女
調査期間：2021年12月17日～2021年12月20日

11. 調布市子ども条例及び子どもの権利について

(1) 調布市子ども条例を知っているか

問 30 あなたは、「調布市子ども条例」について知っていますか。

「知らない」(45.1%)、「言葉だけ知っている」(42.4%)、「知っている」(9.4%)。
回答者の半数近くが「知らない」と回答している。



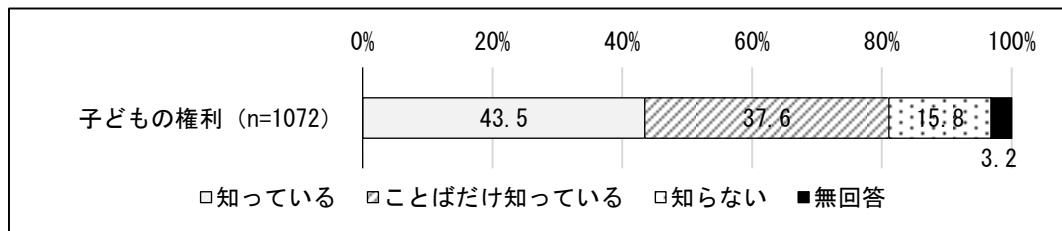
(2) 子どもの権利を知っているか

問 31 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。

「知っている」(43.5%), 「言葉だけ知っている」(37.6%), 「知らない」(15.8%)。
 回答者の過半数が「言葉だけ知っている」、「知らない」と回答している。

■子どもの権利を知っているか■

【今回調査】



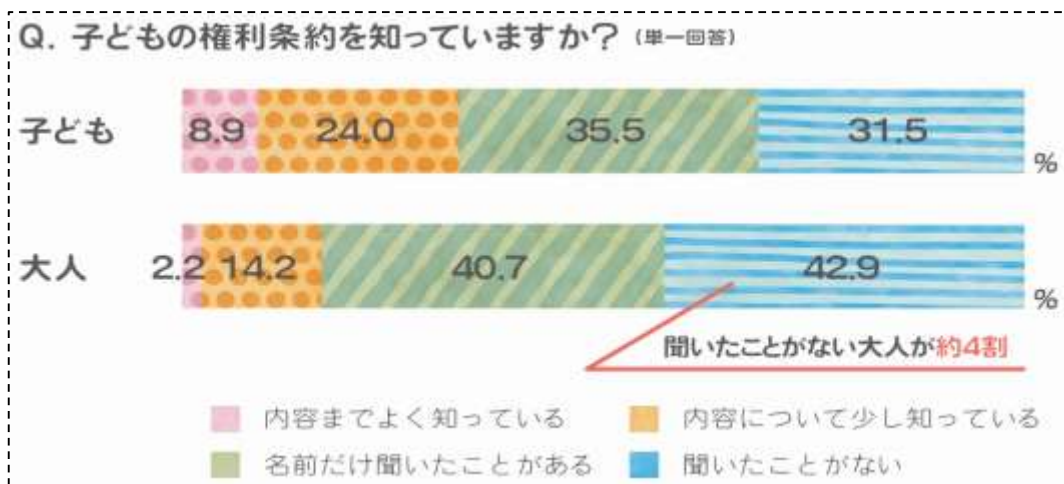
【公益財団法人 日本財団 こども 1 万人意識調査 (参考)】



調査対象：全都道府県男女 10～18 歳

調査期間：2023 年 3 月 6 日～3 月 12 日

【セーブ・ザ・チルドレン 3 万人アンケートから見る子どもの権利に関する意識】



調査対象：全国 15 歳 (中学生除く)～80 代

調査期間：2019 年 8 月 5 日～2019 年 8 月 10 日

(3) 大切だと思う子どもの権利

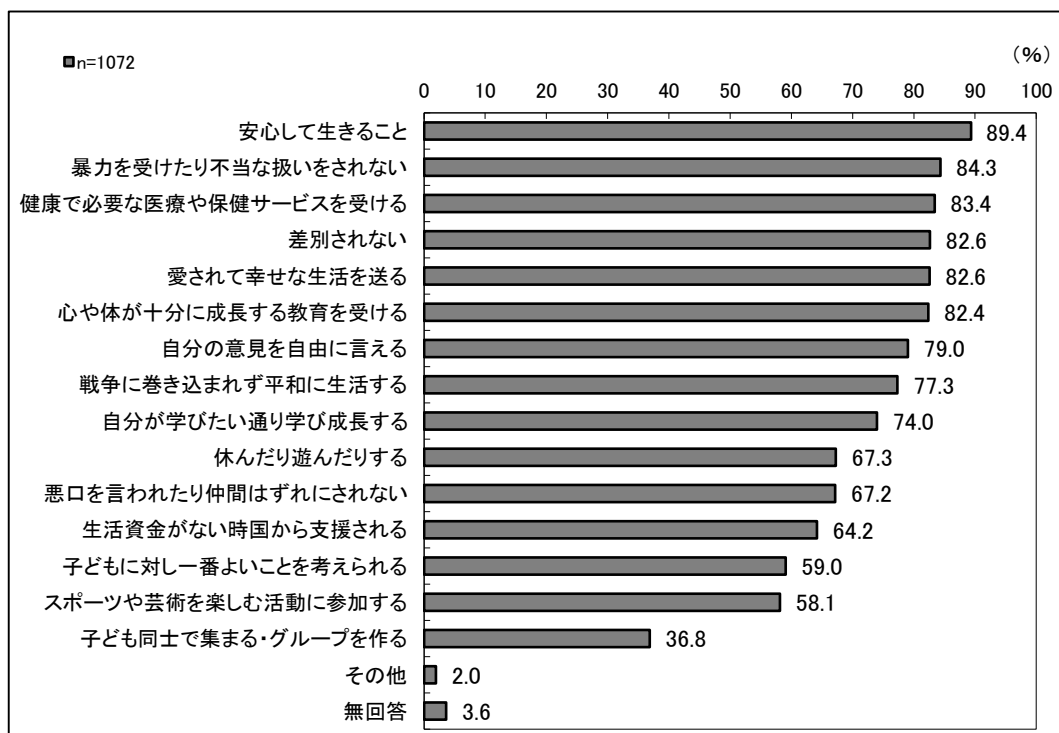
問 31-1 子どもにとって大切だと思う「子どもの権利」として、あてはまるものは次のうちどれですか。【複数回答】

「安心して生きること」が89.4%で最も高い割合を占めている。

「暴力を受けたり不当な扱いをされない」(84.3%)、「健康に必要な医療や保健サービスを受ける」(83.4%)、「差別されない」(82.6%)等がこれに続く。

「子ども同士で集まる・グループを作る」(36.8%)を除くすべての選択肢で回答割合が50%を超えており、どの選択肢も重要であると認識されている。

■大切だと思う子どもの権利■



(4) 行政や関係機関の取組として必要なこと

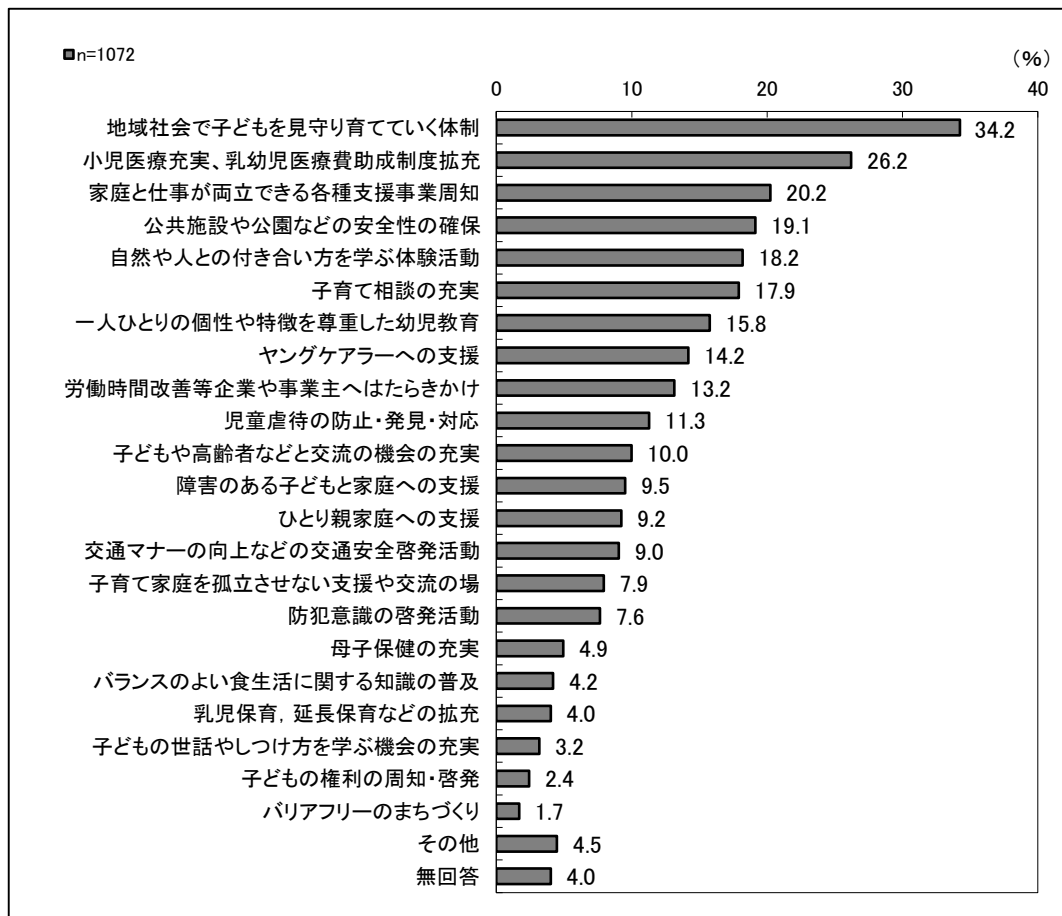
問 32 子育てについて考えたとき、今後、行政や関係機関の取組として必要と思うこと、重要と思うことは何ですか。【複数回答】



「地域社会で子どもを見守り育てていく体制」が34.2%で最も高い割合となり、“地域ぐるみで子どもの育ちを支える”取組が重要とされている。

その他、「小児医療充実、乳幼児医療費助成制度拡充」(26.2%)、「家庭と仕事が両立できる各種支援事業周知」(20.2%)、「公共施設や公園などの安全性の確保」(19.1%)等がこれに続く。

■行政や関係機関の取組として必要なこと■



(5) 市の子育て環境や支援への満足度

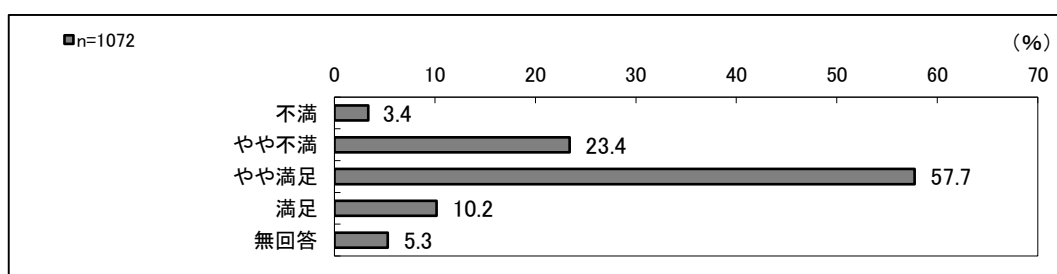
問 33 調布市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

「やや満足」(57.7%)と「満足」(10.2%), を足し合わせた“満足”が 67.9%, 「やや不満」(23.4%)と「不満」(3.4%) を足し合わせた“不満”が 26.8%となっている。

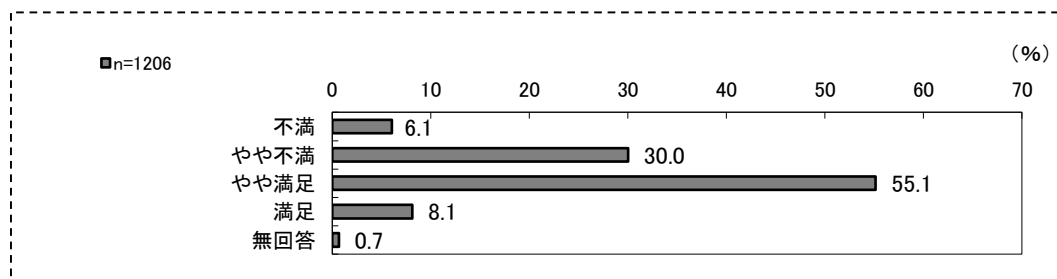
前回調査結果と比較して, “満足”が 4.7 ポイントの増加。 “不満”が 9.3 ポイントの減少となった。

■市の子育て環境や支援への満足度■

【今回調査】



【前回調査 (参考)】



(6) 魅力的だと思う、他自治体の子育て支援環境

問 34 これまでに、「転居を検討したくなるほど魅力的」に感じた、他自治体の子育て支援策や子育て環境があれば、お教えてください。



入力作業中。

(7) 市の子育て支援や子育て環境における課題と改善策

問 35 調布市における子育て支援や子育て環境に関して、(1) 課題だと思うこと、(2) どう改善すべきかについて、考えがあればお書きください。



入力作業中。